

「体験の風をおこそう」運動[®]

高校生の SNS の利用に関する調査報告書

— 日本・米国・中国・韓国の比較 —

令和6年7月

目 次

調査の概要	3
第1章 SNSの利用状況	9
1) 利用率と利用時間	
2) 初めて利用した時期	
3) 利用の目的	
4) 各経験	
第2章 SNSの利用と対人関係	18
1) 知り合った人の有無	
2) 友達との関わり方	
3) 対人関係の変化	
第3章 SNS利用による影響	24
1) 日常生活などへの影響	
2) 精神状態	
3) 不安や心配	
4) 依存傾向	
第4章 SNSによる被害経験や規範意識	35
1) 被害経験	
2) 規範意識	
3) 情報リテラシー	
第5章 SNS利用についての家庭や学校の対応	42
1) 家庭の対応	

2) 学校の対応

第6章 自己特性や精神的な健康状態、生活習慣.....48

1) 自分自身について

2) 精神的な健康状態

3) 運動や生活習慣など

◆考察

1 国際比較から見た各国の SNS 関連問題と対応の特徴.....55

2 SNS の利用は百害あって一利なし？

—SNS の利用目的と SNS 依存、学習意欲の変化の関連—.....64

3 SNS 上の経験とさまざまな適応指標との関連

—生活・運動習慣と対人関係、自己特性に注目して—.....75

◆資料

質問票（和文）100

質問票（英文）109

単純集計表.....121

男女別集計表.....145

調査の概要

1 調査の目的

SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）が普及した今日の高校生の SNS の利用状況とその影響や意識を把握する。さらに、SNS の利用傾向と自己特性、生活習慣や運動などとの関係を分析する。また、米国、中国、韓国でも同時に調査を実施し、諸外国と比較することで、日本の高校生の特徴や課題を考察する。これによって、青少年の健全な育成に関わる基礎資料を提供する。

2 調査方法等

調査時期、調査対象などは次のとおりである。なお、中国での調査は一般財団法人日本児童教育振興財団の協賛により、実施された。

	日本	米国	中国	韓国
調査機関	国立青少年教育振興機構	一般財団法人日本児童教育振興財団(委託)	中国青少年研究センター	ソウル YMCA、韓国多文化青少年協会
調査時期	2023年9月～2024年1月	2023年9月～12月	2023年9月～11月	2023年9月～12月
学校数	35	10	32	34
調査地域	北海道、青森県 宮城県、茨城県 栃木県、群馬県 埼玉県、千葉県 東京都、神奈川県 新潟県、石川県 山梨県、長野県 岐阜県、静岡県 愛知県、奈良県 和歌山県、岡山県 広島県、徳島県 香川県、福岡県 熊本県、大分県 鹿児島県、沖縄県	Missouri North Carolina Washington Michigan Mississippi Hawaii Oklahoma Montana New York	・北京市 ・内モンゴル ・江蘇省 ・河南省 ・湖南省 ・広東省 ・四川省 ・遼寧省 (各地域で都市部と郊外から2校ずつ抽出)	ソウル 京畿道 大邱 大田 釜山 全羅北道
調査方法	集団質問紙法または学校を通しての WEB 調査	学校を通しての WEB 調査	学校を通しての WEB 調査	集団質問紙法
有効回答者数(人)	4356	1512	7750	1508

3 調査内容

SNS の利用率と利用時間、利用する主な目的、SNS 上での各経験、SNS の利用による対人関係、日常生活や精神状態などへの影響及び不安、SNS の依存傾向、SNS の利用による被害経験、規範意識、家庭や学校の対応、自己特性、生活習慣、運動など。

4 調査対象者の基本属性

(%)

		日本	米国	中国	韓国
性別	男	48.6	46.0	50.5	49.5
	女	48.7	50.6	49.5	50.5
	どちらとも言えない	0.8	1.7	-	-
	答えたくない	1.7	1.7	-	-
	無回答	0.2	0.0	0.0	0.0
学年	高1	33.6	36.8	49.8	43.6
	高2	34.8	35.4	27.1	33.4
	高3	31.2	27.8	23.1	23.0
	無回答	0.4	0.0	0.0	0.0
実数(人)		4356	1512	7750	1508

5 調査結果からみる日本の高校生の特徴

1) SNS の利用状況

① 利用率と利用時間 (p. 9～)

4か国とも SNS を「利用している」と回答した割合が9割以上であり、特に日米韓では96%を超えている。

平日の1日あたりの利用時間について、日本は、「1～2時間未満」と回答した割合が26.7%で最も高く、次いで「2～3時間未満」(25.3%)、「3～4時間未満」(17.3%)の順となっている。これに対し、米国は「5時間以上」と回答した割合が21.8%と4か国中最も高く、中国は「30分未満」が35.6%と、日米韓の5%未満と比べて著しく高い。

休日の1日あたりの利用時間について、日本は「5時間以上」と回答した割合が27.2%と最も高く、平日より20ポイント弱増え、4か国の中でも米国の29.6%に次いで高い。「4～5時間未満」の割合が16.8%で、平日より10ポイント弱増えている。

②初めて利用した時期 (p. 11～)

SNS を利用し始めた時期について、日本の高校生は、「中学1～3年」と回答した割合が49.6%と最も高く、次いで「小学4～6年」28.5%、「高校生になってから」11.7%の順となっている。「高校生になってから」の割合は4か国中最も高い。これに対し、韓国は、「小学入学前」「小学1～3年」と回答した割合が25.4%で、利用開始年齢が4か国の中で最も早い。

③ 利用の目的 (p. 12～)

日本の高校生が SNS を利用する主な目的は、「ゲームや音楽などの娯楽」(86.2%)「趣味や興味のある話題に関する情報の収集」(82.4%)「リアルな友達や知り合いとのコミュニケーション」(76.7%)、「家族との連絡」(75.8%)の順となっており、いずれも75%以上と、米中韓に比べて最も高くなっている。また、「勉強に関する情報の収集」(46.1%)、「推し活」(36.7%)も日本が4か国中最も高くなっている。

④各経験 (p. 14～)

日本の高校生は、「1つの SNS に複数のアカウントを使い分けること」を「よくしている」「ときどきしている」と回答した割合が5割を超え、4か国中最も高い。一方、SNS を使って「オンラインゲームをすること」(54.3%)「投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること」(25.3%)「投げ銭をすること」(3.6%)を「よくしている」「ときどきしている」と回答した割合は4か国中最も低い。

2) SNS の利用と対人関係

①知り合った人の有無 (p. 18～)

日本の高校生は、SNS を通じて知り合った人が「いる」と回答した割合が49.2%で、その人と実際に会ったことが「ある」と回答した割合が43.3%となっており、いずれも米国より低くなっている。

② 友達との関わり方 (p. 20～)

日本の高校生は、「リアルな友人よりも SNS で知り合った人のほうが気持ちを伝えやすい」(18.5%)「友達と直接話すより、SNS を通じたほうが気持ちが伝えやすい」(26.7%)と回答した(「そうだ」と「まあそうだ」の合計)割合がいずれも米中韓に比べて最も低い。

③対人関係の変化 (p. 21～)

日本の高校生は、友人や親(保護者)、きょうだい、先生との関係が SNS を利用することで、「変わらない」と回答した割合が4か国中最も高くなっている。「少し悪くなった」「非常に悪くなった」と回答した割合は、いずれも4か国中最も低くなっている。

3) SNS の利用による影響

① 日常生活などへの影響 (p. 24～)

日本の高校生は、SNS を利用することで、「趣味や興味のあること」(88.8%)「お金を使うこと」(52.0%)が「非常に増えた」「すこし増えた」と回答した割合は4か国中最も高く、「社会への関心」が「非常に高くなった」「すこし高くなった」と回答した割合は55.9%と、中国に次いで高い。一方、「学習に対する意欲」(25.8%)「時間を管理する能力」(20.2%)「運動量」(18.0%)「自分を表現すること」(37.4%)が「非常に増えた(高くなった)」「少し増えた(高くなった)」と回答した割合は、4か国中最も低くなっている。

②精神状態 (p. 28～)

日本の高校生は、SNS の利用により、「寂しくなる」「イライラする」ことが「よくある」「ときどきある」と回答した割合はいずれも約 25%で、4 か国中最も低くなっている。「落ち込む」「眠れない」「他人に嫉妬する」ことが「よくある」「ときどきある」と回答した割合はいずれも約 3 割となっており、「ものごとに集中できない」ことが「よくある」「ときどきある」と回答した割合は 4 割強となっている。

③不安や心配 (p. 30～)

日本の高校生は、SNS の利用による不安や心配として、「勉強への影響」と回答した割合が 55.5% とほかの項目より高く、4 か国の中でも中国に次いで高い。また、「ネット依存」と回答した割合が 48.8%で、4 か国中最も高くなっている。「個人情報の漏えい」「詐欺被害」「体の健康や発達への影響」「犯罪・有害情報に触れてしまうこと」の割合はいずれも 2 割台となっており、「お金の使いすぎ」「気分の変動」「悪口や嫌がらせ、いじめを受けること」の割合はいずれも 1 割台となっている。

④依存傾向 (p. 31～)

日本の高校生は、この 1 年間において、「もっと多くの時間を SNS に費やしたいと考えたこと」(50.2%)「SNS の利用を禁止されてイライラしたこと」(31.3%)「SNS が原因で、趣味や余暇活動、運動の優先順位が下がったこと」(36.1%)「授業中、SNS をみること」(11.8%)が「ある」(「いつもある」+「よくある」+「ときどきある」、以下同様)と回答した割合はいずれも 4 か国中最も低くなっている。また、「SNS で起こった出来事について、いろいろと考えてしまうこと」(51.2%)「不安やストレスを軽減するために SNS を使ったこと」(63.7%)「SNS の利用頻度を減らそうと思ったが失敗したこと」(54.3%)が「ある」と回答した割合は米韓より低い。一方、上記の 7 項目で「ない」と回答した割合は、日本がいずれも 4 か国の中で最も高くなっている。

4) SNS による被害経験や規範意識

①被害経験 (p. 35～)

日本の高校生は、SNS を利用していて、「個人情報が漏えいされたこと」「架空請求をされたこと」「アカウントの乗っ取りをされたこと」が「ある」と回答した割合はいずれも 9%未満で、米中韓に比べて最も低くなっている。「自分の写真が無断投稿されたこと」(12.2%)「自分についてのうわさ話が拡散されたこと」(7.6%)が「ある」と回答した割合は米韓より低い。

また、SNS 上で悪口や嫌がらせを受けることが「よくある」「時々ある」と回答した割合は、日本が 4.3%で、米国の 30.4%、中国の 11.8%、韓国の 10.1%に比べて最も低い。

②規範意識 (p. 38～)

日本の高校生は、「他人になりすまして情報を発信する」ことは「何があってもダメ」と回答した割合が 9 割強で、米中韓の 8 割台に比べて最も高い。また、「他人のアカウントを乗っ取りする」「悪口や嫌がらせのメッセージやコメントを送ったり、書き込みをする」「他人の個人情報を無断に公開する」「他人の写真を無断投稿する」「他人のうわさ話を拡散する」ことは「その人の自由」

と回答した割合が1.6%~3.4%で、いずれも4か国中最も低くなっている。

③ 情報リテラシー (p. 40~)

日本の高校生は、「SNS 上では、自分の言いたいことを何でも言ってよいと思う」と回答した（「そうだ」と「まあそうだ」の合計、以下同様）割合が4.9%で、米中韓より13ポイント以上低くなっている。「SNS でもリアルでも自分の発言や行動が変わらない」と回答した割合は4か国中最も高く、7割を超えている。また、「SNS で見た情報が正しいかどうかを確認する」を回答した割合が8割強と、中国と並んでおり、米韓よりも高い。

5) SNS 利用についての家庭や学校の対応

① 家庭の対応 (p. 42~)

日本の高校生は、インターネットの利用について、親（保護者）が「利用時間」や「利用金額」を決めていると回答した割合が約12%、「内容をチェックする」と回答した割合が5%未満にとどまり、いずれも4か国中最も低くなっている。一方で、「アクセス可能なサイトを制限する」と回答した割合が20.9%で、4か国中最も高くなっている。

② 学校の対応 (p. 44~)

日本の高校生は、学校で SNS の利用について、「プライバシーと個人情報に関する知識」「安全意識をもつこと（危険を予測し、被害を予防する）」「正しい情報を収集・判断する方法」「適切にコミュニケーションをとるためのマナーやルール、言葉づかいなど」を学んだことが「ある」と回答した割合は、いずれも約9割となっており、「他人からの中傷誹謗やトラブルに対する対処法」「セキュリティに関する知識」「依存防止」を学んだことが「ある」と回答した割合はいずれも約8割となっている。

SNS の利用に関する学校での学習で、自分にとって重要なものとして「プライバシーと個人情報に関する知識」と回答した割合が4か国とも最上位となっている。そのほかに、日本では「依存防止」「他人からの中傷誹謗やトラブルに対する対処法」と回答した割合がそれぞれ38.1%と35.2%となっており、4か国中最も高い。

6) 自己特性や精神的な健康状態、生活習慣

① 自分自身について (p. 48~)

日本の高校生は、「いまの自分が好きだ」(62.5%)「将来に対し、はっきりした目標をもっている」(53.2%)と回答した（「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計、以下同様）割合が4か国中最も低くなっている。反対に、「自分はダメな人間だと思う」と回答した割合が57.2%で、米中韓の3割強に比べて著しく高い。「他人の意見に影響されやすい」と回答した割合が65.2%と、米中韓の5割強を約12ポイント上回っている。また、「人から褒められることを望んでいる」(81.4%)「ストレスを感じやすい」(68.1%)と回答した割合も4か国中最も高くなっている。

② 精神的な健康状態 (p. 49~)

最近2週間の精神的な健康状態について、日本の高校生は、「明るく、楽しい気分で過ごした」

「落ち着いた、リラックスした気分で過ごした」と回答した割合（「いつもそうだった」と「そういう時が多かった」の合計、以下同様）がいずれも 73%以上で、4 か国中最も高くなっている。「意欲的で、活動的に過ごした」「日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった」と回答した割合はいずれも 64%を超えた。

③ 運動や生活習慣など (p. 51～)

日本の高校生は、「就寝時間が遅くなること」が「よくある」と回答した割合は 51.9%で、米中韓に比べて最も高い。一方、「朝食を食べないこと」「食事の時間が不規則であること」が「よくある」「たまにある」と回答した割合は 4 か国中最も低くなっている。

また、日本の高校生は、体育の授業以外で、運動を「ほとんど毎日している」と回答した割合が 35.4%で、米中韓に比べて最も高くなっている。一方、「ほとんどしていない」(36.8%) と回答した割合も、4 か国中最も高くなっている。

第1章 SNSの利用状況

1) 利用率と利用時間

4か国ともSNSを「利用している」と回答した割合が9割以上であり、特に日米韓では96%を超えている。

平日の1日あたりの利用時間について、日本は、「1～2時間未満」と回答した割合が26.7%で最も高く、次いで「2～3時間未満」(25.3%)、「3～4時間未満」(17.3%)の順となっている。これに対し、米国は「5時間以上」と回答した割合が21.8%と4か国中最も高く、中国は「30分未満」が35.6%と、日米韓の5%未満と比べて著しく高い。

休日の1日あたりの利用時間について、日本は「5時間以上」と回答した割合が27.2%と最も高く、平日より20ポイント弱増え、4か国の中でも米国の29.6%に次いで高い。「4～5時間未満」の割合が16.8%で、平日より10ポイント弱増えている。

LINE、Instagram、Facebook、TikTok、YouTube、XなどのSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を「利用している」と回答した者の割合は、日米韓の3か国とも96%を超え、中国も90%強となっている（図1-1）。

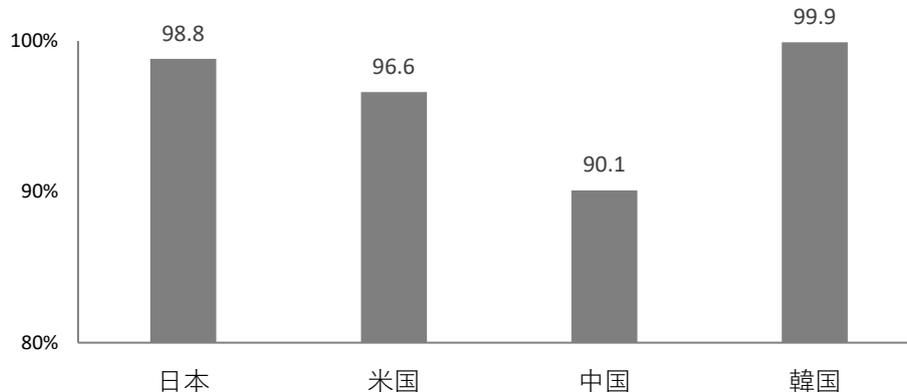


図1-1 SNS(LINE、Instagram、Facebook、TikTok、YouTube など)を「利用している」

SNSを利用する時間について、「平日」と「休日」に分けて回答を求めた。

まず、平日の1日あたりの利用時間について、図1-2のとおり、日本は、「1～2時間未満」と回答した割合が26.7%で最も高く、次いで「2～3時間未満」(25.3%)、「3～4時間未満」(17.3%)の順となっている。日本の上位3項目がいずれも4か国の中でも最も高くなっている。

米国は、「5時間以上」と回答した割合が21.8%と最も高くなっており、日中韓の1割未満に比べても、その差が著しい。「4～5時間未満」も4か国中最も高く、11.2%となっている。「2～3時間未満」と「3～4時間未満」がそれぞれ20.1%と16.4%となっており、日本に次いで高い。このように、米国の高校生が平日の1日あたりにSNSを利用する時間は4か国の中で最も長いことがわかる。

中国は、「30分未満」と回答した割合が35.6%となっており、日米韓の5%未満に比べて、その差が顕著である。一方、「2～3時間未満」「3～4時間未満」「4～5時間未満」「5時間以上」と回答した割合はいずれも4か国中最も低くなっている。中国では携帯電話やスマートフォンの学校への持ち込みを禁止されている学校が多く、今回の調査でも、「学校では携帯電話やスマートフォンの教室への持ち込みは禁止されている」と回答した割合が91.1%となっており、日本の18.1%、米国の12.8%、韓国の27.3%に比べてその差が著しい（p.47、図5-6）。平日、SNSを利用する時間が日米韓より著しく少ないのは、携帯電話やスマートフォンの学校への持ち込みが禁止されている実情がその原因の一つだと考えられる。

韓国は、「1～2時間未満」と回答した割合が22.7%と最も高く、次いで「2～3時間未満」（19.0%）、「30分～1時間未満」（17.6%）の順となっている。「3～4時間未満」「4～5時間未満」「5時間以上」と回答した割合は、いずれも約1割となっている。

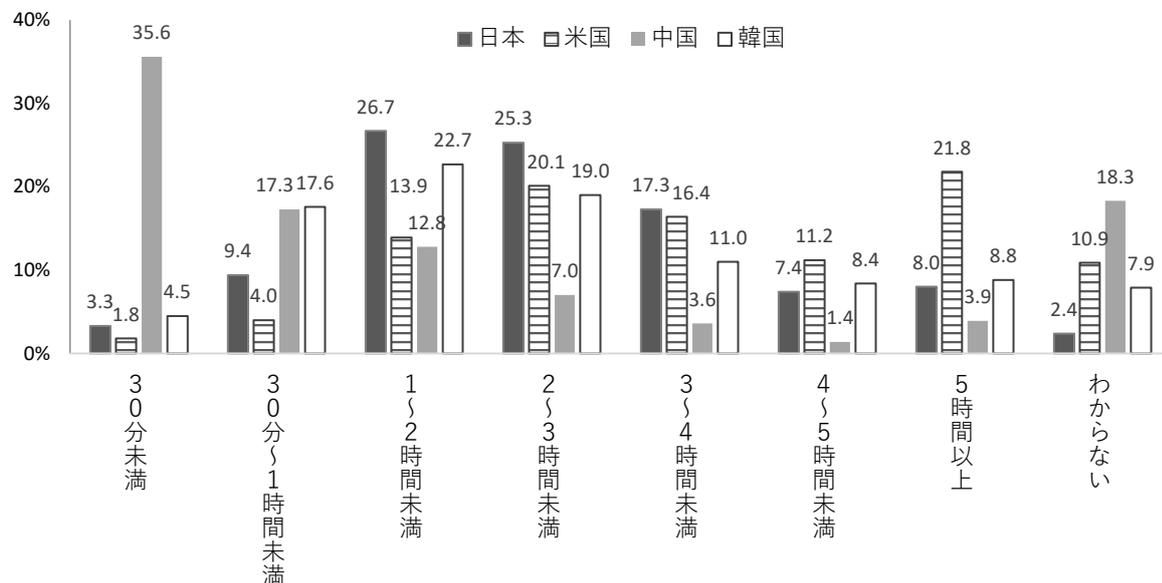


図 1-2 平日の1日当たりの SNS を利用する時間

つぎに、休日の1日あたりの利用時間を見てみる。図1-3のとおり、日本は、「5時間以上」と回答した割合が27.2%と最も高く、平日より20ポイント弱増え、4か国の中でも米国の29.6%に次いで高い。「4～5時間未満」の割合が16.8%で、平日より10ポイント弱増えている。「3～4時間未満」（21.5%）も平日より増えている。一方、「2～3時間未満」（17.3%）、「1～2時間未満」（8.4%）、「30分～1時間未満」（3.3%）、「30分未満」（1.4%）の割合はいずれも平日より低くなっている。このように、日本の高校生は休日にSNSを利用する時間が平日より大幅に増えていることがわかる。

米国は、「5時間以上」と回答した割合が29.6%で、平日の21.8%に比べて高くなっている。「4～5時間未満」（13.8%）と「3～4時間未満」（18.3%）の割合も平日より若干高くなっている。

中国は、「30分未満」と回答した割合が9.9%で、日米韓より高いが、平日と比べて25ポイント以上も低下している。「30分～1時間未満」の割合も平日より低くなっている。一方、利用時間

が1時間以上の各項目ではいずれも平日のその割合より高くなっており、特に「5時間以上」と回答した割合が14.1%で、平日の3.9%より10ポイント強高くなっている。中国の高校生は、休日にSNSを利用する時間が平日より多くなっているが、日米韓に比べて最も少ないことがわかる。

韓国は、「5時間以上」と回答した割合が19.9%で、最も高くなっており、平日よりも11ポイント高くなっている。「4～5時間未満」「3～4時間未満」の割合も平日より高くなっている。

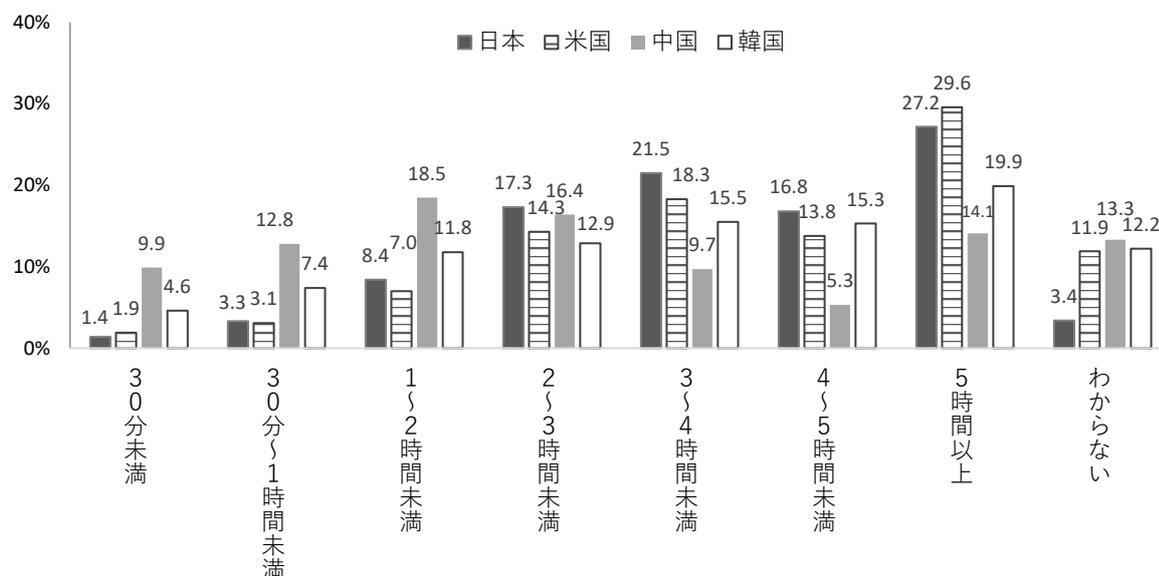


図 1-3 休日の1日当たりの SNS を利用する時間

2) 初めて利用した時期

SNS を利用し始めた時期について、日本の高校生は、「中学1～3年」と回答した割合が49.6%と最も高く、次いで「小学4～6年」28.5%、「高校生になってから」11.7%の順となっている。「高校生になってから」の割合は4か国中最も高い。これに対し、韓国は、「小学入学前」「小学1～3年」と回答した割合が25.4%で、利用開始年齢が4か国の中で最も早い。

SNS を利用し始めた時期をみると、図 1-4 に示しているように、日本の高校生は、「中学1～3年」と回答した割合が49.6%と最も高く、4か国の中でも最も高い。次いで「小学4～6年」の28.5%である。「高校生になってから」の割合は11.7%となっており、米国の2.5%、中国の4.8%、韓国の5.4%に比べて最も高い。

米国は、「小学4～6年」と「中学1～3年」がいずれも4割強となっている。小学低学年まで（「小学入学前」「小学1～3年」）の割合が8.6%となっており、日本とほぼ同じであるが、「高校生になってから」の割合が2.5%と4か国中最も低い。

中国は、「中学1～3年」と回答した割合が48.6%、「小学4～6年」が28.1%となっており、日本の割合とあまり差がなかったが、「高校生になってから」の割合が4.8%で、日本の11.7%より低く、反対に「小学入学前」と回答した割合が日本よりやや高くなっている。

韓国は「小学4～6年」が32.4%と最も高く、次いで「中学1～3年」24.8%である。「小学入学前」「小学1～3年」の割合がそれぞれ10.1%と15.3%で、いずれも4か国の中で最も高くなっている。

このように、SNS を利用し始めた時期について、日本は4か国の中で遅めで、韓国が早い段階での利用者が多いことが見て取れる。

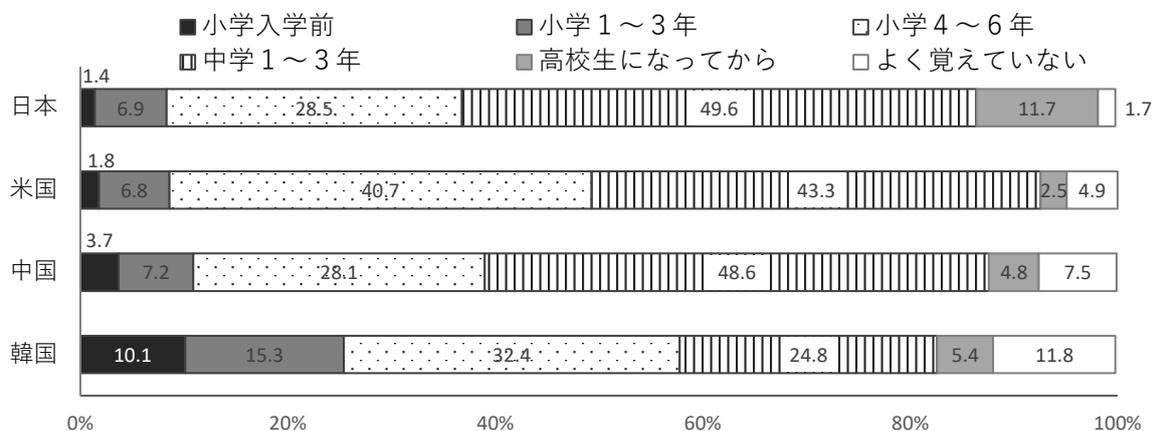


図 1-4 SNS を利用し始めた時期

3) 利用の目的

日本の高校生が SNS を利用する主な目的は、「ゲームや音楽などの娯楽」(86.2%)「趣味や興味のある話題に関する情報の収集」(82.4%)「リアルな友達や知り合いとのコミュニケーション」(76.7%)、「家族との連絡」(75.8%)の順となっており、いずれも75%以上と、米中韓に比べても最も高くなっている。また、「勉強に関する情報の収集」(46.1%)、「推し活」(36.7%)も日本が4か国中最も高くなっている。

SNS を利用する主な目的について、14項目を挙げ、複数回答をしてもらった。図 1-5 は日本の割合の高い順から並べたものである。日本は、「ゲームや音楽などの娯楽」と回答した者の割合が86.2%と最も高くなっており、次いで「趣味や興味のある話題に関する情報の収集」(82.4%)、「リアルな友達や知り合いとのコミュニケーション」(76.7%)、「家族との連絡」(75.8%)の順となっている。上位の4項目の割合がいずれも4か国の中でも最も高くなっており、特に「趣味や興味のある話題に関する情報の収集」「家族との連絡」の割合については米中韓との差が大きい。また、「推し活」の割合が36.7%と、米国の23.0%、中国の5.8%、韓国の18.1%に比べて最も高くなっている。「勉強に関する情報の収集」(46.1%)も4か国中最も高くなっている。「暇つぶし」と回答した割合が7割を超え、米国の次に高い。

米国は、「ゲームや音楽などの娯楽」(80.2%)、「暇つぶし」(74.4%)、「リアルな友達や知り合いとのコミュニケーション」(73.3%)が上位となっており、「暇つぶし」の割合が4か国中最も高くなっている。また、「生活や暮らし」(50.6%)、「ストレス解消」(57.6%)、「ニュースや社会の出来事に関する情報の収集」(49.3%)、「直接会ったことがない(ネット上の)友達とのコミュ

ニケーション」(22.2%)、「自分の考えや作品などの発信」(24.4%)の割合がいずれも日中韓に比べて最も高くなっている。米国の高校生は SNS を多岐にわたって利用していることが見て取れる。

中国は、「リアルな友達や知り合いとのコミュニケーション」と回答した割合が7割を超え、最も高くなっている。次いで「趣味や興味のある話題に関する情報の収集」(56.4%)、「ゲームや音楽などの娯楽」(55.8%)、「家族との連絡」(51.7%)の順となっており、いずれも5割台にとどまっている。「勉強に関する情報の収集」の割合が45.1%で、日本の46.1%とほぼ並んでいる。

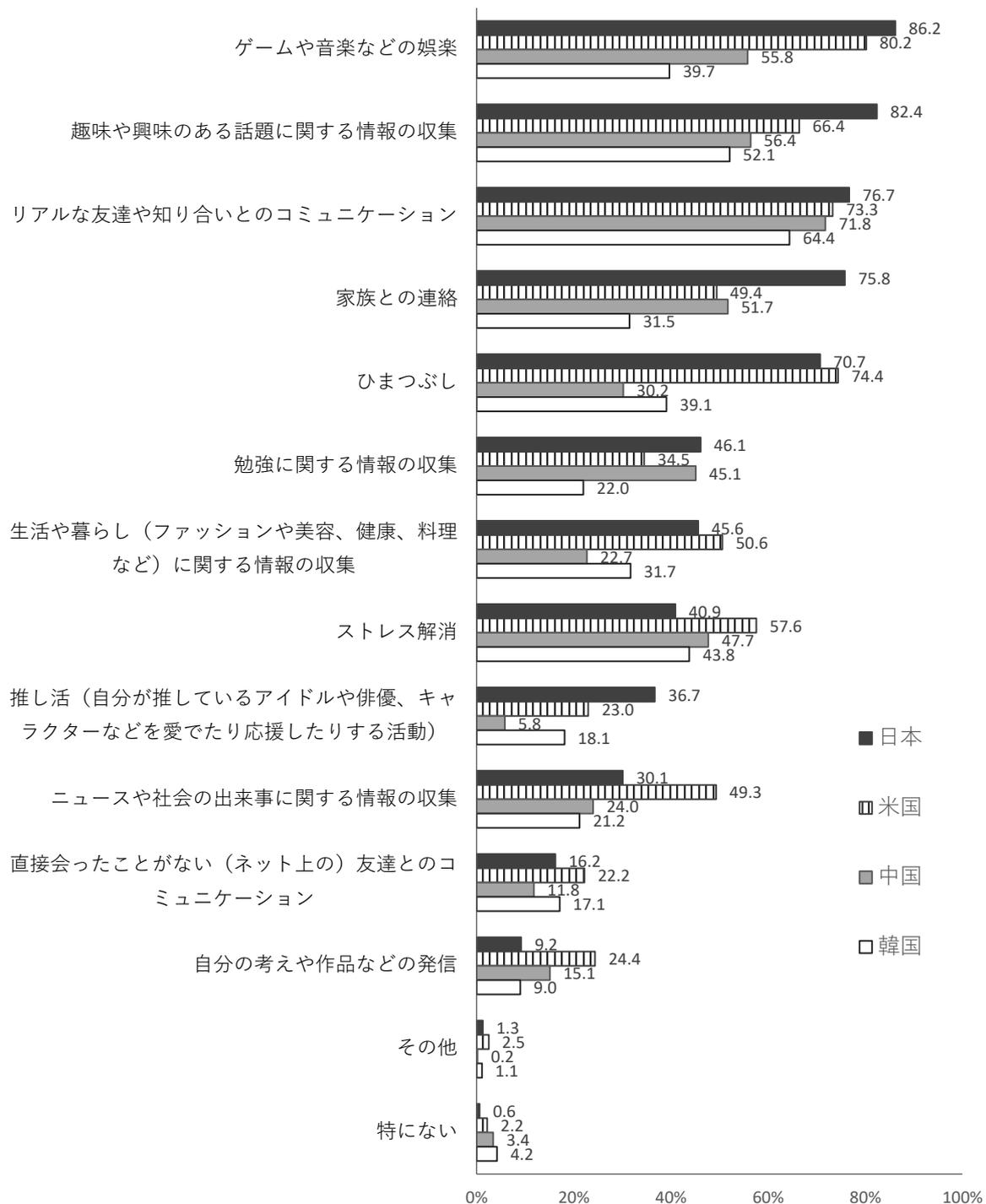


図 1-5 SNS を利用する主な目的(複数回答)

一方、「暇つぶし」(30.2%)、「生活や暮らし」(22.7%)、「推し活」(5.8%)、「直接会ったことがない(ネット上の)友達とのコミュニケーション」(11.8%)と回答した割合がいずれも4か国中最も低くなっている。

韓国は、「リアルな友達や知り合いとのコミュニケーション」と回答した割合が64.4%で、最も高くなっているが、日米中に比べると最も低くなっている。また、「ゲームや音楽などの娯楽」(39.7%)、「趣味や興味のある話題に関する情報の収集」(52.1%)、「家族との連絡」(31.5%)、「勉強に関する情報の収集」(22.0%)、「ニュースや社会の出来事に関する情報の収集」(21.2%)、「自分の考えや作品などの発信」(9.0%)と回答した割合が、いずれも日米中の3か国より低くなっている。

4) 各経験

日本の高校生は、「1つのSNSに複数のアカウントを使い分けること」を「よくしている」「ときどきしている」と回答した割合が5割を超え、4か国中最も高い。一方、SNSを使って「オンラインゲームをすること」(54.3%)「投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること」(25.3%)「投げ銭をすること」(3.6%)を「よくしている」「ときどきしている」と回答した割合は4か国中最も低い。

SNS 上での経験について、「オンラインゲームをすること」など6項目を例示し、「よくしている」「ときどきしている」「あまりしていない」「していない」の4段階でたずねた。

「オンラインゲームをすること」について、「よくしている」と回答した割合は、日本が31.8%で、米国に次いで高いが、「ときどきしている」を合わせると、米国66.4%、韓国63.0%、中国59.3%に対し、日本は54.3%となり、4か国の中で最も低い(図1-6)。

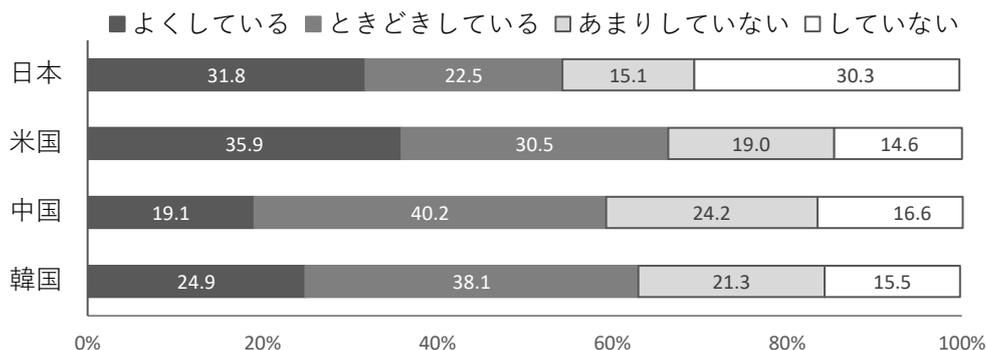


図1-6 SNSを使って、オンラインゲームをすること

「投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること」について、「よくしている」と回答した割合は、日中韓3か国とも1割強であるのに対し、米国が2割強と高い。「ときどきしている」を合わせると、韓国49.1%、米国47.1%、中国39.0%、日本25.3%の順となっており、日本が最も低い。一方、「していない」と回答した割合は、日本が55.9%となっており、米国の29.3%、中国の30.9%、韓国の19.9%に比べて、最も高い(図1-7)。

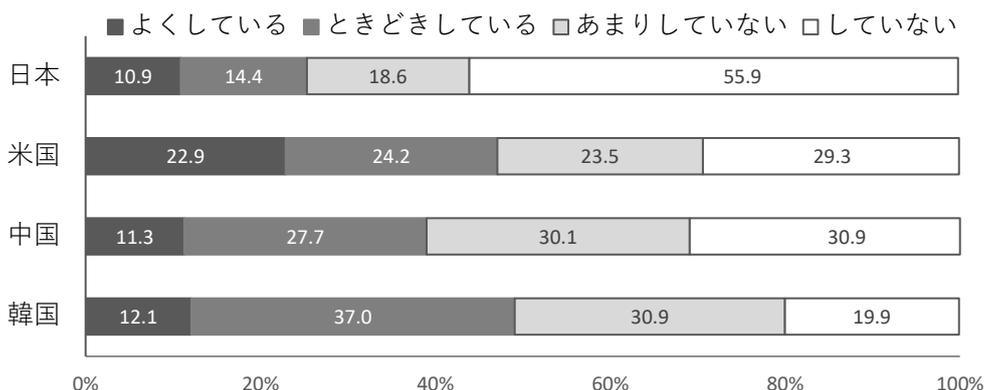


図 1-7 SNS を使って、投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること

「匿名で投稿すること」について、「よくしている」と回答した割合は、4か国とも1割未満で、「ときどきしている」を合わせると、韓国 29.3%、中国 20.1%、日本 19.3%、米国 16.8%の順となっており、韓国が最も高い（図 1-8）。

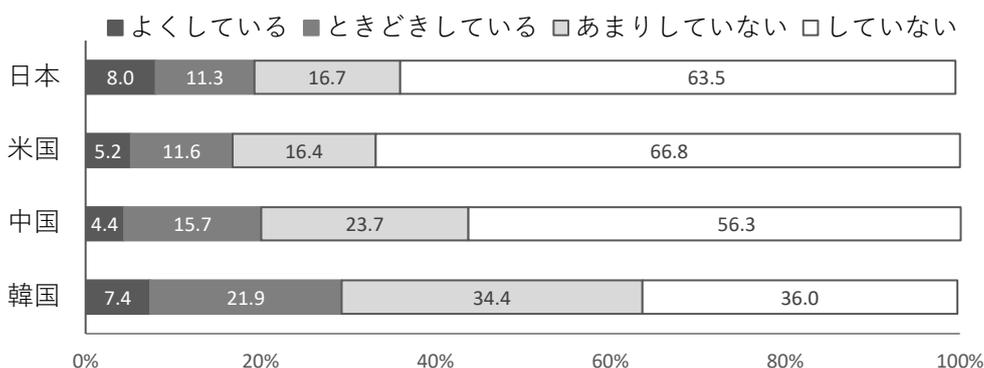


図 1-8 SNS を使って、匿名で投稿すること

「投げ銭をすること（オンラインのライブ配信者に対して視聴者がお金を送付すること）」について、「よくしている」「ときどきしている」と回答した割合は、日本が 3.6%、米国が 6.3%、中国が 10.2%、韓国が 22.7%となっており、韓国が最も高い。一方、「していない」と回答した割合は、日本 92.0%、米国 87.9%、中国 77.3%に対し、韓国は 50.6%にとどまっている（図 1-9）。

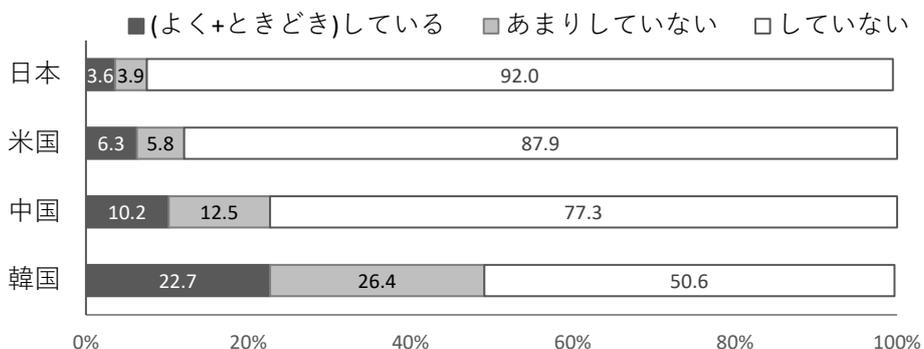


図 1-9 SNS を使って、投げ銭をすること(オンラインのライブ配信者に対して視聴者がお金を送付すること)

「1つのSNSに複数のアカウントを使い分けること」について、「よくしている」と回答した割合は、日本が27.6%と、米国16.7%、中国5.0%、韓国10.4%に比べて最も高くなっている。「ときどきしている」を合わせると、日本が54.2%となり、米国が41.4%、韓国が37.6%、中国が17.8%となっている。このように、日本の高校生の半数以上には複数のアカウントを使い分ける経験があることが見て取れる（図1-10）。

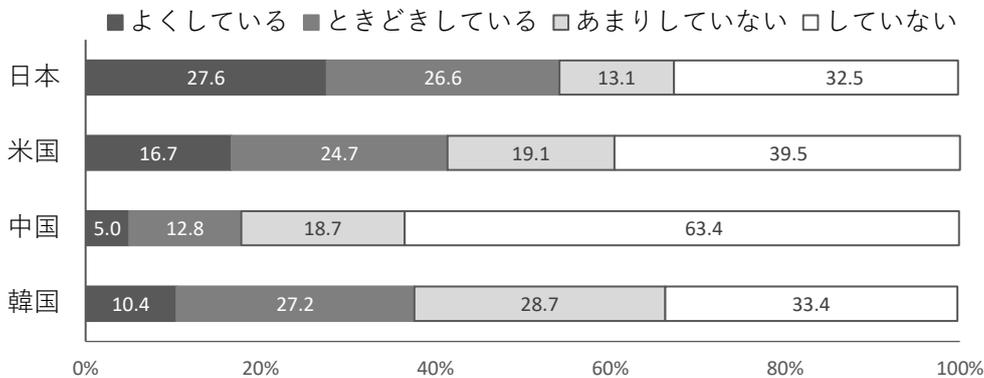


図1-10 1つのSNSに複数のアカウントを使い分けること

「友達にプレゼントやお金を送ること」について、「よくしている」と回答した割合は、日米中の3か国がいずれも6%未満となっているが、韓国は13.4%と最も高い。「ときどきしている」を合わせると、韓国が54.8%となっており、中国の35.3%、日本の19.1%、米国の9.7%に比べてその差が著しい。一方、「していない」と回答した割合は、米国が82.7%となっており、日本の64.0%、中国の33.5%、韓国の20.5%との差が顕著である（図1-11）。

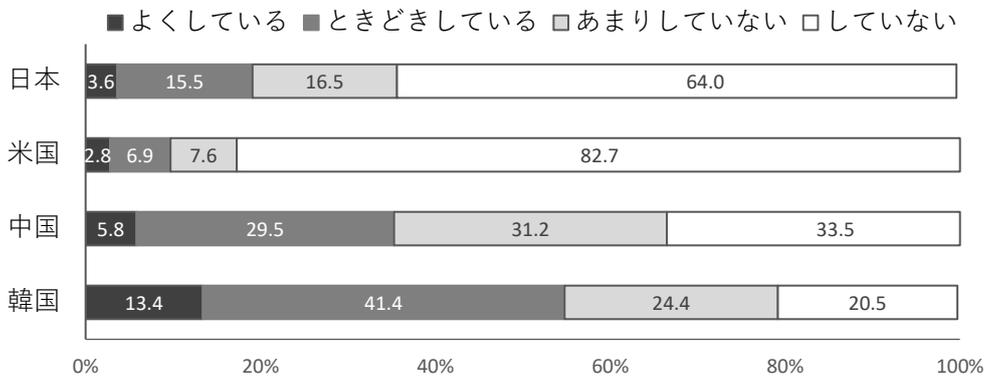


図1-11 SNSを使って、友達にプレゼントやお金を送ること

また、今回の調査で「チャット GPT やチャットボットなどのような生成 AI を使ったことがあるか」についてもたずねた。図1-12のとおり、「よくある」と回答した割合は、日本が5.1%、米国が3.0%、中国が2.3%、韓国が7.9%となっており、4か国とも1割を満たなかった。「たまにある」を合わせると、日本が29.0%、米国が30.0%、中国が17.8%、韓国が45.8%となっており、韓国の高校生の約半数がチャット GPT などの生成 AI の経験者であることが見て取れる。また、「使ったことはないが、使ってみたいと思う」と回答した割合は、日本34.0%、中国34.3%、韓国29.7%に対し、米国が16.7%と最も低い。一方、「使ったことはないが、使ってみたいとも思

わない」と回答した割合は、米国 53.3%、中国 47.9%、日本 36.7%、韓国 24.0%の順となっている（図 1-12）。

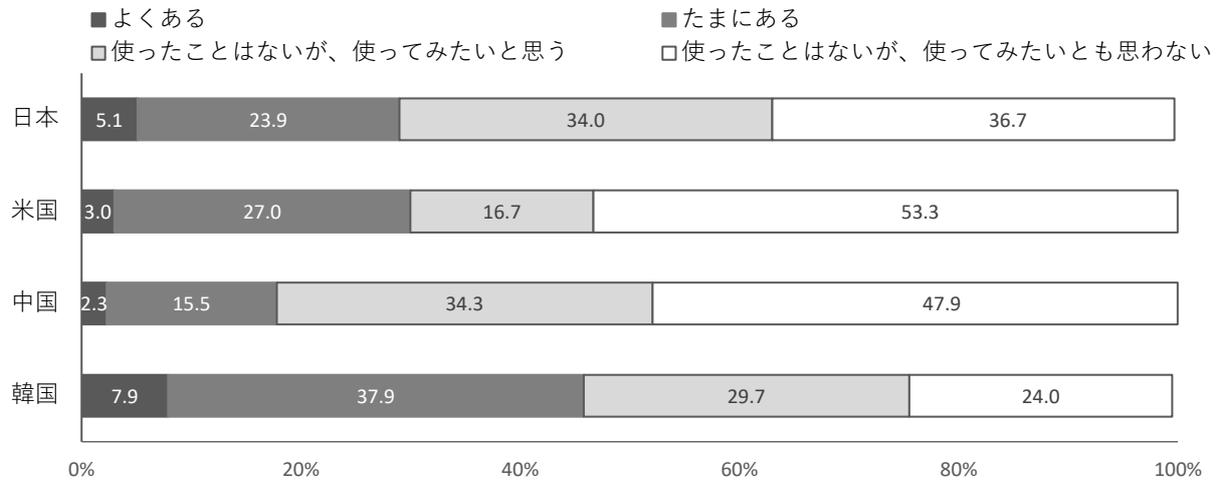


図 1-12 チャット GPT やチャットボットなどのような生成 AI を使ったことがあるか

第2章 SNSの利用と対人関係

1) 知り合った人の有無

日本の高校生は、SNSを通じて知り合った人が「いる」と回答した割合が49.2%で、その人と実際に会ったことが「ある」と回答した割合が43.3%となっており、いずれも米国より低くなっている。

今回の調査で、SNSを通じて知り合った人の有無についてたずねた。図2-1のとおり、「いる」と回答した割合は、米国が66.3%となっており、日本の49.2%、中国の50.8%、韓国の41.0%に比べて最も高くなっている。

また、SNSを通じて知り合った人が「いる」と回答した者に対し、その人と実際に会ったことがあるかについてもたずねた。図2-2のとおり、「ある」と回答した割合は、米国が67.7%と最も高く、中国が18.4%と最も低くなっている。日本と韓国はそれぞれ43.3%と49.4%となっている。

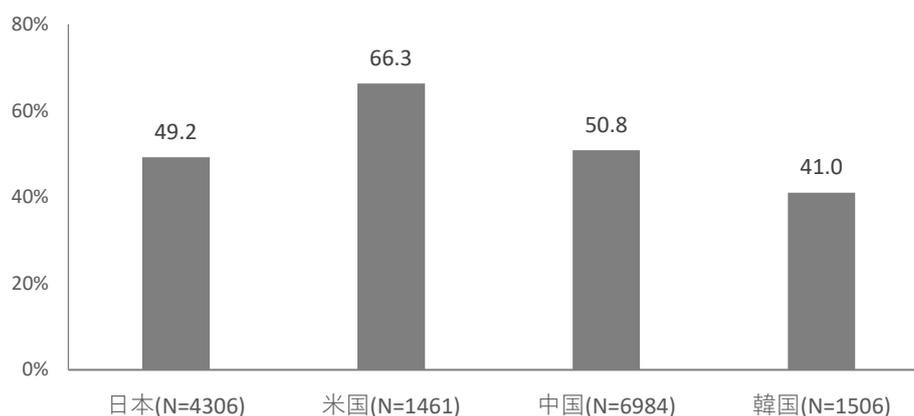


図 2-1 SNSを通じて知り合った人が「いる」

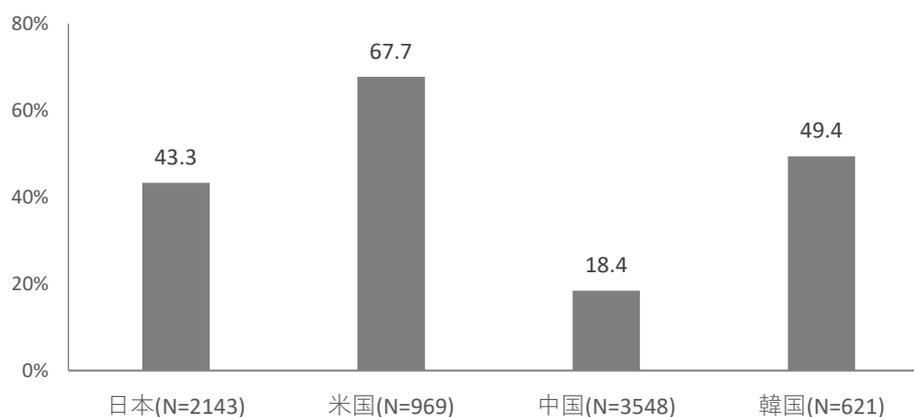


図 2-2 SNSを通じて知り合った人と実際に会ったことが「ある」

また、ふだん、「一緒に遊ぶ友達がいるか」もたずねた。図 2-3 のとおり、「いない」と回答した割合は、4 か国とも 5% を切っており、「1～2 人いる」と回答した割合は、中国 27.1%、米国 19.0%、韓国 15.7%、日本 11.5% の順となっており、中国が最も高く、日本が最も低くなっている。「3～5 人いる」では 4 か国が 34%～42% で大きな差は見られなかった。「6～9 人いる」「10 人以上いる」と回答した割合は、日本がそれぞれ 21.8% と 29.1% となっており、いずれも 4 か国の中で最も高く、反対に中国がいずれも 4 か国の中で最も低くなっている。

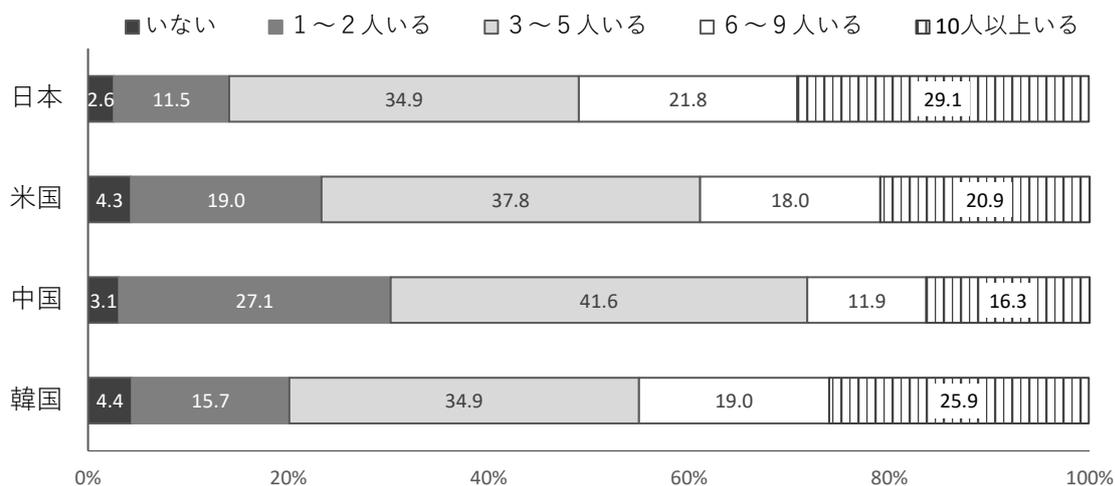


図 2-3 一緒に遊ぶ友達がいるか

友達との関係にどのくらい満足しているかを見ると、図 2-4 のとおり、「非常に満足している」と回答した割合は、日本と米国が約 55% となっているのに対し、中国と韓国がそれぞれ 41.2% と 36.1% にとどまっている。「まあ満足している」と合わせると、日米中の 3 か国とも約 95% となっており、韓国が 89.4% とやや低い。

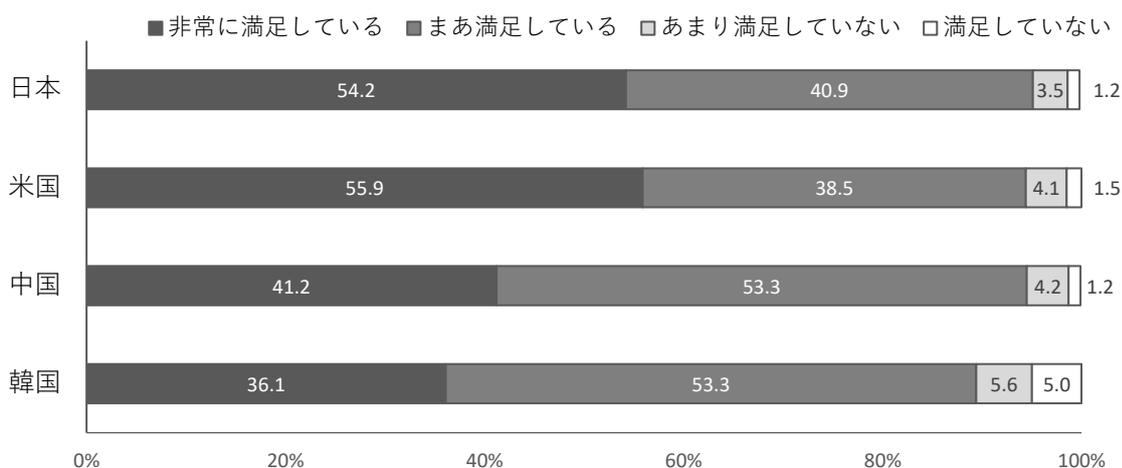


図 2-4 友達との関係に満足しているか

2) 友達との関わり方

日本の高校生は、「リアルな友人よりも SNS で知り合った人のほうが気持ちを伝えやすい」(18.5%)「友達と直接話すより、SNS を通じたほうが気持ちが伝えやすい」(26.7%)と回答した(「そうだ」と「まあそうだ」の合計)割合がいずれも米中韓に比べて最も低い。

SNS とリアルでの友人との関わり方を高校生たちがどう思っているかを見ると、「リアルな友人よりも SNS で知り合った人のほうが気持ちを伝えやすい」に対し、「そうだ」と回答した割合は、日本が 5.1%で、米国 14.5%、中国 12.0%、韓国 13.9%に比べて最も低い。「まあそうだ」を合わせると、日本が 18.5%で、米国 40.9%、中国 42.8%、韓国 38.1%に比べてその差が著しくなっている(図 2-5)。

また、「友達と直接話すより、SNS を通じたほうが気持ちが伝えやすい」についても「そうだ」「まあそうだ」と回答した割合は、日本が 4 か国中最も低くなっている。「そうだ」と回答した割合は、日本が 6.4%で、米中韓は 11%~16%となっている。「まあそうだ」を合わせると、日本は 26.7%と米中韓より 16 ポイント以上低くなっている(図 2-6)。

このように、日本の高校生は SNS よりリアルでの友人との関わり方を望んでいることを見て取れる。

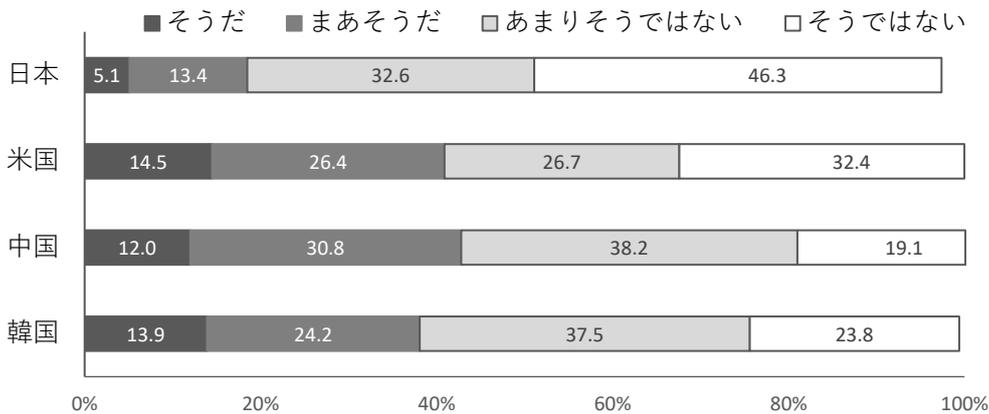


図 2-5 リアルの友人よりも SNS で知り合った人のほうが気持ちを伝えやすい

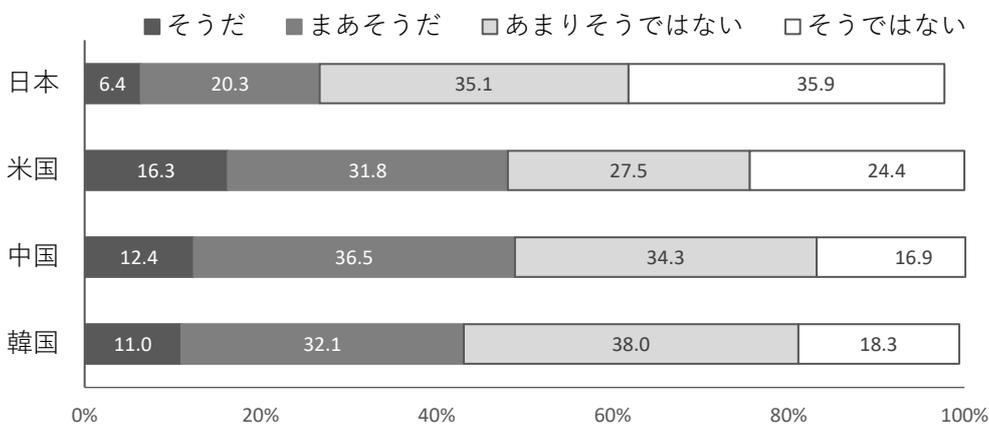


図 2-6 友達と直接話すより、SNS を通じたほうが気持ちが伝えやすい

3) 対人関係の変化

日本の高校生は、友人や親（保護者）、きょうだい、先生との関係が SNS を利用することで、「変わらない」と回答した割合が4か国中最も高くなっている。「少し悪くなった」「非常に悪くなった」と回答した割合は、いずれも4か国中最も低くなっている。

SNS を利用することで、周りの人との関係の変化を見るために、「友達」「親（保護者）」「きょうだい」「先生」を例示し、それらの人との関係が「非常によくなった」「少しよくなった」「変わらない」「少し悪くなった」「非常に悪くなった」の5段階で回答を求めた。

まず、友達との関係を見てみる。「非常によくなった」と回答した割合は、日本が25.1%、米国が26.9%、中国が19.9%、韓国が20.5%となっており、日米は中韓よりやや高くなっているが、「少しよくなった」を合わせると、中国59.5%、米国55.5%、日本47.3%、韓国46.1%の順となっている。「変わらない」と回答した割合は、日本が51.4%で、米国の35.9%、中国の38.0%、韓国の49.3%に比べて最も高くなっている。「少し悪くなった」「非常に悪くなった」と回答した割合は、日本が1.2%と4か国中最も低く、米中韓が2.1%~8.6%となっている（図2-7）。

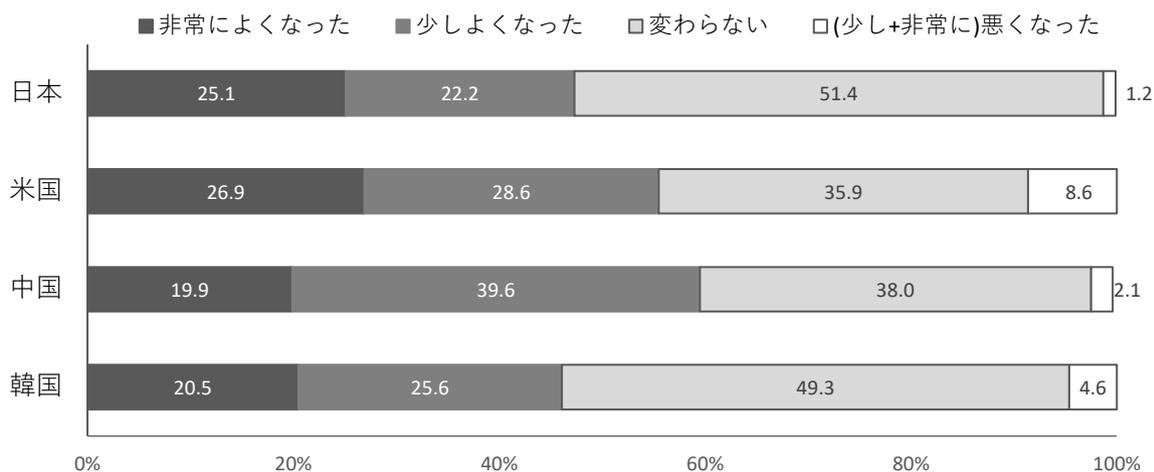


図2-7 SNS の利用による友達との関係の変化

また、SNS を利用することで、親（保護者）との関係が「非常によくなった」と回答した割合は、日本11.0%、米国7.7%、韓国7.8%に対し、中国が16.8%と最も高い。「少しよくなった」を合わせると、日米韓の約2割に対し、中国は4割を超え、差を広げた。一方、「変わらない」と回答した割合は、日本が76.6%で、米中韓より10ポイント以上も高くなっている。「少し悪くなった」「非常に悪くなった」と回答した割合は、米国12.4%、韓国10.3%、中国8.4%、日本3.8%の順となっており、日本が最も低い（図2-8）。

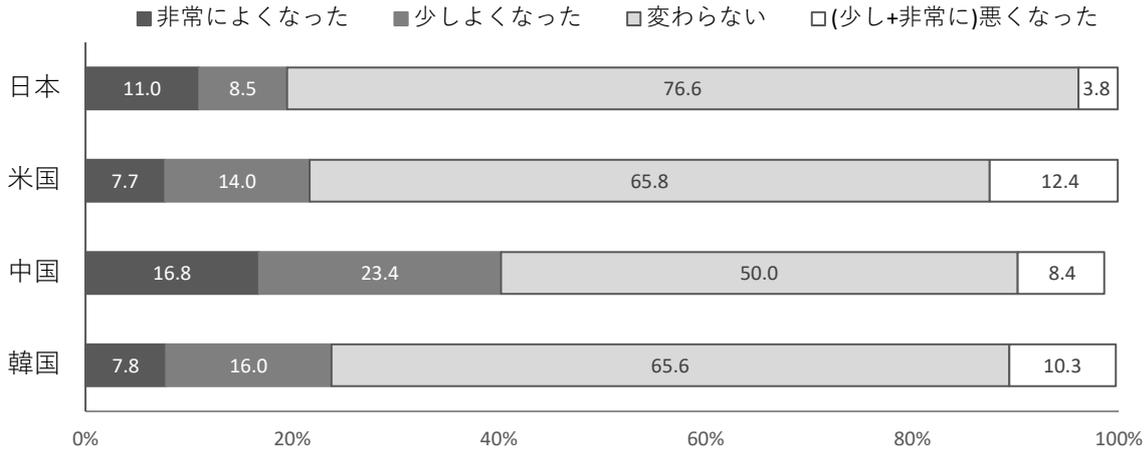


図 2-8 SNS の利用による親(保護者)との関係の変化

きょうだいとの関係については、「非常によくなった」と回答した割合は、中国 15.9%、米国 11.9%、日本 10.5%、韓国 4.8%の順となっており、「少しよくなった」を合わせると、中国が 39.6%、米国が 30.0%、日本が 19.4%、韓国が 16.4%となっている。「変わらない」と回答した割合は、日本が 69.5%で、米国の 55.1%、中国の 44.3%、韓国の 48.7%に比べて最も高い。「少し悪くなった」「非常に悪くなった」と回答した割合は、米国が 7.1%となっており、日中韓の 1.0%～4.4%に比べて最も高い。また、「きょうだいがいない・無回答」の割合は日本が 10.0%、米国が 7.7%、中国が 13.7%、韓国が 30.5%となっている (図 2-9)。

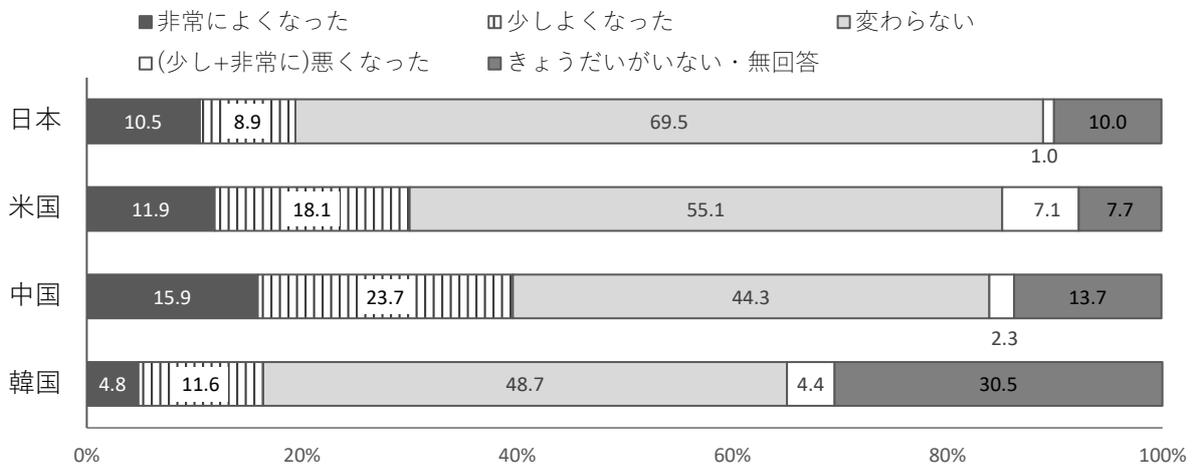


図 2-9 SNS の利用によるきょうだいとの関係の変化

先生との関係については、「非常によくなった」と回答した割合は、中国 14.0%、韓国 8.3%、米国 5.4%、日本 4.8%の順となっている。「すこしよくなった」を合わせると、中国が 37.2%となり、韓国の 19.5%、米国の 12.0%、日本の 9.7%に比べて、その差が顕著である。一方、「変わらない」と回答した割合は、日本が 89.3%で、米国の 80.1%、中国の 58.6%、韓国の 74.0%に比べて最も高い。「少し悪くなった」「非常に悪くなった」と回答した割合は、米国 7.4%、韓国 6.2%、中国 2.1%に対し、日本が 1%を切った (図 2-10)。

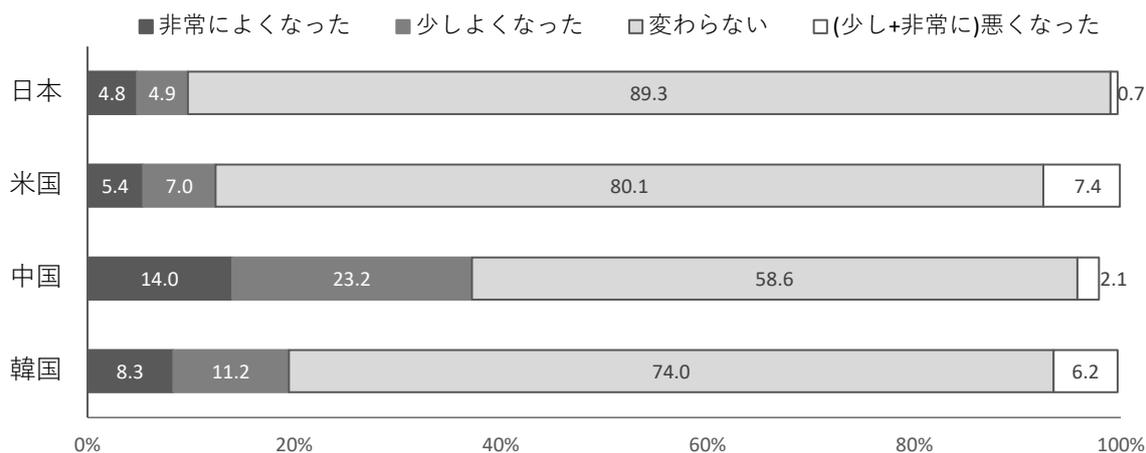


図 2-10 SNS の利用による先生との関係の変化

全体を見ると、SNS を利用することで、友達や親（保護者）、きょうだいそして先生との関係においては、「変わらない」と回答した割合は、日本が最も高く、「非常によくなった」「すこしよくなった」と回答した割合は、中国が最も高くなっている。「少し悪くなった」「非常に悪くなった」と回答した割合は、米国が最も高くなっている。また、友達やきょうだい、先生との関係より親（保護者）との関係が、SNS を利用することで「悪くなった」と感じている者が多いことは4か国で共通している。

第3章 SNSの利用による影響

1) 日常生活などへの影響

日本の高校生は、SNS を利用することで、「趣味や興味のあること」(88.8%)「お金を使うこと」(52.0%)が「非常に増えた」「すこし増えた」と回答した割合は4か国中最も高く、「社会への関心」が「非常に高くなった」「すこし高くなった」と回答した割合は55.9%と、中国に次いで高い。一方、「学習に対する意欲」(25.8%)「時間を管理する能力」(20.2%)「運動量」(18.0%)「自分を表現すること」(37.4%)が「非常に増えた(高くなった)」「少し増えた(高くなった)」と回答した割合は、4か国中最も低くなっている。

SNS を利用することで自分の日常生活などへの影響について、「学習に対する意欲」「運動量」など10項目を例示し、それぞれに「非常に増えた(高くなった)」「少し増えた(高くなった)」「変わらない」「すこし減った(低くなった)」「非常に減った(低くなった)」の5段階でたずねた。

「学習に対する意欲」の変化を見ると、「非常に高くなった」と回答した割合は、米中韓とも約13%となっているのに対し、日本が5%未満となっている。「少し高くなった」を合わせると、中国が49.2%、韓国が47.3%、米国が41.2%と、3か国とも4割台となっているのに対し、日本は25.8%にとどまっている。一方、「少し低くなった」「非常に低くなった」と回答した割合は、日本が24.2%で、米国の19.8%、中国の9.6%、韓国の7.0%に比べて最も高い。「変わらない」と回答した割合も日本が4か国中最も高くなっている(図3-1)。

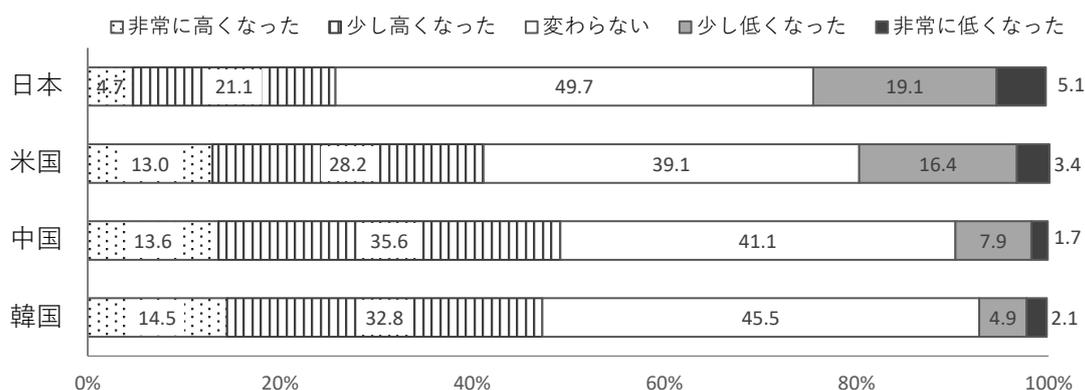


図3-1 SNSの利用による学習に対する意欲の変化

「趣味や興味のあること」について、「非常に増えた」と回答した割合は、日本が50.9%で、米国の32.9%、中国の21.5%、韓国の19.2%に比べて18ポイント以上も高い。「すこし増えた」を合わせると、日本は88.8%に達している。第1章の「3) 利用の目的」(p. 12)でも述べたように、日本の高校生がSNSを利用する主な目的として「趣味や興味のある話題に関する情報の収集」と回答した割合は8割を超え、米中韓と大差を見せた。SNSを利用することで、日本の高校生は趣味や興味を多く持つようになったことが見て取れる(図3-2)。

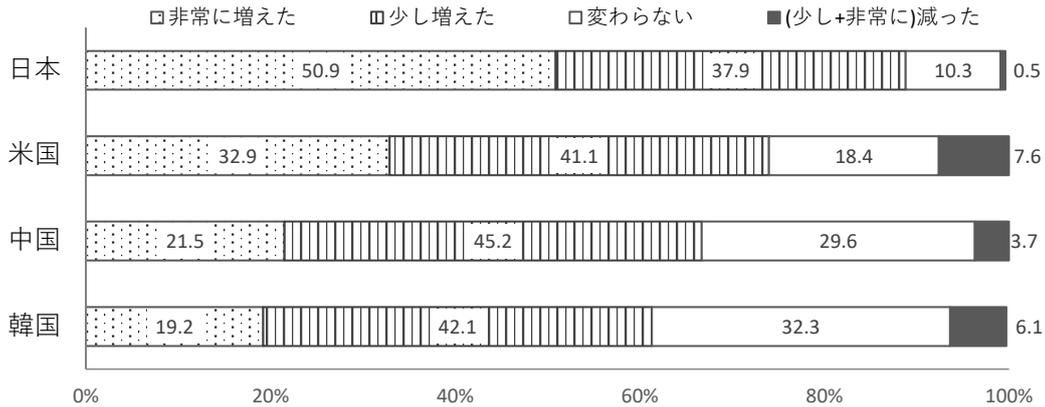


図 3-2 SNS の利用による趣味や興味のあることの変化

「時間を管理する能力」について、「非常に高くなった」「すこし高くなった」と回答した割合は、日本が 20.2%、米国が 23.8%、中国が 41.4%、韓国が 24.6% となっており、日本が最も低く、中国が最も高くなっている。「変わらない」と回答した割合は、4 か国とも約 4 割で大きな差が見られなかった。「すこし低くなった」「非常に低くなった」と回答した割合は、日本が 40.5% で、米国の 38.4%、中国の 20.5%、韓国の 28.8% に比べて最も高くなっている (図 3-3)。

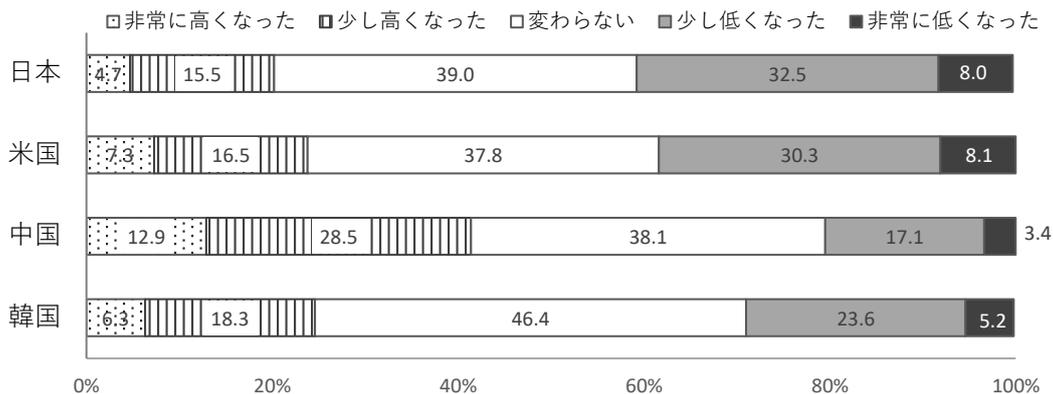


図 3-3 SNS の利用による時間を管理する能力の変化

「料理や整理整頓などの生活能力」について、「非常に高くなった」「すこし高くなった」と回答した割合は、米中が約 6 割であるのに対し、日韓は 3 割強にとどまっている (図 3-4)。

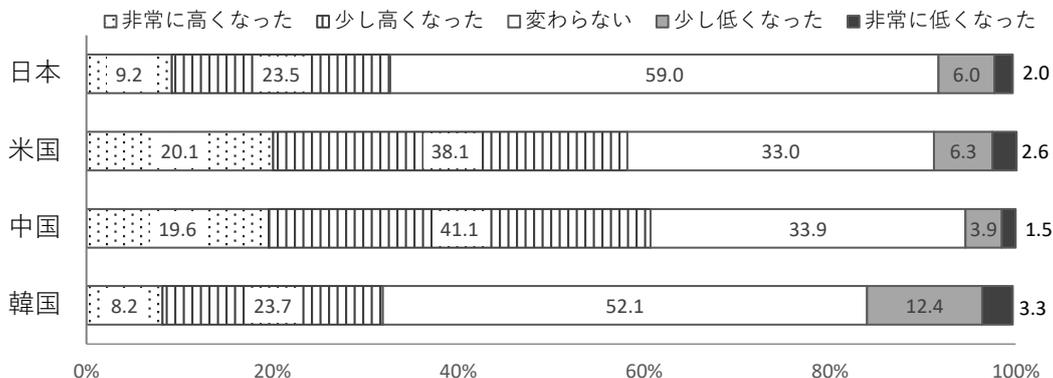


図 3-4 SNS の利用による料理や整理整頓などの生活能力の変化

「運動量」について、「非常に増えた」「少し増えた」と回答した割合は、日本が18.0%で、米国の39.0%、中国の41.4%、韓国の27.3%に比べて最も低い。一方、「すこし減った」「非常に減った」と回答した割合は、韓国22.0%、日本20.0%、米国16.5%、中国の12.7%の順となっている。「変わらない」と回答した割合は、日本が61.6%と最も高く、米中韓は44.4%~50.4%となっている（図3-5）。

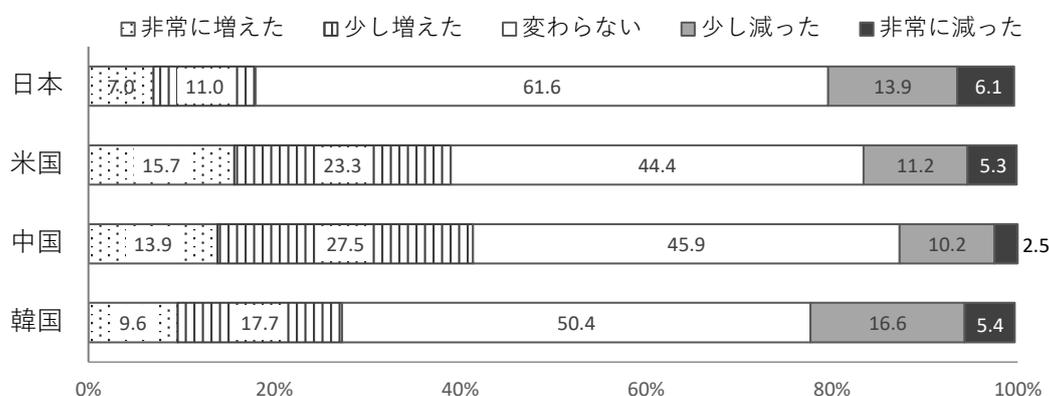


図3-5 SNSの利用による運動量の変化

「お金を使うこと」について、「非常に増えた」と回答した割合は、4か国とも1割強となっており、「すこし増えた」を合わせると、米中韓の約4割に対し、日本は5割を超え、4か国の中で最も高くなっている。「変わらない」と回答した割合は4か国とも4割台となっている。「少し減った」「非常に減った」と回答した割合は、米国18.1%、中国12.7%、韓国10.7%、日本4.1%の順となっている（図3-6）。

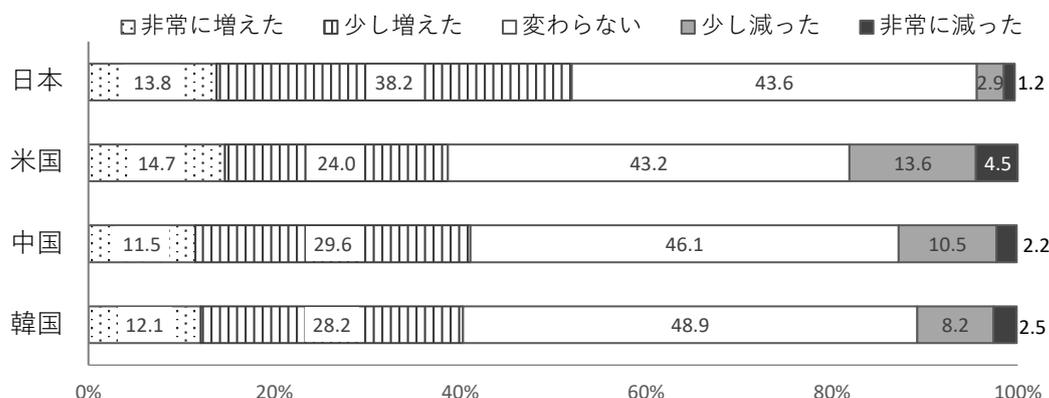


図3-6 SNSの利用によるお金を使うことの変化

「自分を表現すること」について、「非常に増えた」「少し増えた」と回答した割合は、米国52.8%、中国48.9%、韓国40.3%に対し、日本が37.4%と4か国の中で最も低くなっている。一方、「少し低くなった」「非常に低くなった」と回答した割合は、韓国9.8%、米国8.7%、中国4.5%、日本2.7%の順となっている。「変わらない」と回答した割合は、日本が59.6%で4か国中最も高く、米中韓は38.5%~49.6%となっている（図3-7）。

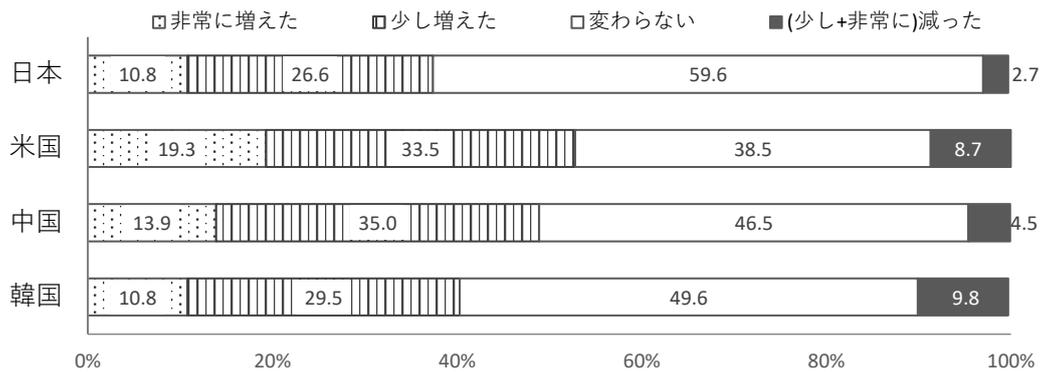


図 3-7 SNS の利用による自分を表現することの変化

「社会への関心」について、「非常に高くなった」と回答した割合は、4か国とも1割台となっており、「すこし高くなった」を合わせると、中国が67.2%で4か国中最も高く、次いで日本55.9%、韓国50.7%、米国44.5%の順となっている。一方、「少し低くなった」「非常に低くなった」と回答した割合は、米国12.9%、韓国9.0%、中国3.4%、日本2.2%の順となっている。「変わらない」と回答した割合は、日米韓とも4割強となっているのに対し、中国は3割弱で最も低い（図3-8）。

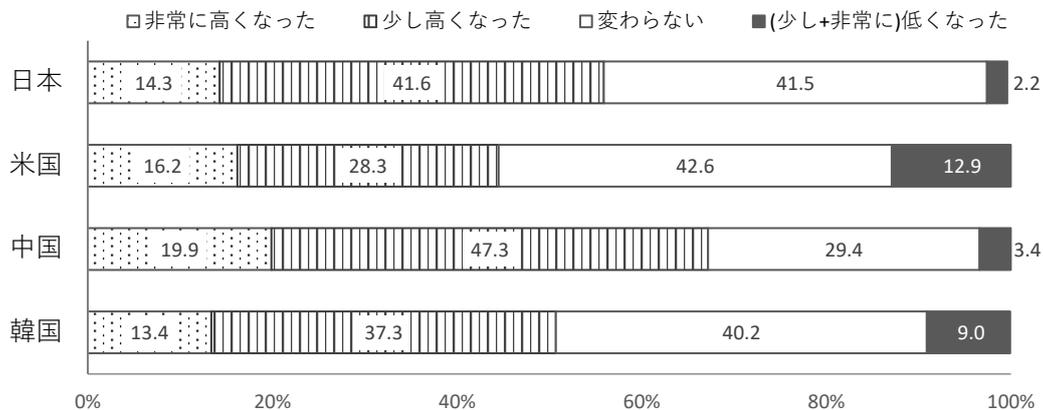


図 3-8 SNS の利用による社会への関心の変化

「人から褒められたり、認められたりする機会」について、「非常に増えた」「少し増えた」と回答した割合は、日本34.2%、米国38.0%、韓国33.4%に対し、中国が52.4%と最も高くなっている。一方、「少し低くなった」「非常に低くなった」と回答した割合は、米国12.0%、韓国10.5%、中国4.1%に対し、日本が1.8%と最も低い（図3-9）。

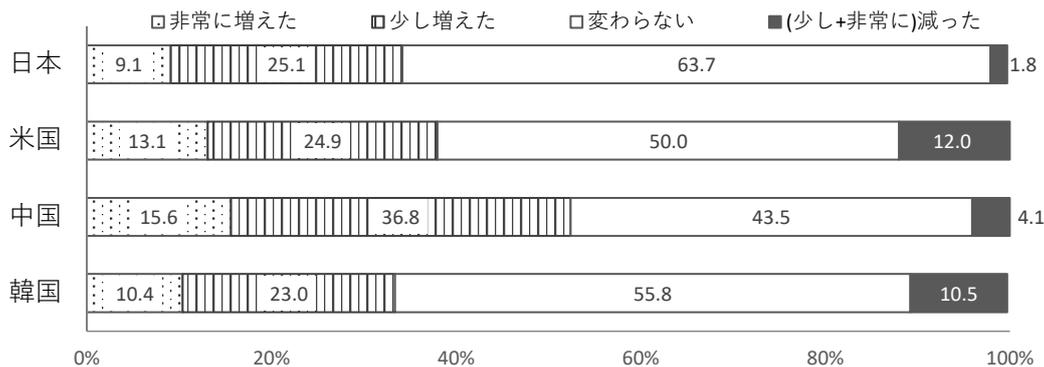


図 3-9 SNS の利用による人から褒められたり、認められたりする機会 の変化

「健康問題(視力や姿勢を含む)に関する悩み」について、「非常に増えた」「少し増えた」と回答した割合は、4か国とも3割強となっているが、「すこし減った」「非常に減った」と回答した割合は、中国が27.7%と最も高く、日本は7.2%と最も低くなっている。米国と韓国はそれぞれ19.0%と15.4%となっている(図3-10)。

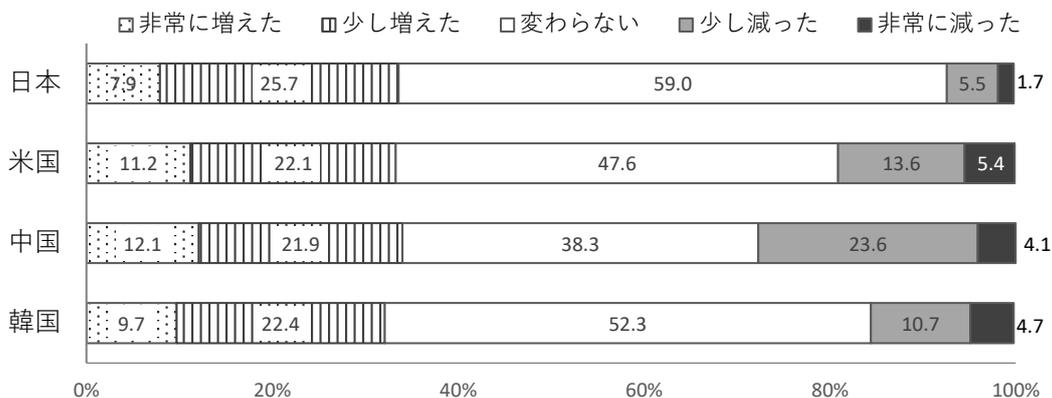


図 3-10 SNS の利用による健康問題(視力や姿勢を含む)に関する悩みの変化

2) 精神状態

日本の高校生は、SNS の利用により、「寂しくなる」「イライラする」ことが「よくある」「ときどきある」と回答した割合はいずれも約25%で、4か国中最も低くなっている。「落ち込む」「眠れない」「他人に嫉妬する」ことが「よくある」「ときどきある」と回答した割合はいずれも約3割となっており、「ものごとに集中できない」ことが「よくある」「ときどきある」と回答した割合は4割強となっている。

SNS の利用による精神状態の変化を見るために、SNS の利用により、「寂しくなる」「落ち込む」「イライラする」「眠れない」「ものごとに集中できない」「他人に嫉妬する」といった状態が「よくある」「ときどきある」「あまりない」「ない」の4段階で回答を求めた。

図3-11 のとおり、日本の高校生は、SNS を利用することにより、「寂しくなる」ことが「よくある」「ときどきある」と回答した割合は25.8%で、米国の41.6%、中国の31.1%、韓国の35.9%

に比べて最も低い。また、「イライラする」ことが「よくある」「ときどきある」と回答した割合も米中韓より低く、24.9%となっている。「落ち込む」「眠れない」「他人に嫉妬する」ことが「よくある」「ときどきある」と回答した割合はいずれも約3割となっており、「ものごと集中できない」ことが「よくある」「ときどきある」と回答した割合は4割強となっている。

米国の高校生は、「寂しくなる」(41.6%)「イライラする」(47.7%)「眠れない」(53.1%)「ものごと集中できない」(54.9%)「他人に嫉妬する」(39.3%)の5項目とも、「よくある」「ときどきある」と回答した割合が4か国中最も高くなっている。特に「イライラする」「眠れない」「他人に嫉妬する」の割合が日中韓の3か国より10ポイント以上も高くなっている。「落ち込む」ことが「よくある」「ときどきある」と回答した割合は3割強で、韓国に次いで高い。米国の高校生は日中韓に比べて、SNSの利用により、精神状態が不安定になることが多いことが見て取れる。

中国の高校生は、「落ち込む」(27.7%)「眠れない」(23.3%)「ものごと集中できない」(29.8%)「他人に嫉妬する」(14.8%)ことが、「よくある」「ときどきある」と回答した割合はいずれも4か国の中で最も低くなっている。特に「ものごと集中できない」「他人に嫉妬する」の割合は日米韓の3か国より12ポイント以上低くなっている。「寂しくなる」(31.1%)「イライラする」(26.6%)ことが「よくある」「ときどきある」と回答した割合は日本に次いで低い。

韓国の高校生は、「落ち込む」ことが「よくある」「ときどきある」と回答した割合は37.1%で、日本の29.0%、米国の33.5%、中国の27.7%に比べて最も高くなっている。「寂しくなる」(35.9%)「イライラする」(34.6%)「眠れない」(41.7%)「ものごと集中できない」(46.1%)ことが、「よくある」「ときどきある」と回答した割合はいずれも米国に次いで高い。「他人に嫉妬する」ことが「よくある」「ときどきある」と回答した割合は27.5%となっている。

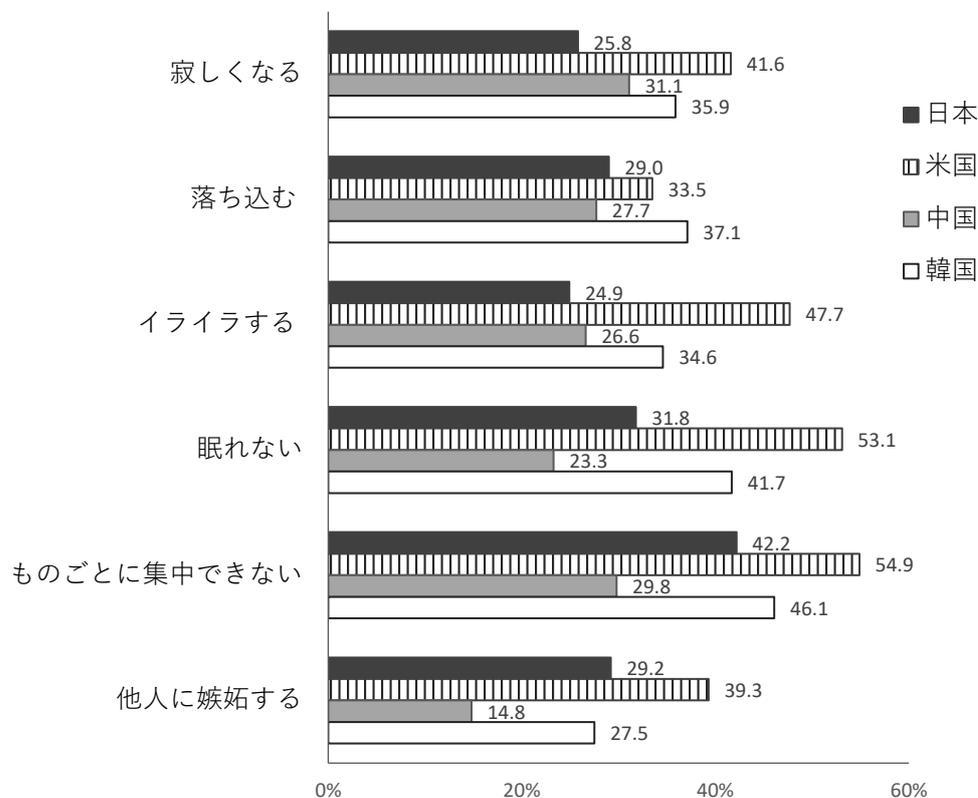


図 3-11 SNS の利用による精神状態の変化(「よくある」「ときどきある」と回答した者の割合)

3) 不安や心配

日本の高校生は、SNS の利用による不安や心配として、「勉強への影響」と回答した割合が 55.5%とほかの項目より高く、4 か国の中でも中国に次いで高い。また、「ネット依存」と回答した割合が 48.8%で、4 か国中最も高くなっている。「個人情報の漏えい」「詐欺被害」「体の健康や発達への影響」「犯罪・有害情報に触れてしまうこと」の割合はいずれも 2 割台となっており、「お金の使いすぎ」「気分の変動」「悪口や嫌がらせ、いじめを受けること」の割合はいずれも 1 割台となっている。

SNS の利用で何か不安や心配があるかについて 11 項目を挙げ、複数回答でたずねた。図 3-12 のとおり、「勉強への影響」と回答した割合は 4 か国とも最も高くなっている。そのほかに、日本は、「ネット依存」と回答した割合が 48.8%で、2 位となっている。「個人情報の漏えい」「詐欺被害」「体の健康や発達への影響」「犯罪・有害情報に触れてしまうこと」と回答した割合がいずれも 2 割台となっている。「お金の使いすぎ」「気分の変動」「悪口や嫌がらせ、いじめを受けること」の割合がいずれも 1 割台にとどまっている。米中韓の 3 か国に比べて、「ネット依存」「犯罪・有害情報に触れてしまうこと」の割合が最も高くなっている。

米国は、「個人情報の漏えい」「詐欺被害」「体の健康や発達への影響」の割合がいずれも 3 割台で、「ネット依存」「お金の使いすぎ」「気分の変動」「悪口や嫌がらせ、いじめを受けること」の割合がいずれも 3 割弱となっている。日中韓に比べて、「詐欺被害」「お金の使いすぎ」「悪口や嫌がらせ、いじめを受けること」の割合が最も高くなっている。

中国は、「勉強への影響」と回答した割合が 57.2%と 4 か国中最も高くなっている。また、「個人情報の漏えい」「体の健康や発達への影響」「気分の変動」の割合がいずれも約 35%で、日米韓より高い。

韓国は、「勉強への影響」と回答した割合が 38.1%で、ほかの項目より高いが、日米中の 3 か国に比べて 11 ポイント以上も低くなっている。そのほかに、「個人情報の漏えい」(21.3%)「詐欺被害」(10.7%)「体の健康や発達への影響」(13.6%)「犯罪・有害情報に触れてしまうこと」(12.1%)「お金の使いすぎ」(15.5%)「悪口や嫌がらせ、いじめを受けること」(11.7%)と回答した割合がいずれも 4 か国中最も低くなっている。

また、SNS の利用で不安や心配が「特にない」と回答した割合は、日本と中国が約 19%、米国と韓国が約 26%となっている。

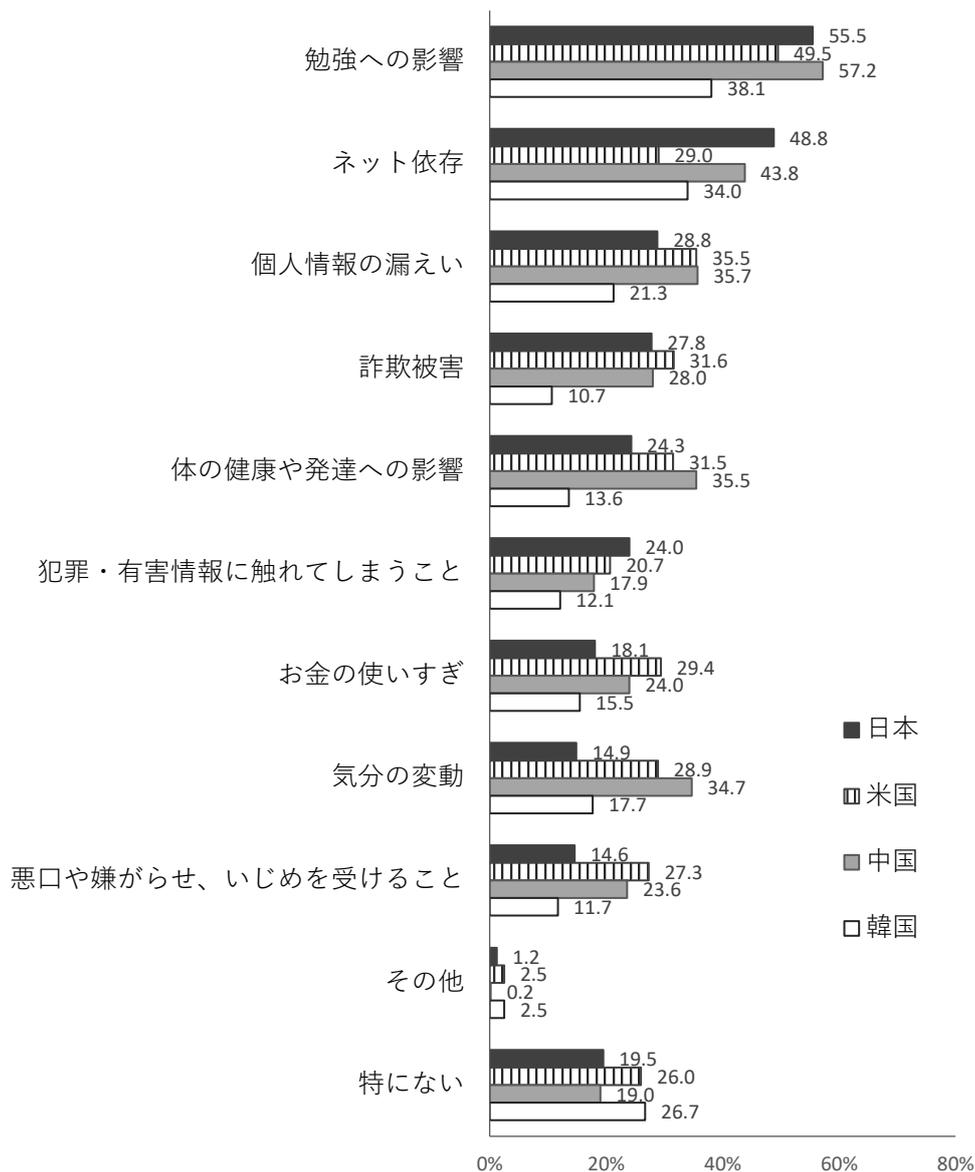


図 3-12 SNS の利用で何か不安や心配があるか(複数回答)

4) 依存傾向

日本の高校生は、この1年間において、「もっと多くの時間を SNS に費やしたいと考えたこと」(50.2%)「SNS の利用を禁止されてイライラしたこと」(31.3%)「SNS が原因で、趣味や余暇活動、運動の優先順位が下がったこと」(36.1%)「授業中、SNS をみること」(11.8%)が「ある」(「いつもある」+「よくある」+「ときどきある」、以下同様)と回答した割合はいずれも4か国中最も低くなっている。また、「SNS で起こった出来事について、いろいろと考えてしまうこと」(51.2%)「不安やストレスを軽減するために SNS を使ったこと」(63.7%)「SNS の利用頻度を減らそうと思ったが失敗したこと」(54.3%)が「ある」と回答した割合は米韓より低い。一方、上記の7項目で「ない」と回答した割合は、日本がいずれも4か国中最も高くなっている。

SNS への依存傾向を見るために、Cuadrado et al. (2020) の研究を参考にしつつ、この一年間において、「もっと多くの時間を SNS に費やしたいと考えたこと」など7項目を呈示し、「いつもある」「よくある」「ときどきある」「あまりない」「ない」の5段階でたずねた。¹

「もっと多くの時間を SNS に費やしたいと考えたこと」について、「いつもある」「よくある」と回答した割合は、4か国とも2割を超えている。「ない」「あまりない」と回答した割合は、日本が49.6%で、米国の44.1%、中国の31.7%、韓国の37.7%と比べて最も高くなっている（図3-13）。

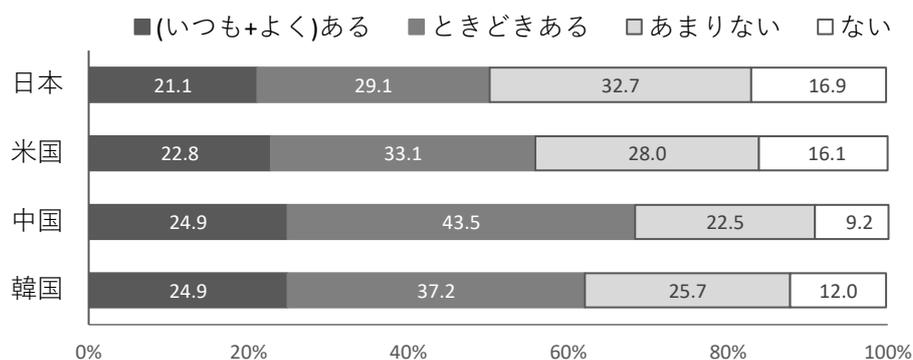


図 3-13 もっと多くの時間を SNS に費やしたいと考えたこと

「SNS で起こった出来事について、いろいろと考えてしまうこと」について、「いつもある」「よくある」と回答した割合は、米国35.7%、韓国31.6%、日本20.4%、中国14.2%の順となっており、米国が最も高く、中国が最も低くなっている。「ない」と回答した割合は、日本が18.6%となっており、米国の8.1%、中国の16.5%、韓国の7.6%に比べて最も高くなっている（図3-14）。

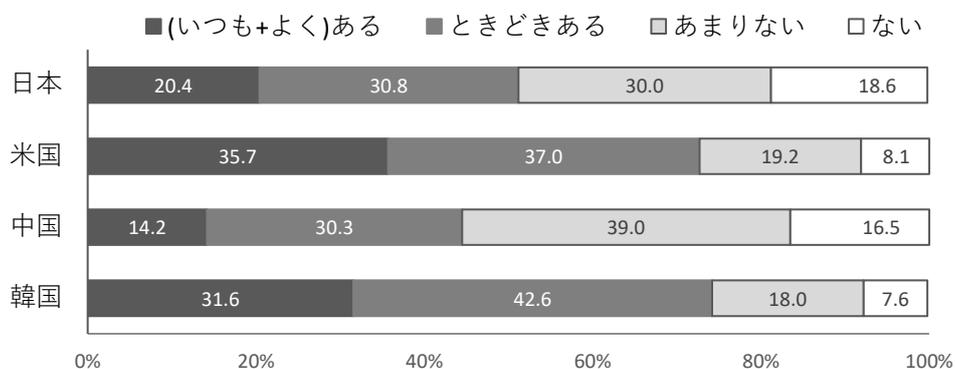


図 3-14 SNS で起こった出来事について、いろいろと考えてしまうこと

「不安やストレスを軽減するために SNS を使ったこと」について、「いつもある」「よくある」

¹ Cuadrado, E., Rojas, R., & Tabernero, C. (2020). Development and Validation of the Social Network Addiction Scale (SNAAddS-6S). *European journal of investigation in health, psychology and education*, 10(3), 763-778. <https://doi.org/10.3390/ejihpe10030056>

なお、作成手順の詳細は、考察2 (p. 72) を参照されたい。

と回答した割合は、米国が 40.7%で、4 か国中最も高くなっており、次いで日本 35.4%、韓国 28.7%、中国 24.8%の順となっている。「ない」「あまりない」と回答した割合は、日本が 36.2%、米国が 28.7%、中国が 37.9%、韓国が 33.4%となっており、日中韓では大きな差が見られなかった（図 3-15）。

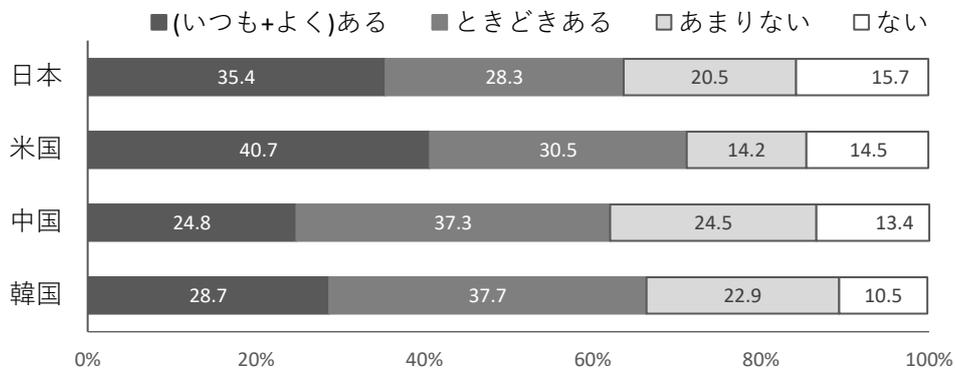


図 3-15 不安やストレスを軽減するために SNS を使ったこと

「SNS の利用頻度を減らそうと思ったが失敗したこと」について、「いつもある」「よくある」と回答した割合は、日本 28.5%、米国 27.5%、韓国 25.5%に対し、中国が 19.1%と最も低い。一方、「ない」と回答した割合は、日本が 2割強と、4 か国中最も高い（図 3-16）。

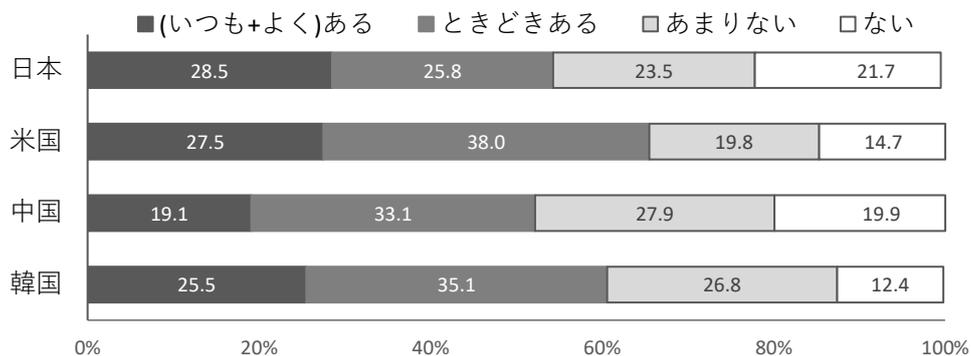


図 3-16 SNS の利用頻度を減らそうと思ったが失敗したこと

「SNS の利用を禁止されてイライラしたこと」について、「いつもある」「よくある」と回答した割合は、日本が 12.0%で、米国の 18.8%、中国の 16.7%、韓国の 17.5%に比べて、やや低い。一方、「ない」と回答した割合は、日本が 40.6%で、米中韓より 11 ポイント以上高くなっている（図 3-17）。

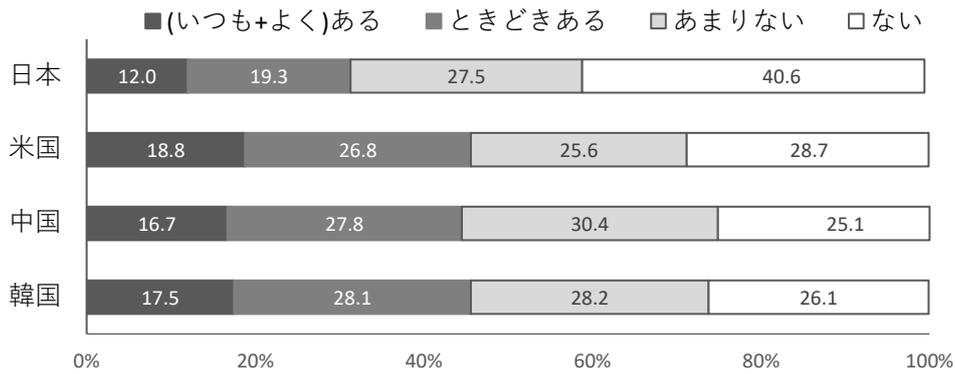


図 3-17 SNS の利用を禁止されてイライラしたこと

「SNS が原因で、趣味や余暇活動、運動の優先順位が下がったこと」について、「いつもある」「よくある」と回答した割合は、4か国とも1割台である。「ない」「あまりない」と回答した割合は、日本が63.5%で、米国の55.8%、中国の60.7%、韓国の48.7%に比べて最も高い(図 3-18)。

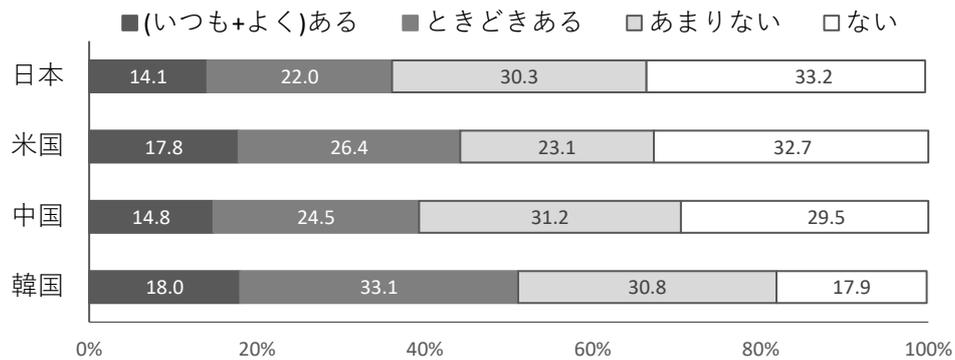


図 3-18 SNS が原因で、趣味や余暇活動、運動の優先順位が下がったこと

「授業中、SNS をみること」について、「いつもある」「よくある」と回答した割合は、日本3.8%、中国7.1%、韓国16.1%に対し、米国が55.9%と著しく高い。「ない」と回答した割合は、日本と中国が7割を超えているのに対し、韓国が29.2%、米国が5.6%にとどまっている(図 3-19)。

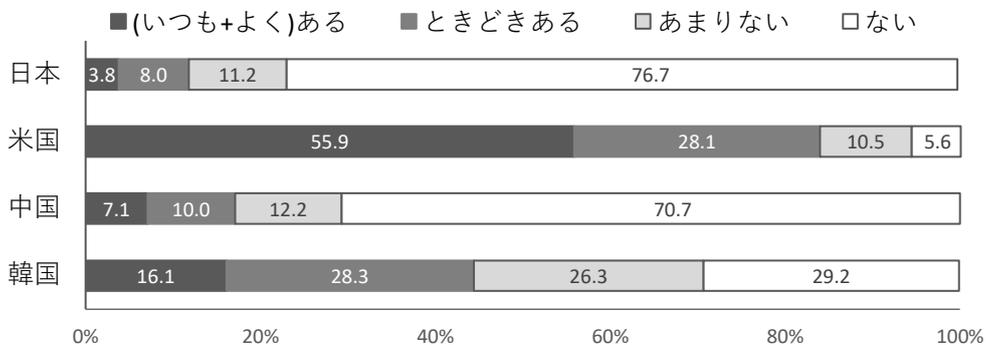


図 3-19 授業中、SNS をみること

第4章 SNSによる被害経験や規範意識

1) 被害経験

日本の高校生は、SNSを利用して、「個人情報に漏えいされたこと」「架空請求をされたこと」「アカウントの乗っ取りをされたこと」が「ある」と回答した割合はいずれも9%未満で、米中韓に比べて最も低くなっている。「自分の写真が無断投稿されたこと」(12.2%)「自分についてのうわさ話が拡散されたこと」(7.6%)が「ある」と回答した割合は米韓より低い。

また、SNS上で悪口や嫌がらせを受けることが「よくある」「時々ある」と回答した割合は、日本が4.3%で、米国の30.4%、中国の11.8%、韓国の10.1%に比べて最も低い。

SNSの利用による被害経験について、図4-1に示している「個人情報に漏えいされたこと」などの5項目を例示し、「ある」か「ない」かをたずねた。

日本は、「個人情報に漏えいされたこと」「架空請求をされたこと」「アカウントの乗っ取りをされたこと」が「ある」と回答した割合はいずれも9%未満で、4か国中最も低くなっている。「自分の写真が無断投稿されたこと」が「ある」と回答した割合は12.2%で、中国に次いで低かった。

「自分についてのうわさ話が拡散されたこと」が「ある」と回答した割合は7.6%で中国とほぼ並び、米韓を大きく下回っている。

米国は、「個人情報に漏えいされたこと」が「ある」と回答した割合は14.5%で、韓国に次いで高く、その他の4項目がいずれも日中韓に比べて最も高い。特に「架空請求をされたこと」「自分の写真が無断投稿されたこと」「自分についてのうわさ話が拡散されたこと」が「ある」と回答した割合はいずれも3割を超え、日中韓との差が顕著である。

中国は、「アカウントの乗っ取りをされたこと」が「ある」と回答した割合は2割を超え、米国に次いで高い。その他の4項目がいずれも約1割となっている。

韓国は、「個人情報に漏えいされたこと」が「ある」と回答した割合は2割を超え、4か国中最も高くなっている。「自分についてのうわさ話が拡散されたこと」が「ある」と回答した割合は2割弱で、米国に次いで高く、日本と中国よりも12ポイント高くなっている。

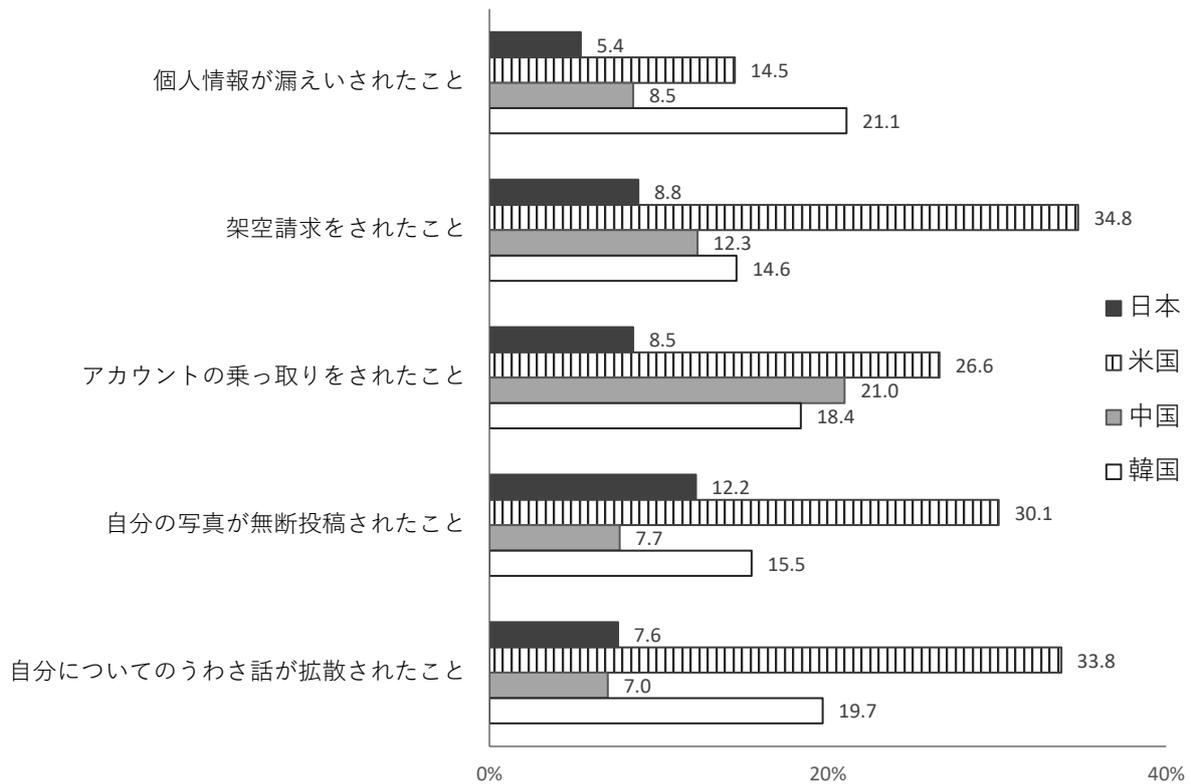


図 4-1 SNS を利用していて、経験したことが「ある」こと

また、SNS 上で悪口や嫌がらせを受けることがあるかについてもたずねた。図 4-2 のとおり、「よくある」「時々ある」と回答した割合は、日本が 4.3%で、米国の 30.4%、中国の 11.8%、韓国の 10.1%に比べて最も低くなっている。一方、「全くない」と回答した割合は、日本 81.6%、韓国 73.9%、中国 61.4%、米国 34.0%の順となっており、米国が日中韓と比べ、差が顕著である。

SNS 上で悪口や嫌がらせを受けることが「よくある」「時々ある」と回答した者に対し、その対処法をたずねた。図 4-3 のとおり、日本は、「無視する」と回答した割合が 73.7%と、他の項目より著しく高く、4 か国の中でも米国に次いで高い。「友人に相談する」は 3 割を超え、米中韓よりやや高くなっている。「親（保護者）に相談する」「やり返す」はいずれも約 2 割となっており、「アカウント（ID）を変える」が 15.3%となっている。

米国は、「無視する」と回答した割合が 76.1%と最も高く、4 か国の中でも最も高くなっている。次いで「やり返す」が 49.7%となっている。「友人に相談する」が 23.9%で日中韓より低くなっており、「親（保護者）に相談する」は 14.4%にとどまり、日本と中国よりやや低くなっている。「アカウント（ID）を変える」の割合は 4.1%に過ぎず、日中韓との差が見られた。

中国は、「やり返す」が 53.6%と最も高く、4 か国の中でも最も高くなっている。次いで「無視する」が 48.4%となっている。

韓国は、「無視する」と回答した割合が、4 割強で他の項目より高いが、4 か国の中で最も低くなっている。次いで「友人に相談する」が 30.1%となっている。

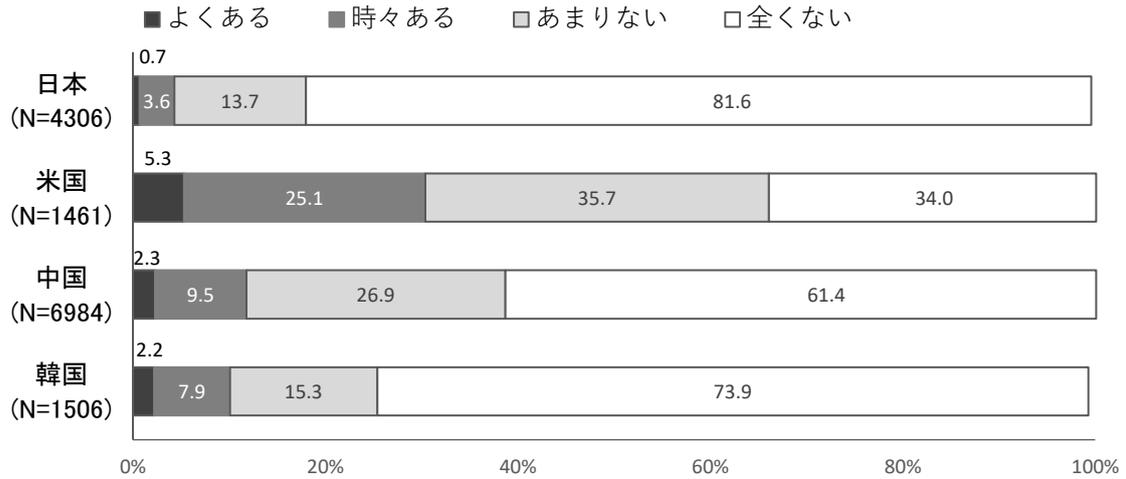


図 4-2 SNS 上で悪口や嫌がらせを受けることがあるか

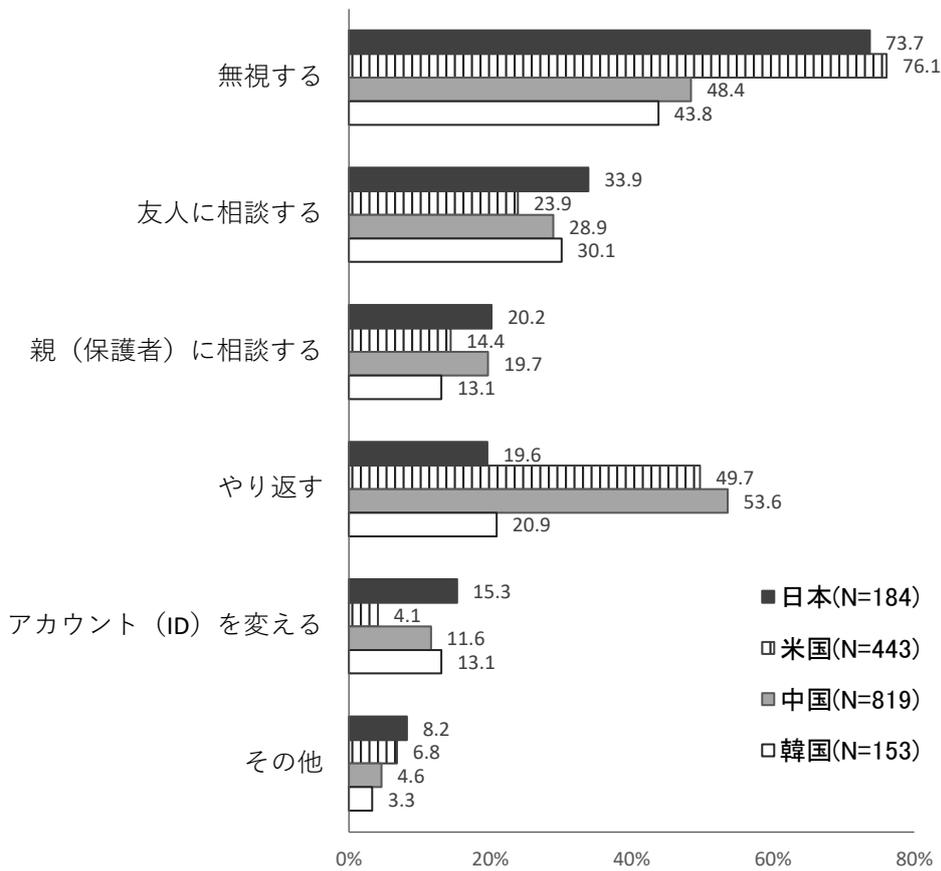


図 4-3 (SNS 上で悪口や嫌がらせを受けることが「よくある」「時々ある」と回答した者) そのようなことがあった場合の対処法(複数回答)

2) 規範意識

日本の高校生は、「他人になりすまして情報を発信する」ことは「何があってもダメ」と回答した割合が9割強で、米中韓の8割台に比べて最も高い。また、「他人のアカウントを乗っ取りする」「悪口や嫌がらせのメッセージやコメントを送ったり、書き込みをする」「他人の個人情報を無断に公開する」「他人の写真を無断投稿する」「他人のうわさ話を拡散する」ことは「その人の自由」と回答した割合が1.6%~3.4%で、いずれも4か国中最も低くなっている。

SNSを使う時のマナーやルールについて、「他人の個人情報を無断に公開する」など6項目を例示し、「何があってもダメ」「場合による」「その人の自由」の3段階でたずねた。

「他人の個人情報を無断に公開する(他人が見ることのできるSNSで、他人の情報を書き込む)」について、「何があってもダメ」と回答した割合は、日米中の3か国とも8割を超えているのに対し、韓国は7割強と最も低い。一方、「場合による」と回答した割合は、韓国が22.6%で最も高く、次いで日本16.2%、米国11.6%、中国9.7%となっている。「その人の自由」と回答した割合は、米国7.3%、韓国5.1%、中国3.6%、日本2.6%の順となっている(図4-4)。

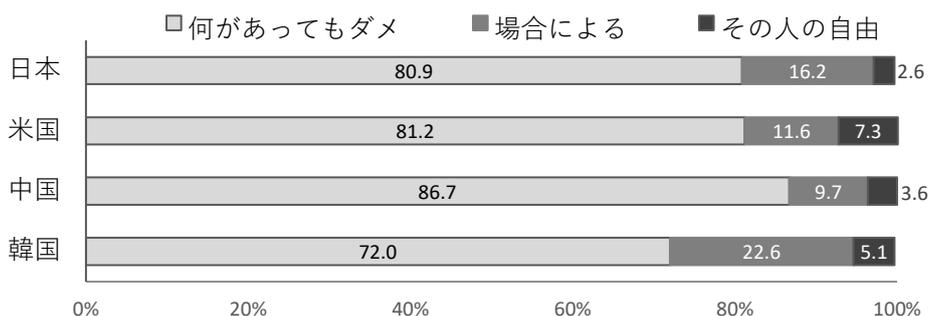


図 4-4 他人の個人情報を無断に公開する(他人が見ることのできるSNSで、他人の情報を書き込む)

「他人のアカウントを乗っ取りする」について、「何があってもダメ」と回答した割合は、日本と中国が9割弱となっているのに対し、米国が82.3%、韓国が77.5%となっている。「場合による」と回答した割合は、韓国17.9%、米国11.3%、日本8.1%、中国7.1%の順となっており、「その人の自由」と回答した割合は、日本2.0%、中国3.6%、韓国4.3%に対して、米国が6.4%とやや高かった(図4-5)。

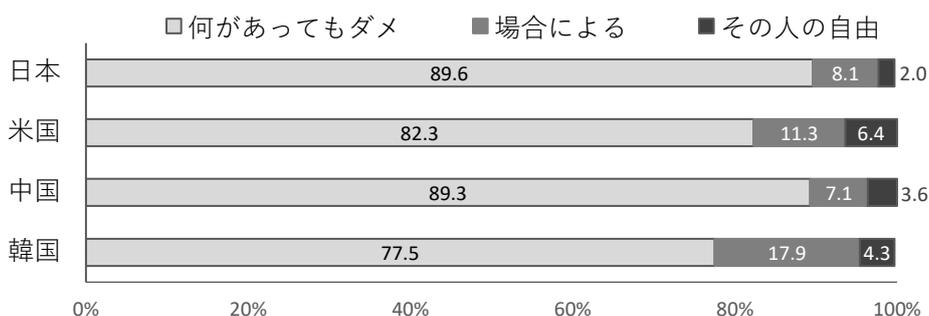


図 4-5 他人のアカウントを乗っ取りする

「悪口や嫌がらせのメッセージやコメントを送ったり、書き込みをする」について、「何があってもダメ」と回答した割合は、日本 89.2%、中国 87.0%、韓国 79.0%、米国 78.2%となっており、日本が最も高い。「場合による」と回答した割合は、米韓の約 15%に対し、日中は 1 割弱とやや低い。「その人の自由」と回答した割合は、日中韓の 3 か国がいずれも約 5%で、米国が 8.1%とやや高い（図 4-6）。

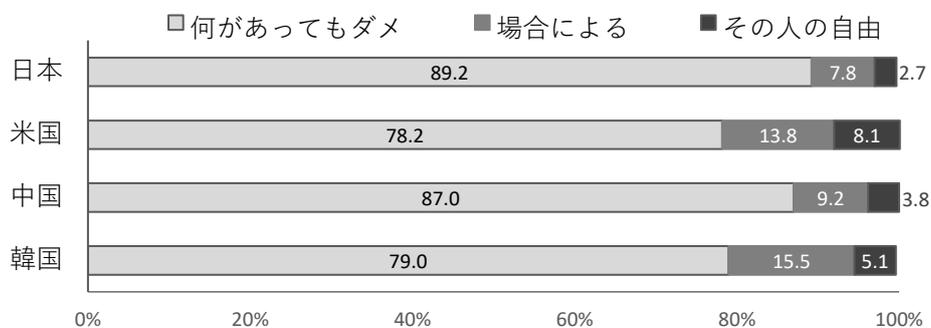


図 4-6 悪口や嫌がらせのメッセージやコメントを送ったり、書き込みをする

「他人の写真が無断投稿する」について、「何があってもダメ」と回答した割合は、中国 87.5%、日本 81.9%、韓国 77.4%、米国 63.4%の順となっており、中国が最も高い。「場合による」と回答した割合は、米国が 27.4%で、日本の 15.9%、韓国の 16.9%、中国の 8.8%に比べて 10 ポイント以上高くなっている。「その人の自由」と回答した割合は、米国 9.1%、韓国 5.5%、中国 3.7%、日本 1.9%と、日本が最も低い（図 4-7）。

また、「他人のうわさ話を拡散する」についても同じ傾向がみられた（図 4-8）。

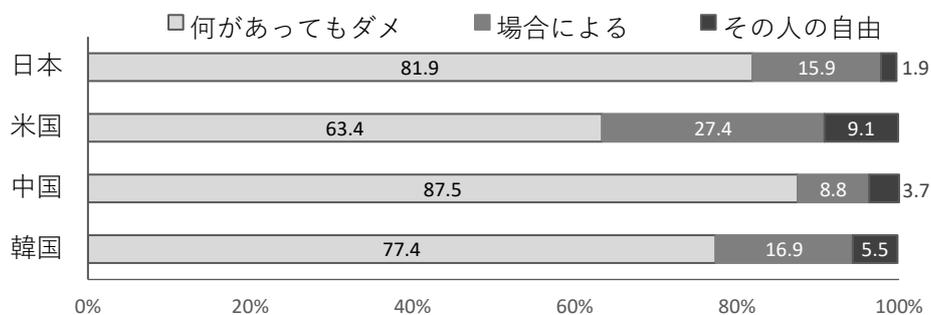


図 4-7 他人の写真が無断投稿する

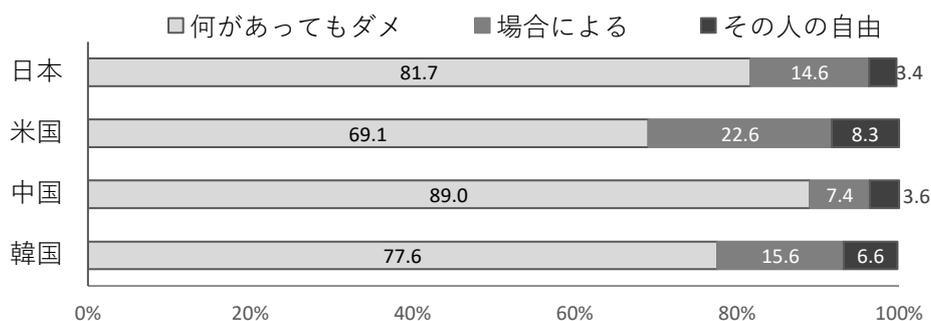


図 4-8 他人のうわさ話を拡散する

「他人になりすまして情報を発信する」について、「何があってもダメ」と回答した割合は、日本 92.9%、中国 87.9%、韓国 81.3%、米国 81.2%と、日本が最も高い。「場合による」「その人の自由」と回答した割合は、日本がいずれも4か国の中で最も低くなっている（図 4-9）。

全体的にみると、SNS を使う時の規範意識は、日本と中国が米韓より高いことが見て取れる。日本の高校生は、6項目に対し、「その人の自由」と回答した割合がすべて4か国の中で最も低くなっている。

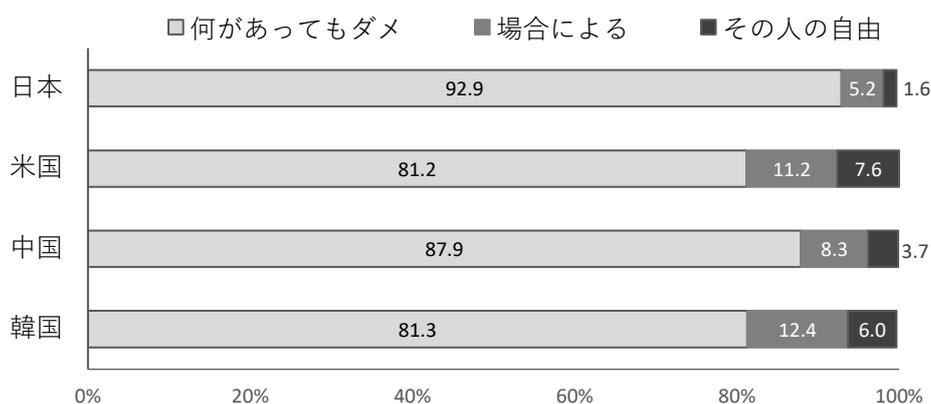


図 4-9 他人になりすまして情報を発信する

3) 情報リテラシー

日本の高校生は、「SNS 上では、自分の言いたいことを何でも言ってよいと思う」と回答した（「そうだ」と「まあそうだ」の合計、以下同様）割合が 4.9%で、米中韓より 13 ポイント以上低くなっている。「SNS でもリアルでも自分の発言や行動が変わらない」と回答した割合は4か国中最も高く、7割を超えている。また、「SNS で見た情報が正しいかどうかを確認する」を回答した割合が8割強と、中国と並んでおり、米韓よりも高い。

情報リテラシーについて、「SNS 上では、自分の言いたいことを何でも言ってよいと思う」「SNS でもリアルでも自分の発言や行動が変わらない」「SNS で見た情報が正しいかどうかを確認する」といった項目を挙げ、「そうだ」「まあそうだ」「あまりそうではない」「そうではない」の4段階で回答を求めた。

「SNS 上では、自分の言いたいことを何でも言ってよいと思う」について、「そうだ」「まあそうだ」と回答した割合は、日本が 4.9%で、米国の 18.2%、中国の 26.5%、韓国の 30.0%を大きく下回っている。一方、「そうではない」と回答した割合は、日本が 72.8%で、米国の 57.1%、中国の 31.1%、韓国の 32.6%に比べて著しく高い（図 4-10）。

「SNS でもリアルでも自分の発言や行動が変わらない」について、「そうだ」と回答した割合は、日本 29.8%、米国 27.8%、韓国 25.2%に対し、中国が 19.6%で最も低くなっている。「まあそうだ」を合わせると、米中韓がいずれも約 65%となっているが、日本は 73.2%と最も高くなっている（図 4-11）。

「SNS で見た情報が正しいかどうかを確認する」について、「そうだ」「まあそうだ」と回答した割合は、日本と中国が8割強であるのに対し、米国が7割強、韓国が6割強となっている（図 4-12）。

このように、日本の高校生は、米中韓に比べて、SNS 上のマナーを守る意識が高いことが見て取れる。

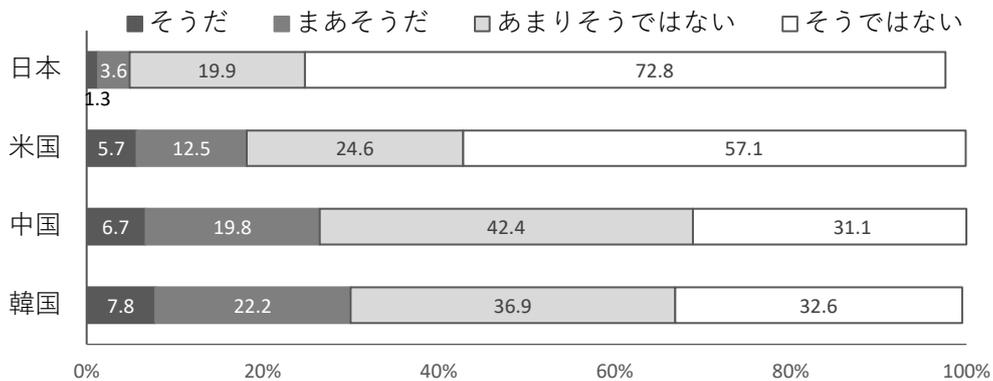


図 4-10 SNS 上では、自分の言いたいことを何でも言ってよいと思う

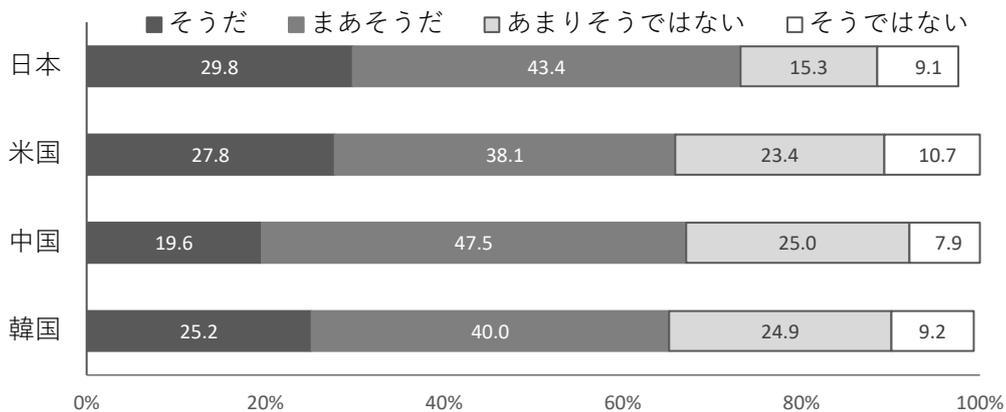


図 4-11 SNS でもリアルでも自分の発言や行動が変わらない

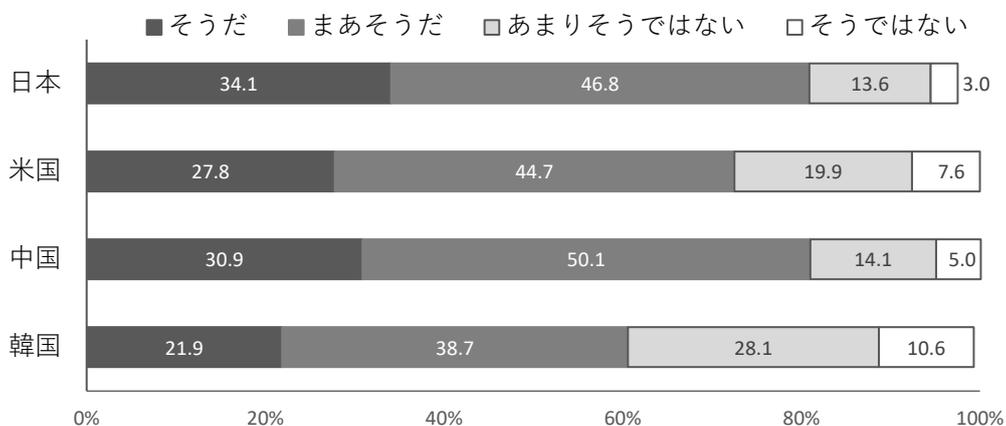


図 4-12 SNS で見た情報が正しいかどうかを確認する

第5章 SNS 利用についての家庭や学校の対応

1) 家庭の対応

日本の高校生は、インターネットの利用について、親（保護者）が「利用時間」や「利用金額」を決めていると回答した割合が約 12%、「内容をチェックする」と回答した割合が 5% 未満にとどまり、いずれも 4 か国中最も低くなっている。一方で、「アクセス可能なサイトを制限する」と回答した割合が 20.9%で、4 か国中最も高くなっている。

子どものインターネットの利用について、親（保護者）がどのように対応しているかを見るために、利用時間や利用金額及びアクセスの制限、内容のチェック、使い方をめぐる話し合いなどについての項目を挙げ、複数回答でたずねた。図 5-1 のとおり、日本は、「利用時間（時間帯や時間数）について決めている」（12.8%）「利用金額を決めている」（12.4%）「利用しているインターネットの内容をチェックする」（3.4%）と回答した割合がいずれも 4 か国中最も低くなっている。一方、「アクセス可能なサイトを制限する（フィルターをかける）」と回答した割合が 20.9%と、米国の 10.0%、中国の 15.1%、韓国の 9.0%に比べて、最も高くなっている。「個人情報やセキュリティについて注意する」と回答した割合が 25.5%で、米中の 5 割台に比べて著しく低いが、韓国の 10.1%より高い。「使い方や情報について話し合う」の割合が 2 割弱となっており、米中よりやや低い。また、「特にルールがない」と回答した割合が 5 割強で、韓国に次いで高くなっている。

米国は、「利用時間（時間帯や時間数）について決めている」「利用金額を決めている」「アクセス可能なサイトを制限する（フィルターをかける）」「利用しているインターネットの内容をチェックする」と回答した割合がいずれも約 1 割となっており、「使い方や情報について話し合う」が 22.1%、「個人情報やセキュリティについて注意する」が 57.3%となっており、いずれも日中韓より高くなっている。

中国は、「利用時間（時間帯や時間数）について決めている」と回答した割合が 5 割を超え、日米韓の 1 割台に比べて著しく高い。「利用金額を決めている」（21.1%）「利用しているインターネットの内容をチェックする」（17.7%）の割合も 4 か国中最も高い。「使い方や情報について話し合う」「個人情報やセキュリティについて注意する」がいずれも米国に次いで高くなっている。一方、「特にルールがない」と回答した割合が 16.9%と、日米韓を大きく下回っている。中国の親（保護者）は利用時間やセキュリティにおいて、子どもを厳しくしつけていることが見て取れる。

韓国は、「利用時間（時間帯や時間数）について決めている」「利用金額を決めている」と回答した割合が約 15%で、「アクセス可能なサイトを制限する（フィルターをかける）」「利用しているインターネットの内容をチェックする」「使い方や情報について話し合う」の割合がいずれも 1 割未満にとどまっている。一方、「特にルールがない」と回答した割合が 6 割を超え、4 か国中最も高くなっている。

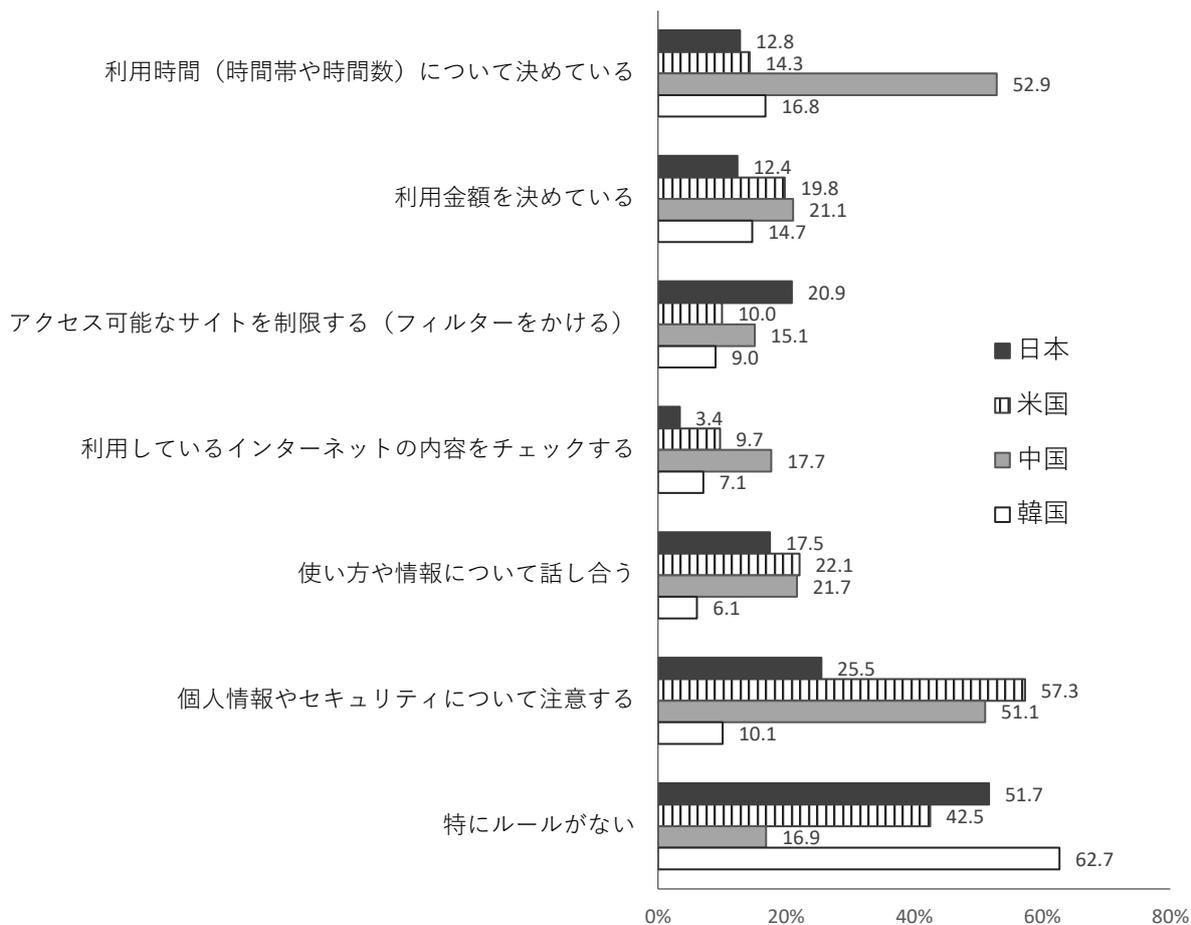


図 5-1 子のインターネット利用について、親(保護者)がしていること(複数回答)

親子関係を見るために、親(保護者)との関係の満足度や親(保護者)に叱られた経験についてたずねた。

図 5-2 のとおり、親(保護者)との関係に「非常に満足している」と回答した割合は、日米中の3か国とも5割を超えているのに対し、韓国は36.5%と最も低い。「まあ満足している」を合わせると、日本93.2%、米国90.1%、中国92.3%、韓国88.3%となっており、4か国とも約9割の高校生が親との関係に満足していることが見て取れる。

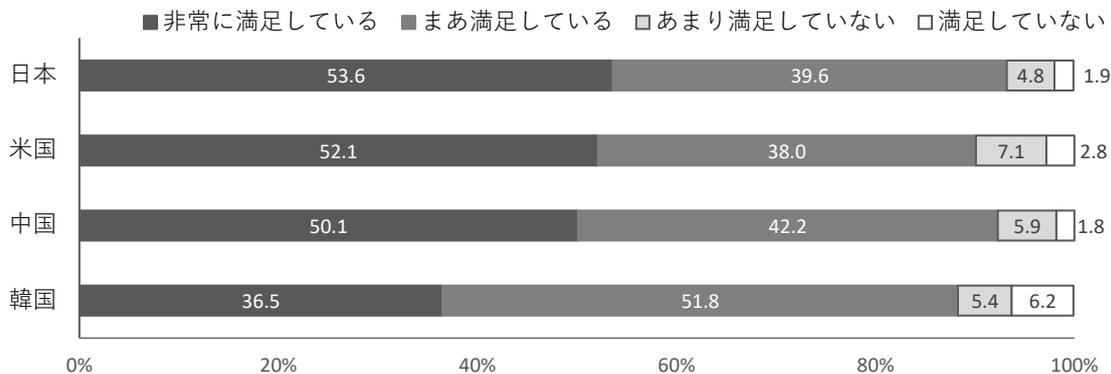


図 5-2 親(保護者)との関係に満足しているか

また、「最近一か月、親（保護者）に叱られたことがあるか」という問に対し、「よくある」と回答した割合は、日米韓の3か国とも1割を超えているのに対し、中国が5.5%と最も低い。「時々ある」を合わせると、韓国56.1%、米国50.3%、日本42.1%、中国28.8%の順となっており、中国が日米韓との差が大きい。一方、「全くない」と回答した割合は、日本が23.7%で、米国の13.2%、中国の19.9%、韓国の11.6%に比べて最も高くなっている（図5-3）。

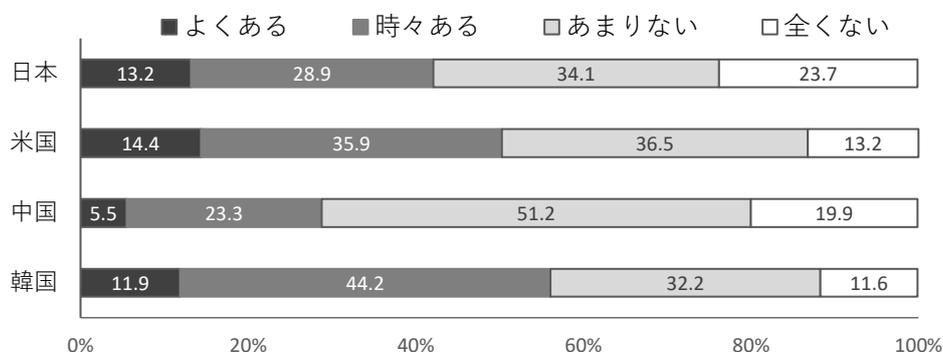


図5-3 最近一か月、親（保護者）に叱られたことがあるか

2) 学校の対応

日本の高校生は、学校で SNS の利用について、「プライバシーと個人情報に関する知識」「安全意識をもつこと（危険を予測し、被害を予防する）」「正しい情報を収集・判断する方法」「適切にコミュニケーションをとるためのマナーやルール、言葉づかいなど」を学んだことが「ある」と回答した割合は、いずれも約9割となっており、「他人からの中傷誹謗やトラブルに対する対処法」「セキュリティに関する知識」「依存防止」を学んだことが「ある」と回答した割合はいずれも約8割となっている。

SNS の利用に関する学校での学習で、自分にとって重要なものとして「プライバシーと個人情報に関する知識」と回答した割合が4か国とも最上位となっている。そのほかに、日本は「依存防止」「他人からの中傷誹謗やトラブルに対する対処法」と回答した割合がそれぞれ38.1%と35.2%となっており、4か国中最も高い。

学校で SNS の利用についての学習内容を見てみると、図5-4のとおり、日本の高校生は、「プライバシーと個人情報に関する知識」「安全意識をもつこと（危険を予測し、被害を予防する）」を学習したことが「ある」と回答した割合は、いずれも9割を超え、「正しい情報を収集・判断する方法」「適切にコミュニケーションをとるためのマナーやルール、言葉づかいなど」を学んだことが「ある」と回答した割合は9割弱、「他人からの中傷誹謗やトラブルに対する対処法」「セキュリティに関する知識」「依存防止」を学んだことが「ある」と回答した割合はいずれも約8割となっている。中国も日本と同じような傾向が見られた。

米国は、「プライバシーと個人情報に関する知識」「安全意識をもつこと（危険を予測し、被害を予防する）」を学習したことが「ある」と回答した割合は9割弱で、「正しい情報を収集・判断する方法」「適切にコミュニケーションをとるためのマナーやルール、言葉づかいなど」「セキュ

リティに関する知識」を学習したことが「ある」と回答した割合はいずれも約8割となっている。「他人からの中傷誹謗やトラブルに対する対処法」は7割強と日中より10ポイント以上低く、「依存防止」が6割弱にとどまっている。
韓国はすべての項目で4か国中最も低い割合となっている。

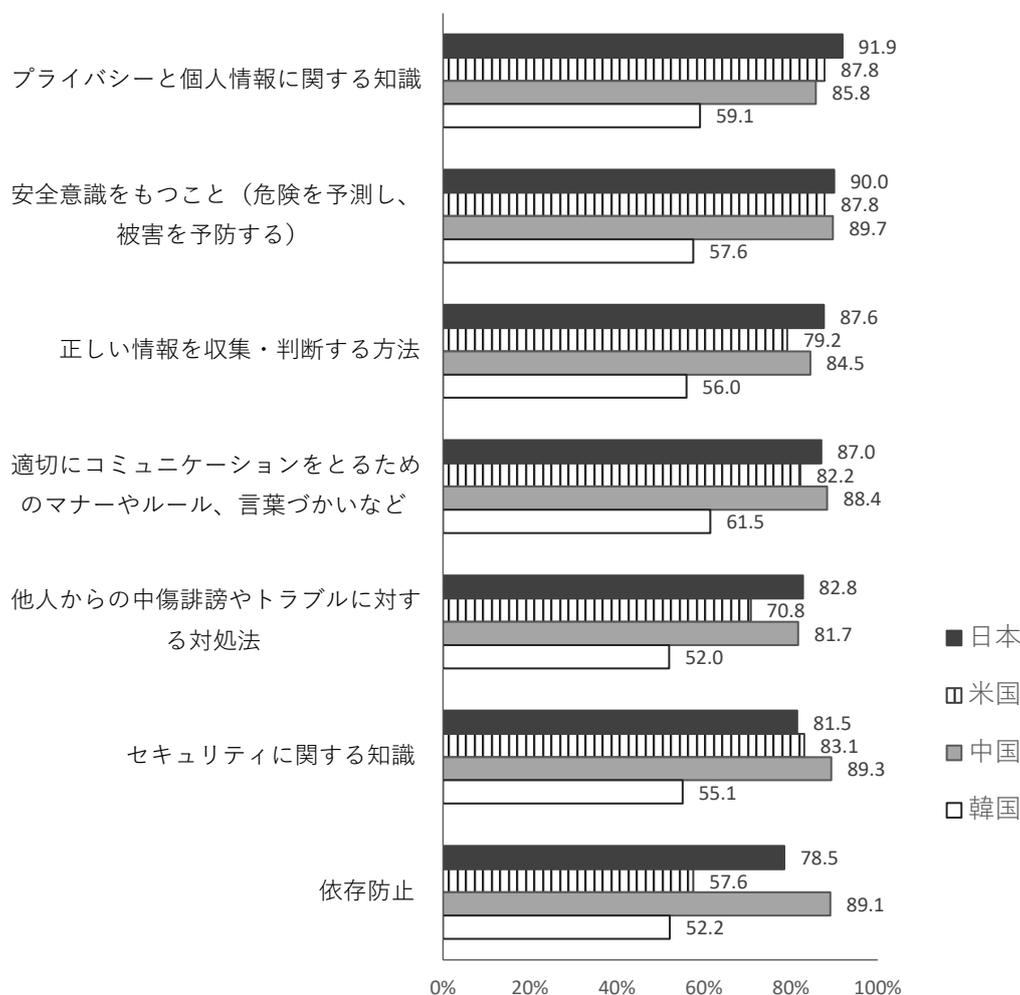


図 5-4 学校で SNS の利用について上記の内容を学習したことが「ある」

SNS の利用に関する学校での学習で自分にとってどれが重要だと思うかについて、図 5-5 に示している7項目から3つまで選んでもらった。日本の割合が最も高いのは、「プライバシーと個人情報に関する知識」で、69.3%となっている。そのほかの6項目では、日本の回答率が30.1%～41.4%にとどまっている。その中で、「依存防止」「他人からの中傷誹謗やトラブルに対する対処法」の割合がそれぞれ38.1%と35.2%で、4か国中最も高くなっており、「セキュリティに関する知識」の割合が30.1%で、4か国中最も低くなっている。

米国は、「プライバシーと個人情報に関する知識」「安全意識をもつこと（危険を予測し、被害を予防する）」の割合が6割台となっており、「セキュリティに関する知識」「適切にコミュニケーションをとるためのマナーやルール、言葉づかいなど」がいずれも3割台で、「依存防止」「他人からの中傷誹謗やトラブルに対する対処法」「正しい情報を収集・判断する方法」の割合がいずれ

も2割台にとどまっている。「安全意識をもつこと（危険を予測し、被害を予防する）」の割合が4か国の中で最も高くなっている。

中国は、「プライバシーと個人情報に関する知識」の割合が75.1%とほかの項目を大きく上回り、4か国の中でも最も高くなっている。「セキュリティに関する知識」の割合も日米韓より高い。「安全意識をもつこと（危険を予測し、被害を予防する）」の割合が6割弱で米国に次いで高い。一方、「適切にコミュニケーションをとるためのマナーやルール、言葉づかいなど」「他人からの中傷誹謗やトラブルに対する対処法」「正しい情報を収集・判断する方法」の割合がいずれも4か国の中で最も低くなっている。

韓国は、「プライバシーと個人情報に関する知識」の割合が57.1%でほかの項目より高いが、4か国の中で最も低くなっている。一方、「適切にコミュニケーションをとるためのマナーやルール、言葉づかいなど」「正しい情報を収集・判断する方法」の割合がいずれも5割強で、日米中の3か国を大きく上回っている。

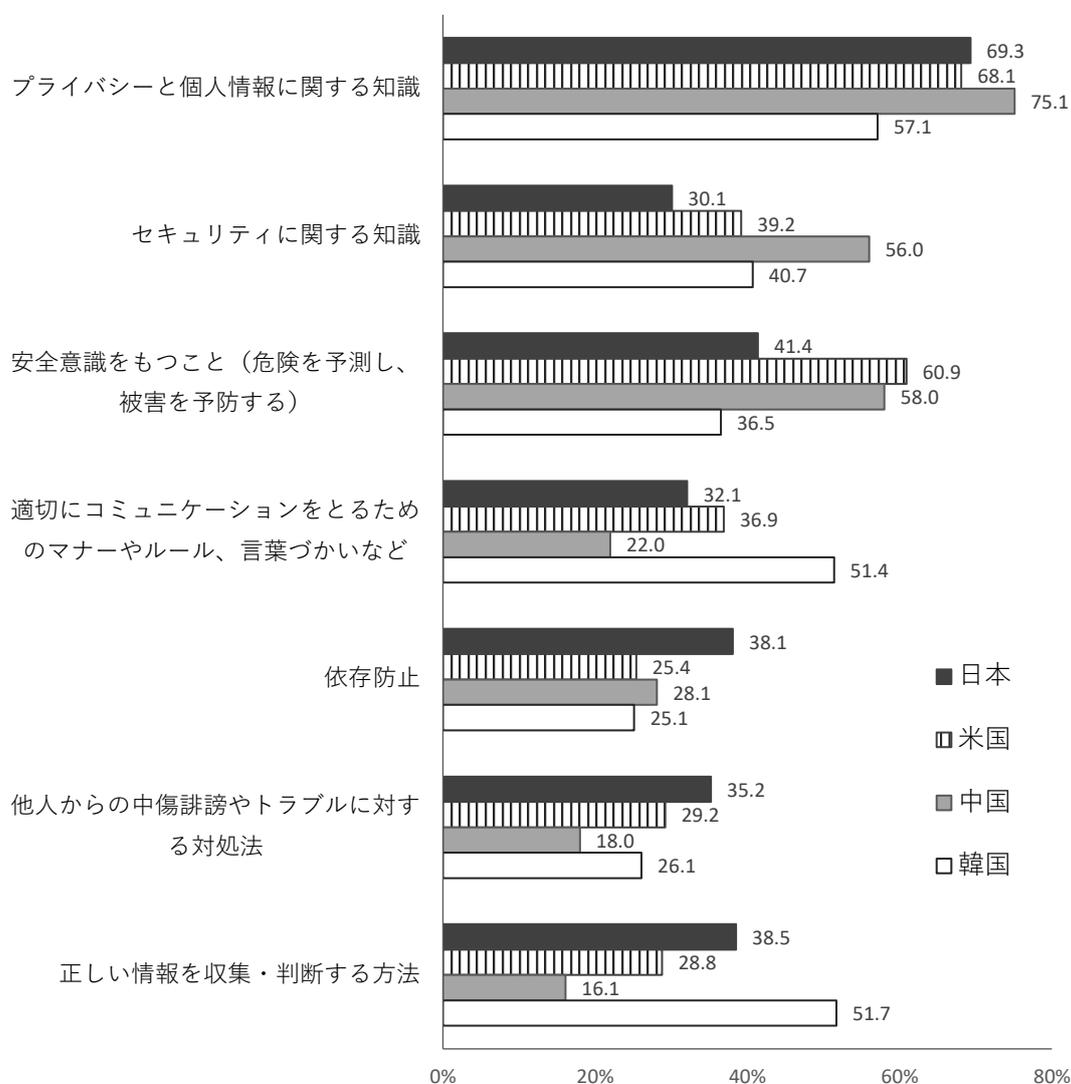


図 5-5 自分にとって学校での SNS の利用に関する学習において特に重要なこと(3つまで)

また、学校では携帯電話やスマートフォンの教室への持ち込みは禁止されているかをたずねたところ、図 5-6 のとおり、「禁止されている」と回答した割合は、中国が 91.1%となっており、日本の 18.1%、米国の 12.8%、韓国の 27.3%とは大差を見せた。

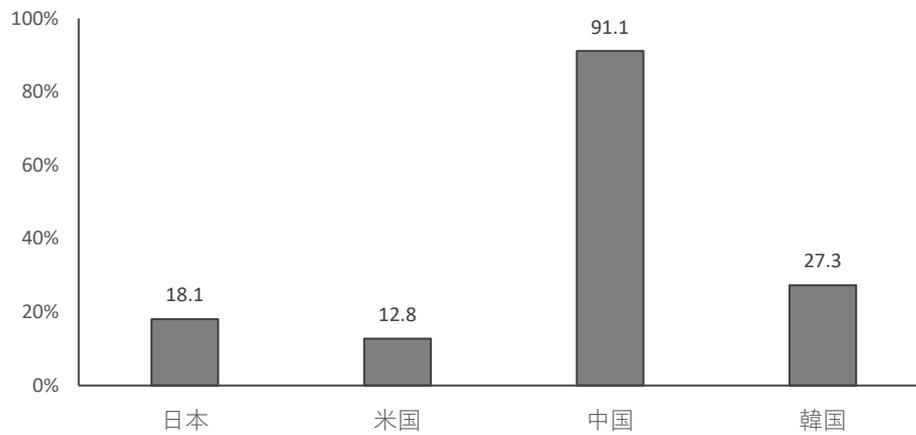


図 5-6 学校では携帯電話やスマートフォンの教室への持ち込みは「禁止されている」

第6章 自己特性や精神的な健康状態、生活習慣

1) 自分自身について

日本の高校生は、「いまの自分が好きだ」(62.5%)「将来に対し、はっきりした目標をもっている」(53.2%)と回答した(「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計、以下同様)割合が4か国中最も低くなっている。反対に、「自分はダメな人間だと思う」と回答した割合が57.2%で、米中韓の3割強に比べて著しく高い。「他人の意見に影響されやすい」と回答した割合が65.2%と、米中韓の5割強を約12ポイント上回っている。また、「人から褒められることを望んでいる」(81.4%)「ストレスを感じやすい」(68.1%)と回答した割合も4か国中最も高くなっている。

SNSの利用傾向との関連を見るために、今回の調査で、自己特性、精神的な健康状態、運動や生活習慣についてもたずねた。

まず、自分自身についての評価を見てみる。図6-1のとおり、日本は、「人から褒められることを望んでいる」と回答した割合(「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計、以下同様)が8割を超え、4か国の中で最も高くなっている。「他人の意見に影響されやすい」と回答した割合が65.2%で、米中韓の5割強に比べて11ポイント以上高い。また、「自分はダメな人間だと思う」と回答した割合が57.2%で、米中韓の3割強に比べて著しく高い。「ストレスを感じやすい」(68.1%)の割合も4か国中最も高くなっている。一方、「いまの自分が好きだ」(62.5%)「将来に対し、はっきりした目標をもっている」(53.2%)と回答した割合は4か国の中で最も低くなっている。

米国は、「自分のことは自分で決められる」と回答した割合が83.1%となっており、日本の77.7%、中国の78.7%、韓国の69.3%に比べて最も高くなっている。「将来に対し、はっきりした目標をもっている」(68.5%)「いまの自分が好きだ」(76.4%)と回答した割合も4か国中最も高い。一方、「人から褒められることを望んでいる」(57.5%)「注目される人間になりたい」(36.4%)と回答した割合は4か国の中で最も低くなっている。

中国は、「自分には友達がたくさんいる(インターネット上のみの友達を除く)」と回答した割合が74.6%で日米韓よりやや高くなっている。「人から褒められることを望んでいる」と回答した割合が79.7%で日本に次いで高い。

韓国は、「注目される人間になりたい」と回答した割合が50.2%で4か国中最も高い。一方、「自分のことは自分で決められる」(69.3%)「ストレスを感じやすい」(54.8%)と回答した割合が4か国の中で最も低くなっている。

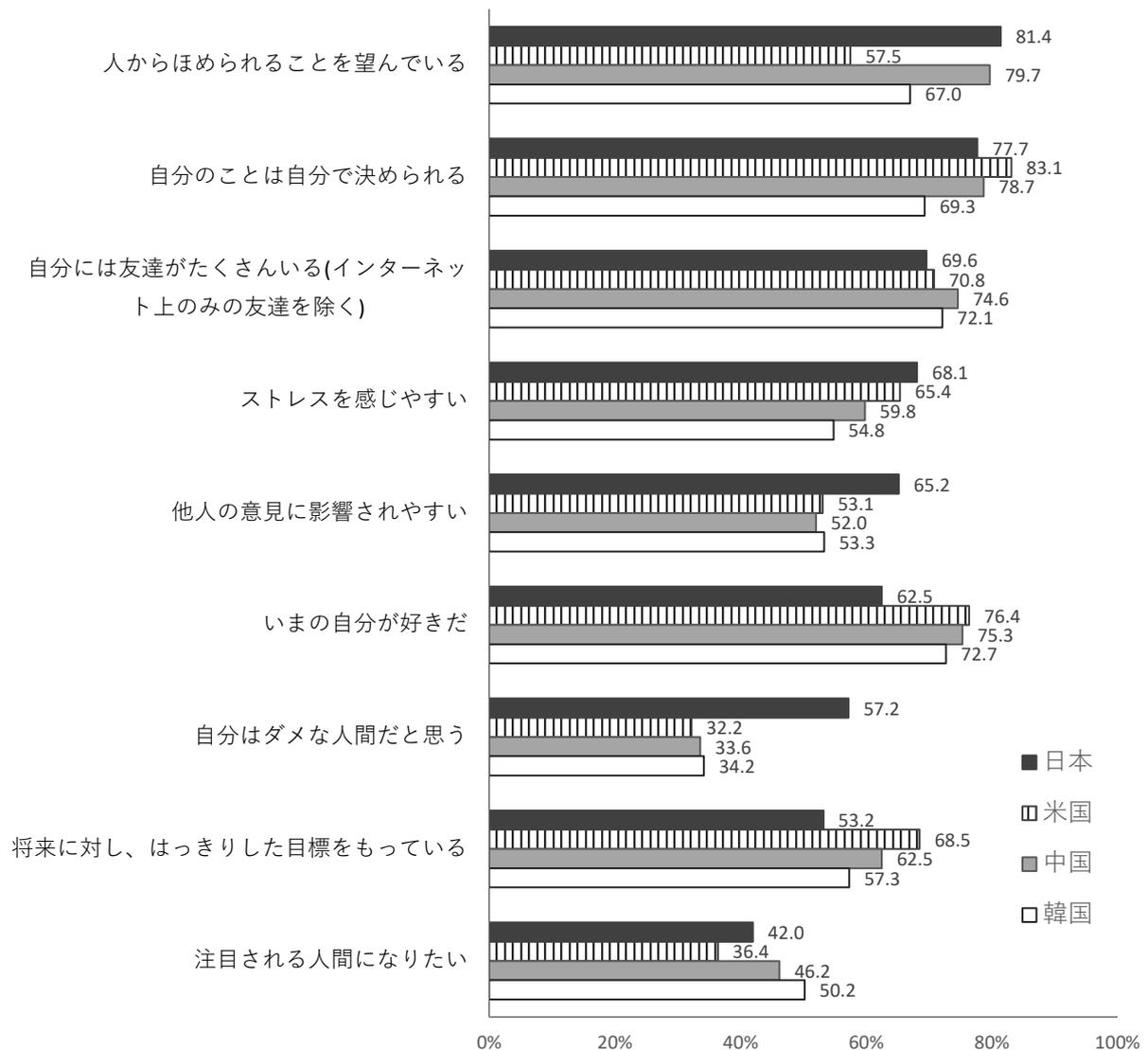


図 6-1 自分自身について(「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合)

2) 精神的な健康状態

最近2週間の精神的な健康状態について、日本の高校生は、「明るく、楽しい気分で過ごした」「落ち着いた、リラックスした気分で過ごした」と回答した割合(「いつもそうだった」と「そういう時が多かった」の合計、以下同様)がいずれも73%以上で、4か国中最も高くなっている。「意欲的で、活動的に過ごした」「日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった」と回答した割合はいずれも64%を超えた。

精神的な健康状態を見るために「WHO-5 精神的健康状態表」の項目を利用し、「いつもそうだった」「そういう時が多かった」「そういう時は少なかった」「ほとんどなかった」の4段階でたずねた。図 6-2 のとおり、日本の高校生は、「明るく、楽しい気分で過ごした」について、「いつもそうだった」「そういう時が多かった」と回答した割合が78.0%で、米国の67.5%、中国の71.7%、

韓国の 70.7%に比べて最も高くなっている。「落ち着いた、リラックスした気分で過ごした」(73.6%)「意欲的で、活動的に過ごした」(68.5%)の割合(「いつもそうだった」と「そういう時が多かった」の合計、以下同様)も4か国中最も高い。「ぐっすりと休め、気持ちよくめざめた」(50.1%)「日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった」(64.5%)の割合が中国に次いで高い。

米国は、5項目すべてにおいて、「いつもそうだった」「そういう時が多かった」と回答した割合が4か国中最も低くなっている。

中国は、「ぐっすりと休め、気持ちよくめざめた」(57.2%)「日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった」(67.4%)の割合がいずれも4か国中最も高くなっており、「明るく、楽しい気分で過ごした」「落ち着いた、リラックスした気分で過ごした」「意欲的で、活動的に過ごした」の割合がいずれも約7割と、日本に次いで高い。

韓国は、「明るく、楽しい気分で過ごした」「落ち着いた、リラックスした気分で過ごした」の割合が約7割で、「意欲的で、活動的に過ごした」が6割強、「日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった」が6割弱、「ぐっすりと休め、気持ちよくめざめた」が5割弱となっている。

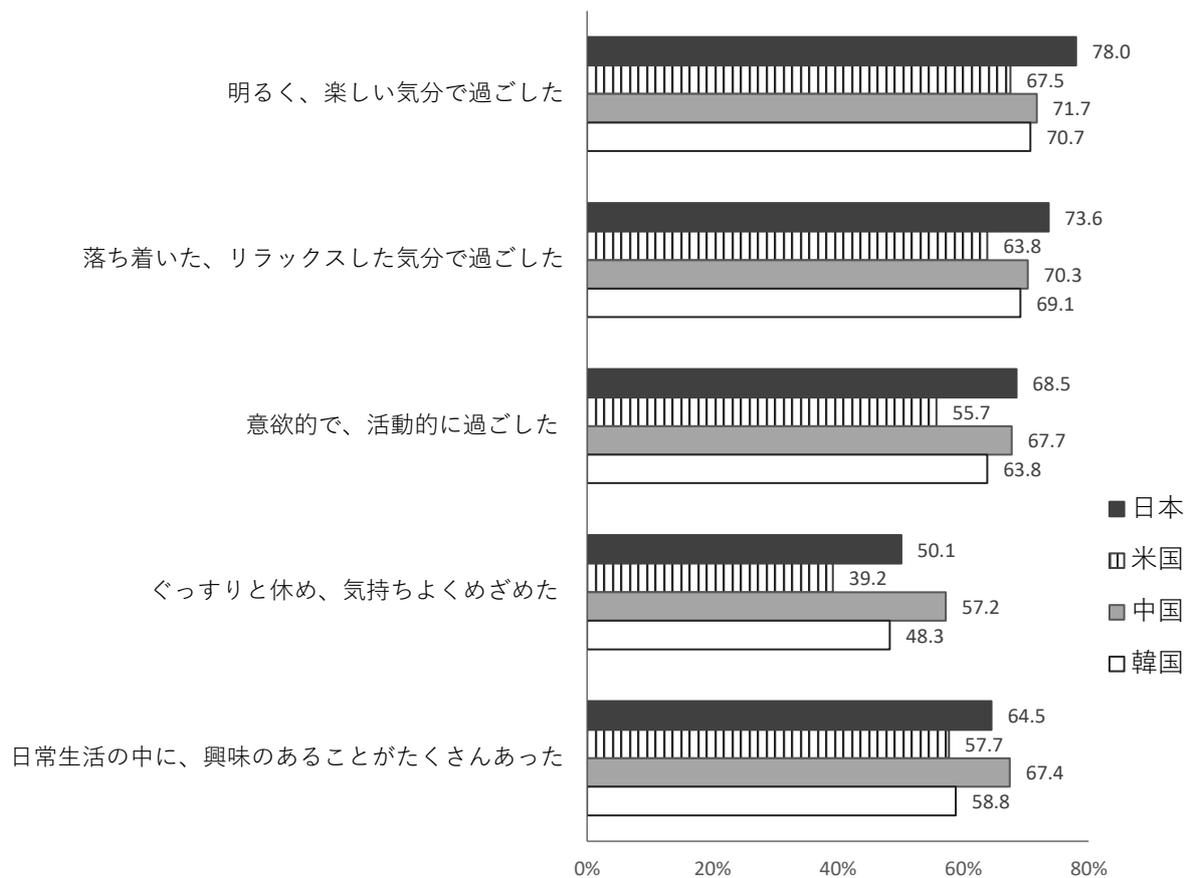


図 6-2 最近2週間の精神的な健康状態(「いつもそうだった」「そういう時が多かった」)

また、勉強についてプレッシャーを感じているかという設問に対し、「とても感じている」「まあ感じている」と回答した割合は、米国が74.4%と4か国中最も高く、中国が50.7%で4か国中最も低くなっている。日本と韓国はそれぞれ64.9%と68.8%となっている（図6-3）。

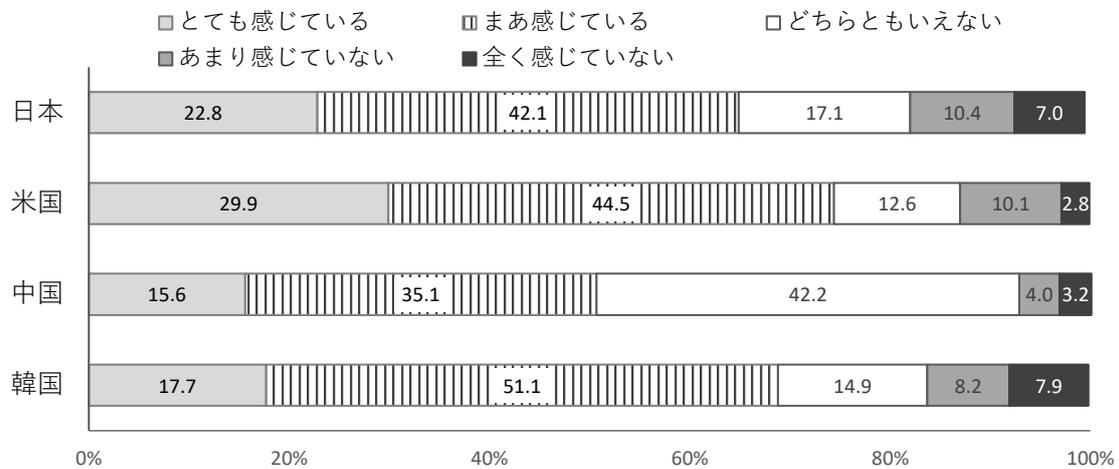


図 6-3 勉強についてプレッシャーを感じているか

3) 運動や生活習慣など

日本の高校生は、「就寝時間が遅くなること」が「よくある」と回答した割合は51.9%で、米中韓に比べて最も高い。一方、「朝食を食べないこと」「食事の時間が不規則であること」が「よくある」「たまにある」と回答した割合は4か国中最も低くなっている。

また、日本の高校生は、体育の授業以外で、運動を「ほとんど毎日している」と回答した割合が35.4%で、米中韓に比べて最も高くなっている。一方、「ほとんどしていない」(36.8%)と回答した割合も、4か国中最も高くなっている。

生活習慣について、「就寝時間が遅くなること」などの5項目を例示し、「よくある」「たまにある」「ほとんどない」の3段階でたずねた。

「就寝時間が遅くなること」について、「よくある」と回答した割合は、日本が51.9%で、米国の44.6%、中国の27.4%、韓国の44.6%に比べて最も高い（図6-4）。

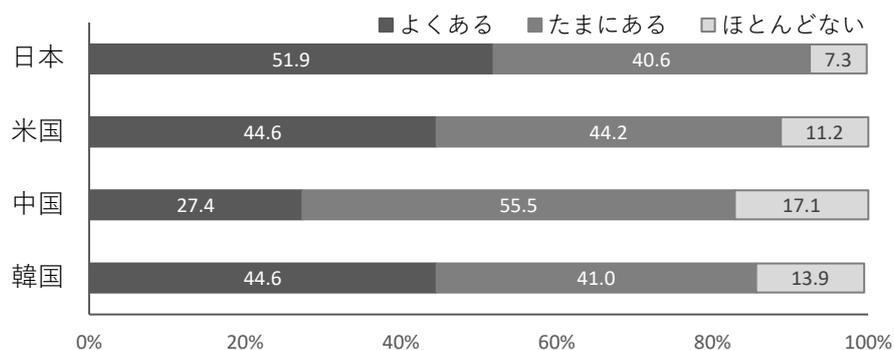


図 6-4 就寝時間が遅くなること

「起床時間が遅くなること」について、「よくある」と回答した割合は、日本 24.3%、米国 19.4%、中国 8.3%、韓国 28.8%となっており、韓国が最も高く、中国が最も低くなっている（図 6-5）。

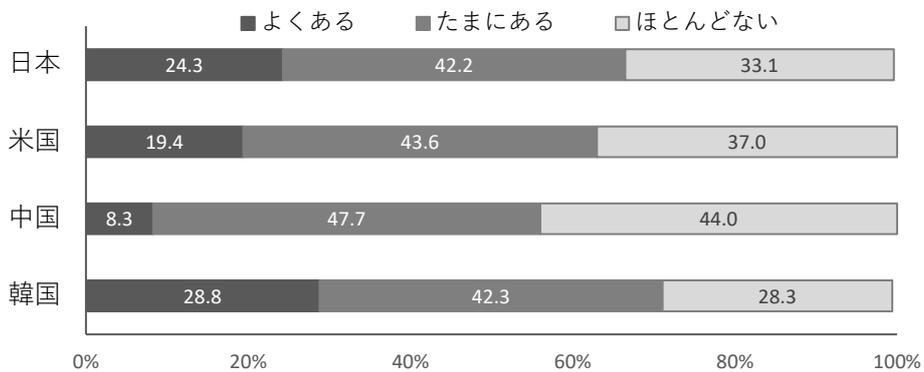


図 6-5 起床時間が遅くなること

「朝食を食べないこと」について、「よくある」「たまにある」と回答した割合は、日本が 28.5%で、米国の 69.9%、中国の 56.8%、韓国の 71.4%と比べて著しく低い（図 6-6）。

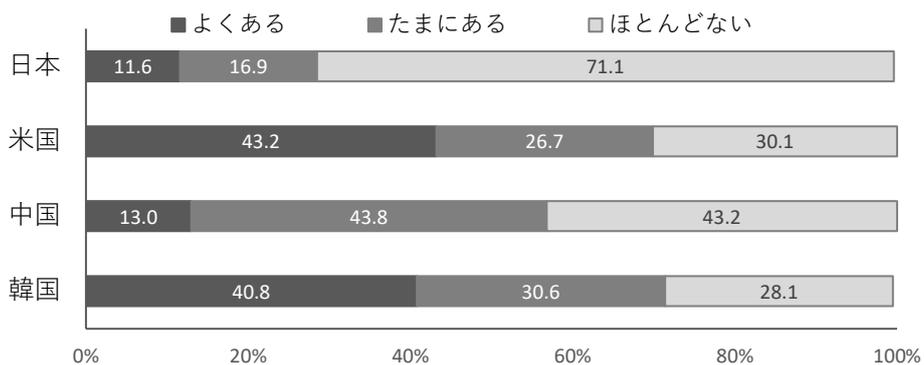


図 6-6 朝食を食べないこと

「食事の時間が不規則であること」について、「よくある」「たまにある」と回答した割合は、日本が 48.7%で、米国 76.3%、中国 53.6%、韓国 69.6%に比べて最も低い（図 6-7）。

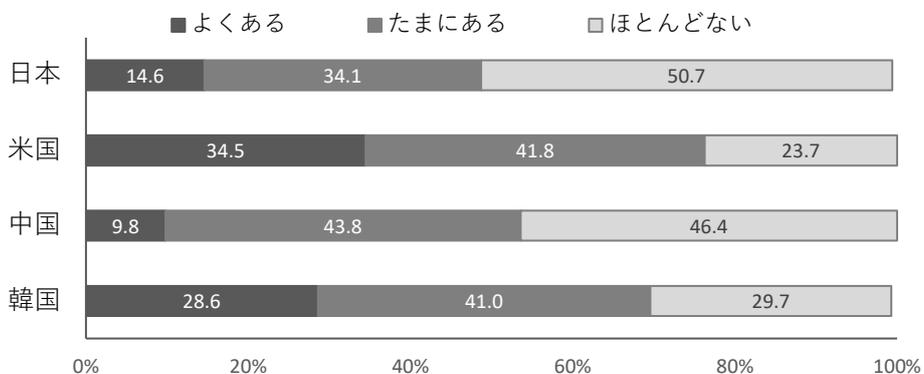


図 6-7 食事の時間が不規則であること

「休日に出かけて活動（運動やスポーツ、ショッピング、遊びなど）をしないこと」について、「よくある」「たまにある」と回答した割合は、日本 63.9%、米国 51.9%、中国 76.2%、韓国 69.5%となっており、米国が最も低く、中国が最も高くなっている（図 6-8）。

全体的にみると、日本の高校生は、米中韓に比べて規則的な食生活をしている者が多いが、睡眠時間が短い。米国の高校生は不規則な食生活をしている傾向にあるが、休日には出かけて活動する者が日中韓より多い傾向が見て取れる。中国の高校生は、日米韓より早寝早起きをするが、休日に出かけて活動する者が少ない傾向が見られた。韓国の高校生は、遅寝、遅起き、朝ご飯を食べないという生活習慣を持っている者が多いことがわかる。

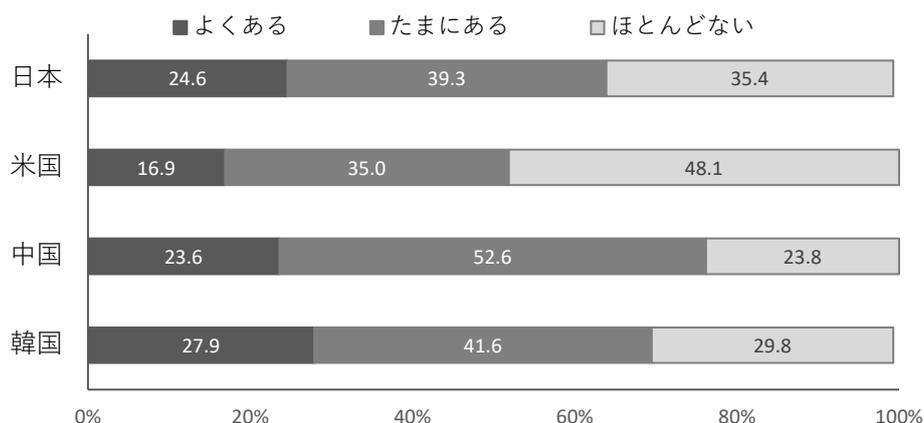


図 6-8 休日に出かけて活動（運動やスポーツ、ショッピング、遊びなど）をしないこと

また、体育の授業以外で運動をどのくらいしているかについてもたずねた。図 6-9 のとおり、体育の授業以外で運動を「ほとんど毎日している」と回答した割合は、日本が 35.4%で、米国の 31.5%、中国の 19.7%、韓国の 15.3%に比べて最も高くなっている。一方、「ほとんどしていない」と回答した割合は、日本が 36.8%で、米国の 19.0%、中国の 26.9%、韓国の 33.5%に比べて最も高くなっている。

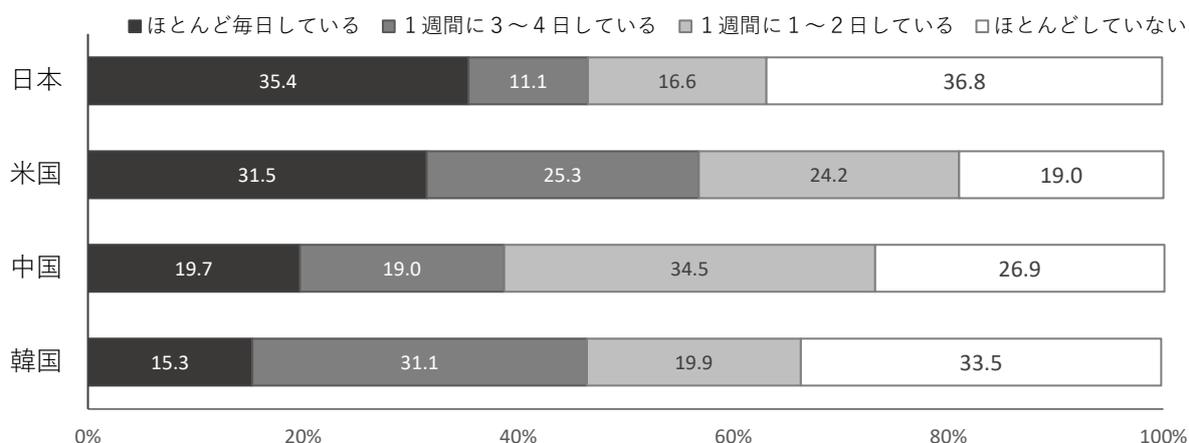


図 6-9 体育の授業以外で、運動をどのくらいしているか

考察 1

国際比較から見た各国の SNS 関連問題と対応の特徴

筑波大学人間系心理学域准教授 藤 桂

昨今、インターネット上での誹謗中傷が深刻視されている。日本国内における動向を確認してみると、インターネット違法・有害情報相談センターに寄せられた相談件数は平成 27 年度から 5200 件にも及び、以後も同水準のまま推移していたが、令和 5 年度には過去最多の 6463 件となっている（総務省、2024）。相談内容についても最も多く寄せられているのが誹謗中傷（名誉や信用を貶めるような情報）であり、全体の 58.5% を占め、プライバシーの侵害がそれに次いでいる（56.8%）。同様に小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の児童生徒を対象とした文部科学省の報告からも（文部科学省、2023）、いじめ被害の中でも「パソコンや携帯電話等で、誹謗・中傷や嫌なことをされる」という項目への回答は年々増加傾向にあり、令和 4 年度においては 23920 件とこれまでで最も多くなっていることが示されている。高等学校に限定すれば、仲間外れや集団による無視および叩く・蹴るなどの態様のいじめよりも、インターネットを介したいじめ被害の方が回答率が高くなっているほどである（文部科学省、2023）。すなわち、インターネット上での誹謗中傷による問題は現在もなお深刻化の一途を辿っているといえる。

こうした動向は諸外国でも見られており、例えばアメリカでは、ティーンにおけるオンライン上のハラスメントの被害経験率（過去 1 年以内）は 51% にも上り、前年度を 15% も上回っていることが報告されている（ADL center for technology & society, 2023）。また韓国でも名誉毀損・侮辱に関する検挙件数は増えていることが指摘されており（国立国会図書館、2022）、中国ではサイバー暴力の処罰に関する指針案について広く意見を公募するという施策に踏み切ったとされる（Reuters、2023）。世界的に懸念の高まっているこの問題の解決は現代社会における急務であるといえよう。

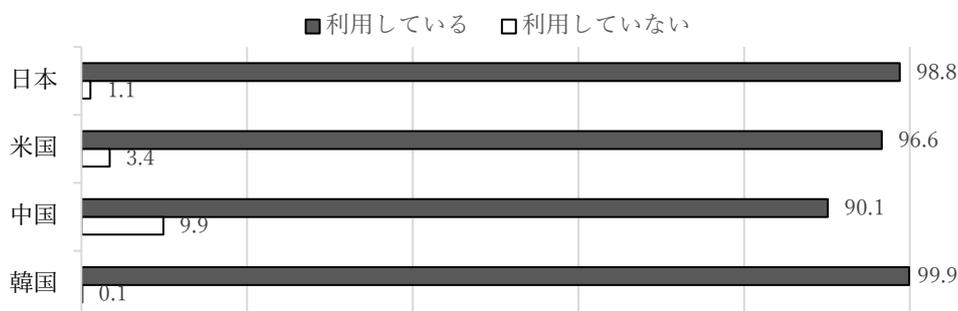
本稿では、日本のみならず、米国・中国・韓国の 4 か国の高校生を対象に行われた調査結果において、国ごとの特徴が顕著であった箇所を焦点を当てながら、各国のインターネットおよび SNS の利用状況について捉えていくこととする。また、各国においてどのような問題が生じており、またどのような対応が取られているかについて検討する。加えて、その背景に存在する心理的過程や要因についても考察し、これからの時代における対応・予防のための具体的な方策を講じるための一助としたい。

1. SNS 利用の動向

まず本調査からは、各国の高校生は非常に高い割合で何らかの SNS を利用していることが見て取れる。「あなたは SNS（LINE、Instagram、Facebook、TikTok、YouTube など）を利用していますか。」という問いに対し、90% 以上が「利用している」と回答していたのである。主に利用している SNS の種類については各国で異なり、日本では LINE、YouTube、Instagram、TikTok の順に多く利用されているのに対し、米国では Instagram が最も多く利用されており、それに TikTok や

YouTube が続く。韓国でも Instagram や YouTube の利用が顕著であるが、TikTok はあまり利用されていない。一方中国では微信、QQ などの利用者が多いようである。

設問「あなたは SNS (LINE、Instagram、Facebook、TikTok、YouTube など) を利用していますか」への回答



設問「あなたが主に使っている SNS はどれですか」への回答 (複数選択可)

	日本	米国	中国	韓国
1. LINE (中国: WeChat)	96.6	1.3	82.4	6.9
2. Instagram (中国: 小紅書)	80.5	85.6	17.8	79.8
3. X (Twitter) (中国: Weibo)	56.5	27.8	17.0	21.1
4. Facebook (中国: 百度貼吧)	2.5	20.2	5.8	17.9
5. TikTok	60.1	76.4	43.3	26.1
6. YouTube (中国: bilibili)	91.8	74.7	25.1	71.6
(中国: QQ)	-	-	61.2	-
7. 上記以外のもの	7.4	15.3	2.5	4.4
8. SNS を利用していない	1.1	3.4	9.9	0.1

図表考察 1-1 各国の高校生における SNS の利用状況 (単位は%)

1 日あたりの利用時間 (平日) を見てみると、中国では「30 分未満」および「30 分～1 時間未満」とする回答が半数を占めており他国よりも短い方であるのに対し、日本と韓国は「1～2 時間未満」という回答が最も多く、米国では「2～3 時間未満」という回答と「5 時間以上」の両方に回答が集中している。ただし、休日における利用時間に関しては、平日とは異なり日本における「5 時間以上」という回答が 27.2%にものぼり、学校のある日とそうでない日との間で使い分けられている様子が窺われる。

また SNS の利用目的としても、各国で大きな違いが示されている。いずれの国においても、「リアルな友達や知り合いとのコミュニケーション」のためという回答が多数を占めていたが、日本や米国では「ゲームや音楽などの娯楽」「ひまつぶし」のためという回答が多い一方で、韓国ではそれらの回答が必ずしも多くはない。また、「趣味や興味のある話題に関する情報の収集」については、米国・中国・韓国は約 5～6 割に留まっているのに対し、日本では 82.4%と非常に多い。加えて「家族との連絡」という項目でも同様の傾向が見られ、日本のみが 75.8%と突出している。なお、「自分の考えや作品などの発信」という項目においては、米国が 24.4%と若干ながら他国と比して多いことも示された (日本: 9.2%、中国: 15.1%、韓国: 9.0%)。

したがって、4か国ともに周囲の友人とのコミュニケーションを目的として SNS が利用される場合が多いが、米国ではそれらに加え情報収集や娯楽のために、日本ではさらに家族との連絡手段として利用されるという特徴が示された。

	日本	米国	中国	韓国
1. リアルな友達や知り合いとのコミュニケーション	76.7	73.3	71.8	64.4
2. 直接会ったことがない(ネット上の)友達とのコミュニケーション	16.2	22.2	11.8	17.1
3. 家族との連絡	75.8	49.4	51.7	31.5
4. 勉強に関する情報の収集	46.1	34.5	45.1	22.0
5. 趣味や興味のある話題に関する情報の収集	82.4	66.4	56.4	52.1
6. ニュースや社会の出来事に関する情報の収集	30.1	49.3	24.0	21.2
7. 生活や暮らし(ファッションや美容、健康、料理など)に関する情報の収集	45.6	50.6	22.7	31.7
8. ゲームや音楽などの娯楽	86.2	80.2	55.8	39.7
9. 自分の考えや作品などの発信	9.2	24.4	15.1	9.0
10. 推し活(自分が推しているアイドルや俳優、キャラクターなどを愛でたり応援したりする活動)	36.7	23.0	5.8	18.1
11. ストレス解消	40.9	57.6	47.7	43.8
12. ひまつぶし	70.7	74.4	30.2	39.1
13. その他	1.3	2.5	0.2	1.1
14. 特になし	0.6	2.2	3.4	4.2

表考察 1-2 各国の高校生における SNS の利用目的(単位は%)

加えて注目しておきたいのが、SNS 利用開始年齢の違いである。日本や中国では、中学生の時期に開始したという回答が最も多いのに対し、米国ではもう少し早い小学4～6年の間から利用したという回答も多かった。韓国はそれよりもさらに早く、ほぼ6割が小学校のうちに利用を開始しており、小学校入学前から利用し始めていたという回答も他国よりも高い。中学校・高校から開始したという層はむしろ少数派であることも示された。

すなわち、韓国において最も利用開始年齢が早く、米国もそれに次いで早いことが窺われる。

	日本	米国	中国	韓国
1. 小学入学前	1.4	1.8	3.7	10.1
2. 小学1～3年	6.9	6.8	7.2	15.3
3. 小学4～6年	28.5	40.7	28.1	32.4
4. 中学1～3年	49.6	43.3	48.6	24.8
5. 高校生になってから	11.7	2.5	4.8	5.4
6. よく覚えていない	1.7	4.9	7.5	11.8

表考察 1-3 各国の高校生における SNS の利用開始時期(単位は%)

2. SNS によるトラブルと対処

これまでに見てきたように SNS 利用のあり方は国によって異なるが、SNS 上で生じるトラブルについても、同様に国ごとの違いがみられることも明らかとなった。

顕著であったのは、SNS を介した出会いに関するリスクである。「あなたは、SNS を通じて知り合った人がいますか。」という設問に対し、日本・米国・中国では5～6割（日本：49.2%、米国：66.3%、中国：50.8%）が、韓国でも41.0%が「いる」と回答していた。そのように回答した者のうち、「その人と実際に会ったことがありますか。」と尋ねた結果、米国では67.7%と多くの回答者が「ある」と述べていたのに対し、中国では81.6%が「ない」と回答していた。

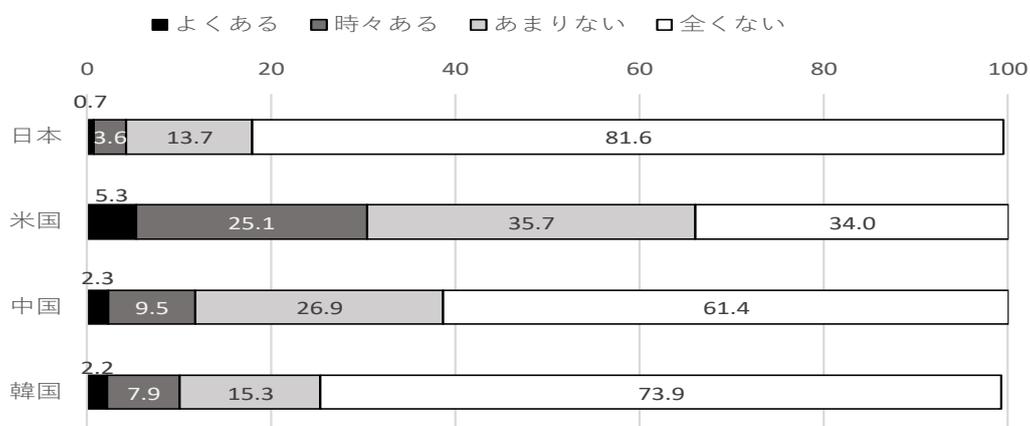
こうした傾向は、その他のトラブルについても同様であった。個人情報漏洩、架空請求、アカウントの乗っ取りなどは、米国において他国よりも被害経験率が高かったのである。加えて、「自分の写真が無断投稿されたこと」および「自分についてのうわさ話が拡散されたこと」というように、いわゆるネットいじめに相当するような被害も米国での経験率が高いことが示された。このことは、SNS 上での悪口や嫌がらせの経験の頻度について尋ねた場合にも示されており、米国では「よくある」および「時々ある」という回答が約3割にも上っている。これに対し中国では11.8%、韓国では10.1%、日本は4.3%にとどまっていた。

まとめると、米国の高校生においては、他の国よりも SNS を介したトラブルや誹謗中傷の被害がより深刻であるといえる。

設問「あなたは SNS を利用していて、次のようなことがありますか」への回答（複数選択可）

	日本	米国	中国	韓国
a. 個人情報漏えいされたこと	5.4	14.5	8.5	21.1
b. 架空請求をされたこと	8.8	34.8	12.3	14.6
c. アカウントの乗っ取りをされたこと	8.5	26.6	21.0	18.4
d. 自分の写真が無断投稿されたこと	12.2	30.1	7.7	15.5
e. 自分についてのうわさ話が拡散されたこと	7.6	33.8	7.0	19.7

設問「あなたは SNS 上で悪口や嫌がらせを受けることがありますか」への回答



図表考察 1-4 各国の高校生における SNS 上でのトラブル経験(単位は%)

さらに、こうした SNS 上での悪口や嫌がらせという被害経験に対し、どのように対処するかという点でも国ごとの違いが顕著であった。最も被害経験率の高かった米国では「無視する」という対処が最も多く、「やり返す」という対処も多くみられた。また中国でも同様に「無視する」「やり返す」という対処が取られやすいという特徴がみられた。

一方日本では、「無視する」という対処のみが圧倒的に多く挙げられており、「やり返す」という方向での対処は他国と比しても最も少なかった。代わりに友人や親に相談するという対処が取られやすいことも示されたがその割合は決して多くはなく、SNS 上での誹謗中傷のターゲットにされたという事態の中で声を挙げることもできずに、その悩みや苦しみを一人で抱えてしまうケースが多い可能性が推察される。

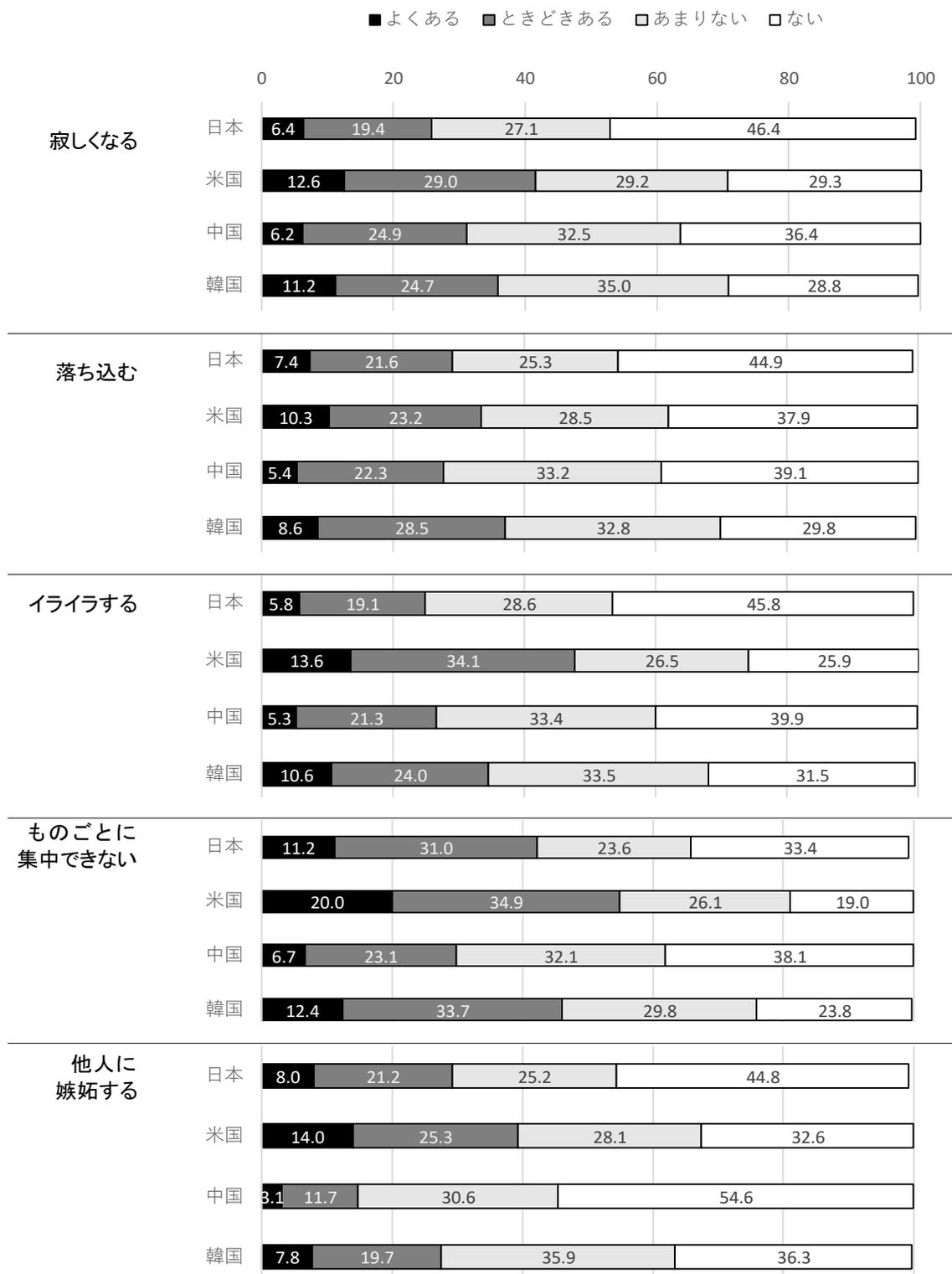
SNS などインターネット上でのいじめ・誹謗中傷による被害は、被害者の心理に甚大かつ長期的な影響を及ぼすものであり（鈴木・坂元・熊崎・桂、2013）、それらのトラブルに対し「無視する」という方向性での対応はより深刻な事態へのエスカレートをもたらしかねない（藤・吉田、2014、2016）ことが日本の研究では示されてきている。これらの知見を踏まえても、上記の点については、日本における特徴的な問題として今後も対応を検討していく必要があるといえよう。

	日本	米国	中国	韓国
1. やり返す	19.6	49.7	53.6	20.9
2. 無視する	73.7	76.1	48.4	43.8
3. 友人に相談する	33.9	23.9	28.9	30.1
4. 親(保護者)に相談する	20.2	14.4	19.7	13.1
5. アカウント(ID)を変える	15.3	4.1	11.6	13.1
6. その他	8.2	6.8	4.6	3.3
回答者数	184	443	819	153

表考察 1-5 各国の高校生における SNS 上でのトラブルへの対処(単位は%)

SNS 上における様々なトラブル経験がもたらす影響は、情緒的側面にも及んでいることが窺われる。「SNS の利用により、次のようなことを経験したことがありますか。」という設問の中で、「寂しくなる」「落ち込む」「イライラする」「ものごとに集中できない」「他人に嫉妬する」という回答は各国において一定の割合で見られるものの、米国および韓国において比較的高いことも示された。

注目すべきは、この2か国はこれまでにみてきたように、SNS の利用について決して「不慣れ」ではないということである。米国では娯楽・出会い・コミュニケーションのためのツールとして頻繁に利用されており、韓国では早い年齢段階から積極的に利用が開始されている。しかしながら、あるいはむしろそれゆえに、情緒面への悪影響にもつながりかねないことについては留意が必要であるといえよう。



図考察 1-6 各国の高校生における SNS がもたらす心理面への影響(単位は%)

また、SNS の影響として、何らかの影響が実際に生じているかという点のみならず、「SNS の利用で何か不安や心配がありますか」という観点から尋ねた場合にも、各国の違いが示された。「ネット依存」を懸念する声は、米国や韓国ではあまり見られない一方で、日本や中国において比較

的多くなっていた。その他、この設問に関しては中国において比較的高い回答率が示され、その他「勉強への影響」「気分の変動」「体の健康や発達への影響」に関しては他国よりもやや強く懸念されていることが明らかとなった。

ゆえに中国においては、利用者である高校生自身が、SNS利用がもたらす長期的なスパンでの悪影響を懸念しながら利用しているという特徴が示された。

	日本	米国	中国	韓国
1. ネット依存	48.8	29.0	43.8	34.0
2. 気分の変動	14.9	28.9	34.7	17.7
3. 勉強への影響	55.5	49.5	57.2	38.1
4. 体の健康や発達への影響	24.3	31.5	35.5	13.6
5. お金の使いすぎ	18.1	29.4	24.0	15.5
6. 個人情報の漏えい	28.8	35.5	35.7	21.3
7. 悪口や嫌がらせ、いじめを受けること	14.6	27.3	23.6	11.7
8. 詐欺被害	27.8	31.6	28.0	10.7
9. 犯罪・有害情報に触れてしまうこと	24.0	20.7	17.9	12.1
10. その他	1.2	2.5	0.2	2.5
11. 特にない	19.5	26.0	19.0	26.7

表考察 1-7 各国の高校生における SNS がもたらす問題への懸念(単位は%)

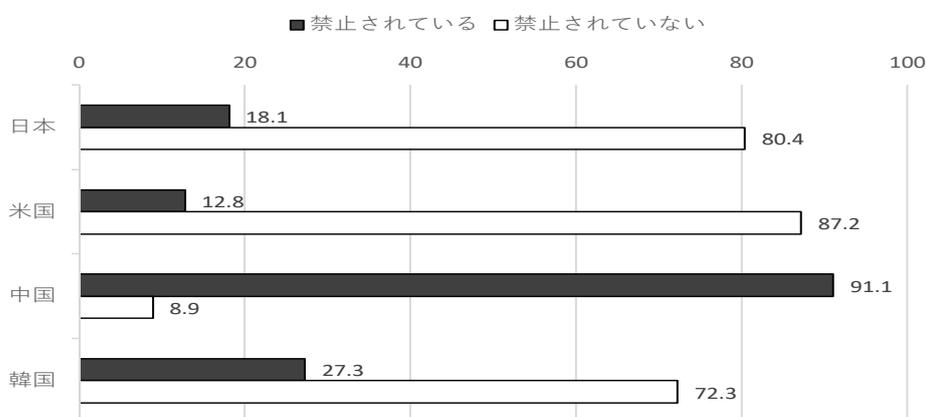
最後に、家庭内および学校において SNS 利用に対しどのようなルール・制限を設けているかについて各国の対応を見ていくと、中国においては「(家庭内で) 利用時間を決めている」という回答が多く、「特にルールがない」という回答が最も少ないことが示されている。また、学校での機器利用の制限についても中国では顕著であり、「禁止されている」という回答が9割にも上っていた。これに対し、日本ではフィルタリング、米国では個人情報・セキュリティへの注意という点で若干ながら他国よりも高い回答が示されたものの、「特にルールがない」という回答もかなり高く、特に韓国では6割超にも上っていた。

この結果に着目すれば、これまでに見てきたようなトラブルの発生という点のみならず、その予防に向けて何をしているかという点でも国ごとに異なる特徴があることが窺われるが、中国では多くのルール・制限が設けられている一方で、韓国ではそうしたルール・制限があまり設けられておらず自由に利用されている現状が窺われる。

設問「あなたのインターネットの利用について、親(保護者)は次のことをしていますか」への回答(複数選択可)

	日本	米国	中国	韓国
1. 利用時間(時間帯や時間数)について決めている	12.8	14.3	52.9	16.8
2. 利用金額を決めている	12.4	19.8	21.1	14.7
3. アクセス可能なサイトを制限する(フィルターをかける)	20.9	10.0	15.1	9.0
4. 利用しているインターネットの内容をチェックする	3.4	9.7	17.7	7.1
5. 使い方や情報について話し合う	17.5	22.1	21.7	6.1
6. 個人情報やセキュリティについて注意する	25.5	57.3	51.1	10.1
7. 特にルールがない	51.7	42.5	16.9	62.7

設問「あなたの学校では携帯電話やスマートフォンの教室への持ち込みは禁止されていますか」への回答



図表考察 1-7 各国の高校生における SNS 利用への家庭・学校での対応(単位は%)

3. 各国の比較から見るそれぞれの国における特徴

ここまでに見てきたように、各国において様々な特徴がみられることが明らかとなったが、それぞれの結果を総括していくと、国ごとに次のような特徴があり、また、問題が生じているとまとめられる。

- ・まず米国では、コミュニケーションや娯楽の手段として SNS が多々利用されており、SNS を通じての出会いおよび対面での交流にも積極的である。しかし、架空請求やアカウントの乗っ取り、誹謗中傷・無断投稿の被害などの件数が多い。この結果については、米国内でのオンラインハラスメントの被害件数が増加しているという過去の報告 (ADL center for technology & society、2023) とも合致するものと解釈される。

- ・一方中国では、家庭や学校でのルール導入が他国よりも厳格に進んでおり、トラブルの発生や心理面への影響は比較的少なかったようである。ただし、利用者である高校生自身が、SNS 利用がもたらす勉強・気分・健康・発達への悪影響を懸念するなど、長期的なスパンでの問題に不安を抱いたまま利用している可能性も示された。中国においてはかつてより、長期的な視点で将来を見据え対応しようとする志向性が強いことが示唆されてきたが (Hofstede、1991; Hofstede、

Hofstede、 & Minkov、 2010)、本調査の結果もそうした志向性の影響を推察させるものであるといえる。

・さらに韓国では、利用開始年齢が非常に早く、家庭や学校での制限がなく自由に機器を利用できている様子が推察される。その反面、孤独・怒り・集中困難という心理的影響、特に落ち込みという面で影響を受けやすいことが明らかとなった。

・これらに対し、日本の高校生の特徴としては、娯楽のための手段としてのみならず、情報収集および家族や友人とのコミュニケーションのための手段として SNS が利用され、トラブルおよび誹謗中傷に巻き込まれる件数も他国よりも低いという特徴がある。一方、被害経験時にはその悩みや苦しみに対し「無視する」という方向でばかり対処しようとする傾向が強いといえる。こうした対処は必ずしも有効に機能するとは限らず、場合によっては事態のエスカレートや、被害者自身の心理的苦痛を増大させてしまう危険性(藤・遠藤, 2016)も危惧される。

すなわちいずれの国も、それぞれに異なる形で SNS を利用し独自の特徴がみられる一方で、それぞれに固有の問題が生じているという面もあり、一概に「この国の利用方法が良い」とは言い切れない状況にあることが考えられる。ゆえに今後の適切かつ適正な SNS 利用のあり方を検討し、青少年への教育や介入に応用していく際には、国内の利用動向に目を向けるばかりでなく、諸外国の SNS の利用動向についても継続的に情報収集を行い、各国においてポジティブに機能している「グッド・プラクティス」を幅広くキャッチするとともに、それらを複合的に組み合わせながら日常の SNS 利用の中に取り入れていくことが重要であろうと考えられる。

引用文献

ADL center for technology & society(2023). Online hate and harassment: The American experience 2023. Retrieved from https://www.adl.org/sites/default/files/pdfs/2023-12/Online-Hate-and-Harassmen-2023_0_0.pdf

藤 桂・吉田富二雄(2014). ネットいじめ被害者における相談行動の抑制 教育心理学研究、62、50-63.

藤 桂・遠藤寛子(2016). ネットいじめ被害時における遮断的対処がもたらす短期的および長期的影響 メディア・情報・コミュニケーション研究、1、43-57.

Hofstede、 G. (1991). Cultures and organizations: Software of the mind. McGraw-Hill.

Hofstede、 G.、 Hofstede、 G. J.、 & Minkov、 M. (2010). Cultures and organizations: Software of the mind: Intercultural cooperation and its importance for survival (3rd ed.). McGraw-Hill.

国立国会図書館(2022). 日本及び諸外国における侮辱罪等の概要 調査と情報、1182、1-10.

文部科学省(2023). 令和 4 年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果 文部科学省 Retrieved from https://www.mext.go.jp/content/20231004-mxt_jidou01-100002753_1.pdf

総務省(2024). 令和 5 年度インターネット上の違法・有害情報対応相談業務等請負業務報告書(概要版) 総務省 総合通信基盤局電気通信事業部利用環境課 Retrieved from https://www.soumu.go.jp/main_content/000946765.pdf

鈴木佳苗・坂元 章・熊崎あゆち・桂 瑠以 (2013). インターネット使用といじめ・暴力の関係性に関する研究 安心ネットづくり促進協議会平成 22 年度共同研究報告書 Retrieved from http://www.good-net.jp/investigation/uploads/2013/10/30/20130128_1.pdf

考察 2

SNS の利用は百害あって一利なし？ —SNS の利用目的と SNS 依存、学習意欲の変化の関連—

千葉工業大学先進工学部教育センター准教授 遠藤 伸太郎
国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター客員研究員

背景

SNS (Social Networking Service) は、登録された利用者同士が交流できる Web サイトの会員制サービス (総務省, 2013) とされ、利用者が増加している。総務省 (2023) による通信利用動向調査 (世帯編) では、高校生を含む 13~19 歳のインターネットで SNS を利用する者の割合が 85.8% であること、過去 3 年と比較して最も割合が大きいことが報告されている。また、彼らの SNS の利用目的は、従来からの知人とのコミュニケーションのため、知りたいことについて情報を探するため、ひまつぶしのためというものが上位を占めていたことも報告されている。以上のことから、高校生のほとんどが SNS を利用している状況であるといえる。

多くの高校生にとって身近な存在である SNS であるが、国内外の先行研究では、SNS の長時間の利用による心身の健康・生活習慣への悪影響が報告されている。Riehm et al. (2019) は、米国の中高生を 3 年間にわたって、SNS を含めたソーシャルメディアの利用時間とメンタルヘルスの関連を検討した結果、利用していなかった者に比べて、6 時間以上のソーシャルメディアの利用はメンタルヘルスのリスクを 78% 高めること、3 時間以上 6 時間未満では 60%、30 分以上 3 時間未満では 37%、30 分未満でも 23% リスクが高まることを明らかにしている。佐野他 (2020) は、高校生の 3 時間以上の SNS を含めたソーシャルメディアの利用が、主観的な健康観に加え、生活習慣を乱すこと (例えば、3 食食事をとらない、運動習慣なし、就寝・起床時間の遅さ) を報告している。Scott et al. (2019) は、家庭環境や本人の肉体的・精神的な健康を考慮に入れたうえで対象者の睡眠習慣を分析したところ、入眠時刻の遅さに加えて、SNS を含めた長時間ソーシャルメディアを利用していた青少年は、平日午前 8 時以降に目が覚める傾向であることを明らかにしている。また、5 時間以上ソーシャルメディアを利用していた青少年は、夜中に目が覚めて、再度眠れないという中途覚醒の問題を抱える割合が高かったことも明らかにしている。

このような SNS の長時間の利用は依存という形で問題視されている (大野, 2019)。河井 (2012) は、先行研究を踏まえ、SNS の利用に対する中毒的症狀がでることと SNS 依存を定義している。先行研究では、SNS 依存に関連する要因として、SNS の利用目的や利用動機に着目した研究が行われている。橋元他 (2017) と橋元 (2018) は、中学生を対象とした調査から、依存と最も関係が深い利用目的は現実から逃れるためであり、次いでストレス解消であったことを報告している。また、大野 (2019) は SNS 利用動機尺度を作成し、SNS 依存との関連を検討した結果、SNS の利用目的の一つである逃避の動機 (日々の悩みや不安を忘れるため、ストレスや苦痛から逃れるためなど) は、SNS 依存と大きく関連しており、長期的に問題が継続することを示唆している。

以上のことから、高校生のほとんどが SNS を利用している状況において、SNS 依存は解決すべ

き問題であるといえる。しかしながら、SNS の利用にはメリットも存在する。高校生は含まれていないものの、総務省（2018）は SNS を含めたソーシャルメディア利用のメリットとして、「社会や経済等に関する最新のニュースや情報を得ることができた」、「趣味や身近な地域の話題など、自分が興味のある情報を得ることができた」のような情報収集をあげている。また、この結果は諸外国（アメリカ、ドイツ、イギリス）と比較して、日本の割合が少なかったことを報告している。SNS での情報収集の結果ではないものの、正しい情報や重要な情報を収集し、まとめたり、意思決定したりすることは、学業における興味・関心や課題への参加意欲を高めるというポジティブな効果をもたらす（嘉瀬他，2016；島本・石井，2006）。以上のことから、SNS の利用には依存のような問題と同時に、学習意欲を高める可能性があるものの、その点に関する検討はほとんどされていない。

そこで、特に近年問題視されている SNS 依存について、4 か国の比較をしつつ、関連する要因を検討した。また、SNS の利用によるポジティブな効果として、学習意欲の変化をとりあげ、同様に関連する要因を検討した。これらの分析をとおして、今後の有意義な SNS 利用について考察した。

方法

1. 分析対象者

日本の高校生 3,819 名（男性 1,870 名、女性 1,949 名）、米国の高校生 1,153 名（男性 561 名、女性 592 名）、中国の高校生 5,175 名（男性 2,613 名、女性 2,562 名）、韓国の高中生 1,169 名（男性 587 名、女性 582 名）のデータを利用した。欠損データはリストワイズ除去によって処理した。

2. 分析に利用した指標

SNS 依存

SNS を含めたスマートフォン依存、ネット依存に関する尺度は作成されているが、SNS に特化した尺度は少ない。海外では、Facebook への依存尺度（Andreassen & Pallesen, 2012）から、SNS に特化した尺度（Cuadrado et al., 2020）が作成されているものの、日本語に翻訳されたものはない。日本では、河井（2011）により SNS 依存尺度が作成されているが、信頼性と妥当性の検討が十分にされていない。本稿では先行研究を参考に、依存の 6 つの特徴を測定可能な尺度を作成し、分析に用いた¹⁾。

SNS 利用による学習意欲の変化

SNS 利用による学習意欲の変化について、5 段階（非常に減った、すこし減った、変わらない、少し増えた、非常に増えた）で回答したものを分析に用いた。

SNS の利用時間

平日の SNS 利用時間、休日の SNS 利用時間を分析に用いた（8：わからないという回答者は、分析から除外）。

SNS の利用目的

SNS を利用する目的について、各項目があてはまる (1)、あてはまらない (0) で回答したものを分析に用いた。

3. 分析方法

以下のような流れで分析を実施した。まず、1) 国 (日本、米国、中国、韓国) を独立変数、SNS 依存を従属変数、それに性別と学年を共変量とした共分散分析を行った。国の主効果が有意な場合は、Holm 法による多重比較の検定を実施した。次に、2) SNS 依存と学習意欲の変化に対して、どのような変数が関連するのかを検討した。具体的には、相関分析により SNS 依存、学習意欲の変化、SNS の利用時間、それに SNS の利用目的との関連を検討した。階層的重回帰分析では、Step 1 で統制変数として性別、学年、経済状況、学業成績 (学習意欲の変化の分析のみ使用)、それに SNS 利用開始時期を投入した。Step 2 で平日の SNS 利用時間、休日の SNS 利用時間を投入した。Step 3 で Cohen (1988) の基準を踏まえ、 $r < .10$ (効果量：小) 以上の有意に関連すると考えられる SNS の利用目的を投入した。以上の分析には、HAD18.002 (清水, 2016) を使用し、統計的有意水準は 5% に設定した。

結果

1. SNS 依存の国際比較

国による SNS 依存の違いを検討するため、国 (日本、米国、中国、韓国) を独立変数、SNS 依存を従属変数、それに性別と学年を共変量とした共分散分析を行った。分析の結果、国の有意な主効果が得られた [$F(3, 11310) = 49.27, p < .001, \eta^2_G = 0.01$]。国の主効果がみられたため、Holm 法による多重比較の検定を実施した結果、米国と韓国の違いを除き、国間に有意差がみられた ($ps < .001, ds = 0.08-0.32$)。具体的には米国、韓国、中国の順で SNS 依存が高く、日本が最も低かった (日本: Mean = 15.12, SE = 0.08; 米国: Mean = 16.79, SE = 0.15; 中国: 15.52, SE = 0.07; 韓国: Mean = 16.67, SE = 0.15)。しかしながら、効果量は小さかった。

2. 4 か国ごとの SNS 依存に関連する変数 (表 考察 2-1) ²⁾

SNS 依存に関連する変数を検討するため、相関分析をし、4 か国それぞれにおいて、有意かつ $r < .10$ 以上の変数を抽出した。その結果を踏まえ、階層的重回帰分析を実施した結果、最終的に以下のような結果が得られた。日本の場合、性別、学年、SNS 利用開始時期、平日の SNS 利用時間、休日の SNS 利用時間、SNS の利用目的として直接会ったことがない (ネット上の) 友達とのコミュニケーション、それにストレス解消が SNS 依存に対して有意な関連を示し、 R^2 と ΔR^2 も有意であった。米国の場合、性別、学年、平日の SNS 利用時間、休日の SNS 利用時間、SNS の利用目的として直接会ったことがない (ネット上の) 友達とのコミュニケーション、生活や暮らし (ファッションや美容、健康、料理など) に関する情報の収集、推し活 (自分が推しているアイドルや俳優、キャラクターなどを愛でたり応援したりする活動)、それにストレス解消が SNS 依存に対して有意な関連を示し、 R^2 と ΔR^2 も有意であった。中国の場合、性別、学年、SNS 利用開始時期、平日の SNS 利用時間、休日の SNS 利用時間、SNS の利用目的として直接会ったことがない (ネット上の) 友達

とのコミュニケーション、家族との連絡、勉強に関する情報収集、それにひまつぶしが SNS 依存に対して有意な関連を示し、 R^2 と ΔR^2 も有意であった。韓国の場合、性別、経済状況、SNS 利用開始時期、SNS の利用目的として直接会ったことがない（ネット上の）友達とのコミュニケーション、それに生活や暮らし（ファッションや美容、健康、料理など）に関する情報の収集が SNS 依存に対して有意な関連を示し、 R^2 と ΔR^2 も有意であった。

3. 4か国ごとの SNS による学習意欲の変化に関連する変数（表 考察 2-2）

同様に SNS による学習意欲の変化に関連する変数を検討するため、相関分析をし、4か国それぞれにおいて、有意かつ $r < .10$ 以上の変数を抽出した。その結果を踏まえ、階層的重回帰分析を実施した結果、最終的に以下のような結果が得られた。日本の場合、性別、学年、経済状況、学業成績、SNS 利用開始時期、休日の SNS 利用時間、SNS の利用目的として勉強に関する情報の収集、それにニュースや社会の出来事に関する情報の収集が学習意欲の変化に対して有意な関連を示し、 R^2 と ΔR^2 も有意であった。米国の場合、性別、学年、学業成績、SNS の利用目的として勉強に関する情報の収集、それにひまつぶしが学習意欲の変化に対して有意な関連を示し、 R^2 と ΔR^2 （Step 2を除く）も有意であった。中国の場合、性別、経済状況、学業成績、平日の SNS 利用時間、休日の SNS 利用時間、SNS の利用目的として勉強に関する情報の収集、ニュースや社会の出来事に関する情報の収集、ゲームや音楽などの娯楽、それにひまつぶしが学習意欲の変化に対して有意な関連を示し、 R^2 と ΔR^2 も有意であった。韓国の場合、性別、経済状況、SNS 利用開始時期、平日の SNS 利用時間、休日の SNS 利用時間、SNS の利用目的としてリアルな友達や知り合いとのコミュニケーション、直接会ったことがない（ネット上の）友達とのコミュニケーション、それに生活や暮らし（ファッションや美容、健康、料理など）に関する情報の収集が学習意欲の変化に対して有意な関連を示し、 R^2 と ΔR^2 も有意であった。

表考察 2-1 SNS 依存を従属変数とした階層的重回帰分析の結果

	β (Step 1)	β (Step 2)	β (Step 3)
性別	.11*** (0.07, 0.14)	.09*** (0.06, 0.12)	.08*** (0.04, 0.11)
	.15*** (0.09, 0.20)	.10*** (0.05, 0.16)	.07* (0.01, 0.13)
	-.07*** (-0.10, -0.05)	-.08*** (-0.10, -0.05)	-.06*** (-0.09, -0.04)
	.07* (0.02, 0.13)	.06* (0.004, 0.12)	.09** (0.03, 0.14)
学年	.03* (0.001, 0.06)	.05** (0.02, 0.08)	.06*** (0.03, 0.09)
	-.07* (-0.13, -0.02)	-.06* (-0.11, -0.01)	-.08** (-0.13, -0.02)
	.10*** (0.07, 0.13)	.08*** (0.05, 0.10)	.06*** (0.04, 0.09)
	.02 (-0.04, 0.08)	.02 (-0.04, 0.08)	.01 (-0.05, 0.06)
Step 1 経済状況	-.02 (-0.06, 0.01)	-.01 (-0.04, 0.02)	-.004 (-0.03, 0.03)
	-.07* (-0.13, -0.01)	-.05 (-0.10, 0.01)	-.03 (-0.09, 0.02)
	-.02 (-0.04, 0.01)	-.01 (-0.03, 0.02)	-.01 (-0.03, 0.02)
	.12*** (0.06, 0.18)	.14*** (0.08, 0.19)	.12*** (0.06, 0.17)
開始時期	-.14*** (-0.17, -0.11)	-.09*** (-0.17, -0.11)	-.07*** (-0.10, -0.04)
	-.11*** (-0.17, -0.05)	-.04 (-0.10, 0.01)	-.02 (-0.07, 0.04)
	-.15*** (-0.18, -0.13)	-.11*** (-0.14, -0.08)	-.09*** (-0.12, -0.06)
	-.21*** (-0.26, -0.15)	-.21*** (-0.26, -0.15)	-.17*** (-0.23, -0.12)
Step 2 平日の利用時間		.08** (0.03, 0.14)	.08** (0.03, 0.13)
		.15*** (0.07, 0.23)	.13** (0.05, 0.21)
		.13*** (0.10, 0.16)	.11*** (0.08, 0.14)
		.07 (-0.01, 0.15)	.07 (-0.01, 0.15)
Step 2 休日の利用時間		.17*** (0.12, 0.23)	.13*** (0.08, 0.18)
		.15*** (0.07, 0.24)	.09** (0.03, 0.15)
		.19*** (0.16, 0.22)	.16*** (0.13, 0.19)
		.01 (-0.07, 0.08)	.05 (-0.03, 0.12)
直接会ったことがない友達とのコミュニケーション		.08*** (0.05, 0.11)	.09** (0.03, 0.15)
			.10*** (0.07, 0.13)
			.21*** (0.16, 0.27)
			-
家族との連結			-
			-.08*** (-0.11, -0.06)
			-
			-
勉強に関する情報の収集			-
			-.11*** (-0.13, -0.08)
			-
			-
趣味や興味のある話題に関する情報の収集			-
			-.12*** (-0.18, -0.06)
			-
			-
Step 3 ニュースや社会の出来事に関する情報収集			.08* (0.01, 0.13)
			-
			-
			-
生活や暮らしに関する情報の収集			-
			-.10*** (-0.16, -0.04)
			-
			-
推し活			.07* (0.01, 0.12)
			-
			-
			-
ストレス解消			.22*** (0.19, 0.25)
			.15*** (0.09, 0.20)
			-
			-
ひまつぶし			-
			.05*** (0.02, 0.08)
			-
			-
R^2	.03***	.09***	.15***
	.05***	.12***	.17***
	.04***	.11***	.14***
	.06***	.07***	.15***
ΔR^2		.06***	.06***
		.07***	.05***
		.07***	.03***
		.01*	.08***

数値は、上から日本、米国、中国、韓国を示す

* $p < .05$, ** $p < .01$, *** $p < .001$ -は、 $r > .10$ 以上でなかったため変数を投入していない、または有意な関連がみられなかったことを示す²⁾。

表考察 2-2 学習意欲の変化を従属変数とした階層的重回帰分析の結果

	β (Step 1)	β (Step 2)	β (Step 3)
性別	-.07*** (-0.11, -0.04)	-.07*** (-0.10, -0.04)	-.07*** (-0.10, -0.04)
	-.15*** (-0.21, -0.09)	-.15*** (-0.21, -0.09)	-.15*** (-0.21, -0.09)
	-.06*** (-0.09, -0.04)	-.05*** (-0.08, -0.02)	-.06*** (-0.09, -0.04)
	-.07* (-0.13, -0.01)	-.07* (-0.13, -0.01)	-.10*** (-0.15, -0.04)
学年	.07*** (0.04, 0.10)	.06*** (0.03, 0.09)	.05** (0.02, 0.08)
	.13*** (-0.18, -0.07)	.13*** (-0.18, -0.07)	.12*** (-0.18, -0.06)
	-.04** (-0.07, -0.01)	-.03* (-0.06, -0.002)	-.02 (-0.05, 0.003)
	-.06* (-0.12, -0.01)	-.06* (-0.12, -0.01)	-.05 (-0.11, 0.004)
Step 1 経済状況	.04*** (0.01, 0.07)	.04* (0.01, 0.07)	.04** (0.01, 0.07)
	-.03 (-0.09, 0.02)	-.04 (-0.09, 0.02)	-.03 (-0.08, 0.03)
	.11*** (0.01, 0.07)	.10*** (0.07, 0.13)	.10*** (0.07, 0.12)
	.08* (0.02, 0.14)	.08* (0.02, 0.14)	.09** (0.03, 0.15)
成績	-.16*** (-0.19, -0.12)	-.14*** (-0.17, -0.11)	-.13*** (-0.16, -0.10)
	-.16*** (-0.22, -0.10)	-.16*** (-0.22, -0.10)	-.16*** (-0.22, -0.10)
	-.10*** (-0.13, -0.07)	-.09*** (-0.12, -0.07)	-.08*** (-0.11, -0.05)
	-.004 (-0.06, 0.05)	.003 (-0.06, 0.06)	.003 (-0.06, 0.06)
開始時期	-.01 (-0.04, 0.01)	-.03* (-0.07, -0.001)	-.02 (-0.05, 0.01)
	-.01 (-0.07, 0.04)	-.02 (-0.07, 0.04)	-.01 (-0.07, 0.04)
	.01 (-0.02, 0.03)	-.01 (-0.04, 0.01)	-.03 (-0.05, 0.001)
	-.16*** (-0.22, -0.10)	-.17*** (-0.23, -0.11)	-.15*** (-0.21, -0.09)
Step 2 平日の利用時間	-	-.02 (-0.07, 0.04)	.01 (-0.05, 0.06)
	-	.02 (-0.07, 0.10)	.02 (-0.07, 0.10)
	-	.09*** (0.06, 0.12)	.09*** (0.06, 0.12)
	-	.14*** (0.06, 0.11)	.10** (0.03, 0.19)
Step 2 休日の利用時間	-	-.09** (-0.15, -0.04)	-.11*** (-0.16, -0.05)
	-	-.03 (-0.11, 0.06)	-.01 (-0.10, 0.07)
	-	-.19*** (-0.22, -0.16)	-.15*** (-0.18, -0.11)
	-	-.19*** (-0.27, -0.12)	-.19*** (-0.27, -0.12)
リアルな友達や知り合いとのコミュニケーション	-	-	-
	-	-	-
	-	-	.08** (0.03, 0.14)
	-	-	-
直接会ったことか近い友達とのコミュニケーション	-	-	-
	-	-	.06* (0.01, 0.12)
	-	-	.14*** (0.11, 0.17)
	-	-	.12*** (0.07, 0.18)
Step 3 勉強に関する情報の収集	-	-	.11*** (0.08, 0.13)
	-	-	-
	-	-	.06** (0.03, 0.09)
	-	-	.08*** (0.06, 0.11)
Step 3 ニュースや社会の出来事に関する情報収集	-	-	-
	-	-	-
	-	-	-
	-	-	.17*** (0.12, 0.23)
Step 3 生活や暮らしに関する情報収集	-	-	-
	-	-	-
	-	-	-
	-	-	-
Step 3 ゲームや音楽などの娯楽	-	-	-
	-	-	-.07*** (-0.10, -0.05)
	-	-	-
	-	-	-
Step 3 ひまつぶし	-	-	-
	-	-	-.15*** (-0.20, -0.09)
	-	-	-.05** (-0.07, -0.02)
	-	-	-
R^2	.04***	.06***	.08***
	.06***	.06***	.09***
	.03***	.06***	.08***
	.04***	.06***	.10***
ΔR^2	-	.01***	.03***
	-	.00	.03***
	-	.03***	.02***
	-	.02***	.04***

数値は、上から日本、米国、中国、韓国を示す

* $p < .05$, ** $p < .01$, *** $p < .001$

-は、 $r > .10$ 以上でなかったため変数を投入していないことを示す。

考察

1. 国による SNS 依存の違い

多くの高校生にとって身近な存在である SNS であるが、国内外の先行研究において、SNS 依存の問題が指摘されている。本稿では、SNS 依存を測定する尺度を作成し、4 か国で比較した結果、米国、韓国、中国の順で SNS 依存が高く、日本が最も低いという結果が得られた。効果量を踏まえた分析結果を踏まえると、どの国も理論的中央値である 15 点を超えていること、国別の比較をした際の効果量が小さいことから、国に関係なく、高校生において SNS 依存の問題を抱えていることが示唆された。

2. SNS 依存に関連する要因

橋元他（2017）と橋元（2018）は、中学生を対象とした調査から、SNS 依存と最も関係が深い利用目的は現実から逃れるためであり、次いでストレス解消であったことを報告している。また、大野（2019）は SNS 利用動機尺度を作成し、SNS 依存との関連を検討した結果、SNS の利用目的の一つである逃避の動機（日々の悩みや不安を忘れるため、ストレスや苦痛から逃れるためなど）は、SNS 依存と強く関連しており、長期的に問題が継続することを示唆している。分析の結果、日本と米国はストレス解消が SNS 依存と正の関連を有し、もっとも標準偏回帰係数が大きかった。したがって、日本と米国の結果は先行研究の結果を支持すると考えられ、ストレス解消のような逃避を目的とした SNS の利用は、依存の程度を高めることが示唆された。一方、中国と韓国は、日本と米国とは結果が異なった。SNS は個人に関する情報を不特定多数の者とやり取りすることが可能であり、SNS 依存者は、人間関係に負担を感じていることが報告されている（河井，2011）。また、SNS の一つである Facebook 利用者を対象とした調査で、他者からの承認に基づく自己価値が Facebook への依存や過剰な利用と正の関連を示すことが報告されている（Kanat-Maymon et al., 2018）。分析の結果、中国と韓国は直接会ったことがない（ネット上の）友達とのコミュニケーションが SNS 依存と正の関連を有し、もっとも標準偏回帰係数が大きかった。したがって、中国と韓国の分析対象者は、SNS を通じた不特定多数の者に対して承認を求めていること、それによる負担を感じているため、SNS 依存と正の関連がみられたと考えられる。加えて、直接会ったことがない（ネット上の）友達とのコミュニケーションは、日本と米国においても有意な正の関連がみられた。そのため、ネット上の友達とのコミュニケーションは国に限らず、注意すべき変数であると考えられる。

3. 学習意欲の変化に関連する要因

総務省（2018）は SNS を含めたソーシャルメディア利用のメリットとして、「社会や経済等に関する最新のニュースや情報を得ることができた」、「趣味や身近な地域の話など、自分が興味のある情報を得ることができた」のような情報収集をメリットとしてあげている。また、SNS での情報収集に限定した結果ではないものの、正しい情報や重要な情報を収集し、まとめたり、意思決定したりすることは、学業における興味・関心や課題への参加意欲を高めるという効果をもたらす（嘉瀬他，2016；島本・石井，2006）。分析の結果、韓国を除いた 3 か国において、勉強に関する情報の収集と学習意欲の変化に正の関連がみられた。韓国は、勉強に関する情報収集とは関連

がみられなかったものの、生活や暮らしに関する情報収集と有意な正の関連がみられた。したがって、本稿における分析の結果は、先行研究の報告を支持するものと考えられ、SNS を利用する目的が勉強、生活や暮らしに関する情報収集の場合、学習意欲を高めることが示唆された。しかしながら、平日または休日の SNS 利用時間の長さは、学習意欲の変化と負の関連を有していたため、その点は注意が必要であるといえる。

4. SNS 依存を低減し、学習意欲を高める方策

分析の結果、ストレス解消や直接会ったことがない（ネット上の）友達とのコミュニケーションを目的とした場合、依存を高めることが示唆された。一方、勉強や暮らしに関する情報収集を目的とした場合、学習意欲を高めることも示唆された。したがって、SNS の利用には、依存というようなネガティブな側面があるものの、学習意欲の向上というポジティブな側面があると考えられる。

SNS 依存を低減する方策の一つとして、行動療法において用いられる利用を断つ（代替行動）というものがある。先行研究（Lambert et al., 2022）では、SNS を週平均 8 時間利用していた成人がすべての SNS の利用を 1 週間可能な限りやめた場合、その利用時間が平均 21 分に減っただけでなく、実験前の基準スコアや年齢、性別を考慮したうえでも不安や抑うつ症状が有意に改善し、主観的幸福度が有意に増加したことを報告している。また、SNS の利用時間を減らすだけでも上記の効果はみられたが、完全な SNS 断ちに成功した成人はもっとも大きな効果が得られたことが示されている。したがって、SNS 依存を低減するためには、上記のようなアプローチが必要であると考えられる。しかしながら、行動療法における代替行動は、問題となる行動が減ったところで社会的に望ましい行動が増えるかは不明であること、SNS 利用を断つ（消去）という手続きは、望ましくない結果を提示するため、手続きそのものに対して嫌悪感情を持たせてしまう可能性がある（横光他, 2022）。そのため近年、上記のアプローチに加えて行動分析学における代替行動が注目されている。ここでの代替行動は、同じ機能が期待できる、より受け入れられる行動を増やすことであり、望ましい行動を呈示するため、よりポジティブな効果が期待できるとされている（横光他, 2022）。望ましい行動は個人により異なる可能性があるが、その一つとして体験活動（例えば、自然体験活動や読書活動）の有効性が考えられる。実際、先行研究では、自然体験活動や読書活動の心身へのポジティブな効果が明らかにされている（Rizzolo et al., 2009; White et al., 2019）。加えて、自然体験活動や読書活動は、学習意欲の向上とも関連することが報告されている（国立教育政策研究所, 2002; 国立青少年教育振興機構, 2013）。本稿では、情報収集を目的とした SNS の利用が、学習意欲の向上にかかわることを示唆している。そのため、体験活動をしつつ、情報収集を目的とした SNS の利用をすることは、高校生の SNS 依存を低減することに加え、学習意欲を大きく高めることが予想される。しかしながら、その点の検討は十分にされていないため、今後の課題であるといえる。

結論

本稿における分析の結果、SNS 依存は、国に関係なく多くの高校生が抱えている問題であることが示唆された。SNS 依存と関連する要因を分析した結果、ストレス解消のような逃避、直接会った

ことがない（ネット上の）友達とのコミュニケーションが正の関連を有しており、注意する必要があることが示唆された。また、学習意欲の変化に関連する要因を検討した結果、利用時間に注意する必要があるものの、利用する目的の勉強、生活や暮らしに関する情報収集が正の関連を有しており、ポジティブな側面も存在することが明らかとなった。関連する要因には、国による違いがみられたため、今後はその点を踏まえつつ、体験活動との関連などを検討し、より効果的な SNS の利用を明らかにする必要がある。

- 1) 依存の 6 つの特徴は、以下のとおりである。突出：特定の行動がその人の生活の中で最も重要な行動になり、その人の思考（先入観と認知の歪み）、感情（欲求）及び行動（行動の悪化）に支配される時を指す。気分変容：特定の行動後に感じる主観的な経験を指す。例えば、「わくわく」や「ハイテンション」、「逃避」、「鈍麻」を体験することを指す。耐性：気分変容を感じるため、特定の行動の量を増やすプロセスを指す。離脱症状：特定の行動を突然中断した時に生じる不快感や身体的変化を指す。葛藤：特定の行動をしている当事者とその周囲の人との対人的な葛藤または当事者自身の内的葛藤を指す。再燃：特定の行動前の状態に戻っても、すぐにまた特定の行動を行う状態に戻ることを指す。作成された SNS 依存を測定する尺度について、確認的因子分析と信頼性を検討した結果、以下のような結果が得られた。確認的因子分析の結果、4 か国のモデル適合度は CFI = .90-.94, SRMR = .04-.06 あり、許容可能な結果であった。信頼性を検討した結果、 $\alpha = .78-.91$, $\omega = .78-.91$ であり許容可能な結果が得られた。以上の結果から、本稿で作成した SNS 依存を測定する尺度は、分析に使用可能であると考えられた。
- 2) 相関分析により、 $r > .10$ 以上であったものの、階層的重回帰分析の結果、有意な関連がみられなかった変数の結果は、以下のとおりである。日本：ニュースや社会の出来事に関する情報収集 [$\beta = .01 (-0.02, 0.05)$]、推し活 [$\beta = .02 (-0.01, 0.06)$]、ひまつぶし [$\beta = -.003 (-0.03, 0.03)$]。米国：家族との連絡 [$\beta = .02 (-0.04, 0.08)$]、勉強に関する情報の収集 [$\beta = .001 (-0.06, 0.06)$]、ゲームや音楽などの娯楽 [$\beta = -.03 (0.01, 0.03)$]、自分の考えや作品などの発信 [$\beta = -.04 (-0.02, 0.10)$]、ひまつぶし [$\beta = .01 (-0.05, 0.07)$]。中国・韓国：関連のみられなかった変数なし。

謝辞

SNS 依存尺度の作成にあたり、砂井紫里准教授（千葉工業大学社会システム科学部教育センター）、中村達助教（千葉工業大学未来変革科学部教育センター）よりご指導賜りました。この場を借りて御礼申し上げます。

引用文献

Andreassen, C. S., & Pallesen, S. (2013). Facebook addiction: A reply to Griffiths (2012). *Psychological reports*, 113(3), 899-902. <https://doi.org/10.2466/02.09.PR0.113x32z6>

113x32z6

- Cohen, J. (1988). *Statistical Power Analysis for the Behavioral Sciences* (2nd ed.). Hillsdale, NJ: Lawrence Erlbaum Associates, Publishers.
- Cuadrado, E., Rojas, R., & Tabernerero, C. (2020). Development and Validation of the Social Network Addiction Scale (SNAddS-6S). *European journal of investigation in health, psychology and education*, *10*(3), 763-778. <https://doi.org/10.3390/ejihpe10030056>
- 橋元 良明(2018). ネット依存の現状と課題—SNS 依存を中心として— ストレス科学研究, *33*, 10-14. <https://doi.org/10.5058/stresskagakukenkkyu.2018005>
- 橋元 良明・大野 志郎・天野 美穂子・堀川 裕介(2017). 横浜市中学生ネット依存調査 東京大学大学院情報学環情報学研究・調査研究編, *33*, 159-220.
- Kanat-Maymon, Y., Almog, L., Cohen, R., & AmichaiHamburger, Y. (2018). Contingent self-worth and Facebook addiction. *Computers in Human Behavior*, *88*, 227-235. <https://doi.org/10.1016/j.chb.2018.07.011>
- 嘉瀬 貴祥・飯村 周平・坂内 くらら・大石 和男(2016). 青年・成人用ライフスキル尺度(LSSAA)の作成 心理学研究, *87*(5), 546-555. <https://doi.org/10.4992/jjpsy.87.15229>
- 河井 大介(2012). SNS 依存者の生活習慣的影響と利用機能の分析—2010 年 A 社 SNS 調査結果より 社会情報学研究, *16*(2), 157-170.
- 河井 大介・天野 美穂子・小笠原 盛浩・橋元 良明・小室 広佐子・大野 志郎・堀川 裕介(2011). SNS 依存と SNS 利用実態とその影響 日本社会情報学会全国大会研究発表論文集, *26*, 265-270.
- 国立教育政策研究所(2002). 平成 14 年文部科学省委託研究 学習意欲に関する調査研究
- 国立青少年教育振興機構(2013). 子どもの読書活動の実態とその影響・効果に関する調査研究
- Lambert, J., Barnstable, G., Minter, E., Cooper, J., & McEwan, D. (2022). Taking a One-Week Break from Social Media Improves Well-Being, Depression, and Anxiety: A Randomized Controlled Trial. *Cyberpsychology, behavior and social networking*, *25*(5), 287-293. <https://doi.org/10.1089/cyber.2021.0324>
- 大野 志郎(2019). SNS 依存および諸問題と利用動機との関係 情報教育ジャーナル, *2*(1), 10-17. https://doi.org/10.24711/jite.2.1_10
- Riehm, K. E., Feder, K. A., Tormohlen, K. N., Crum, R. M., Young, A. S., Green, K. M., Pacek, L. R., La Flair, L. N., & Mojtabai, R. (2019). Associations Between Time Spent Using Social Media and Internalizing and Externalizing Problems Among US Youth. *JAMA psychiatry*, *76*(12), 1266-1273. <https://doi.org/10.1001/jamapsychiatry.2019.2325>
- Rizzolo, D., Pinto, Z., G., Doreen, S., & Susan, S. (2009). Stress management strategies for students: The immediate effects of Yoga, Humor, and Reading on stress. *Journal of College Teaching & Learning*, *6*(8), 79-88. <https://doi.org/10.19030/tlc.v6i8.1117>
- 佐野 碧・岩佐 一・中山 千尋・森山 信彰・勝山 邦子・安村 誠司(2020). 中学生・高校生におけるメディア利用と生活習慣の関連 日本公衆衛生雑誌, *67*(6), 380-389. https://doi.org/10.11236/jph.67.6_380
- Scott, H., Biello, S. M., & Woods, H. C. (2019). Social media use and adolescent sleep patterns: cross-sectional findings from the UK millennium cohort study. *BMJ open*, *9*(9), e031161.

<https://doi.org/10.1136/bmjopen-2019-031161>

島本 好平・石井 源信(2006). 大学生における日常生活スキル尺度の開発 教育心理学研究, 54(2), 211-221. <https://doi.org/10.5926/jjep1953.54.2.211>

清水裕士 (2016). フリーの統計分析ソフト HAD:機能の紹介と統計学習・教育, 研究実践における利用方法の提案 メディア・情報・コミュニケーション研究, 1, 59-73.

総務省(2023). 令和4年通信利用動向調査報告書(世帯偏)

総務省(2018). 平成30年版 情報通信白書

総務省(2013). 国民のための情報セキュリティサイト—SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の仕組み—

White, M. P., Alcock, I., Grellier, J., Wheeler, B. W., Hartig, T., Warber, S. L., Bone, A., Depledge, M. H., & Fleming, L. E. (2019). Spending at least 120 minutes a week in nature is associated with good health and wellbeing. *Scientific reports*, 9(1), 7730. <https://doi.org/10.1038/s41598-019-44097-3>

横光 健吾・入江 智也・田中 恒彦(2022). 代替行動の臨床実践ガイド—「ついやってしまう」「やめられない」の〈やり方〉を変えるカウンセリング 北大路書房

考察3

SNS 上の経験とさまざまな適応指標との関連

—生活・運動習慣と対人関係、自己特性に注目して—

国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター研究員 矢野康介

1. 背景と目的

近年、スマートフォンならびにソーシャルネットワーキングサービス（以下、「SNS」と略記）の普及率が高まっており、2023年には、日本国内のSNS利用者はおよそ1億580万人にもものぼることが報告されている¹⁾。高校生をはじめとする青年においても同様の傾向が確認されており、スマートフォンの所有率は98.1%²⁾、SNSの利用率は96.8%にもものぼるといふ（図1-1）。このようなスマートフォンならびにSNSの普及率向上に伴い、その利用状況が青年の発達や適応とどのように関連するのか、という観点に立脚した調査研究が盛んに行われるようになってきた。

1.1. スマートフォンやSNSの利用と関連する適応指標

1.1.1. 生活習慣

生活習慣との関連については、食事、運動、睡眠などの健康関連行動に注目した研究が見受けられる。福島県の中高生1,589名を対象とした調査³⁾では、スマートフォンに加え、テレビやパソコンも含めた「メディア利用時間」を用いて、食生活、運動習慣、起床・就寝時刻などとの関連を検討した。その結果、メディア利用時間が3時間以上の場合、朝食の欠食や肥満、運動習慣のなさ、不規則な就寝起床時間などといった不健康関連行動をとりやすいことが示された。また、井上ほか⁴⁾では、スマートフォンの使用場面数（例えば、朝起きたとき、寝る前など）に注目した分析を行ったところ、使用場面数が多い群ほど朝食の欠食が多く、使用場面数が少ない群ほど、食事時間が不規則になりにくいことが示唆された。

1.1.2. 対人関係

青年における発達や適応の促進にとって、対人関係、特に養育者をはじめとする周囲の大人や友人との関係性が重要な役割を果たすことが知られている⁵⁾。先行研究を概観すると、メディア（スマートフォン、SNS含む）の利用状況が、これらの対人関係に影響を及ぼす可能性があることを示す知見が散見される。例えば、高校生用のインターネット依存尺度を開発した研究⁶⁾では、「長時間利用」因子と「対面コミュニケーション不安」因子を抽出し、両者が相互に関連することを指摘している。6ヶ月の期間を置いた縦断的データを分析した河井⁷⁾は、1時点目でのSNS閲覧頻度が2時点目における孤独感の高さを、1時点目でのSNS投稿頻度が2時点目の友人関係満足度の低さを、それぞれ予測することを報告している。また、放課後や休日の過ごし方の希望について調査を行った国立青少年教育振興機構²⁾によると、「インターネットで動画やSNSを見たり、投稿したりする」を選択した青少年は58.1%であったのに対して、子供にこのような活動をしてほしいと回答した保護者は5.0%に留まっていた。

このような知見に鑑みると、長時間あるいは高頻度での SNS 利用は、リアルな場面での友人や養育者との関係に対してネガティブな影響をもたらすかもしれない。

1.1.3. 自己特性

自己特性に関する研究では、メディア（スマートフォン、SNS 含む）の利用状況を説明変数として扱っている研究（メディア利用→自己特性という方向性）と、目的変数として扱っている研究（自己特性→メディア利用という方向性）が見受けられる。例えば前者では、SNS 利用と自尊感情との関連についての系統のおよびメタ分析的レビューにおいて、SNS 利用が自尊感情の低下を招く可能性が示されている⁸⁾。加えて、メディアを長時間または高頻度で利用することは、主観的な健康観の低さ³⁾、自由時間の過ごし方における不満足感²⁾、道徳観・正義感の低さ、自立的行動習慣の少なさ⁹⁾と関連を持つという。後者については、横断的なデータを用いて、公的自己意識（自分の外見などの外面的な側面に注意を向けやすい傾向）や私的自己意識（感情や動機など自分自身の内面的な側面に注意を向けやすい傾向）が、スマートフォン依存の傾向と関連することが示唆されている¹⁰⁾。ただし、横断的データの分析に留まっていることや、前述したような「メディア利用→自己特性」という関連の方向性を仮定した知見があることを踏まえると、「自己特性→メディア利用」という関連性を明確に支持できるほどの十分なエビデンスの蓄積があるとは言い難い。

以上のような関連の方向性に関する議論の余地は残されているものの、メディア利用と自己特性に関連する各指標との間には、一定の関連が認められるものと考えられる。

1.2. 本稿の目的

ここまで述べてきたように、多くの先行研究では、スマートフォンや SNS を含むメディアの利用状況が、青年の発達や適応とネガティブな関連を有することが明らかにされてきた。ただし、その大半は、メディアの利用時間・頻度といった「量」的な側面に注目しており、メディアをどのように使うのか、あるいはメディア上で具体的にどのような経験をしているのか、という「質」的な側面を捉えたうえでの研究はほとんど見当たらないのが現状である。

そこで本稿では、以下の2点を目的として設定した。第一に、SNS 上の経験内容（図 1-6～1-11）に注目し、生活習慣（図 6-4～6-8）、運動習慣（図 6-9）、対人関係（図 2-4、5-2）、自己特性（図 6-1）といった、高校生の発達や適応に関する各指標との関連について、追加分析を行う。第二に、分析結果の他国との比較を踏まえつつ、日本の高校生の特徴について考察する。

2. 方法

2.1. 調査対象者

調査対象者は、日本が 4356 名（男性 48.6%、女性 48.7%、その他・無回答 2.6%）、米国が 1512 名（男性 46.0%、女性 50.7%、その他・無回答 3.4%）、中国が 7750 名（男性 50.5%、女性 49.5%）、韓国が 1508 名（男性 49.5%、女性 50.5%）であった。調査の方法や手続きについては、本報告書 p. 3 を参照されたい。

2.2. 分析に使用した項目

2.2.1. 生活・運動習慣

生活習慣に関する指標には問3の5項目を、運動習慣に関する指標には問4の1項目を、それぞれ使用した。問3では、「就寝時間が遅くなること」、「起床時間が遅くなること」といった睡眠に関する項目、「朝食を食べないこと」、「食事の時間が不規則であること」といった食習慣に関する項目、「休日に出かけて活動（運動やスポーツ、ショッピング、遊びなど）をしないこと」といった身体活動¹に関する項目のそれぞれについて、ふだんの生活で経験する頻度が3件法で評価された。本稿では、日本サンプルにおける各項目の分布（図6-3～6-7）を考慮し、「1. よくある」と「2. たまにある」を「ある」（1を付与）として扱い、「3. ほとんどない」（0を付与）との2件法に変換したうえで分析に用いた。

問4では、体育の授業以外で運動している頻度が4件法で評価された。先行研究³⁾における分類を参考とし、「1. ほとんど毎日している」と「2. 1週間に3～4日している」を「運動習慣あり」（1を付与）、「3. 1週間に1～2日している」と「4. ほとんどしていない」を「運動習慣なし」（0を付与）の2件法に変換したうえで分析に用いた。

2.2.2. 対人関係

対人関係の指標には問5および8の2項目を使用した。問5では、親（保護者）との関係に満足している程度が4件法で評価された。本稿では、各選択肢の内容を考慮し、「1. 非常に満足している」と「2. まあ満足している」を「満足」（1を付与）、「3. あまり満足していない」と「4. 満足していない」を「不満」の2件法に変換したうえで分析に用いた。

問8では、友人との関係に満足している程度が4件法で評価された。上記と同様に、「1. 非常に満足している」と「2. まあ満足している」を「満足」（1を付与）、「3. あまり満足していない」と「4. 満足していない」を「不満」（0を付与）の2件法に変換したうえで分析に用いた。

2.2.3. 自己特性

回答者自身についての特性に関する指標には、問10の9項目を使用した。具体的には、「自分には友達がたくさんいる（インターネット上のみの友達を除く）」、「いまの自分が好きだ」、「自分はダメな人間だと思う」、「注目される人間になりたい」、「人からほめられることを望んでいる」、「ストレスを感じやすい」、「将来に対し、はっきりした目標をもっている」、「自分のことは自分で決められる」、「他人の意見に影響されやすい」の各項目にあてはまる程度が、4件法で評価された。本稿では、各選択肢の内容を考慮し、「1. とてもそう思う」と「2. まあそう思う」を「思う」（1を付与）、「3. あまりそう思わない」と「4. 全くそう思わない」を「思わない」（0を付与）の2件法に変換したうえで分析に用いた。

2.2.6. SNS 上での経験

SNS 上での経験に関する指標として、問24の6項目を使用した。「オンラインゲームをするこ

¹ 本稿では、「健康づくりのための身体活動基準2013」¹⁾を参考に、体力やスポーツ技能の向上を目的として計画的に実施されるものを「運動」、運動だけでなく、日常生活における家事や通学も含めた生活動作全般のことを「身体活動」として扱った。

と」、「投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること」、「匿名で投稿すること」、「投げ銭をすること（オンラインのライブ配信者に対して視聴者がお金を送付すること）」、「1つのSNSに複数のアカウントを使い分けること」、「友達にプレゼントやお金を送ること」といった各経験の頻度について、「1. よくしている」、「2. ときどきしている」、「3. あまりしていない」、「4. していない」の4件法で評価された。

2.3. 分析手続き

本稿の目的は、(1)生活習慣、運動習慣、対人関係、自己特性といった高校生の適応に関する指標に対して、SNS上での各経験がどのような関連を持つのかについて検討し、(2)他国との比較を通じて、日本の高校生における特徴を明らかにすることである。これらの目的を踏まえ、本稿では、以上の各指標のいずれかを目的変数とした、ロジスティック回帰分析を実施した。ロジスティック回帰分析では、二値分布（0/1のように二つの値のみで構成されるデータ）で表現される目的変数について、特定の事象の発生確率（多くの場合では、目的変数の値が「1」を取る確率）に対する説明変数の関連の強さを推定できる。分析結果の解釈は、「3.1. 生活・運動習慣に対するSNS上の各経験の関連」の項を参照されたい。

いずれの分析モデルにおいても、性別²（0＝その他、1＝男性）、主観的経済状況（1＝裕福なほう、2＝わりと裕福なほう、3＝どちらともいえない、4＝わりと厳しいほう、5＝厳しいほう）、学業成績（1＝上、2＝中の上、3＝中、4＝中の下、5＝下）の効果を統制するため、これらを説明変数として用いた。なお、日本と他国との特徴の比較という目的を踏まえ、日本以外の3か国のデータを統合し、日本および他国のそれぞれで分析を行った。

データの分析には、Mplus8.3¹²⁾を使用し、有意水準は5%に設定した。欠損値処理には、ペアワイズ除去を用いた

3. 結果

3.1. 生活・運動習慣に対するSNS上の各経験の関連

生活習慣に関する項目のうち、「就寝時間が遅くなること」（0＝ほとんどない、1＝ある）を目的変数に設定した、ロジスティック回帰分析を行った（表考察3-1）。表考察3-1には、目的変数に対する各説明変数のオッズ比とその95%信頼区間、および有意性検定の結果（*p*値）を、国ごとに示した。オッズ比が1よりも大きい値を示した場合に、目的変数における特定の事象が起こりやすく（表考察3-1の場合、「就寝時間が遅くなること」という設問に「ある」と回答する割合が大きくなりやすい）、1よりも小さい値を示した場合にその事象が起こりにくいことを意味する。例えば、日本の「学業成績」におけるオッズ比＝1.13は、対象者の平均的な傾向として、学業成績の得点が1大きくなると、「就寝時間が遅くなる」という設問に「ある」と回答する確率が1.13倍高くなることを意味する。つまり、表考察3-1の結果に基づくと、学業成績が「上」（＝1）→「中の上」（＝2）→・・・「下」（＝5）と低下していくにつれ、「就寝時間が遅くなる」回答者の

² 本調査においては、国ごとに性別の回答形式が異なる（日本および米国：4件法／中国および韓国：2件法）。本稿での統制変数という位置づけも踏まえ、便宜的に男性を1、その他を0にコーディングし、ダミー変数化したうえで分析に投入した。

割合は少なくなることが示唆される。

同様の手順で、SNS 上の各経験（1 = 「よくしている」…4 = 「していない」）と目的変数の関連について結果を解釈すると、日本では、オンラインゲームをすること、1つの SNS において複数アカウントを使い分けることが、「就寝時間が遅くなること」と有意に関連していた。他国では、これら2つの経験内容に加えて、投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること、投げ銭をしないこと、友達にプレゼントやお金を送ることが、有意な関連を有していた。疑似決定係数は、日本で McFadden's $R^2 = .044$ 、他国で McFadden's $R^2 = .043$ を示した。

表考察 3-1. 「就寝時間が遅くなること」に対する SNS 上の各経験の関連

	日本 ($n = 4231$)		他国 ($n = 9927$)	
	オッズ比 [95%CI]	p	オッズ比 [95%CI]	p
性別	0.52 [0.39, 0.70]	<.001	0.60 [0.53, 0.68]	<.001
主観的経済状況	1.16 [1.01, 1.34]	.04	1.28 [1.18, 1.39]	<.001
学業成績	1.13 [1.03, 1.25]	.01	1.02 [0.96, 1.08]	.51
SNS 上での各経験				
オンラインゲームをすること	0.85 [0.75, 0.95]	.004	0.71 [0.66, 0.75]	<.001
投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること	1.04 [0.90, 1.21]	.58	0.91 [0.85, 0.97]	.004
匿名で投稿すること	0.84 [0.71, 1.00]	.49	0.95 [0.86, 1.03]	.21
投げ銭をすること(オンラインのライブ配信者に対して視聴者がお金を送付すること)	1.00 [0.71, 1.42]	.98	1.25 [1.12, 1.39]	<.001
1つの SNS に複数のアカウントを使い分けること	0.75 [0.66, 0.84]	<.001	0.84 [0.78, 0.91]	<.001
友達にプレゼントやお金を送ること	1.00 [0.85, 1.18]	.97	0.90 [0.83, 0.96]	.002
	McFadden's R^2	.044	.043	

Notes. 就寝時間が遅くなること:0=ほとんどない、1=ある;性別:0=その他、1=男性;主観的経済状況:1=裕福なほう、2=わりと裕福なほう、3=どちらともいえない、4=わりと厳しいほう、5=厳しいほう;学業成績:1=上、2=中の上、3=中、4=中の下、5=下;SNS 上での各経験:1=よくしている、2=ときどきしている、3=あまりしていない4=していない

「SNS 上での各経験」について、目的変数に対して有意な関連を示したオッズ比は、太字で示している。

「起床時間が遅くなること」(0 = ほとんどない、1 = ある) に注目すると、日本では、1つの SNS において複数アカウントを使い分けることが、他国ではそれに加えて、オンラインゲームをすること、匿名で投稿すること、投げ銭をすることが、それぞれ有意な関連を有していた(表考察 3-2)。疑似決定係数は、日本で McFadden's $R^2 = .018$ 、他国で McFadden's $R^2 = .025$ を示した。

表考察 3-2. 「起床時間が遅くなること」に対する SNS 上の各経験の関連

	日本 ($n = 4231$)		他国 ($n = 9927$)	
	オッズ比 [95%CI]	p	オッズ比 [95%CI]	p
性別	0.66 [0.57, 0.77]	<.001	0.77 [0.71, 0.84]	<.001
主観的経済状況	1.05 [0.97, 1.13]	.25	1.08 [1.02, 1.14]	.01
学業成績	1.13 [1.07, 1.19]	<.001	1.14 [1.09, 1.19]	<.001
SNS 上での各経験				
オンラインゲームをすること	0.95 [0.90, 1.01]	.12	0.85 [0.82, 0.89]	<.001
投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること	1.02 [0.94, 1.09]	.68	0.99 [0.94, 1.03]	.54
匿名で投稿すること	0.92 [0.85, 1.00]	.05	0.87 [0.82, 0.92]	<.001
投げ銭をすること(オンラインのライブ配信者に対して視聴者がお金を送付すること)	1.07 [0.92, 1.25]	.38	0.87 [0.80, 0.94]	<.001
1つの SNS に複数のアカウントを使い分けること	0.88 [0.83, 0.94]	<.001	0.90 [0.85, 0.94]	<.001
友達にプレゼントやお金を送ること	1.04 [0.96, 1.12]	.38	1.01 [0.96, 1.06]	.64
	McFadden's R^2	.018	.025	

Notes. 起床時間が遅くなること: 0 = ほとんどない、1 = ある; 性別: 0 = その他、1 = 男性; 主観的経済状況: 1 = 裕福なほう、2 = わりと裕福なほう、3 = どちらともいえない、4 = わりと厳しいほう、5 = 厳しいほう; 学業成績: 1 = 上、2 = 中の上、3 = 中、4 = 中の下、5 = 下; SNS 上での各経験: 1 = よくしている、2 = ときどきしている、3 = あまりしていない、4 = していない

「SNS 上での各経験」について、目的変数に対して有意な関連を示したオッズ比は、太字で示している。

「朝食を食べないこと」(0 = ほとんどない、1 = ある) に注目すると、日本では、オンラインゲームをすること、投げ銭をすること、1つの SNS において複数アカウントを使い分けることが、有意に関連していた(表考察 3-3)。他国では、オンラインゲームをすること、1つの SNS において複数アカウントを使い分けるに加えて、匿名で投稿することが、有意な関連を有していた。疑似決定係数は、日本で McFadden's $R^2 = .031$ 、他国で McFadden's $R^2 = .033$ を示した。

表考察 3-3. 「朝食を食べないこと」に対する SNS 上の各経験の関連

	日本 ($n = 4225$)		他国 ($n = 9926$)	
	オッズ比 [95%CI]	p	オッズ比 [95%CI]	p
性別	0.82 [0.70, 0.96]	.01	0.62 [0.57, 0.68]	<.001
主観的経済状況	1.14 [1.05, 1.23]	.001	1.16 [1.09, 1.23]	<.001
学業成績	1.14 [1.08, 1.21]	<.001	1.17 [1.12, 1.22]	<.001
SNS 上での各経験				
オンラインゲームをすること	0.92 [0.86, 0.98]	.01	0.88 [0.84, 0.92]	<.001
投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること	0.96 [0.89, 1.04]	.33	0.96 [0.91, 1.00]	.08
匿名で投稿すること	0.96 [0.88, 1.04]	.28	0.93 [0.87, 0.99]	.02
投げ銭をすること(オンラインのライブ配信者に対して視聴者がお金を送付すること)	0.78 [0.68, 0.90]	.001	0.93 [0.86, 1.00]	.06
1つの SNS に複数のアカウントを使い分けること	0.84 [0.79, 0.89]	<.001	0.83 [0.79, 0.88]	<.001
友達にプレゼントやお金を送ること	0.93 [0.85, 1.00]	.06	0.97 [0.92, 1.02]	.20
	McFadden's R^2	.031	.033	

Notes. 朝食を食べないこと: 0=ほとんどない、1=ある; 性別: 0=その他、1=男性; 主観的経済状況: 1=裕福なほう、2=わりと裕福なほう、3=どちらともいえない、4=わりと厳しいほう、5=厳しいほう; 学業成績: 1=上、2=中の上、3=中、4=中の下、5=下; SNS 上での各経験: 1=よくしている、2=ときどきしている、3=あまりしていない、4=していない

「SNS 上での各経験」について、目的変数に対して有意な関連を示したオッズ比は、太字で示している。

「食事の時間が不規則であること」に注目すると、日本では、1つの SNS において複数アカウントを使い分けること、友達にプレゼントやお金を送ることが有意に関連していた(表考察 3-4)。他国では、オンラインゲームをすること、匿名で投稿すること、投げ銭をすること、1つの SNS において複数アカウントを使い分けることが、有意な関連を有していた。疑似決定係数は、日本で McFadden's $R^2 = .026$ 、他国で McFadden's $R^2 = .040$ を示した。

表考察 3-4. 「食事の時間が不規則であること」に対する SNS 上の各経験の関連

	日本 ($n = 4217$)		他国 ($n = 9924$)	
	オッズ比 [95%CI]	p	オッズ比 [95%CI]	p
性別	0.63 [0.55, 0.73]	<.001	0.56 [0.51, 0.61]	<.001
主観的経済状況	1.22 [1.14, 1.31]	<.001	1.14 [1.08, 1.21]	<.001
学業成績	1.09 [1.04, 1.15]	.001	1.12 [1.08, 1.17]	<.001
SNS 上での各経験				
オンラインゲームをすること	1.00 [0.94, 1.06]	.94	0.87 [0.83, 0.92]	<.001
投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること	1.01 [0.94, 1.08]	.74	0.98 [0.94, 1.03]	.44
匿名で投稿すること	0.94 [0.87, 1.01]	.10	0.90 [0.84, 0.95]	<.001
投げ銭をすること(オンラインのライブ配信者に対して視聴者がお金を送付すること)	0.93 [0.81, 1.08]	.36	0.90 [0.83, 0.97]	.01
1つの SNS に複数のアカウントを使い分けること	0.94 [0.89, 0.998]	.04	0.77 [0.73, 0.82]	<.001
友達にプレゼントやお金を送ること	0.84 [0.78, 0.90]	<.001	1.04 [0.99, 1.09]	.14
	McFadden's R^2	.026	.040	

Notes. 食事の時間が不規則であること: 0=ほとんどない、1=ある; 性別: 0=その他、1=男性; 主観的経済状況: 1=裕福なほう、2=わりと裕福なほう、3=どちらともいえない、4=わりと厳しいほう、5=厳しいほう; 学業成績: 1=上、2=中の上、3=中、4=中の下、5=下; SNS 上での各経験: 1=よくしている、2=ときどきしている、3=あまりしていない、4=していない

「SNS 上での各経験」について、目的変数に対して有意な関連を示したオッズ比は、太字で示している。

「休日に出かけて活動（運動やスポーツ、ショッピング、遊びなど）をしないこと」に注目すると、日本では、オンラインゲームをすること、匿名で投稿すること、友達にプレゼントやお金を送らないことが有意に関連していた（表考察 3-5）。他国ではオンラインゲームと匿名の投稿に加えて、投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開しないこと、1つの SNS において複数アカウントを使い分けず、友達にプレゼントやお金を送ることが、有意な関連を有していた。疑似決定係数は、日本で McFadden's $R^2 = .012$ 、他国で McFadden's $R^2 = .024$ を示した。

表考察 3-5. 「休日に出かけて活動(運動やスポーツ、ショッピング、遊びなど)をしないこと」に対する SNS 上の各経験の関連

	日本 ($n = 4213$)		他国 ($n = 9924$)	
	オッズ比 [95%CI]	p	オッズ比 [95%CI]	p
性別	0.70 [0.60, 0.81]	<.001	0.67 [0.61, 0.74]	<.001
主観的経済状況	1.17 [1.08, 1.16]	<.001	1.30 [1.22, 1.39]	<.001
学業成績	0.95 [0.90, 1.00]	.06	1.09 [1.04, 1.14]	<.001
SNS 上での各経験				
オンラインゲームをすること	0.94 [0.88, 0.997]	.04	0.93 [0.88, 0.97]	.003
投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること	0.99 [0.93, 1.07]	.88	1.17 [1.11, 1.23]	<.001
匿名で投稿すること	0.90 [0.83, 0.97]	.007	0.84 [0.79, 0.90]	<.001
投げ銭をすること(オンラインのライブ配信者に対して視聴者がお金を送付すること)	0.91 [0.78, 1.05]	.20	0.93 [0.86, 1.01]	.07
1つの SNS に複数のアカウントを使い分けること	1.01 [0.95, 1.08]	.67	1.13 [1.07, 1.20]	<.001
友達にプレゼントやお金を送ること	1.16 [1.07, 1.25]	<.001	0.84 [0.79, 0.89]	<.001
	McFadden's R^2	.012	.024	

Notes. 休日に出かけて活動(運動やスポーツ、ショッピング、遊びなど)をしないこと:0=ほとんどない、1=ある;性別:0=その他、1=男性;主観的経済状況:1=裕福なほう、2=わりと裕福なほう、3=どちらともいえない、4=わりと厳しいほう、5=厳しいほう;学業成績:1=上、2=中の上、3=中、4=中の下、5=下;SNS 上での各経験:1=よくしている、2=ときどきしている、3=あまりしていない4=していない
「SNS 上での各経験」について、目的変数に対して有意な関連を示したオッズ比は、太字で示している。

運動習慣(0=運動習慣なし、1=運動習慣あり)に注目すると、日本では、匿名で投稿しないこと、1つの SNS において複数アカウントを使い分けられないことが有意に関連していた(表考察 3-6)。他国では、オンラインゲームをしないこと、投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること、投げ銭をすること、1つの SNS において複数アカウントを使い分けること、友達にプレゼントやお金を送らないことが、有意な関連を有していた。疑似決定係数は、日本で McFadden's $R^2 = .012$ 、他国で McFadden's $R^2 = .024$ を示した。

表考察 3-6. 運動習慣に対する SNS 上の各経験の関連

	日本 ($n = 4233$)		他国 ($n = 9931$)	
	オッズ比 [95%CI]	p	オッズ比 [95%CI]	p
性別	2.64 [2.28, 3.06]	<.001	2.15 [1.97, 2.35]	<.001
主観的経済状況	0.84 [0.79, 0.91]	<.001	0.67 [0.63, 0.71]	<.001
学業成績	1.01 [0.96, 1.06]	.74	0.91 [0.87, 0.95]	<.001
SNS 上での各経験				
オンラインゲームをすること	0.96 [0.90, 1.02]	.15	1.07 [1.02, 1.12]	.006
投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること	1.05 [0.98, 1.13]	.18	0.92 [0.87, 0.96]	<.001
匿名で投稿すること	1.11 [1.03, 1.19]	.01	1.05 [0.99, 1.12]	.10
投げ銭をすること(オンラインのライブ配信者に対して視聴者がお金を送付すること)	0.93 [0.81, 1.07]	.29	0.86 [0.80, 0.92]	<.001
1つの SNS に複数のアカウントを使い分けること	1.07 [1.01, 1.13]	.03	0.93 [0.88, 0.98]	.01
友達にプレゼントやお金を送ること	0.95 [0.88, 1.02]	.17	1.13 [1.08, 1.19]	<.001
	McFadden's R^2	.056	.047	

Notes. 運動習慣:0=運動習慣なし、1=運動習慣あり;性別:0=その他、1=男性;主観的経済状況:1=裕福なほう、2=わりと裕福なほう、3=どちらともいえない、4=わりと厳しいほう、5=厳しいほう;学業成績:1=上、2=中の上、3=中、4=中の下、5=下;SNS 上での各経験:1=よくしている、2=ときどきしている、3=あまりしていない4=していない

「SNS 上での各経験」について、目的変数に対して有意な関連を示したオッズ比は、太字で示している。

3.2. 対人関係に対する SNS 上の各経験の関連

対人関係に関する指標として、まずは親（保護者）との関係満足度（0 = 不満、1 = 満足）を目的変数に設定した分析を実施した（表考察 3-7）。日本では、匿名で投稿しないこと、投げ銭をしないこと、1つの SNS において複数アカウントを使い分けしないこと、友達にプレゼントやお金を送ることが、有意に関連していた。他国では、オンラインゲームをしないこと、匿名で投稿しないこと、1つの SNS において複数アカウントを使い分けしないことが、有意な関連を有していた。疑似決定係数は、日本で McFadden's $R^2 = .012$ 、他国で McFadden's $R^2 = .024$ を示した。

友人との関係満足度（0 = 不満、1 = 満足）に注目すると、日本では投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開しないことが、他国では匿名で投稿しないこと、投げ銭をしないことが、それぞれ有意な関連を有していた（表考察 3-8）。疑似決定係数は、日本で McFadden's $R^2 = .012$ 、他国で McFadden's $R^2 = .024$ を示した。

表考察 3-7. 親(保護者)との関係満足度に対する SNS 上の各経験の関連

	日本 ($n = 4232$)		他国 ($n = 9932$)	
	オッズ比 [95%CI]	p	オッズ比 [95%CI]	p
性別	1.49 [1.10, 2.01]	.009	1.39 [1.20, 1.61]	<.001
主観的経済状況	0.69 [0.60, 0.80]	<.001	0.64 [0.58, 0.72]	<.001
学業成績	0.88 [0.79, 0.97]	.01	0.88 [0.81, 0.95]	.001
SNS 上での各経験				
オンラインゲームをすること	1.11 [0.98, 1.23]	.09	1.10 [1.01, 1.20]	.04
投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること	1.09 [0.95, 1.24]	.22	1.08 [0.99, 1.18]	.10
匿名で投稿すること	1.16 [1.01, 1.33]	.03	1.13 [1.02, 1.25]	.02
投げ銭をすること(オンラインのライブ配信者に対して視聴者がお金を送付すること)	1.27 [1.01, 1.59]	.04	1.04 [0.93, 1.17]	.47
1つの SNS に複数のアカウントを使い分けること	1.27 [1.12, 1.43]	<.001	1.15 [1.05, 1.25]	.002
友達にプレゼントやお金を送ること	0.74 [0.62, 0.88]	.001	1.00 [0.92, 1.10]	.97
	McFadden's R^2			
	.054		.033	

Notes. 親(保護者)との関係満足度:0=不満、1=満足;性別:0=その他、1=男性;主観的経済状況:1=裕福なほう、2=わりと裕福なほう、3=どちらともいえない、4=わりと厳しいほう、5=厳しいほう;学業成績:1=上、2=中の上、3=中、4=中の下、5=下;SNS 上での各経験:1=よくしている、2=ときどきしている、3=あまりしていない4=していない

「SNS 上での各経験」について、目的変数に対して有意な関連を示したオッズ比は、太字で示している。

表考察 3-8. 友人との関係満足度に対する SNS 上の各経験の関連

	日本 ($n = 4232$)		他国 ($n = 9924$)	
	オッズ比 [95%CI]	p	オッズ比 [95%CI]	p
性別	1.77 [1.24, 2.52]	.002	1.42 [1.19, 1.70]	<.001
主観的経済状況	0.73 [0.62, 0.86]	<.001	0.82 [0.72, 0.94]	.003
学業成績	0.96 [0.85, 1.08]	.49	0.85 [0.78, 0.93]	<.001
SNS 上での各経験				
オンラインゲームをすること	0.97 [0.84, 1.12]	.64	0.96 [0.87, 1.07]	.47
投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること	1.18 [1.01, 1.38]	.04	1.01 [0.91, 1.13]	.82
匿名で投稿すること	1.11 [0.94, 1.31]	.21	1.20 [1.06, 1.35]	.005
投げ銭をすること(オンラインのライブ配信者に対して視聴者がお金を送付すること)	0.98 [0.72, 1.32]	.88	1.23 [1.08, 1.41]	.002
1つの SNS に複数のアカウントを使い分けること	1.02 [0.89, 1.16]	.83	1.09 [0.98, 1.21]	.13
友達にプレゼントやお金を送ること	0.95 [0.79, 1.15]	.61	0.91 [0.81, 1.02]	.10
	McFadden's R^2	.028	.022	

Notes. 友人との関係満足度: 0=不満、1=満足; 性別: 0=その他、1=男性; 主観的経済状況: 1=裕福なほう、2=わりと裕福なほう、3=どちらともいえない、4=わりと厳しいほう、5=厳しいほう; 学業成績: 1=上、2=中の上、3=中、4=中の下、5=下; SNS 上での各経験: 1=よくしている、2=ときどきしている、3=あまりしていない、4=していない
「SNS 上での各経験」について、目的変数に対して有意な関連を示したオッズ比は、太字で示している。

3.3. 自己特性に対する SNS 上の各経験の関連

自己特性に関する指標として、まずは「自分には友達がたくさんいる(インターネット上のみの友達を除く)」(0=思わない、1=思う)を目的変数に設定した分析を実施した(表考察 3-9)。日本では、1つの SNS において複数アカウントを使い分けること、友達にプレゼントやお金を送ることが有意に関連していた。他国では、投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること、匿名で投稿しないこと、友達にプレゼントやお金を送ることが、有意な関連を有していた。疑似決定係数は、日本で McFadden's $R^2 = .035$ 、他国で McFadden's $R^2 = .029$ を示した。

「いまの自分が好きだ」(0=思わない、1=思う)に注目すると、日本ではいずれの経験内容も有意な関連を示さなかった一方で、他国では、1つの SNS において複数アカウントを使い分けないことが、有意に関連していた(表考察 3-10)。疑似決定係数は、日本で McFadden's $R^2 = .036$ 、他国で McFadden's $R^2 = .026$ を示した。

「自分はダメな人間だと思う」(0=思わない、1=思う)に注目すると、日本では、オンラインゲームをすること、匿名で投稿することが、有意に関連していた(表考察 3-11)。他国ではこれらの経験内容に加えて、投げ銭をすること、1つの SNS において複数アカウントを使い分けるこ

とが、有意な関連を有していた。疑似決定係数は、日本で McFadden's $R^2 = .027$ 、他国で McFadden's $R^2 = .038$ を示した。

表考察 3-9. 「自分には友達がたくさんいる(インターネット上のみの友達を除く)」
に対する SNS 上の各経験の関連

	日本 ($n = 4233$)		他国 ($n = 9930$)	
	オッズ比 [95%CI]	p	オッズ比 [95%CI]	p
性別	2.21 [1.88, 2.59]	<.001	1.18 [1.08, 1.30]	<.001
主観的経済状況	0.77 [0.72, 0.84]	<.001	0.69 [0.64, 0.74]	<.001
学業成績	0.97 [0.92, 1.03]	.31	0.90 [0.85, 0.94]	.001
SNS 上での各経験				
オンラインゲームをすること	1.06 [0.99, 1.13]	.08	0.97 [0.92, 1.02]	.27
投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること	1.04 [0.96, 1.12]	.37	0.88 [0.83, 0.94]	<.001
匿名で投稿すること	1.04 [0.96, 1.13]	.40	1.09 [1.02, 1.17]	.01
投げ銭をすること(オンラインのライブ配信者に対して視聴者がお金を送付すること)	0.99 [0.84, 1.17]	.90	0.98 [0.90, 1.07]	.68
1つの SNS に複数のアカウントを使い分けること	0.86 [0.81, 0.92]	<.001	1.03 [0.97, 1.10]	.28
友達にプレゼントやお金を送ること	0.85 [0.78, 0.93]	<.001	0.79 [0.74, 0.83]	<.001
	McFadden's R^2	.035	.029	

Notes. 自分には友達がたくさんいる(インターネット上のみの友達を除く): 0=思わない、1=思う; 性別: 0=その他、1=男性; 主観的経済状況: 1=裕福なほう、2=わりと裕福なほう、3=どちらともいえない、4=わりと厳しいほう、5=厳しいほう; 学業成績: 1=上、2=中の上、3=中、4=中の下、5=下; SNS 上での各経験: 1=よくしている、2=ときどきしている、3=あまりしていない、4=していない
「SNS 上での各経験」について、目的変数に対して有意な関連を示したオッズ比は、太字で示している。

表考察 3-10. 「いまの自分が好きだ」に対する SNS 上の各経験の関連

	日本 ($n = 4233$)		他国 ($n = 9931$)	
	オッズ比 [95%CI]	p	オッズ比 [95%CI]	p
性別	1.97 [1.69, 2.29]	<.001	1.22 [1.11, 1.35]	<.001
主観的経済状況	0.74 [0.68, 0.79]	<.001	0.70 [0.65, 0.75]	<.001
学業成績	0.88 [0.84, 0.93]	<.001	0.79 [0.75, 0.83]	<.001
SNS 上での各経験				
オンラインゲームをすること	1.05 [0.99, 1.11]	.14	1.05 [0.99, 1.10]	.11
投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること	0.97 [0.90, 1.04]	.37	0.97 [0.92, 1.03]	.33
匿名で投稿すること	1.06 [0.98, 1.14]	.18	1.01 [0.94, 1.08]	.76
投げ銭をすること(オンラインのライブ配信者に対して視聴者がお金を送付すること)	0.99 [0.86, 1.15]	.91	0.97 [0.89, 1.05]	.47
1つの SNS に複数のアカウントを使い分けること	1.01 [0.95, 1.07]	.87	1.09 [1.03, 1.16]	.003
友達にプレゼントやお金を送ること	0.93 [0.86, 1.01]	.09	1.04 [0.99, 1.11]	.15
	McFadden's R^2			
	.036		.026	

Notes. いまの自分が好きだ: 0=思わない、1=思う; 性別: 0=その他、1=男性; 主観的経済状況: 1=裕福なほう、2=わりと裕福なほう、3=どちらともいえない、4=わりと厳しいほう、5=厳しいほう; 学業成績: 1=上、2=中の上、3=中、4=中の下、5=下; SNS 上での各経験: 1=よくしている、2=ときどきしている、3=あまりしていない、4=していない
「SNS 上での各経験」について、目的変数に対して有意な関連を示したオッズ比は、太字で示している。

表考察 3-11. 「自分はダメな人間だと思う」に対する SNS 上の各経験の関連

	日本 ($n = 4232$)		他国 ($n = 9929$)	
	オッズ比 [95%CI]	p	オッズ比 [95%CI]	p
性別	0.82 [0.71, 0.95]	.01	0.62 [0.57, 0.68]	<.001
主観的経済状況	1.27 [1.18, 1.36]	<.001	1.19 [1.12, 1.27]	<.001
学業成績	1.22 [1.16, 1.28]	<.001	1.15 [1.10, 1.20]	<.001
SNS 上での各経験				
オンラインゲームをすること	0.94 [0.88, 0.99]	.03	0.86 [0.82, 0.91]	<.001
投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること	0.95 [0.87, 1.02]	.15	0.96 [0.92, 1.01]	.13
匿名で投稿すること	0.91 [0.84, 0.98]	.02	0.90 [0.85, 0.96]	.001
投げ銭をすること(オンラインのライブ配信者に対して視聴者がお金を送付すること)	0.89 [0.77, 1.04]	.14	0.82 [0.76, 0.88]	<.001
1つの SNS に複数のアカウントを使い分けること	0.99 [0.94, 1.05]	.77	0.89 [0.84, 0.94]	<.001
友達にプレゼントやお金を送ること	0.98 [0.91, 1.06]	.66	0.98 [0.93, 1.03]	.33
	McFadden's R^2	.027	.038	

Notes. 自分はダメな人間だと思う: 0=思わない、1=思う; 性別: 0=その他、1=男性; 主観的経済状況: 1=裕福なほう、2=わりと裕福なほう、3=どちらともいえない、4=わりと厳しいほう、5=厳しいほう; 学業成績: 1=上、2=中の上、3=中、4=中の下、5=下; SNS 上での各経験: 1=よくしている、2=ときどきしている、3=あまりしていない、4=していない

「SNS 上での各経験」について、目的変数に対して有意な関連を示したオッズ比は、太字で示している。

「注目される人間になりたい」(0=思わない、1=思う)に注目すると、日本では、オンラインゲームをしないこと、投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること、1つの SNS において複数アカウントを使い分けること、友達にプレゼントやお金を送ることが、有意に関連していた(表考察 3-12)。他国では、投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること、友達にプレゼントやお金を送ることに加えて、匿名で投稿すること、投げ銭をすることが、有意な関連を有していた。疑似決定係数は、日本で McFadden's $R^2 = .039$ 、他国で McFadden's $R^2 = .021$ を示した。

「人からほめられることを望んでいる」(0=思わない、1=思う)に注目すると、日本では、投げ銭をしないこと、1つの SNS において複数アカウントを使い分けること、友達にプレゼントやお金を送ることが、有意に関連していた(表考察 3-13)。他国では投げ銭をしないこと、友達にプレゼントやお金を送ることに加えて、投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること、匿名で投稿すること、1つの SNS において複数アカウントを使い分けことが、有意な関連を有していた。疑似決定係数は、日本で McFadden's $R^2 = .022$ 、他国で McFadden's $R^2 = .019$ を示した。

表考察 3-12. 「注目される人間になりたい」に対する SNS 上の各経験の関連

	日本 ($n = 4234$)		他国 ($n = 9930$)	
	オッズ比 [95%CI]	p	オッズ比 [95%CI]	p
性別	2.30 [1.98, 2.68]	<.001	1.14 [1.05, 1.24]	.002
主観的経済状況	0.87 [0.81, 0.93]	<.001	0.95 [0.90, 1.01]	.10
学業成績	0.93 [0.89, 0.98]	.01	0.89 [0.85, 0.92]	<.001
SNS 上での各経験				
オンラインゲームをすること	1.13 [1.06, 1.20]	<.001	1.04 [0.99, 1.09]	.13
投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること	0.84 [0.79, 0.90]	<.001	0.83 [0.79, 0.87]	<.001
匿名で投稿すること	0.95 [0.88, 1.02]	.15	0.91 [0.86, 0.96]	.001
投げ銭をすること(オンラインのライブ配信者に対して視聴者がお金を送付すること)	1.11 [0.96, 1.27]	.15	0.89 [0.83, 0.96]	.01
1つの SNS に複数のアカウントを使い分けること	0.89 [0.84, 0.94]	<.001	1.05 [1.00, 1.10]	.08
友達にプレゼントやお金を送ること	0.91 [0.85, 0.98]	.02	0.91 [0.87, 0.96]	<.001
	McFadden's R^2	.039		.021

Notes. 注目される人間になりたい: 0=思わない、1=思う; 性別: 0=その他、1=男性; 主観的経済状況: 1=裕福なほう、2=わりと裕福なほう、3=どちらともいえない、4=わりと厳しいほう、5=厳しいほう; 学業成績: 1=上、2=中の上、3=中、4=中の下、5=下; SNS 上での各経験: 1=よくしている、2=ときどきしている、3=あまりしていない、4=していない

「SNS 上での各経験」について、目的変数に対して有意な関連を示したオッズ比は、太字で示している。

表考察 3-13. 「人からほめられることを望んでいる」に対する SNS 上の各経験の関連

	日本 ($n = 4231$)		他国 ($n = 9926$)	
	オッズ比 [95%CI]	p	オッズ比 [95%CI]	p
性別	0.89 [0.74, 1.07]	.22	0.72 [0.66, 0.80]	<.001
主観的経済状況	0.91 [0.83, 0.997]	.04	1.00 [0.94, 1.07]	1.00
学業成績	0.86 [0.80, 0.91]	<.001	0.89 [0.84, 0.93]	<.001
SNS 上での各経験				
オンラインゲームをすること	1.06 [0.98, 1.14]	.13	0.98 [0.93, 1.04]	.50
投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること	0.94 [0.86, 1.03]	.21	0.88 [0.83, 0.93]	<.001
匿名で投稿すること	0.97 [0.88, 1.08]	.61	0.92 [0.86, 0.99]	.02
投げ銭をすること(オンラインのライブ配信者に対して視聴者がお金を送付すること)	1.35 [1.14, 1.60]	.001	1.26 [1.16, 1.37]	<.001
1つの SNS に複数のアカウントを使い分けること	0.83 [0.77, 0.90]	<.001	1.12 [1.06, 1.19]	<.001
友達にプレゼントやお金を送ること	0.89 [0.80, 0.99]	.03	0.77 [0.72, 0.82]	<.001
	McFadden's R^2	.022	.019	

Notes. 人からほめられることを望んでいる: 0 = 思わない, 1 = 思う; 性別: 0 = その他, 1 = 男性; 主観的経済状況: 1 = 裕福なほう, 2 = わりと裕福なほう, 3 = どちらともいえない, 4 = わりと厳しいほう, 5 = 厳しいほう; 学業成績: 1 = 上, 2 = 中の上, 3 = 中, 4 = 中の下, 5 = 下; SNS 上での各経験: 1 = よくしている, 2 = とときどきしている, 3 = あまりしていない, 4 = していない

「SNS 上での各経験」について、目的変数に対して有意な関連を示したオッズ比は、太字で示している。

「ストレスを感じやすい」(0 = 思わない, 1 = 思う) に注目すると、日本では、オンラインゲームをしないこと、匿名で投稿することが、有意に関連していた(表考察 3-14)。他国では匿名で投稿することに加えて、オンラインゲームをすること、投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること、投げ銭をしないこと、1つの SNS において複数アカウントを使い分けることが、有意な関連を有していた。疑似決定係数は、日本で McFadden's $R^2 = .026$ 、他国で McFadden's $R^2 = .021$ を示した。

表考察 3-14. 「ストレスを感じやすい」に対する SNS 上の各経験の関連

	日本 ($n = 4231$)		他国 ($n = 9930$)	
	オッズ比 [95%CI]	p	オッズ比 [95%CI]	p
性別	0.53 [0.45, 0.62]	<.001	0.68 [0.62, 0.74]	<.001
主観的経済状況	1.10 [1.02, 1.19]	.01	1.19 [1.12, 1.26]	<.001
学業成績	0.99 [0.94, 1.05]	.80	1.06 [1.02, 1.11]	.01
SNS 上での各経験				
オンラインゲームをすること	1.07 [1.01, 1.14]	.03	0.92 [0.88, 0.96]	<.001
投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること	1.04 [0.96, 1.11]	.36	0.94 [0.89, 0.98]	.01
匿名で投稿すること	0.88 [0.81, 0.96]	.003	0.89 [0.84, 0.95]	<.001
投げ銭をすること(オンラインのライブ配信者に対して視聴者がお金を送付すること)	1.01 [0.86, 1.17]	.95	1.17 [1.09, 1.23]	<.001
1つの SNS に複数のアカウントを使い分けること	0.99 [0.93, 1.05]	.68	0.85 [0.80, 0.89]	<.001
友達にプレゼントやお金を送ること	0.94 [0.86, 1.02]	.13	0.95 [0.90, 1.00]	.06
	McFadden's R^2	.026		.021

Notes. ストレスを感じやすい: 0=思わない、1=思う; 性別: 0=その他、1=男性; 主観的経済状況: 1=裕福なほう、2=わりと裕福なほう、3=どちらともいえない、4=わりと厳しいほう、5=厳しいほう; 学業成績: 1=上、2=中の上、3=中、4=中の下、5=下; SNS 上での各経験: 1=よくしている、2=ときどきしている、3=あまりしていない、4=していない
「SNS 上での各経験」について、目的変数に対して有意な関連を示したオッズ比は、太字で示している。

「将来に対し、はっきりした目標をもっている」(0=思わない、1=思う)に注目すると、日本では、オンラインゲームをしないこと、投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること、投げ銭をすることが、有意に関連していた(表考察 3-15)。他国では、これらの経験内容に加えて、友達にプレゼントやお金を送らないことが、有意な関連を有していた。疑似決定係数は、日本で McFadden's $R^2 = .012$ 、他国で McFadden's $R^2 = .030$ を示した。

「自分のことは自分で決められる」(0=思わない、1=思う)に注目すると、日本では、オンラインゲームをしないこと、1つの SNS において複数アカウントを使い分けることが、有意に関連していた(表考察 3-16)。他国では、投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること、投げ銭をしないことが、有意な関連を有していた。疑似決定係数は、日本で McFadden's $R^2 = .014$ 、他国で McFadden's $R^2 = .018$ を示した。

表考察 3-15. 「将来に対し、はっきりした目標をもっている」に対する SNS 上の各経験の関連

	日本 ($n = 4228$)		他国 ($n = 9929$)	
	オッズ比 [95%CI]	p	オッズ比 [95%CI]	p
性別	1.01 [0.88, 1.17]	.89	1.16 [1.07, 1.27]	.001
主観的経済状況	0.93 [0.87, 0.996]	.04	0.77 [0.73, 0.82]	<.001
学業成績	0.89 [0.85, 0.94]	<.001	0.77 [0.73, 0.80]	<.001
SNS 上での各経験				
オンラインゲームをすること	1.16 [1.09, 1.22]	<.001	1.20 [1.14, 1.25]	<.001
投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること	0.93 [0.87, 0.996]	.04	0.88 [0.84, 0.93]	<.001
匿名で投稿すること	0.95 [0.88, 1.03]	.19	1.00 [0.94, 1.07]	.92
投げ銭をすること(オンラインのライブ配信者に対して視聴者がお金を送付すること)	0.84 [0.73, 0.97]	.02	0.88 [0.82, 0.95]	.001
1つの SNS に複数のアカウントを使い分けること	0.97 [0.91, 1.02]	.23	1.02 [0.96, 1.07]	.57
友達にプレゼントやお金を送ること	1.02 [0.95, 1.10]	.59	1.13 [1.07, 1.19]	<.001
	McFadden's R^2	.012		.030

Notes. 将来に対し、はっきりした目標をもっている: 0=思わない、1=思う; 性別: 0=その他、1=男性; 主観的経済状況: 1=裕福なほう、2=わりと裕福なほう、3=どちらともいえない、4=わりと厳しいほう、5=厳しいほう; 学業成績: 1=上、2=中の上、3=中、4=中の下、5=下; SNS 上での各経験: 1=よくしている、2=ときどきしている、3=あまりしていない、4=していない

「SNS 上での各経験」について、目的変数に対して有意な関連を示したオッズ比は、太字で示している。

表考察 3-16. 「自分のことは自分で決められる」に対する SNS 上の各経験の関連

	日本 ($n = 4233$)		他国 ($n = 9931$)	
	オッズ比 [95%CI]	p	オッズ比 [95%CI]	p
性別	1.49 [1.26, 1.76]	<.001	1.05 [0.95, 1.16]	.34
主観的経済状況	0.86 [0.80, 0.94]	<.001	0.79 [0.74, 0.85]	<.001
学業成績	0.87 [0.82, 0.92]	<.001	0.79 [0.75, 0.83]	<.001
SNS 上での各経験				
オンラインゲームをすること	1.13 [1.05, 1.21]	.001	1.00 [0.95, 1.06]	.88
投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること	0.98 [0.91, 1.07]	.70	0.93 [0.87, 0.98]	.01
匿名で投稿すること	1.03 [0.94, 1.12]	.59	0.99 [0.92, 1.07]	.84
投げ銭をすること(オンラインのライブ配信者に対して視聴者がお金を送付すること)	0.95 [0.80, 1.14]	.58	1.12 [1.03, 1.22]	.01
1つの SNS に複数のアカウントを使い分けること	0.92 [0.86, 0.98]	.01	1.02 [0.95, 1.09]	.59
友達にプレゼントやお金を送ること	0.96 [0.80, 1.05]	.37	1.04 [0.98, 1.11]	.17
	McFadden's R^2	.014	.018	

Notes. 自分のことは自分で決められる: 0 = 思わない, 1 = 思う; 性別: 0 = その他, 1 = 男性; 主観的経済状況: 1 = 裕福なほう, 2 = わりと裕福なほう, 3 = どちらともいえない, 4 = わりと厳しいほう, 5 = 厳しいほう; 学業成績: 1 = 上, 2 = 中の上, 3 = 中, 4 = 中の下, 5 = 下; SNS 上での各経験: 1 = よくしている, 2 = ととききしている, 3 = あまりしていない, 4 = していない

「SNS 上での各経験」について、目的変数に対して有意な関連を示したオッズ比は、太字で示している。

「他人の意見に影響されやすい」(0 = 思わない, 1 = 思う) に注目すると、日本では、友達にプレゼントやお金を送ることが有意に関連していた(表考察 3-17)。他国ではそれに加えて、オンラインゲームをすること、投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること、匿名で投稿すること、投げ銭をしないこと、1つの SNS において複数アカウントを使い分けることが、有意な関連を有していた。疑似決定係数は、日本で McFadden's $R^2 = .009$ 、他国で McFadden's $R^2 = .036$ を示した。

表考察 3-17. 「他人の意見に影響されやすい」に対する SNS 上の各経験の関連

	日本 ($n = 4227$)		他国 ($n = 9927$)	
	オッズ比 [95%CI]	p	オッズ比 [95%CI]	p
性別	0.71 [0.61, 0.83]	<.001	0.64 [0.58, 0.69]	<.001
主観的経済状況	1.08 [1.00, 1.16]	.04	1.16 [1.09, 1.22]	<.001
学業成績	1.06 [1.01, 1.12]	.03	1.11 [1.07, 1.16]	<.001
SNS 上での各経験				
オンラインゲームをすること	0.99 [0.93, 1.06]	.81	0.84 [0.80, 0.88]	<.001
投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること	0.99 [0.92, 1.07]	.86	0.93 [0.89, 0.98]	.004
匿名で投稿すること	1.02 [0.94, 1.10]	.70	0.85 [0.81, 0.91]	<.001
投げ銭をすること(オンラインのライブ配信者に対して視聴者がお金を送付すること)	0.94 [0.80, 1.09]	.40	1.08 [1.00, 1.16]	.049
1つの SNS に複数のアカウントを使い分けること	0.98 [0.92, 1.04]	.48	0.89 [0.84, 0.94]	<.001
友達にプレゼントやお金を送ること	0.90 [0.83, 0.98]	.02	0.87 [0.83, 0.92]	<.001
	McFadden's R^2	.009	.036	

Notes. 他人の意見に影響されやすい: 0=思わない、1=思う; 性別: 0=その他、1=男性; 主観的経済状況: 1=裕福なほう、2=わりと裕福なほう、3=どちらともいえない、4=わりと厳しいほう、5=厳しいほう; 学業成績: 1=上、2=中の上、3=中、4=中の下、5=下; SNS 上での各経験: 1=よくしている、2=ときどきしている、3=あまりしていない、4=していない

「SNS 上での各経験」について、目的変数に対して有意な関連を示したオッズ比は、太字で示している。

4. 考察

4.1. 日本の高校生における特徴

本稿では、生活習慣、運動習慣、対人関係、自己特性といった、高校生の発達や適応に関する各指標に対する、SNS 上の各経験内容の関連を検討した。その結果を踏まえ、①生活・運動習慣、②対人関係、③自己特性の領域ごとに、日本の高校生の特徴について考察する。なお、すべての分析を通じて、性別、主観的経済状況、学業成績といった属性要因が各指標と関連を有していたものの、本稿の目的に鑑み、考察の対象からは除外することとした。

4.1.1. 生活・運動習慣と関連を持つ SNS 上の経験内容

生活習慣および運動習慣に関する項目を目的変数とした分析の結果、日本の高校生において、主に3つの特徴がみられた。第一に、オンラインゲームや、1つの SNS に複数のアカウントを使い分ける頻度が高いほど、「就寝時間が遅くなること」または「起床時間が遅くなること」といった睡眠に関する課題、および「朝食を食べないこと」または「食事の時間が不規則になること」といった食習慣に関する課題、それに「休日に出かけて活動（運動やスポーツ、ショッピング、遊びなど）をしないこと」または「運動習慣なし」といった身体活動・運動に関する課題を抱え

る割合が大きいことが示された（表考察 3-1～3-6）。睡眠や食習慣との関連については、他国においても類似の傾向が観察されていることから、オンラインゲームや複数のアカウントによる SNS の利用は、文化的な背景にかかわらず、高校生の生活習慣にネガティブな関連を持つ可能性がある。「朝食を食べないこと」における割合の大きさと関連していた、投げ銭をすること（表考察 3-3）も含めて、これらの経験内容は、先行研究でも指摘されてきた、メディアの長時間利用を引き起こす主たる要因かもしれない。ただし、1つの SNS に複数のアカウントを使い分ける頻度が高いことは、日本では「運動習慣なし」と関連を持つものの、他国では「運動習慣あり」と関連するという、対照的な結果が得られた。本調査において、SNS を利用することで運動量が「非常に増えた」または「少し増えた」と回答した割合は、日本が 18.0%でもっとも低いことが明らかとなっている（米国：39.0%、中国：40.4%、韓国：27.3%；図 3-5）。他国の高校生は、複数アカウントのうちのいずれかを用いて、運動習慣の獲得につながるような情報を得て、動機づけを高めている可能性がある。

第二に、匿名で投稿する頻度が高いほど、「休日に出かけて活動（運動やスポーツ、ショッピング、遊びなど）をしないこと」や「運動習慣なし」といった身体活動・運動習慣に課題を抱える割合が大きいことが示唆された（表考察 3-5）。この傾向は、他国の結果とも概ね一貫するものである。国外の研究によると、匿名での投稿を好む人の特徴として、オフラインよりもオンラインでの友人関係を重視することが報告されている¹³⁾。そのため、休日は外出せずに自宅で SNS を利用するなどのインドアな活動を好む傾向があるのかもしれない。

第三に、友達にプレゼントやお金を送る頻度の高さは、「休日に出かけて活動（運動やスポーツ、ショッピング、遊びなど）をしないこと」の割合の小ささ、すなわち身体活動習慣の多さと関連を有しており（表考察 3-5）、他国とは対照的な結果が得られた。両者の関連を説明し得る一つの要因として、アルバイトが挙げられる。すなわち、SNS を通じて頻繁にプレゼントやお金を送るためには一定の収入が必要であり、そのお金を作るために、休日はアルバイトに従事している可能性が考えられる。

4.1.2. 対人関係の満足度と関連を持つ SNS 上の経験内容

親（保護者）および友人との関係満足度に関する項目を目的変数とした分析の結果、日本の高校生において、主に 3 つの特徴がみられた。第一に、匿名での投稿、投げ銭、および 1 つの SNS に複数のアカウントを使い分ける頻度が高いほど、親（保護者）との関係に「満足」と回答する割合は小さく（表考察 3-7）、他国と概ね同様の傾向が示された。これらの変数間の関連については、SNS に対する親（保護者）の意識が影響している可能性がある。既述のように、子供が十分な自由時間を持っていたとしても、SNS などのメディア利用に時間を割いてほしいと考えている親（保護者）の割合は 5.0%に留まっている²⁾。メディアの長時間利用や過度な没頭の原因となり得るこれらの経験内容は、親（保護者）と良好な関係を構築するうえでネガティブに機能するのかもしれない。

第二に、日本においてのみ、友達にプレゼントやお金を送る頻度が高いほど、親（保護者）との関係に「満足」と回答する割合は大きかった（表考察 3-7）。本調査の内容からこの結果について詳細に考察するのは困難であるが、両者の関連は直接的なものというよりも、第三の要因を交えた間接的なものである可能性がある。例えば、友達にプレゼントやお金を送ることができる高

校生ほど、スマートフォンの使用に関する家庭での制限が厳しくなく、結果的に高校生の主観的評価に基づく親（保護者）との関係満足度は、高く評価されやすいのかもしれない。

第三に、日本においてのみ、投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開する頻度が高いほど、友人との関係に「満足」と回答する割合が小さかった（表考察 3-8）。言い換えれば、投稿の閲覧可能な範囲を制限することは、友人との関係に「満足」する割合の大きさと関連する。日本の大学生を対象とした先行研究において¹⁴⁾、SNS における他者の情報を含む投稿は、当事者との関係悪化や彼らのネガティブ感情の増加など、さまざまな負の効果をもたらすリスクがあることが報告されている。本稿の知見は、日本の高校生においてもそのリスクが認められることを示すものと言える。

4.1.3. 自己特性と関連を持つ SNS 上の経験内容

自己特性に関する項目を目的変数とした分析の結果、日本の高校生において、主に5つの特徴がみられた。第一に、オンラインゲームをする頻度が高いほど、「自分はダメな人間だ」に「思う」と回答する割合が大きい一方で（表考察 3-11）、「注目される人間になりたい」、「ストレスを感じやすい」、「将来に対し、はっきりした目標をもっている」、「自分のことは自分で決められる」に「思う」と回答した割合が小さかった（表考察 3-12、3-14~3-16）。各指標との関連のうち、概ね他国と同様の傾向が認められたものの、「ストレスを感じやすい」に対する関連では、対照的な結果が得られた。オンラインゲームは気晴らしの要素を含むことが知られているが¹⁵⁾、本調査における当該項目の回答状況を見ると、「よくしている」または「ときどきしている」と回答した割合は、日本が 54.3%でもっとも低いことが報告されている（米国:66.4%、中国:59.3%、韓国:63.0%）。この点を踏まえると、ストレスを感じた際の対処として、日本の高校生はほどほどにオンラインゲームを楽しむ一方、他国の高校生はその利用が逆にストレス増大の原因となっている可能性がある。

第二に、投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開する頻度が高いほど、「注目される人間になりたい」、「将来に対し、はっきりした目標をもっている」に「思う」と回答した割合が（表考察 3-12、3-15）、匿名で投稿することの頻度が高いほど、「自分はダメな人間だと思う」、「ストレスを感じやすい」に「思う」と回答した割合が（表考察 3-11、3-14）、それぞれ大きいことが示された。加えて、投げ銭をする頻度が高いほど、「人からほめられることを望んでいる」に「思う」と回答した割合が小さく（表考察 3-13）、「将来に対し、はっきりした目標をもっている」に「思う」と回答した割合は大きかった（表考察 3-15）。これらはいずれも、他国においても認められた結果であり、文化的要因の影響を受けにくいものかもしれない。

第三に、投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること、1つの SNS に複数のアカウントを使い分けること、友達にプレゼントやお金を送ることにおける頻度が高いほど、「自分には友達がたくさんいる（インターネット上のみの友達を除く）」、「注目される人間になりたい」、あるいは「人からほめられることを望んでいる」といった対人的な側面を含む項目に対して、「思う」と回答した割合が大きく（表考察 3-9、3-12、3-13）、いずれも他国の結果と一貫していた。自らの投稿を公開したり、複数のアカウントを併用したり、友達に贈り物をしたりすることで、SNS 上で他者と交流する場や機会が多くなることから、このような関連性が認められたものと考えられる。ただし、「注目される人間になりたい」や「人からほめられることを望んでいる」といった当人の承認

欲求を反映するような項目については、目的変数ではなく、SNS 上の各経験に対する説明変数としての機能を持ち得る点にも留意する必要がある。

第四に、日本においてのみ、1つの SNS に複数のアカウントを使い分ける頻度が高いほど、「自分のことは自分で決められる」に「思う」と回答した割合が大きかった（表考察 3-16）。複数のアカウントを併用することは、SNS 上で活動する場の多様さと関連するものと考えられる。すなわち、自由時間に SNS を利用する場合、活動する場の選択肢が豊富なゆえに、時間管理などの意思決定に関するスキルが身に付きやすいのかもしれない。

最後に、友達にプレゼントやお金を送る頻度が高いほど、「他人の意見に影響されやすい」に対して、「思う」と回答した割合が小さく（表考察 3-17）、他国とは対照的な結果が得られた。本調査から両変数が関連を持つ機序や、日本と他国で異なる結果が得られた要因を考察することは極めて困難であるが、この点に関する示唆として、近年の研究では他者にプレゼントを贈る際の心理的プロセスについて言及している¹⁶⁾。具体的には、相手にとって喜ばしい、または悲しい出来事が生じたとき、それらのイベントと贈り手側の共感性や自尊感情といった心理的要因が複合的に関連しつつ、プレゼント贈呈の動機づけが高まるという。今後の調査では、これらの心理的要因や、友達にプレゼントやお金を送る動機（例えば、相手を喜ばす目的なのか、励ます目的なのか）、自分自身が友達からプレゼントをもらった経験など、多様な観点からのアプローチを試みることで有益な知見を提供することが期待される。

4.2. 本稿のまとめと今後の展望

本稿で追加分析を行った結果、SNS 上の経験内容と、高校生の発達に関する各指標（生活習慣、運動習慣、対人関係、自己特性）との関連について得られた知見は、主に以下の6つにまとめられる。(1) オンラインゲームをすることは、睡眠、食習慣、身体活動、自己肯定感や将来への見通しにネガティブな関連を持つ一方、気晴らしとして機能するなどポジティブな側面を有することが示唆された。(2) 投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開することは、友人関係満足度の低さ、承認欲求の高さと関連する一方、将来への見通しと関連することが示された。(3) 匿名で投稿することは、身体活動・運動習慣、親（保護者）との関係満足度、自己肯定感の低さ、およびストレスの感じやすさと関連していた。(4) 投げ銭をすることは、食習慣、親（保護者）との関係満足度とネガティブな関連を持つ一方で、承認欲求の低さ、将来への見通しと関連していた。(5) 1つの SNS に複数のアカウントを使い分けることは、睡眠、食習慣、運動習慣、親（保護者）との関係満足度の低さ、承認欲求の高さと関連する一方、友達の多さ、自己決定度の高さとも関連を有していた。(6) 友達にプレゼントやお金を送ることは、食習慣、身体活動習慣、自己決定度の低さ、承認欲求の高さと関連を持つ一方、親（保護者）との関係満足度の高さ、友達の多さとも関連を有していた。

上記のように、本稿では、高校生における SNS 上の経験内容、すなわち SNS 利用の質的側面が彼らの適応とどのように関連するのかについて、示唆を提供することができたものの、いくつかの課題が指摘できる。第一に、すべての分析において、疑似決定係数が McFadden's $R^2 < .056$ に留まっており、高校生の適応に関する指標を説明する要因として、回答者の基本属性や SNS 上の経験内容のみでは不十分であるかもしれない。今後の調査では、従来の研究で用いられてきた利用時間などの「量」的側面と、本調査で注目した「質」的な側面の組み合わせなどにより、詳細な

検討を行うことが求められる。第二に、変数間の因果関係の方向性について、継続的な検討を行う必要がある。本稿では、「SNS 上の経験内容→適応に関する各指標」という関連性を想定した分析を実施したが、いくつかの指標では、逆方向の関連性が認められるかもしれない。今後の調査では縦断的データを収集し、変数間の詳細な関連性を明らかにしていくことが求められる。

参考文献

- 1) Statista “Number of social media users in Japan from 2019 to 2023 with a forecast until 2028 (*in millions*)”, 2023, <https://www.statista.com/statistics/278994/number-of-social-network-users-in-japan/>, 2024 年 5 月 31 日参照
- 2) 国立青少年教育振興機構『青少年の体験活動等に関する意識調査(令和4年度調査)』、2024.
- 3) 佐野碧・岩佐一・中山千尋・森山信彰・勝山邦子・安村誠司「中学生・高校生におけるメディア利用と生活習慣の関連」『日本公衆衛生雑誌』、67(6)、2020、pp.380-389.
- 4) 井上久美子・小林三智子・長澤伸江「女子大学生における使用場面数を指標としたスマートフォンの使用状況と健康状態や生活行動に対する自己管理能力との関連」『日本健康教育学会誌』、27(2)、2019、pp.164-172.
- 5) 村山恭朗・伊藤大幸・大嶽さと子・片桐正敏・浜田恵・中島俊思・上宮愛・野村和代・高柳伸哉・明翫光宜・辻井正次「小中学生におけるメンタルヘルスに対するソーシャルサポートの横断的効果」『発達心理学研究』、27(4)、2016、pp.395-407.
- 6) 鶴田利郎・山本裕子・野嶋栄一郎「高校生向けインターネット依存傾向測定尺度の開発」『日本教育工学会論文誌』、37(4)、2014、pp.491-504.
- 7) 河井大介「ソーシャルメディア・パラドクス—ソーシャルメディア利用は友人関係を抑制し精神的健康を悪化させるか—」『社会情報学』、3(1)、2014、pp.31-46.
- 8) Saiphoo, A. N., Halevi, L. D., & Vahedi, Z. “Social networking site use and self-esteem: A meta-analytic review” *Personality and Individual Differences*, 153, 2020, 109639.
- 9) 国立青少年教育振興機構『青少年の体験活動等に関する実態調査(平成 26 年度調査)』、2016.
- 10) 三島浩路「スマートフォン依存傾向に関連する要因—日常生活に対する主観的評価と自己意識との関連—」『応用心理学研究』、46(1)、2020、pp.1-10.
- 11) 厚生労働省『健康づくりのための身体活動基準 2013』、2013、
<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000002xple-att/2r9852000002xpqt.pdf>, 2024 年 5 月 31 日参照
- 12) Muthén, L. K., & Muthén, B. O. “*Mplus user’s guide* (Eight ed.)” Muthén & Muthén, 1998-2017.
- 13) Keipi, T., Oksanen, A., & Räsänen, P. “Who prefers anonymous self-expression online? A survey-based study of Finns aged 15-30 years” *Information, Communication & Society*, 18(6), 2015, pp.717-732.
- 14) 太幡直也・佐藤広英「Twitter 上での他者情報公開を規定する心理的要因—友人、知人に関する情報公開に着目して—」『パーソナリティ研究』、27(3)、2019、pp.235-245.
- 15) 井口貴紀「現代日本の大学生におけるゲームの利用と満足—ゲームユーザー研究の構築に向けて—」『情報通信学会誌』、31(2)、2013、pp.67-76.
- 16) Hwang, J., & Chu, W. “The effect of others’ outcome valence on spontaneous gift-giving behavior: The role of empathy and self-esteem” *European Journal of Marketing*, 53(4), 2019, pp.785-805.

ID : _____

認証コード : _____

「高校生の SNS の利用に関する調査」について

国立青少年教育振興機構

この調査は、日本、米国、中国、韓国の高校生の SNS の利用状況とその影響を把握し、諸外国との比較を行うことで、我が国の今後の青少年教育の参考にすることを目的としています。

ご記入に際してのお願い

- (1) あなたの名前を書く必要はありません。
調査の結果は、「〇〇と回答した日本の高校生が何%」といったように集計・分析され、個人がどの質問に、どのように回答したかなど、学校名や個人の名前が明らかになることはありませんので、思ったとおりに答えてください。
- (2) この調査票は、ご自身で記入をお願いします。
- (3) 回答は、それぞれあてはまる番号を○で囲んでください。
- (4) 回答していただく○印の数は、質問文に「○は1つ」、「○はいくつでも」などと示していますので、それに従って回答してください。
- (5) 答えたくないと思ったものは答えなくてもかまいません。答えた内容や、答えなかったことによっては、あなたが不利益を受けることはありません。
- (6) この調査に答えることで、この調査に協力することに同意していただけたとみなします。
- (7) 個人の回答が外部に漏れることはありません。また、回答を、本研究に関わっていない第三者に提供したり、貸与したりすることはありません。
- (8) 調査票の裏表紙は切り取って必ずお持ち帰りください。
- (9) この調査票の提出後に調査への協力をやめたくなった場合は、裏表紙の指示に従ってご連絡ください。

答え方の例

問Ⅰ あなたは犬が好きですか。あてはまるものに○をつけてください。

- ① はい 2. いいえ

例) 「はい (犬が好き)」と回答する場合は、1 を○で囲みます。

問Ⅱ 次のことについて、あてはまるものを選んで番号に○をつけてください。

	とても好き	まあ好き	あまり好きでない	嫌い
スポーツをすること	①	2	3	4

例) 「とても好き」と回答する場合は、1 を○で囲みます。

質問票

問1 あなたの性別

1. 男 2. 女 3. どちらともいえない 4. 答えたくない

問2 あなたの学年

1. 高1 2. 高2 3. 高3

問3 あなたはふだんの生活において、次のことがどのくらいありますか。それぞれについてお答えください。（1つずつ）

	よくある	たまにある	ほとんどない
a. 就寝時間が遅くなること	1	2	3
b. 起床時間が遅くなること	1	2	3
c. 朝食を食べないこと	1	2	3
d. 食事の時間が不規則であること	1	2	3
e. 休日に出かけて活動（運動やスポーツ、ショッピング、遊びなど）をしないこと	1	2	3

問4 今、あなたは体育の授業以外で、運動をどのくらいしていますか。（○は1つ）

1. ほとんど毎日している 2. 1週間に3～4日している
3. 1週間に1～2日している 4. ほとんどしていない

問5 あなたは親（保護者）との関係に満足していますか。（○は1つ）

1. 非常に満足している 2. まあ満足している
3. あまり満足していない 4. 満足していない

問6 最近一か月、あなたは親（保護者）に叱られたことがありますか。（○は1つ）

1. よくある 2. 時々ある 3. あまりない 4. 全くない

問7 あなたと一緒に遊ぶ友達がいますか。（○は1つ）

1. いない 2. 1～2人いる 3. 3～5人いる
4. 6～9人いる 5. 10人以上いる

問8 あなたは友達との関係に満足していますか。（○は1つ）

1. 非常に満足している 2. まあ満足している
3. あまり満足していない 4. 満足していない

問9 あなたは勉強についてプレッシャーを感じていますか。(○は1つ)

1. とても感じている
2. まあ感じている
3. どちらともいえない
4. あまり感じていない
5. 全く感じていない

問10 あなた自身のことをお聞きします。次のそれぞれについてお答えください。(1つずつ)

	とても そう思う	まあ そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
a. 自分には友達がたくさんいる(インターネット上のみの友達を除く)	1	2	3	4
b. いまの自分が好きだ	1	2	3	4
c. 自分はダメな人間だと思う	1	2	3	4
d. 注目される人間になりたい	1	2	3	4
e. 人からほめられることを望んでいる	1	2	3	4
f. ストレスを感じやすい	1	2	3	4
g. 将来に対し、はっきりした目標をもっている	1	2	3	4
h. 自分のことは自分で決められる	1	2	3	4
i. 他人の意見に影響されやすい	1	2	3	4

問11 あなたは、ふだん誰と一緒に住んでいますか。(○はいくつでも)

1. 父親
2. 母親
3. きょうだい
4. 祖父・祖母
5. 親戚
6. 学校の寮
7. 一人暮らし
8. その他

問12 あなたは、自分の家の経済状況をどう思いますか。(○は1つ)

1. 裕福なほう
2. わりと裕福なほう
3. どちらともいえない
4. わりと厳しいほう
5. 厳しいほう

問13 あなたの成績はクラスの中でどのくらいですか。(○は1つ)

1. 上
2. 中の上
3. 中
4. 中の下
5. 下

問14 あなたはチャット GPT やチャットボットなどのような生成 AI を使ったことがありますか。(○は1つ)

1. よくある
2. たまにある
3. 使ったことはないが、使ってみたいと思う
4. 使ったことはないが、使ってみたいとも思わない

◆次は SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の利用状況についておたずねします。

問 15 あなたが主に使っている SNS はどれですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

1. LINE
2. Instagram
3. X (Twitter)
4. Facebook
5. TikTok
6. YouTube
7. 上記以外のもの (_____)
8. SNS を利用していない (8 を選んだ方は、問 30 へ)

問 16 あなたは 1 日当たり SNS を利用する時間は平均でどのくらいですか。平日と休日をそれぞれお答えください。

問 16-1 平日の場合 (○は 1 つ) :

1. 30 分未満
2. 30 分～1 時間未満
3. 1～2 時間未満
4. 2～3 時間未満
5. 3～4 時間未満
6. 4～5 時間未満
7. 5 時間以上
8. わからない

問 16-2 休日の場合 (○は 1 つ) :

1. 30 分未満
2. 30 分～1 時間未満
3. 1～2 時間未満
4. 2～3 時間未満
5. 3～4 時間未満
6. 4～5 時間未満
7. 5 時間以上
8. わからない

問 17 あなたは SNS を利用する主な目的は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

1. リアルな友達や知り合いとのコミュニケーション
2. 直接会ったことがない(ネット上の)友達とのコミュニケーション
3. 家族との連絡
4. 勉強に関する情報の収集
5. 趣味や興味のある話題に関する情報の収集
6. ニュースや社会の出来事に関する情報の収集
7. 生活や暮らし(ファッションや美容、健康、料理など)に関する情報の収集
8. ゲームや音楽などの娯楽
9. 自分の考えや作品などの発信
10. 推し活(自分が推しているアイドルや俳優、キャラクターなどを愛でたり応援したりする活動)
11. ストレス解消
12. ひまつぶし
13. その他 (_____)
14. 特にない

問 18 あなたが、SNS を利用し始めたのはいつ頃でしたか。(○は 1 つ)

1. 小学入学前
2. 小学 1～3 年
3. 小学 4～6 年
4. 中学 1～3 年
5. 高校生になってから
6. よく覚えていない

問 23 この1年間において、あなたは次のことがありましたか。次のそれぞれについてお答えください。(1つずつ)

	いつも ある	よく ある	ときどき ある	あまり ない	ない
a. もっと多くの時間を SNS に費やしたいと考えたこと	1	2	3	4	5
b. SNS で起こった出来事について、いろいろと考えてしまうこと	1	2	3	4	5
c. 不安やストレスを軽減するために SNS を使ったこと	1	2	3	4	5
d. SNS の利用頻度を減らそうと思ったが失敗したこと	1	2	3	4	5
e. SNS の利用を禁止されてイライラしたこと	1	2	3	4	5
f. SNS が原因で、趣味や余暇活動、運動の優先順位が下がったこと	1	2	3	4	5
g. 授業中、SNS をみること	1	2	3	4	5

問 24 あなたは SNS を使って、次のようなことをどのくらいしていますか。次のそれぞれについてお答えください。(1つずつ)

	よく している	ときどき している	あまりし ていない	して いない
a. オンラインゲームをすること	1	2	3	4
b. 投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること	1	2	3	4
c. 匿名で投稿すること	1	2	3	4
d. 投げ銭をすること(オンラインのライブ配信者に対して視聴者がお金を送付すること)	1	2	3	4
e. 1つの SNS に複数のアカウントを使い分けること	1	2	3	4
f. 友達にプレゼントやお金を送ること	1	2	3	4

問 25 SNS 上の次のような行動について、あなたはどう思いますか。それぞれについてお答えください。(1つずつ)

	何があつてもダメ	場合による	その人の自由
a. 他人の個人情報を無断に公開する (他人が見ることのできる SNS で、他人の情報を書き込む)	1	2	3
b. 他人のアカウントを乗っ取りする	1	2	3
c. 悪口や嫌がらせのメッセージやコメントを送ったり、書き込みをする	1	2	3
d. 他人の写真を無断投稿する	1	2	3
e. 他人のうわさ話を拡散する	1	2	3
f. 他人になりすまして情報を発信する	1	2	3

問 26 あなたは SNS を利用していて、次のようなことがありますか。次のそれぞれについてお答えください。(1つずつ)

	ある	ない
a. 個人情報が漏えいされたこと	1	2
b. 架空請求をされたこと	1	2
c. アカウムの乗っ取りをされたこと	1	2
d. 自分の写真が無断投稿されたこと	1	2
e. 自分についてのうわさ話が拡散されたこと	1	2

問 27 あなたは SNS 上で悪口や嫌がらせを受けたことがありますか。(○は1つ)

1. よくある 2. 時々ある 3. あまりない 4. 全くない

↓

問 27sq (問 27 で「よくある」「時々ある」と回答した方) そのようなことがあった場合、あなたはどのように対処しますか。(○はいくつでも)

1. やり返す 2. 無視する 3. 友人に相談する
4. 親(保護者)に相談する 5. アカウムの(ID)を変える 6. その他

問 28 SNS の利用により、次のようなことを経験したことがありますか。次のそれぞれについてお答えください。(1つずつ)

	よくある	ときどきある	あまりない	ない
a. 寂しくなる	1	2	3	4
b. 落ち込む	1	2	3	4
c. イライラする	1	2	3	4
d. 眠れない	1	2	3	4
e. ものごとに集中できない	1	2	3	4
f. 他人に嫉妬する	1	2	3	4

問 29 SNS の利用で何か不安や心配がありますか。(○はいくつでも)

1. ネット依存 2. 気分の変動 3. 勉強への影響
4. 体の健康や発達への影響 5. お金の使いすぎ 6. 個人情報の漏えい
7. 悪口や嫌がらせ、いじめを受けること 8. 詐欺被害
9. 犯罪・有害情報に触れてしまうこと 10. その他 11. 特にない

問 30 以下の5つの項目について、最近2週間のあなたの状態に最も近いものを選んでください。(○は1つずつ)

	いつもそうだった	そういう時が多かった	そういう時は少なかった	ほとんどなかった
a. 明るく、楽しい気分で過ごした	1	2	3	4
b. 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした	1	2	3	4
c. 意欲的で、活動的に過ごした	1	2	3	4
d. ぐっすりと休め、気持ちよくなめた	1	2	3	4
e. 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった	1	2	3	4

問 31 あなたのインターネットの利用について、親（保護者）は次のことをしていますか。(○はいくつでも)

1. 利用時間（時間帯や時間数）について決めている
2. 利用金額を決めている
3. アクセス可能なサイトを制限する（フィルターをかける）
4. 利用しているインターネットの内容をチェックする
5. 使い方や情報について話し合う
6. 個人情報やセキュリティについて注意する
7. 特にルールがない

問 32 あなたの学校では携帯電話やスマートフォンの教室への持ち込みは禁止されていますか。

1. 禁止されている
2. 禁止されていない

問 33 あなたは、学校で SNS の利用について下記の内容を学習したことがありますか。次のそれぞれについてお答えください。(1つずつ)

	学習したことが	
	ある	ない
a. プライバシーと個人情報に関する知識	ある	ない
b. セキュリティに関する知識	ある	ない
c. 安全意識をもつこと(危険を予測し、被害を予防する)	ある	ない
d. 適切にコミュニケーションをとるためのマナーやルール、言葉づかいなど	ある	ない
e. 依存防止	ある	ない
f. 他人からの中傷誹謗やトラブルに対する対処法	ある	ない
g. 正しい情報を収集・判断する方法	ある	ない

問 34 あなたにとって学校で SNS の利用に関する次の学習は特にどれが重要だと思いますか。3つまで選んでください。

1. プライバシーと個人情報に関する知識
2. セキュリティに関する知識
3. 安全意識をもつこと（危険を予測し、被害を予防する）
4. 適切にコミュニケーションをとるためのマナーやルール、言葉づかいなど
5. 依存防止
6. 他人からの中傷誹謗やトラブルに対する対処法
7. 正しい情報を収集・判断する方法

ご協力ありがとうございました！

Survey of High School Students' Social Media Usage and Its Effects

The National Institute for Youth Education is conducting this survey in several countries,
which includes the United States, Japan, China and Korea.

The goal of this survey is to utilize its findings for future educational purposes

*Instructions for completing the survey

- (1) Please answer every question yourself.
- (2) There is no right or wrong answer to any question. Please choose the answer that best describes your opinion or situation.
- (3) Each question indicates the number of answers needed. Please follow the instructions.

Q1 Are you male or female? Please check ONE answer.

1. Male 2. Female 3. Other 4. I don't want to answer

Q2 What grade are you in? Please check ONE answer.

1. 10th 2. 11th 3. 12th

Q3 How often do you experience any of the following in your daily life?

Please check ONE answer on each row.

	Often	Sometimes	Rarely
a. Going to bed late	1	2	3
b. Waking up late	1	2	3
c. Not eating breakfast	1	2	3
d. Eating your meals at irregular times.	1	2	3
e. Not doing activities such as exercising, playing sports, shopping or hanging out with friends on your off days	1	2	3

Q4 Besides PE, how often do you exercise? Please check ONE answer.

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. Almost every day | 2. 3-4 days per week |
| 3. 1-2 days per week | 4. I rarely exercise |

Q5 How satisfied are you with your relationship with your parents(guardians)?

Please check ONE answer.

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. Very satisfied | 2. Somewhat satisfied |
| 3. Not so satisfied | 4. Not satisfied at all |

Q6 How frequently have you been scolded by your parents (guardians) in the last month? Please check ONE answer.

- | | | | |
|----------|--------------|-----------|----------|
| 1. Often | 2. Sometimes | 3. Rarely | 4. Never |
|----------|--------------|-----------|----------|

Q7 How many friends do you have to do things with? Please check ONE answer.

- | | | |
|----------------|-------------------------|----------------|
| 1. None | 2. 1-2 friends | 3. 3-5 friends |
| 4. 6-9 friends | 5. More than 10 friends | |

Q8 How satisfied are you with your relationship with your friends?

Please check ONE answer.

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. Very satisfied | 2. Somewhat satisfied |
| 3. Not so satisfied | 4. Not satisfied at all |

Q9 Do your studies make you feel pressured? Please check ONE answer.

- | | | |
|----------------|---------------|----------------------|
| 1. Very much | 2. Somewhat | 3. It's hard to tell |
| 4. Not so much | 5. Not at all | |

Q10 The following statements are about yourself. Please check ONE answer in each row.

	Strongly agree	Somewhat agree	Somewhat disagree	Strongly disagree
a. I have a lot of friends(Please exclude online friends you don't see offline).	1	2	3	4
b. I like myself	1	2	3	4
c. I feel like a failure.	1	2	3	4
d. I want to be someone who will attract attention.	1	2	3	4
e. I want to be praised.	1	2	3	4
f. I easily feel stress	1	2	3	4
g. I have clear goals for my future.	1	2	3	4
h. I am able to make my own decisions.	1	2	3	4
i. I tend to be affected by other people's opinions.	1	2	3	4

Q11 Who do you usually live with? Please check ALL that apply.

1. Father
2. Mother
3. Siblings
4. Grandfather, Grandmother
5. Relatives
6. I live with schoolmates in the school dormitory
7. I live alone
8. Other

Q12 What do you think your family's financial situation is?

Please check ONE answer.

1. Wealthier than many families
2. Wealthier than average
3. Average
4. Poorer than average
5. Poorer than many families

Q13 How would you rank your school performance? Please check ONE answer.

1. Top
2. Upper middle
3. Middle
4. Lower middle
5. Bottom

Q14 Have you used generative AI (Artificial Intelligence) such as Chat GPT or Chatbots?

Please check ONE that answer.

1. Yes, I use it often
2. Yes, I use it sometimes
3. No, I haven't used it but I want to use it
4. No, I haven't used it and I don't even want to use it

*** The following questions are about your use of social media.**

Q15 What are the social media sites you mainly use? Please check ALL that apply.

- | | | |
|---------------------|---|--------------|
| 1. LINE | 2. Instagram | 3. Twitter |
| 4. Facebook | 5. TikTok | 6. YouTube |
| 7. Snapchat | 8. LinkedIn | 9. Pinterest |
| 10. Tumblr | 11. I don't use social media (Please go to Q33) | |
| 12. Other (_____) | | |

Q16 On average, how many hours per day do you use social media on weekdays?

Please check ONE answer.

1. Less than 30 min.
2. More than 30 but less than 1 hour
3. More than 1 hour but less than 2 hours
4. More than 2 hours but less than 3 hours
5. More than 3 hours but less than 4 hours
6. More than 4 hours but less than 5 hours
7. More than 5 hours
8. I don't know

Q17 On average, how many hours per day do you use social media on weekends?

Please check ONE answer

1. Less than 30 min.
2. More than 30 but less than 1 hour
3. More than 1 hour but less than 2 hours
4. More than 2 hours but less than 3 hours
5. More than 3 hours but less than 4 hours
6. More than 4 hours but less than 5 hours
7. More than 5 hours
8. I don't know

Q18 What is the main purpose that you use social media for?

Please check ALL that apply.

1. To communicate with offline friends and acquaintances.
2. To communicate with online friends whom I've never met offline.
3. To communicate with my family.
4. To collect study related information
5. To collect information on hobbies or topics that I am interested in.
6. To get the news or collect information on social events.
7. To collect information on lifestyle trends, such as fashion, beauty, health or cooking.
8. To enjoy games and music
9. To post my thoughts or artistic works
- 10 To admire or cheer on my favorite actors/actresses or characters.
11. To reduce stress
12. To just kill time
13. I don't have any specific purposes.
14. Other (_____)

Q19 When did you start using social media. Please check ONE answer.

1. Before entering elementary school
2. Between first and third grade
3. Between fourth and sixth grade
4. Between seventh and ninth grade
5. After Tenth grade
6. I don't remember

Q20 How has your relationship been affected after you started using social media?

Please check ONE on each row.

	Much better	Somewhat better	Unchanged	Somewhat worse	Much worse
a. With your friends	1	2	3	4	5
B With your parents (guardians)	1	2	3	4	5
c. With your siblings (If you don't have one please skip)	1	2	3	4	5
d. With your teachers	1	2	3	4	5

Q21 Have you met anyone through social media?

1. Yes

2. No



Q22 (If you answered yes on Q21) Have you met that person/s offline?

1. Yes

2. No

Q23 How much do you agree with the following statements?

Please check ONE on each row.

	Agree	Somewhat agree	Somewhat disagree	Disagree
a. It's easier to convey my feelings to online friends rather than offline friends.	1	2	3	4
b. It's easier to convey my feelings to my friends using social media rather than face to face.	1	2	3	4
c. I think it's okay to say anything you want on social media.	1	2	3	4
d. My comments and actions are the same when I'm on social media and real life.	1	2	3	4
e. I check if the information learned though social media is reliable.	1	2	3	4

Q24 Do you think social media has affected you in the following aspect and by how much? Please check ONE answer on each row.

	Very much increased (Much better)	Somewhat increased (Somewhat better)	Unchanged	Somewhat decreased (Somewhat worse)	Very much decreased (Much worse)
a. Motivation for learning	1	2	3	4	5
b. Hobbies and interests	1	2	3	4	5
c. Time management ability	1	2	3	4	5
d. Life skills such as cooking and organizing	1	2	3	4	5
e. Amount of exercising	1	2	3	4	5
f. Spending money	1	2	3	4	5
g. Ability to express myself	1	2	3	4	5
h. Interest toward society	1	2	3	4	5
i. Chance to be praised or recognized	1	2	3	4	5
j. Health concerns including eyesight and posture	1	2	3	4	5

Q25 Have you experienced any of the following in the past year?**Please check ONE on each row.**

	Very often	Often	Sometimes	Rarely	Very rarely
a. I've thought about spending more time on social media.	1	2	3	4	5
b. I've thought a lot about things that happened recently on social media.	1	2	3	4	5
c. I've used social media to reduce feelings of anxieties and depression.	1	2	3	4	5
d. I've tried to use SNS less frequently, but failed to do so.	1	2	3	4	5
e. I've become irritable when I was prohibited from using social media.	1	2	3	4	5
f. I've given less priority to hobbies, leisure activities, or exercise because of social media.	1	2	3	4	5
g. I've checked social media during classes.	1	2	3	4	5

Q26 How often do you do the following on social media sites?**Please check ONE on each row.**

	Often	Sometimes	Rarely	Never
a. I play online games	1	2	3	4
b. When I post comments, I set it to public so that everyone can read it.	1	2	3	4
c. I post comments anonymously.	1	2	3	4
d. I send money to live streamers.	1	2	3	4
e. I use multiple accounts on one social media site	1	2	3	4
f. I send gifts or money to online friends.	1	2	3	4

Q27 What do you think of the following behavior on social media?

Please check ONE answer on each row.

	Absolutely not acceptable	Case by case	It's up to individual
a. Disclosing other people's personal information without permission (Write other people's personal information on social media in public setting where other people can see)	1	2	3
b. Hacking somebody else's account.	1	2	3
c. Posting harassing messages or sending mean words to people.	1	2	3
d. Posting other people's photos without permission.	1	2	3
e. Spreading gossip about other people	1	2	3
f. Posting information by impersonating another person	1	2	3

Q28 Have you experienced any of the following when using social media?

Please check ONE that applies on each row.

	Yes, I have experienced	No, I haven't experienced
a. My personal information was leaked.	1	2
b. I received fake invoices.	1	2
c. My account was hacked.	1	2
d. My picture was posted without my permission.	1	2
e. There was gossip about me that was spread.	1	2

**Q29 Have you ever received a bad-mouthed or a harassing message on social media?
Please check ONE answer.**

1. Often 2. Sometimes 3. Rarely 4. Never



Q30 (If you answered 1 or 2) How do you deal with it? Please check ALL that apply.

1. Talk back, fight back 2. Ignore it
3. Ask for advice from friends 4. Consult my parents
5. Create a new account 6. Other

Q31 Have you ever experienced the following when using social media? Please check ONE answer on each row.

	Often	Sometimes	Rarely	Never
a. Feeling lonely	1	2	3	4
b. Feeling depressed	1	2	3	4
c. Feeling irritated	1	2	3	4
d. Not being able to sleep	1	2	3	4
e. Not being able to focus	1	2	3	4
f. Being jealous of others	1	2	3	4

**Q32 Do you have worries or concerns when using social media?
Please check ALL that apply.**

1. Internet dependency
2. Mood swings
3. Impact on my studies
4. Effects on physical health and development
5. Spend too much money
6. Leakage of private information
7. Being bad mouthed, harassed or bullied
8. Being scammed
9. Getting involved in criminal activities or seeing harmful Information
10. I don't have worries or concerns
11. Other ()

Q33 How often have you felt like the following over the last two weeks?

Please check ONE on each row.

	All the time	Often	Sometimes	Rarely
a.I have felt cheerful and in good spirits	1	2	3	4
b.I have felt calm and relaxed	1	2	3	4
c.I have felt active and vigorous	1	2	3	4
d. I slept well and woke up feeling refreshed.	1	2	3	4
e. My daily life has been filled with things that interest me.	1	2	3	4

Q34 Do your parents (guardians) do the following regarding your internet use?

Please check ALL that apply.

1. They set rules on how long or when I can use the internet
2. They set rules on how much money I can spend on the internet
3. They set a filter to block specific sites
4. They check the content of the websites I use
5. We discuss how to use social network or information I saw on the social network
6. They warn me about posting personal information or about internet security
7. They don't set any rules for me on the internet

Q35 Does your school ban students from bringing cellphones to class?

Please check ONE answer.

1. Yes, they ban it
- 2.No, they don't ban it

**Q36 Have you learned about any of the following aspects of social media at school ?
Please check ONE on each row.**

	Yes, I have learned it.	No, I haven't learned it.
a. About privacy and personal information	1	2
b. About internet security	1	2
c. Safety awareness (predict danger and prevent damage)	1	2
d. Manners, rules and choice of words to communicate properly	1	2
e. How to prevent social media dependency	1	2
f. How to deal with online slander or trouble on social media	1	2
g. How to judge and collect the right information.	1	2

Q37 Which one from the following, do you think, are the most important aspects to learn at school when using social media? Please check UP TO 3 answers.

1. Knowledge on privacy and personal information
2. Knowledge on internet security
3. To have safety awareness (predict danger and prevent damage)
4. Manners, rules and choice of words to communicate properly
5. How to prevent social media dependency
6. How to deal with online slander or trouble on social media.
7. How to judge and collect the right information.

Thank you very much for your cooperation!

単純集計表

(パーセントの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、択一式の質問項目であっても、その和は必ずしも100.0%に一致しない。)

	日本	米国	中国	韓国
1. 男	48.6	46.0	50.5	49.5
2. 女	48.7	50.6	49.5	50.5
3. どちらともいえない	0.8	1.7	-	-
4. 答えたくない	1.7	1.7	-	-
無回答	0.2	0.0	0.0	0.0
回答者数	4356	1512	7750	1508

問2 あなたの学年

	日本	米国	中国	韓国
1. 高1	33.6	36.8	49.8	43.6
2. 高2	34.8	35.4	27.1	33.4
3. 高3	31.2	27.8	23.1	23.0
無回答	0.4	0.0	0.0	0.0
回答者数	4356	1512	7750	1508

問3 あなたはふだんの生活において、次のことがどのくらいありますか。それぞれについてお答えください。

a. 就寝時間が遅くなること

	日本	米国	中国	韓国
よくある	51.9	44.6	27.4	44.6
たまにある	40.6	44.2	55.5	41.0
ほとんどない	7.3	11.2	17.1	13.9
無回答	0.2	0.0	0.0	0.5
回答者数	4356	1512	7750	1508

b. 起床時間が遅くなること

	日本	米国	中国	韓国
よくある	24.3	19.4	8.3	28.8
たまにある	42.2	43.6	47.7	42.3
ほとんどない	33.1	37.0	44.0	28.3
無回答	0.4	0.0	0.0	0.5
回答者数	4356	1512	7750	1508

c. 朝食を食べないこと

	日本	米国	中国	韓国
よくある	11.6	43.2	13.0	40.8
たまにある	16.9	26.7	43.8	30.6
ほとんどない	71.1	30.1	43.2	28.1
無回答	0.4	0.0	0.0	0.6
回答者数	4356	1512	7750	1508

d. 食事の時間が不規則であること

	日本	米国	中国	韓国
よくある	14.6	34.5	9.8	28.6
たまにある	34.1	41.8	43.8	41.0
ほとんどない	50.7	23.7	46.4	29.7
無回答	0.6	0.0	0.0	0.7
回答者数	4356	1512	7750	1508

e. 休日に外かけて活動(運動やスポーツ、ショッピング、遊びなど)をしないこと

	日本	米国	中国	韓国
よくある	24.6	16.9	23.6	27.9
たまにある	39.3	35.0	52.6	41.6
ほとんどない	35.4	48.1	23.8	29.8
無回答	0.6	0.0	0.0	0.7
回答者数	4356	1512	7750	1508

問4 今、あなたは体育の授業以外で、運動をどのくらいしていますか。

	日本	米国	中国	韓国
1. ほとんど毎日している	35.4	31.5	19.7	15.3
2. 1週間に3~4日している	11.1	25.3	19.0	31.1
3. 1週間に1~2日している	16.6	24.2	34.5	19.9
4. ほとんどしていない	36.8	19.0	26.9	33.5
無回答	0.1	0.0	0.0	0.2
回答者数	4356	1512	7750	1508

問5 あなたは親(保護者)との関係に満足していますか。

	日本	米国	中国	韓国
1. 非常に満足している	53.6	52.1	50.1	36.5
2. まあ満足している	39.6	38.0	42.2	51.8
3. あまり満足していない	4.8	7.1	5.9	5.4
4. 満足していない	1.9	2.8	1.8	6.2
無回答	0.2	0.0	0.0	0.1
回答者数	4356	1512	7750	1508

問6 最近一か月、あなたは親(保護者)に叱られたことがありますか。

	日本	米国	中国	韓国
1. よくある	13.2	14.4	5.5	11.9
2. 時々ある	28.9	35.9	23.3	44.2
3. あまりない	34.1	36.5	51.2	32.2
4. 全くない	23.7	13.2	19.9	11.6
無回答	0.1	0.0	0.0	0.1
回答者数	4356	1512	7750	1508

問7 あなたは一緒に遊ぶ友達がいますか。

	日本	米国	中国	韓国
1. いない	2.6	4.3	3.1	4.4
2. 1~2人いる	11.5	19.0	27.1	15.7
3. 3~5人いる	34.9	37.8	41.6	34.9
4. 6~9人いる	21.8	18.0	11.9	19.0
5. 10人以上いる	29.1	20.9	16.3	25.9
無回答	0.1	0.0	0.0	0.0
回答者数	4356	1512	7750	1508

問8 あなたは友達との関係に満足していますか。

	日本	米国	中国	韓国
1. 非常に満足している	54.2	55.9	41.2	36.1
2. まあ満足している	40.9	38.5	53.3	53.3
3. あまり満足していない	3.5	4.1	4.2	5.6
4. 満足していない	1.2	1.5	1.2	5.0
無回答	0.2	0.0	0.0	0.0
回答者数	4356	1512	7750	1508

問9 あなたは勉強についてプレッシャーを感じていますか。

	日本	米国	中国	韓国
1. とても感じている	22.8	29.9	15.6	17.7
2. まあ感じている	42.1	44.5	35.1	51.1
3. どちらともいえない	17.1	12.6	42.2	14.9
4. あまり感じていない	10.4	10.1	4.0	8.2
5. 全く感じていない	7.0	2.8	3.2	7.9
無回答	0.7	0.0	0.0	0.3
回答者数	4356	1512	7750	1508

問10 あなた自身のことをお聞きします。次のそれぞれについてお答えください。

a. 自分には友達がたくさんいる(インターネット上のみの友達を除く)

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	25.5	31.2	26.6	28.4
まあそう思う	44.1	39.6	48.0	43.7
あまりそう思わない	24.9	19.9	21.0	23.5
全くそう思わない	5.2	9.3	4.3	4.2
無回答	0.2	0.0	0.0	0.3
回答者数	4356	1512	7750	1508

b. いまの自分が好きだ

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	17.8	34.9	27.0	26.7
まあそう思う	44.7	41.5	48.3	46.0
あまりそう思わない	29.3	16.1	19.8	23.1
全くそう思わない	7.9	7.5	4.8	4.0
無回答	0.3	0.0	0.0	0.3
回答者数	4356	1512	7750	1508

c. 自分はダメな人間だと思う

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	15.2	10.6	8.1	9.3
まあそう思う	42.0	21.6	25.5	24.9
あまりそう思わない	33.0	32.9	39.0	43.7
全くそう思わない	9.6	34.9	27.4	21.8
無回答	0.2	0.0	0.0	0.3
回答者数	4356	1512	7750	1508

d. 注目される人間になりたい

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	11.6	10.1	11.2	16.2
まあそう思う	30.4	26.3	35.0	34.0
あまりそう思わない	42.1	34.1	38.8	38.1
全くそう思わない	15.7	29.5	15.0	11.4
無回答	0.1	0.0	0.0	0.3
回答者数	4356	1512	7750	1508

e. 人からほめられることを望んでいる

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	34.3	21.0	26.4	25.3
まあそう思う	47.1	36.5	53.3	41.7
あまりそう思わない	15.2	23.5	16.3	26.2
全くそう思わない	3.2	19.0	4.0	6.2
無回答	0.2	0.0	0.0	0.5
回答者数	4356	1512	7750	1508

f. ストレスを感じやすい

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	31.1	30.8	14.1	19.8
まあそう思う	37.0	34.6	45.7	35.0
あまりそう思わない	25.0	24.0	32.4	34.3
全くそう思わない	6.7	10.6	7.7	10.6
無回答	0.2	0.0	0.0	0.3
回答者数	4356	1512	7750	1508

g. 将来に対し、はっきりした目標をもっている

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	22.4	32.5	20.3	22.7
まあそう思う	30.8	36.0	42.2	34.6
あまりそう思わない	32.0	21.3	30.8	33.7
全くそう思わない	14.4	10.1	6.8	8.7
無回答	0.3	0.0	0.0	0.3
回答者数	4356	1512	7750	1508

h. 自分のことは自分で決められる

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	26.1	44.3	23.3	27.5
まあそう思う	51.6	38.8	55.4	41.8
あまりそう思わない	19.9	11.6	18.4	25.7
全くそう思わない	2.1	5.4	2.9	4.6
無回答	0.3	0.0	0.0	0.5
回答者数	4356	1512	7750	1508

i. 他人の意見に影響されやすい

	日本	米国	中国	韓国
とてもそう思う	20.6	19.1	13.9	17.0
まあそう思う	44.6	34.0	38.1	36.3
あまりそう思わない	27.8	31.3	36.3	35.3
全くそう思わない	6.7	15.6	11.8	10.9
無回答	0.3	0.0	0.0	0.5
回答者数	4356	1512	7750	1508

問11 あなたは、ふだん誰と一緒に住んでいますか。

	日本	米国	中国	韓国
1. 父親	78.2	76.1	58.5	71.8
2. 母親	91.2	90.9	71.6	76.5
3. きょうだい	69.7	76.1	39.1	56.5
4. 祖父・祖母	19.9	20.4	22.0	13.4
5. 親戚	1.0	14.0	4.1	2.5
6. 学校の寮	5.6	0.3	41.9	8.5
7. 一人暮らし	0.4	0.5	2.1	3.3
8. その他	1.6	3.2	1.3	1.7
回答者数	4356	1512	7750	1508

問12 あなたは、自分の家の経済状況をどう思いますか。

	日本	米国	中国	韓国
1. 裕福なほう	8.8	4.5	4.8	7.5
2. わりと裕福なほう	36.4	24.4	17.5	29.0
3. どちらともいえない	40.7	59.0	66.3	52.7
4. わりと厳しいほう	11.7	11.0	9.6	7.2
5. 厳しいほう	2.2	1.1	1.8	3.6
無回答	0.2	0.0	0.0	0.0
回答者数	4356	1512	7750	1508

問13 あなたの成績はクラスの中でどのくらいですか。

	日本	米国	中国	韓国
1. 上	12.3	18.9	7.0	10.0
2. 中の上	22.3	38.2	25.7	23.1
3. 中	27.8	33.3	43.4	39.7
4. 中の下	21.5	7.7	18.2	19.4
5. 下	15.8	1.9	5.7	7.6
無回答	0.3	0.0	0.0	0.3
回答者数	4356	1512	7750	1508

問14 あなたはチャットGPTやチャットボットなどのような生成AIを使ったことがありますか。

	日本	米国	中国	韓国
1. よくある	5.1	3.0	2.3	7.9
2. たまにある	23.9	27.0	15.5	37.9
3. 使ったことはないが、使ってみたいと思う	34.0	16.7	34.3	29.7
4. 使ったことはないが、使ってみたいとも思わない	36.7	53.3	47.9	24.0
無回答	0.3	0.0	0.0	0.5
回答者数	4356	1512	7750	1508

問15 あなたが主に使っているSNSはどれですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

	日本	米国	中国	韓国
1. LINE(中国: WeChat)	96.6	1.3	82.4	6.9
2. Instagram(中国: 小紅書)	80.5	85.6	17.8	79.8
3. X(Twitter)(中国: Weibo)	56.5	27.8	17.0	21.1
4. Facebook(中国: 百度貼吧)	2.5	20.2	5.8	17.9
5. TikTok	60.1	76.4	43.3	26.1
6. YouTube(中国: bilibili)	91.8	74.7	25.1	71.6
(中国: QQ)	-	-	61.2	-
7. 上記以外のもの	7.4	15.3	2.5	4.4
8. SNSを利用していない(問30へ)	1.1	3.4	9.9	0.1
回答者数	4356	1512	7750	1508

問16 あなたは1日当たりSNSを利用する時間は平均でどのくらいですか。平日と休日をそれぞれお答えください。

問16-1 平日の場合

	日本	米国	中国	韓国
1. 30分未満	3.3	1.8	35.6	4.5
2. 30分～1時間未満	9.4	4.0	17.3	17.6
3. 1～2時間未満	26.7	13.9	12.8	22.7
4. 2～3時間未満	25.3	20.1	7.0	19.0
5. 3～4時間未満	17.3	16.4	3.6	11.0
6. 4～5時間未満	7.4	11.2	1.4	8.4
7. 5時間以上	8.0	21.8	3.9	8.8
8. わからない	2.4	10.9	18.3	7.9
無回答	0.2	0.0	0.0	0.1
回答者数	4306	1461	6984	1506

問16-2 休日の場合

	日本	米国	中国	韓国
1. 30分未満	1.4	1.9	9.9	4.6
2. 30分～1時間未満	3.3	3.1	12.8	7.4
3. 1～2時間未満	8.4	7.0	18.5	11.8
4. 2～3時間未満	17.3	14.3	16.4	12.9
5. 3～4時間未満	21.5	18.3	9.7	15.5
6. 4～5時間未満	16.8	13.8	5.3	15.3
7. 5時間以上	27.2	29.6	14.1	19.9
8. わからない	3.4	11.9	13.3	12.2
無回答	0.7	0.0	0.0	0.3
回答者数	4306	1461	6984	1506

問17 あなたはSNSを利用する主な目的は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。
(○はいくつでも)

	日本	米国	中国	韓国
1. リアルな友達や知り合いとのコミュニケーション	76.7	73.3	71.8	64.4
2. 直接会ったことがない(ネット上の)友達とのコミュニケーション	16.2	22.2	11.8	17.1
3. 家族との連絡	75.8	49.4	51.7	31.5
4. 勉強に関する情報の収集	46.1	34.5	45.1	22.0
5. 趣味や興味のある話題に関する情報の収集	82.4	66.4	56.4	52.1
6. ニュースや社会の出来事に関する情報の収集	30.1	49.3	24.0	21.2
7. 生活や暮らし(ファッションや美容、健康、料理など)に関する情報の収集	45.6	50.6	22.7	31.7
8. ゲームや音楽などの娯楽	86.2	80.2	55.8	39.7
9. 自分の考えや作品などの発信	9.2	24.4	15.1	9.0
10. 推し活(自分が推しているアイドルや俳優、キャラクターなどを愛でたり応援したりする活動)	36.7	23.0	5.8	18.1
11. ストレス解消	40.9	57.6	47.7	43.8
12. ひまつぶし	70.7	74.4	30.2	39.1
13. その他	1.3	2.5	0.2	1.1
14. 特になし	0.6	2.2	3.4	4.2
回答者数	4306	1461	6984	1506

問18 あなたが、SNSを利用し始めたのはいつ頃でしたか。

	日本	米国	中国	韓国
1. 小学入学前	1.4	1.8	3.7	10.1
2. 小学1～3年	6.9	6.8	7.2	15.3
3. 小学4～6年	28.5	40.7	28.1	32.4
4. 中学1～3年	49.6	43.3	48.6	24.8
5. 高校生になってから	11.7	2.5	4.8	5.4
6. よく覚えていない	1.7	4.9	7.5	11.8
無回答	0.2	0.0	0.0	0.1
回答者数	4306	1461	6984	1506

問19 あなたは、SNSを利用することで、次の関係はどのように変わりましたか。それぞれについてお答えください。

a. 友達との関係

	日本	米国	中国	韓国
非常によくなった	25.1	26.9	19.9	20.5
少しよくなった	22.2	28.6	39.6	25.6
変わらない	51.4	35.9	38.0	49.3
少し悪くなった	0.8	6.3	1.5	3.5
非常に悪くなった	0.4	2.3	0.6	1.1
無回答	0.1	0.0	0.5	0.1
回答者数	4306	1461	6984	1506

b. 親(保護者)との関係

	日本	米国	中国	韓国
非常によくなった	11.0	7.7	16.8	7.8
少しよくなった	8.5	14.0	23.4	16.0
変わらない	76.6	65.8	50.0	65.6
少し悪くなった	3.3	10.3	6.9	9.2
非常に悪くなった	0.5	2.1	1.5	1.1
無回答	0.2	0.1	1.4	0.2
回答者数	4306	1461	6984	1506

c. きょうだいとの関係(きょうだいがいない場合、回答しない)

	日本	米国	中国	韓国
非常によくなった	10.5	11.9	15.9	4.8
少しよくなった	8.9	18.1	23.7	11.6
変わらない	69.5	55.1	44.3	48.7
少し悪くなった	0.8	4.8	1.8	3.9
非常に悪くなった	0.2	2.3	0.5	0.5
きょうだいがいない・無回答	10.0	7.7	13.7	30.5
回答者数	4306	1461	6984	1506

d. 先生との関係

	日本	米国	中国	韓国
非常によくなった	4.8	5.4	14.0	8.3
少しよくなった	4.9	7.0	23.2	11.2
変わらない	89.3	80.1	58.6	74.0
少し悪くなった	0.4	4.6	1.4	4.6
非常に悪くなった	0.3	2.8	0.7	1.6
無回答	0.3	0.1	2.1	0.3
回答者数	4306	1461	6984	1506

問20 あなたは、SNSを通じて知り合った人がいますか。

	日本	米国	中国	韓国
1. いる	49.2	66.3	50.8	41.0
2. いない	50.1	33.7	49.2	57.3
無回答	0.7	0.0	0.0	1.7
回答者数	4306	1461	6984	1506

問20sq (問20で「いる」と回答した方)その人と実際に会ったことがありますか。

	日本	米国	中国	韓国
1. ある	43.3	67.7	18.4	49.4
2. ない	56.3	32.3	81.6	50.1
無回答	0.4	0.0	0.0	0.5
回答者数	2143	969	3548	621

問21 次のことはあなたにどのくらいあてはまりますか。それぞれについてお答えください。

a. リアルの友人よりもSNSで知り合った人のほうが気持ちを伝えやすい

	日本	米国	中国	韓国
そうだ	5.1	14.5	12.0	13.9
まあそうだ	13.4	26.4	30.8	24.2
あまりそうではない	32.6	26.7	38.2	37.5
そうではない	46.3	32.4	19.1	23.8
無回答	2.6	0.0	0.0	0.6
回答者数	4306	1461	6984	1506

b. 友達と直接話すより、SNSを通じたほうが気持ちが伝えやすい

	日本	米国	中国	韓国
そうだ	6.4	16.3	12.4	11.0
まあそうだ	20.3	31.8	36.5	32.1
あまりそうではない	35.1	27.5	34.3	38.0
そうではない	35.9	24.4	16.9	18.3
無回答	2.3	0.0	0.0	0.6
回答者数	4306	1461	6984	1506

c. SNS上では、自分の言いたいことを何でも言ってよいと思う

	日本	米国	中国	韓国
そうだ	1.3	5.7	6.7	7.8
まあそうだ	3.6	12.5	19.8	22.2
あまりそうではない	19.9	24.6	42.4	36.9
そうではない	72.8	57.1	31.1	32.6
無回答	2.3	0.0	0.0	0.5
回答者数	4306	1461	6984	1506

d. SNSでもリアルでも自分の発言や行動が変わらない

	日本	米国	中国	韓国
そうだ	29.8	27.8	19.6	25.2
まあそうだ	43.4	38.1	47.5	40.0
あまりそうではない	15.3	23.4	25.0	24.9
そうではない	9.1	10.7	7.9	9.2
無回答	2.4	0.0	0.0	0.7
回答者数	4306	1461	6984	1506

e. SNSで見た情報が正しいかどうかを確認する

	日本	米国	中国	韓国
そうだ	34.1	27.8	30.9	21.9
まあそうだ	46.8	44.7	50.1	38.7
あまりそうではない	13.6	19.9	14.1	28.1
そうではない	3.0	7.6	5.0	10.6
無回答	2.4	0.0	0.0	0.6
回答者数	4306	1461	6984	1506

問22 SNSを利用することで自分にどのような影響があったと思いますか。次のそれぞれについてお答えください。

a. 学習に対する意欲

	日本	米国	中国	韓国
非常に高くなった	4.7	13.0	13.6	14.5
少し高くなった	21.1	28.2	35.6	32.8
変わらない	49.7	39.1	41.1	45.5
少し低くなった	19.1	16.4	7.9	4.9
非常に低くなった	5.1	3.4	1.7	2.1
無回答	0.3	0.0	0.0	0.2
回答者数	4306	1461	6984	1506

b. 趣味や興味のあること

	日本	米国	中国	韓国
非常に増えた	50.9	32.9	21.5	19.2
少し増えた	37.9	41.1	45.2	42.1
変わらない	10.3	18.4	29.6	32.3
少し減った	0.4	5.4	2.6	5.0
非常に減った	0.1	2.2	1.1	1.1
無回答	0.4	0.0	0.0	0.3
回答者数	4306	1461	6984	1506

c. 時間を管理する能力

	日本	米国	中国	韓国
非常に高くなった	4.7	7.3	12.9	6.3
少し高くなった	15.5	16.5	28.5	18.3
変わらない	39.0	37.8	38.1	46.4
少し低くなった	32.5	30.3	17.1	23.6
非常に低くなった	8.0	8.1	3.4	5.2
無回答	0.3	0.0	0.0	0.2
回答者数	4306	1461	6984	1506

d. 料理や整理整頓などの生活能力

	日本	米国	中国	韓国
非常に高くなった	9.2	20.1	19.6	8.2
少し高くなった	23.5	38.1	41.1	23.7
変わらない	59.0	33.0	33.9	52.1
少し低くなった	6.0	6.3	3.9	12.4
非常に低くなった	2.0	2.6	1.5	3.3
無回答	0.3	0.0	0.0	0.3
回答者数	4306	1461	6984	1506

e. 運動量

	日本	米国	中国	韓国
非常に増えた	7.0	15.7	13.9	9.6
少し増えた	11.0	23.3	27.5	17.7
変わらない	61.6	44.4	45.9	50.4
少し減った	13.9	11.2	10.2	16.6
非常に減った	6.1	5.3	2.5	5.4
無回答	0.4	0.0	0.0	0.2
回答者数	4306	1461	6984	1506

f. お金を使うこと

	日本	米国	中国	韓国
非常に増えた	13.8	14.7	11.5	12.1
少し増えた	38.2	24.0	29.6	28.2
変わらない	43.6	43.2	46.1	48.9
少し減った	2.9	13.6	10.5	8.2
非常に減った	1.2	4.5	2.2	2.5
無回答	0.3	0.0	0.0	0.2
回答者数	4306	1461	6984	1506

g. 自分を表現すること

	日本	米国	中国	韓国
非常に増えた	10.8	19.3	13.9	10.8
少し増えた	26.6	33.5	35.0	29.5
変わらない	59.6	38.5	46.5	49.6
少し減った	2.1	6.0	3.3	7.7
非常に減った	0.6	2.7	1.2	2.1
無回答	0.3	0.0	0.0	0.3
回答者数	4306	1461	6984	1506

h. 社会への関心

	日本	米国	中国	韓国
非常に高くなった	14.3	16.2	19.9	13.4
少し高くなった	41.6	28.3	47.3	37.3
変わらない	41.5	42.6	29.4	40.2
少し低くなった	1.6	8.3	2.4	6.9
非常に低くなった	0.6	4.6	1.0	2.1
無回答	0.4	0.0	0.0	0.1
回答者数	4306	1461	6984	1506

i. 人から褒められたり、認められたりする機会

	日本	米国	中国	韓国
非常に増えた	9.1	13.1	15.6	10.4
少し増えた	25.1	24.9	36.8	23.0
変わらない	63.7	50.0	43.5	55.8
少し減った	1.4	7.3	2.9	8.2
非常に減った	0.4	4.7	1.2	2.3
無回答	0.3	0.0	0.0	0.2
回答者数	4306	1461	6984	1506

j. 健康問題(視力や姿勢を含む)に関する悩み

	日本	米国	中国	韓国
非常に増えた	7.9	11.2	12.1	9.7
少し増えた	25.7	22.1	21.9	22.4
変わらない	59.0	47.6	38.3	52.3
少し減った	5.5	13.6	23.6	10.7
非常に減った	1.7	5.4	4.1	4.7
無回答	0.3	0.0	0.0	0.2
回答者数	4306	1461	6984	1506

問23 この1年間において、あなたは次のことがありましたか。次のそれぞれについてお答えください。

a. もっと多くの時間をSNSに費やしたいと考えたこと

	日本	米国	中国	韓国
いつもある	6.9	7.6	8.1	8.1
よくある	14.2	15.2	16.8	16.8
ときどきある	29.1	33.1	43.5	37.2
あまりない	32.7	28.0	22.5	25.7
ない	16.9	16.1	9.2	12.0
無回答	0.2	0.0	0.0	0.2
回答者数	4306	1461	6984	1506

b. SNSで起こった出来事について、いろいろと考えてしまうこと

	日本	米国	中国	韓国
いつもある	4.8	9.7	4.8	7.9
よくある	15.6	26.0	9.4	23.7
ときどきある	30.8	37.0	30.3	42.6
あまりない	30.0	19.2	39.0	18.0
ない	18.6	8.1	16.5	7.6
無回答	0.3	0.0	0.0	0.2
回答者数	4306	1461	6984	1506

c. 不安やストレスを軽減するためにSNSを使ったこと

	日本	米国	中国	韓国
いつもある	10.5	15.6	7.6	7.8
よくある	24.9	25.1	17.2	20.9
ときどきある	28.3	30.5	37.3	37.7
あまりない	20.5	14.2	24.5	22.9
ない	15.7	14.5	13.4	10.5
無回答	0.3	0.0	0.0	0.1
回答者数	4306	1461	6984	1506

d. SNSの利用頻度を減らそうと思ったが失敗したこと

	日本	米国	中国	韓国
いつもある	7.9	7.0	6.2	7.3
よくある	20.6	20.5	12.9	18.2
ときどきある	25.8	38.0	33.1	35.1
あまりない	23.5	19.8	27.9	26.8
ない	21.7	14.7	19.9	12.4
無回答	0.4	0.0	0.0	0.1
回答者数	4306	1461	6984	1506

e. SNSの利用を禁止されてイライラしたこと

	日本	米国	中国	韓国
いつもある	4.2	5.7	5.8	5.9
よくある	7.8	13.1	10.9	11.6
ときどきある	19.3	26.8	27.8	28.1
あまりない	27.5	25.6	30.4	28.2
ない	40.6	28.7	25.1	26.1
無回答	0.6	0.0	0.0	0.1
回答者数	4306	1461	6984	1506

f. SNSが原因で、趣味や余暇活動、運動の優先順位が下がったこと

	日本	米国	中国	韓国
いつもある	3.6	5.5	5.0	6.0
よくある	10.5	12.3	9.8	12.0
ときどきある	22.0	26.4	24.5	33.1
あまりない	30.3	23.1	31.2	30.8
ない	33.2	32.7	29.5	17.9
無回答	0.3	0.0	0.0	0.1
回答者数	4306	1461	6984	1506

g. 授業中、SNSをみること

	日本	米国	中国	韓国
いつもある	1.6	26.7	2.7	5.9
よくある	2.2	29.2	4.4	10.2
ときどきある	8.0	28.1	10.0	28.3
あまりない	11.2	10.5	12.2	26.3
ない	76.7	5.6	70.7	29.2
無回答	0.3	0.0	0.0	0.1
回答者数	4306	1461	6984	1506

問24 あなたはSNSを使って、次のようなことをどのくらいしていますか。次のそれぞれについてお答えください。

a. オンラインゲームをすること

	日本	米国	中国	韓国
よくしている	31.8	35.9	19.1	24.9
ときどきしている	22.5	30.5	40.2	38.1
あまりしていない	15.1	19.0	24.2	21.3
していない	30.3	14.6	16.6	15.5
無回答	0.3	0.0	0.0	0.3
回答者数	4306	1461	6984	1506

b. 投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること

	日本	米国	中国	韓国
よくしている	10.9	22.9	11.3	12.1
ときどきしている	14.4	24.2	27.7	37.0
あまりしていない	18.6	23.5	30.1	30.9
していない	55.9	29.3	30.9	19.9
無回答	0.3	0.0	0.0	0.1
回答者数	4306	1461	6984	1506

c. 匿名で投稿すること

	日本	米国	中国	韓国
よくしている	8.0	5.2	4.4	7.4
ときどきしている	11.3	11.6	15.7	21.9
あまりしていない	16.7	16.4	23.7	34.4
していない	63.5	66.8	56.3	36.0
無回答	0.5	0.0	0.0	0.3
回答者数	4306	1461	6984	1506

d. 投げ銭をすること(オンラインのライブ配信者に対して視聴者がお金を送付すること)

	日本	米国	中国	韓国
よくしている	1.0	2.1	2.5	6.6
ときどきしている	2.6	4.2	7.7	16.1
あまりしていない	3.9	5.8	12.5	26.4
していない	92.0	87.9	77.3	50.6
無回答	0.5	0.0	0.0	0.3
回答者数	4306	1461	6984	1506

e. 1つのSNSに複数のアカウントを使い分けること

	日本	米国	中国	韓国
よくしている	27.6	16.7	5.0	10.4
ときどきしている	26.6	24.7	12.8	27.2
あまりしていない	13.1	19.1	18.7	28.7
していない	32.5	39.5	63.4	33.4
無回答	0.3	0.0	0.0	0.3
回答者数	4306	1461	6984	1506

f. 友達にプレゼントやお金を送ること

	日本	米国	中国	韓国
よくしている	3.6	2.8	5.8	13.4
ときどきしている	15.5	6.9	29.5	41.4
あまりしていない	16.5	7.6	31.2	24.4
していない	64.0	82.7	33.5	20.5
無回答	0.4	0.0	0.0	0.3
回答者数	4306	1461	6984	1506

問25 SNS上の次のような行動について、あなたはどのように思いますか。それぞれについてお答えください。

a. 他人の個人情報を無断に公開する（他人が見ることのできるSNSで、他人の情報を書き込む）

	日本	米国	中国	韓国
何があってもダメ	80.9	81.2	86.7	72.0
場合による	16.2	11.6	9.7	22.6
その人の自由	2.6	7.3	3.6	5.1
無回答	0.3	0.0	0.0	0.3
回答者数	4306	1461	6984	1506

b. 他人のアカウントを乗っ取りする

	日本	米国	中国	韓国
何があってもダメ	89.6	82.3	89.3	77.5
場合による	8.1	11.3	7.1	17.9
その人の自由	2.0	6.4	3.6	4.3
無回答	0.3	0.0	0.0	0.2
回答者数	4306	1461	6984	1506

c. 悪口や嫌がらせのメッセージやコメントを送ったり、書き込みをする

	日本	米国	中国	韓国
何があってもダメ	89.2	78.2	87.0	79.0
場合による	7.8	13.8	9.2	15.5
その人の自由	2.7	8.1	3.8	5.1
無回答	0.3	0.0	0.0	0.3
回答者数	4306	1461	6984	1506

d. 他人の写真を無断投稿する

	日本	米国	中国	韓国
何があってもダメ	81.9	63.4	87.5	77.4
場合による	15.9	27.4	8.8	16.9
その人の自由	1.9	9.1	3.7	5.5
無回答	0.3	0.0	0.0	0.2
回答者数	4306	1461	6984	1506

e. 他人のうわさ話を拡散する

	日本	米国	中国	韓国
何があってもダメ	81.7	69.1	89.0	77.6
場合による	14.6	22.6	7.4	15.6
その人の自由	3.4	8.3	3.6	6.6
無回答	0.4	0.0	0.0	0.3
回答者数	4306	1461	6984	1506

f. 他人になりすまして情報を発信する

	日本	米国	中国	韓国
何があってもダメ	92.9	81.2	87.9	81.3
場合による	5.2	11.2	8.3	12.4
その人の自由	1.6	7.6	3.7	6.0
無回答	0.3	0.0	0.0	0.3
回答者数	4306	1461	6984	1506

問26 あなたはSNSを利用して、次のようなことがありますか。次のそれぞれについてお答えください。

「ある」と回答した者の割合

	日本	米国	中国	韓国
a. 個人情報が漏えいされたこと	5.4	14.5	8.5	21.1
b. 架空請求をされたこと	8.8	34.8	12.3	14.6
c. アカウントの乗っ取りをされたこと	8.5	26.6	21.0	18.4
d. 自分の写真が無断投稿されたこと	12.2	30.1	7.7	15.5
e. 自分についてのうわさ話が拡散されたこと	7.6	33.8	7.0	19.7
回答者数	4306	1461	6984	1506

問27 あなたはSNS上で悪口や嫌がらせを受けたことがありますか。

	日本	米国	中国	韓国
1. よくある	0.7	5.3	2.3	2.2
2. 時々ある	3.6	25.1	9.5	7.9
3. あまりない	13.7	35.7	26.9	15.3
4. 全くない	81.6	34.0	61.4	73.9
無回答	0.5	0.0	0.0	0.7
回答者数	4306	1461	6984	1506

問27sq (問27で「よくある」「時々ある」と回答した方) そのようなことがあった場合、あなたはどのように対処しますか。(〇はいくつでも)

	日本	米国	中国	韓国
1. やり返す	19.6	49.7	53.6	20.9
2. 無視する	73.7	76.1	48.4	43.8
3. 友人に相談する	33.9	23.9	28.9	30.1
4. 親(保護者)に相談する	20.2	14.4	19.7	13.1
5. アカウント(ID)を変える	15.3	4.1	11.6	13.1
6. その他	8.2	6.8	4.6	3.3
回答者数	184	443	819	153

問28 SNSの利用により、次のようなことを経験したことがありますか。次のそれぞれについてお答えください。

a. 寂しくなる

	日本	米国	中国	韓国
よくある	6.4	12.6	6.2	11.2
ときどきある	19.4	29.0	24.9	24.7
あまりない	27.1	29.2	32.5	35.0
ない	46.4	29.3	36.4	28.8
無回答	0.7	0.0	0.0	0.3
回答者数	4306	1461	6984	1506

b. 落ち込む

	日本	米国	中国	韓国
よくある	7.4	10.3	5.4	8.6
ときどきある	21.6	23.2	22.3	28.5
あまりない	25.3	28.5	33.2	32.8
ない	44.9	37.9	39.1	29.8
無回答	0.7	0.0	0.0	0.3
回答者数	4306	1461	6984	1506

c. イライラする

	日本	米国	中国	韓国
よくある	5.8	13.6	5.3	10.6
ときどきある	19.1	34.1	21.3	24.0
あまりない	28.6	26.5	33.4	33.5
ない	45.8	25.9	39.9	31.5
無回答	0.8	0.0	0.0	0.4
回答者数	4306	1461	6984	1506

d. 眠れない

	日本	米国	中国	韓国
よくある	8.5	19.5	5.0	10.8
ときどきある	23.3	33.6	18.3	30.9
あまりない	24.5	23.1	32.2	31.6
ない	43.0	23.8	44.5	26.5
無回答	0.8	0.0	0.0	0.3
回答者数	4306	1461	6984	1506

e. ものごとに集中できない

	日本	米国	中国	韓国
よくある	11.2	20.0	6.7	12.4
ときどきある	31.0	34.9	23.1	33.7
あまりない	23.6	26.1	32.1	29.8
ない	33.4	19.0	38.1	23.8
無回答	0.8	0.0	0.0	0.3
回答者数	4306	1461	6984	1506

f. 他人に嫉妬する

	日本	米国	中国	韓国
よくある	8.0	14.0	3.1	7.8
ときどきある	21.2	25.3	11.7	19.7
あまりない	25.2	28.1	30.6	35.9
ない	44.8	32.6	54.6	36.3
無回答	0.8	0.0	0.0	0.3
回答者数	4306	1461	6984	1506

問29 SNSの利用で何か不安や心配がありますか。(〇はいくつでも)

	日本	米国	中国	韓国
1. ネット依存	48.8	29.0	43.8	34.0
2. 気分の変動	14.9	28.9	34.7	17.7
3. 勉強への影響	55.5	49.5	57.2	38.1
4. 体の健康や発達への影響	24.3	31.5	35.5	13.6
5. お金の使いすぎ	18.1	29.4	24.0	15.5
6. 個人情報の漏えい	28.8	35.5	35.7	21.3
7. 悪口や嫌がらせ、いじめを受けること	14.6	27.3	23.6	11.7
8. 詐欺被害	27.8	31.6	28.0	10.7
9. 犯罪・有害情報に触れてしまうこと	24.0	20.7	17.9	12.1
10. その他	1.2	2.5	0.2	2.5
11. 特にない	19.5	26.0	19.0	26.7
回答者数	4306	1461	6984	1506

問30 以下の5つの項目について、最近2週間のあなたの状態に最も近いものを選んでください。

a. 明るく、楽しい気分で過ごした

	日本	米国	中国	韓国
いつもそうだった	25.6	20.8	20.7	25.3
そういう時が多かった	52.4	46.7	51.0	45.4
そういう時は少なかった	17.9	25.2	24.0	22.3
ほとんどなかった	3.5	7.3	4.2	6.6
無回答	0.6	0.0	0.0	0.3
回答者数	4356	1512	7750	1508

b. 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした

	日本	米国	中国	韓国
いつもそうだった	23.4	18.9	19.5	20.4
そういう時が多かった	50.2	44.9	50.8	48.7
そういう時は少なかった	21.2	26.4	24.6	23.9
ほとんどなかった	4.4	9.8	5.1	6.4
無回答	0.8	0.0	0.0	0.5
回答者数	4356	1512	7750	1508

c. 意欲的で、活動的に過ごした

	日本	米国	中国	韓国
いつもそうだった	22.4	17.7	20.1	20.7
そういう時が多かった	46.1	38.0	47.6	43.1
そういう時は少なかった	24.9	33.1	27.2	28.1
ほとんどなかった	5.7	11.1	5.2	7.5
無回答	0.9	0.0	0.0	0.6
回答者数	4356	1512	7750	1508

d. ぐっすりと休め、気持ちよくめざめた

	日本	米国	中国	韓国
いつもそうだった	16.0	12.2	17.7	17.4
そういう時が多かった	34.1	27.0	39.5	30.9
そういう時は少なかった	37.2	38.2	33.8	37.2
ほとんどなかった	11.9	22.7	8.9	13.9
無回答	0.8	0.0	0.0	0.6
回答者数	4356	1512	7750	1508

e. 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった

	日本	米国	中国	韓国
いつもそうだった	23.0	22.0	20.7	19.1
そういう時が多かった	41.5	35.7	46.7	39.7
そういう時は少なかった	27.5	32.1	27.6	29.1
ほとんどなかった	7.2	10.1	5.0	11.6
無回答	0.8	0.0	0.0	0.5
回答者数	4356	1512	7750	1508

問31 あなたのインターネットの利用について、親(保護者)は次のことをしていますか。(〇はいくつでも)

	日本	米国	中国	韓国
1. 利用時間(時間帯や時間数)について決めている	12.8	14.3	52.9	16.8
2. 利用金額を決めている	12.4	19.8	21.1	14.7
3. アクセス可能なサイトを制限する(フィルターをかける)	20.9	10.0	15.1	9.0
4. 利用しているインターネットの内容をチェックする	3.4	9.7	17.7	7.1
5. 使い方や情報について話し合う	17.5	22.1	21.7	6.1
6. 個人情報やセキュリティについて注意する	25.5	57.3	51.1	10.1
7. 特にルールがない	51.7	42.5	16.9	62.7
回答者数	4356	1512	7750	1508

問32 あなたの学校では携帯電話やスマートフォンの教室への持ち込みは禁止されていますか。

	日本	米国	中国	韓国
1. 禁止されている	18.1	12.8	91.1	27.3
2. 禁止されていない	80.4	87.2	8.9	72.3
無回答	1.4	0.0	0.0	0.4
回答者数	4356	1512	7750	1508

問33 あなたは、学校でSNSの利用について下記の内容を学習したことがありますか。次のそれぞれについてお答えください。

「ある」と回答した者の割合

	日本	米国	中国	韓国
a. プライバシーと個人情報に関する知識	91.9	87.8	85.8	59.1
b. セキュリティに関する知識	81.5	83.1	89.3	55.1
c. 安全意識をもつこと(危険を予測し、被害を予防する)	90.0	87.8	89.7	57.6
d. 適切にコミュニケーションをとるためのマナーやルール、言葉づかいなど	87.0	82.2	88.4	61.5
e. 依存防止	78.5	57.6	89.1	52.2
f. 他人からの中傷誹謗やトラブルに対する対処法	82.8	70.8	81.7	52.0
g. 正しい情報を収集・判断する方法	87.6	79.2	84.5	56.0
回答者数	4356	1512	7750	1508

問34 あなたにとって学校でSNSの利用に関する次の学習は特にどれが重要だと思いますか。3つまで選んでください。

	日本	米国	中国	韓国
1. プライバシーと個人情報に関する知識	69.3	68.1	75.1	57.1
2. セキュリティに関する知識	30.1	39.2	56.0	40.7
3. 安全意識をもつこと(危険を予測し、被害を予防する)	41.4	60.9	58.0	36.5
4. 適切にコミュニケーションをとるためのマナーやルール、言葉づかいなど	32.1	36.9	22.0	51.4
5. 依存防止	38.1	25.4	28.1	25.1
6. 他人からの中傷誹謗やトラブルに対する対処法	35.2	29.2	18.0	26.1
7. 正しい情報を収集・判断する方法	38.5	28.8	16.1	51.7
回答者数	4356	1512	7750	1508

男女別集計結果

(パーセントの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、択一式の質問項目であっても、その和は必ずしも100.0%に一致しない。)

問2 あなたの学年

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 高1	33.5	33.8	35.0	38.6	49.8	49.8	40.6	46.6
2. 高2	35.8	34.0	36.4	34.8	28.0	26.3	32.8	33.9
3. 高3	30.5	31.9	28.6	26.6	22.3	23.9	26.6	19.4
無回答	0.2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

問3 あなたはふだんの生活において、次のことがどのくらいありますか。それぞれについてお答えください。

a. 就寝時間が遅くなること

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
よくある	46.0	57.9	40.1	48.4	23.6	31.2	45.8	43.4
たまにある	44.3	37.0	46.3	42.6	56.9	54.1	39.8	42.3
ほとんどない	9.4	5.1	13.5	9.0	19.4	14.7	13.5	14.2
無回答	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.1
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

b. 起床時間が遅くなること

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
よくある	20.2	27.8	17.8	19.9	7.9	8.7	29.6	28.1
たまにある	41.3	43.9	40.4	46.9	47.4	48.0	40.4	44.2
ほとんどない	37.9	28.2	41.7	33.1	44.8	43.2	29.0	27.6
無回答	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.1
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

c. 朝食を食べないこと

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
よくある	11.0	11.6	37.8	47.2	11.4	14.7	40.0	41.5
たまにある	16.0	18.1	25.8	27.8	41.6	46.0	29.5	31.7
ほとんどない	72.5	70.2	36.4	25.0	47.1	39.3	29.6	26.5
無回答	0.6	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.3
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

d. 食事の時間が不規則であること

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
よくある	11.4	17.1	25.6	42.2	8.3	11.4	28.6	28.5
たまにある	31.7	37.3	44.0	40.0	40.2	47.4	39.4	42.6
ほとんどない	56.0	45.4	30.4	17.7	51.6	41.1	30.8	28.6
無回答	0.9	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.3
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

e. 休日に出かけて活動(運動やスポーツ、ショッピング、遊びなど)をしないこと

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
よくある	23.6	25.0	18.3	14.7	20.7	26.6	28.5	27.2
たまにある	37.0	41.9	30.1	39.2	51.9	53.2	39.9	43.2
ほとんどない	38.5	32.9	51.7	46.0	27.4	20.2	30.4	29.3
無回答	0.9	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.3
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

問4 今、あなたは体育の授業以外で、運動をどのくらいしていますか。

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. ほとんど毎日している	46.5	24.5	38.0	27.0	24.2	15.1	19.0	11.7
2. 1週間に3～4日している	12.9	9.5	28.6	22.4	23.4	14.6	35.1	27.2
3. 1週間に1～2日している	16.0	17.2	19.3	28.4	32.7	36.2	18.3	21.4
4. ほとんどしていない	24.5	48.6	14.1	22.2	19.7	34.1	27.6	39.3
無回答	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

問5 あなたは親(保護者)との関係に満足していますか。

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 非常に満足している	53.8	54.0	61.2	45.9	52.5	47.7	39.9	33.2
2. まあ満足している	40.8	38.4	31.5	42.6	40.3	44.1	49.3	54.3
3. あまり満足していない	3.9	5.5	4.5	8.9	5.1	6.7	4.7	6.0
4. 満足していない	1.4	1.9	2.9	2.6	2.0	1.5	6.2	6.2
無回答	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

問6 最近一か月、あなたは親(保護者)に叱られたことがありますか。

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. よくある	10.0	16.0	10.6	16.8	5.8	5.3	12.4	11.4
2. 時々ある	28.1	30.2	35.5	36.2	24.2	22.3	41.9	46.4
3. あまりない	35.9	32.5	38.3	35.5	51.4	51.0	33.1	31.4
4. 全くない	25.9	21.1	15.5	11.5	18.5	21.4	12.6	10.6
無回答	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

問7 あなたは一緒に遊ぶ友達がありますか。

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. いない	3.5	1.1	5.0	3.0	3.6	2.7	6.6	2.4
2. 1～2人いる	8.0	14.6	14.7	23.2	23.2	31.0	14.6	16.8
3. 3～5人いる	29.5	40.8	34.0	40.8	39.7	43.5	29.5	40.3
4. 6～9人いる	20.6	23.2	19.6	16.9	12.4	11.4	17.9	20.0
5. 10人以上いる	38.4	20.2	26.8	16.0	21.2	11.4	31.5	20.5
無回答	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

問8 あなたは友達との関係に満足していますか。

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 非常に満足している	58.0	50.9	57.3	55.9	43.5	38.9	39.2	33.1
2. まあ満足している	38.2	43.5	38.1	37.9	51.7	54.9	50.5	56.1
3. あまり満足していない	2.4	4.5	3.5	5.0	3.2	5.3	6.0	5.1
4. 満足していない	1.1	1.1	1.2	1.2	1.5	0.9	4.3	5.7
無回答	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

問9 あなたは勉強についてプレッシャーを感じていますか。

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. とても感じている	20.2	24.6	23.2	35.6	16.2	15.0	21.4	14.1
2. まあ感じている	41.2	44.0	43.3	46.0	32.2	38.0	46.2	55.8
3. どちらともいえない	17.8	16.5	16.7	9.0	43.7	40.7	14.6	15.1
4. あまり感じていない	11.5	9.2	13.4	7.6	4.1	3.8	8.2	8.3
5. 全く感じていない	8.4	5.3	3.5	1.8	3.8	2.6	9.2	6.6
無回答	0.9	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.1
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

問10 あなた自身のことをお聞きます。次のそれぞれについてお答えください。

a. 自分には友達がたくさんいる(インターネット上のみの友達を除く)

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
とてもそう思う	29.9	21.1	35.5	28.3	29.1	24.0	32.1	24.7
まあそう思う	46.5	43.1	37.6	41.6	46.7	49.4	42.6	44.8
あまりそう思わない	19.1	30.1	19.4	20.1	19.5	22.6	21.6	25.4
全くそう思わない	4.3	5.7	7.5	10.0	4.7	4.0	3.6	4.7
無回答	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

b. いまの自分が好きだ

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
とてもそう思う	21.2	14.2	41.4	29.7	29.3	24.8	30.4	23.0
まあそう思う	48.4	41.6	38.6	45.1	47.4	49.2	43.0	48.9
あまりそう思わない	24.4	34.7	12.2	18.4	18.3	21.3	22.8	23.5
全くそう思わない	5.6	9.3	7.8	6.8	5.0	4.7	3.7	4.2
無回答	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

c. 自分はダメな人間だと思う

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
とてもそう思う	14.3	14.8	10.9	10.2	7.8	8.5	11.1	7.5
まあそう思う	41.8	43.3	18.1	24.1	21.7	29.4	24.4	25.4
あまりそう思わない	33.0	33.4	32.4	33.8	39.2	38.8	44.0	43.4
全くそう思わない	10.6	8.2	38.6	31.9	31.3	23.3	20.2	23.4
無回答	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.4
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

d. 注目される人間になりたい

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
とてもそう思う	15.3	7.6	11.8	8.5	12.9	9.5	19.4	13.0
まあそう思う	34.7	26.5	27.3	25.6	35.4	34.6	31.9	36.1
あまりそう思わない	37.0	47.7	31.5	36.4	36.7	41.0	36.0	40.2
全くそう思わない	12.8	18.1	29.4	29.6	15.1	15.0	12.4	10.4
無回答	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

e. 人からほめられることを望んでいる

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
とてもそう思う	30.7	37.8	19.0	22.9	25.6	27.2	25.8	24.8
まあそう思う	48.5	46.4	35.0	37.5	51.1	55.5	38.7	44.7
あまりそう思わない	17.1	13.2	25.8	21.6	18.2	14.3	27.4	25.0
全くそう思わない	3.5	2.4	20.3	17.9	5.1	3.0	7.4	5.1
無回答	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.4
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

f. ストレスを感じやすい

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
とてもそう思う	23.1	38.5	21.2	38.9	14.4	13.9	21.2	18.5
まあそう思う	37.4	36.9	29.6	38.6	43.2	48.3	33.2	36.8
あまりそう思わない	30.8	19.5	33.7	16.6	33.2	31.6	34.4	34.2
全くそう思わない	8.6	4.8	15.5	6.0	9.2	6.3	11.1	10.1
無回答	0.1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

g. 将来に対し、はっきりした目標をもっている

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
とてもそう思う	21.3	23.8	28.8	34.9	22.4	18.1	24.4	21.0
まあそう思う	30.1	31.3	35.8	37.4	42.0	42.4	32.5	36.7
あまりそう思わない	33.2	31.2	22.0	20.6	28.7	32.9	33.9	33.5
全くそう思わない	15.1	13.4	13.4	7.0	6.9	6.6	9.0	8.4
無回答	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.4
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

h. 自分のことは自分で決められる

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
とてもそう思う	28.2	23.6	46.6	43.0	25.7	20.9	26.8	28.1
まあそう思う	51.2	52.5	36.4	40.4	53.2	57.5	41.4	42.3
あまりそう思わない	17.9	21.9	9.6	12.9	17.9	18.9	26.9	24.4
全くそう思わない	2.4	1.7	7.3	3.7	3.2	2.7	4.6	4.6
無回答	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.5
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

i. 他人の意見に影響されやすい

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
とてもそう思う	17.1	24.1	14.7	23.2	12.4	15.3	20.3	13.8
まあそう思う	44.5	45.3	31.2	36.4	35.6	40.6	34.5	38.0
あまりそう思わない	30.8	24.7	33.8	29.3	38.9	33.6	34.3	36.3
全くそう思わない	7.4	5.6	20.3	11.1	13.1	10.5	10.6	11.3
無回答	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.7
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

問11 あなたは、ふだん誰と一緒に住んでいますか。(〇はいくつでも)

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 父親	76.9	79.8	77.3	75.9	58.1	58.9	66.8	76.6
2. 母親	88.8	93.8	90.1	91.7	69.9	73.3	71.4	81.5
3. きょうだい	66.7	73.0	73.2	78.5	35.6	42.6	49.7	63.2
4. 祖父・祖母	19.4	20.2	17.4	23.3	22.0	22.0	12.6	14.2
5. 親戚	0.8	1.1	13.1	14.7	5.2	3.0	4.0	0.9
6. 学校の寮	7.8	3.2	0.0	0.4	39.0	44.9	10.0	7.0
7. 一人暮らし	0.7	0.2	0.4	0.4	3.1	1.2	4.3	2.4
8. その他	1.8	1.2	2.3	3.3	1.2	1.4	2.0	1.4
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

問12 あなたは、自分の家の経済状況をどう思いますか。(〇は1つ)

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 裕福なほう	8.8	8.7	5.8	3.5	4.9	4.7	8.6	6.4
2. わりと裕福なほう	37.0	36.4	27.3	22.0	16.7	18.3	31.1	26.9
3. どちらともいえない	40.7	40.7	55.0	62.3	66.5	66.1	50.3	55.1
4. わりと厳しいほう	11.3	12.0	10.5	11.6	9.6	9.6	6.8	7.5
5. 厳しいほう	1.9	2.1	1.4	0.5	2.3	1.4	3.2	4.1
無回答	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

問13 あなたの成績はクラスの中でどのくらいですか。(〇は1つ)

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 上	13.0	11.1	19.4	19.4	8.3	5.7	12.0	8.0
2. 中の上	21.5	23.2	35.1	40.8	25.2	26.1	23.2	23.0
3. 中	27.3	28.6	32.9	33.1	41.6	45.2	40.2	39.3
4. 中の下	21.9	21.3	9.2	5.9	18.7	17.7	18.1	20.6
5. 下	16.1	15.4	3.3	0.8	6.1	5.4	6.4	8.7
無回答	0.2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

問14 あなたはチャットGPTやチャットボットなどのような生成AIを使ったことがありますか。(〇は1つ)

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1.よくある	7.1	2.9	3.5	2.3	3.6	1.1	9.9	5.9
2.たまにある	27.0	20.8	29.8	25.3	16.9	14.0	44.2	31.7
3.使ったことはないが、使ってみたいと思う	34.0	34.6	18.1	16.3	34.8	33.8	24.8	34.6
4.使ったことはないが、使ってみたいとも思わない	31.7	41.5	48.6	56.1	44.7	51.0	20.5	27.5
無回答	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.4
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

問15 あなたが主に使っているSNSはどれですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. LINE(中国:WeChat)	96.3	97.1	1.3	1.2	79.3	85.5	8.8	5.0
2. Instagram(中国:小紅書)	75.3	86.4	81.4	90.6	8.0	27.9	73.9	85.7
3. X(Twitter)(中国:Weibo)	54.7	57.8	34.0	22.2	9.3	24.8	17.1	25.0
4. Facebook(中国:百度貼吧)	2.9	2.1	16.7	23.7	6.3	5.3	17.1	18.7
5. TikTok	53.1	68.0	66.3	86.3	39.1	47.6	22.2	29.8
6. YouTube(中国:bilibili)	93.0	90.5	84.0	66.1	24.9	25.3	70.4	72.8
(中国:QQ)	-	-	-	-	64.9	57.3	-	-
7. 上記以外のもの	7.7	6.6	12.7	16.9	2.1	3.0	4.0	4.7
8. SNSを利用していない(問30へ)	1.4	0.8	3.3	2.6	10.8	9.0	0.1	0.1
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

問16 あなたは1日当たりSNSを利用する時間は平均でどのくらいですか。平日と休日をそれぞれお答えください。

問16-1 平日の場合

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 30分未満	3.4	3.3	2.5	0.9	34.4	36.8	7.1	2.0
2. 30分～1時間未満	9.4	9.1	5.5	2.7	17.5	17.0	21.7	13.6
3. 1～2時間未満	28.5	25.1	15.8	11.2	12.8	12.8	22.3	23.2
4. 2～3時間未満	24.1	26.6	22.5	18.5	7.5	6.6	18.0	20.0
5. 3～4時間未満	16.7	18.1	16.4	16.7	3.8	3.4	7.2	14.7
6. 4～5時間未満	6.7	8.3	10.4	11.9	1.6	1.2	7.2	9.6
7. 5時間以上	8.1	7.7	18.8	24.6	4.6	3.3	8.2	9.3
8. わからない	2.8	1.8	8.2	13.4	17.7	18.9	8.2	7.6
無回答	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

問16-2 休日の場合

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 30分未満	1.7	1.2	3.1	0.9	10.6	9.1	7.1	2.1
2. 30分～1時間未満	3.4	3.0	3.9	2.0	13.3	12.3	8.6	6.2
3. 1～2時間未満	9.8	6.9	8.5	6.0	19.4	17.5	12.1	11.6
4. 2～3時間未満	17.7	17.2	17.7	10.7	16.8	16.0	12.1	13.7
5. 3～4時間未満	21.9	21.3	19.5	17.5	9.1	10.3	16.5	14.6
6. 4～5時間未満	15.6	18.2	12.6	15.0	5.2	5.5	12.3	18.3
7. 5時間以上	25.3	29.0	24.1	34.4	13.1	15.2	18.6	21.2
8. わからない	3.7	2.9	10.6	13.4	12.5	14.1	12.7	11.7
無回答	0.9	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

問17 あなたはSNSを利用する主な目的は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. リアルな友達や知り合いとのコミュニケーション	75.6	78.1	71.7	74.8	68.9	74.7	61.1	67.6
2. 直接会ったことがない(ネット上の)友達とのコミュニケーション	14.4	17.5	23.5	19.0	11.8	11.8	18.9	15.3
3. 家族との連絡	72.4	79.6	41.1	57.2	48.3	55.0	27.7	35.3
4. 勉強に関する情報の収集	43.0	48.9	32.7	36.1	40.7	49.6	19.6	24.5
5. 趣味や興味のある話題に関する情報の収集	79.2	85.5	65.8	66.1	51.3	61.5	47.5	56.7
6. ニュースや社会の出来事に関する情報の収集	33.4	26.5	45.7	52.3	24.1	23.9	19.6	22.9
7. 生活や暮らし(ファッションや美容、健康、料理など)に関する情報の収集	32.1	59.4	34.2	65.3	15.7	29.7	24.0	39.2
8. ゲームや音楽などの娯楽	86.9	85.6	78.3	81.5	55.6	56.0	45.3	34.2
9. 自分の考えや作品などの発信	8.7	9.1	18.5	28.8	11.7	18.5	9.4	8.7
10. 推し活(自分が推しているアイドルや俳優、キャラクターなどを愛でたり応援したりする活動)	18.6	54.2	14.4	30.1	2.4	9.3	13.1	23.0
11. ストレス解消	40.7	41.1	53.1	61.2	45.4	49.9	41.4	46.2
12. ひまつぶし	72.4	69.3	74.0	74.6	29.5	30.9	41.7	36.6
13. その他	1.3	1.2	2.8	2.3	0.3	0.1	0.8	1.4
14. 特になし	0.9	0.2	2.1	2.4	3.5	3.3	3.9	4.5
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

問18 あなたが、SNSを利用し始めたのはいつ頃でしたか。(○は1つ)

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 小学入学前	1.4	1.3	2.1	1.6	4.9	2.5	13.7	6.6
2. 小学1～3年	7.1	6.4	6.4	7.1	7.9	6.6	16.1	14.6
3. 小学4～6年	26.3	30.9	37.5	44.3	26.9	29.4	29.4	35.4
4. 中学1～3年	51.6	47.9	46.7	39.8	46.8	50.5	22.8	26.7
5. 高校生になってから	11.3	12.0	3.4	1.3	5.1	4.4	5.2	5.7
6. よく覚えていない	1.9	1.3	3.9	5.9	8.5	6.6	12.7	10.9
無回答	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

問19 あなたは、SNSを利用することで、次の関係はどのように変わりましたか。それぞれについてお答えください。

a. 友達との関係

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
非常によくなった	29.5	20.7	26.2	27.6	22.9	17.0	24.9	16.2
少しよくなった	22.5	22.5	31.9	25.7	40.3	38.9	23.6	27.6
変わらない	47.0	55.4	34.1	37.8	33.8	42.2	47.5	51.1
少し悪くなった	0.5	1.0	5.1	7.1	1.7	1.3	2.8	4.1
非常に悪くなった	0.4	0.3	2.7	1.7	0.9	0.3	1.2	0.9
無回答	0.1	0.1	0.0	0.0	0.6	0.4	0.0	0.1
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

b. 親(保護者)との関係

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
非常によくなった	12.7	9.5	8.8	7.1	19.9	13.8	11.7	4.1
少しよくなった	9.5	7.5	15.2	13.1	24.9	21.9	17.3	14.7
変わらない	74.2	78.8	67.7	64.3	44.3	55.7	61.9	69.2
少し悪くなった	3.0	3.6	6.6	13.0	7.5	6.4	8.3	10.1
非常に悪くなった	0.5	0.4	1.6	2.5	1.8	1.1	0.7	1.6
無回答	0.2	0.2	0.1	0.0	1.6	1.2	0.1	0.3
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

c. きょうだいとの関係(きょうだいがいない場合、回答しない)

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
非常によくなった	11.5	9.4	12.8	11.5	19.1	12.7	5.6	4.1
少しよくなった	8.9	9.0	16.5	19.1	25.6	21.9	11.4	11.7
変わらない	68.3	70.6	55.5	55.3	39.7	48.9	44.8	52.6
少し悪くなった	1.0	0.8	3.4	5.8	2.0	1.6	3.5	4.3
非常に悪くなった	0.4	0.1	2.5	2.1	0.9	0.2	0.3	0.7
きょうだいがいない・無回答	10.0	10.1	9.2	6.2	12.7	14.7	34.5	26.6
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

d. 先生との関係

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
非常によくなった	6.3	3.2	3.9	6.9	17.7	10.4	11.9	4.7
少しよくなった	5.6	4.1	6.4	7.7	25.9	20.6	12.1	10.3
変わらない	87.0	91.8	81.0	79.0	51.3	65.8	68.4	79.5
少し悪くなった	0.5	0.3	4.6	4.3	1.8	1.1	5.6	3.7
非常に悪くなった	0.3	0.2	3.9	2.0	1.0	0.5	1.6	1.6
無回答	0.3	0.3	0.1	0.0	2.4	1.7	0.4	0.3
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

問20 あなたは、SNSを通じて知り合った人がいますか。

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. いる	45.4	52.7	63.8	69.1	55.2	46.4	37.1	44.9
2. いない	53.7	46.7	36.2	30.9	44.8	53.6	60.6	54.1
無回答	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	1.1
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

問20sq (問20で「いる」と回答した方)その人と実際に会ったことがありますか。

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. ある	43.3	43.4	65.3	70.3	19.9	16.7	55.0	44.9
2. ない	56.2	56.3	34.7	29.7	80.1	83.3	44.6	54.5
無回答	0.5	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6
回答者数	2025	2066	429	516	1926	1622	278	343

問21 次のことはあなたにどのくらいあてはまりますか。それぞれについてお答えください。

a. リアルの友人よりもSNSで知り合った人のほうが気持ちを伝えやすい

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
そうだ	4.5	5.5	15.0	14.1	14.3	9.7	15.8	12.1
まあそうだ	12.6	13.9	25.6	26.6	33.8	27.8	21.8	26.4
あまりそうではない	34.7	30.9	29.2	24.9	34.5	41.8	37.5	37.4
そうではない	45.6	47.0	30.2	34.4	17.4	20.7	24.4	23.3
無回答	2.5	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.8
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

b. 友達と直接話すより、SNSを通じたほうが気持ちが伝えやすい

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
そうだ	5.5	6.9	15.5	17.7	14.4	10.3	11.1	10.9
まあそうだ	20.8	20.0	31.5	31.5	37.6	35.3	31.4	32.8
あまりそうではない	35.7	35.0	28.1	27.0	32.0	36.5	38.7	37.2
そうではない	35.7	35.7	24.9	23.8	15.9	17.8	18.2	18.4
無回答	2.3	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.7
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

c. SNS上では、自分の言いたいことを何でも言ってよいと思う

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
そうだ	2.0	0.4	7.6	4.1	8.7	4.7	10.6	5.1
まあそうだ	4.8	2.4	17.0	8.8	23.1	16.4	19.4	24.9
あまりそうではない	22.9	17.5	28.0	22.0	40.3	44.5	39.3	34.5
そうではない	68.0	77.3	47.5	65.1	27.8	34.3	30.3	34.9
無回答	2.3	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.7
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

d. SNSでもリアルでも自分の発言や行動が変わらない

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
そうだ	28.3	31.1	23.5	31.5	20.2	19.1	24.3	26.1
まあそうだ	44.0	43.1	38.2	37.9	45.6	49.3	36.8	43.2
あまりそうではない	15.2	15.4	26.8	21.0	25.7	24.3	27.0	22.8
そうではない	10.2	7.8	11.5	9.6	8.4	7.4	11.4	7.1
無回答	2.4	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.9
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

e. SNSで見た情報が正しいかどうかを確認する

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
そうだ	34.6	32.7	25.7	29.3	31.7	30.1	21.2	22.6
まあそうだ	45.5	48.6	44.8	45.0	47.9	52.2	36.9	40.5
あまりそうではない	14.4	13.2	20.2	19.4	15.1	13.0	29.1	27.1
そうではない	3.2	2.9	9.2	6.3	5.2	4.7	12.3	8.9
無回答	2.4	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.8
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

問22 SNSを利用することで自分にどのような影響があったと思いますか。次のそれぞれについてお答えください。

a. 学習に対する意欲

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
非常に高くなった	5.3	3.9	14.6	11.9	16.5	10.7	18.0	11.2
少し高くなった	22.2	19.9	31.7	24.8	36.7	34.6	30.4	35.1
変わらない	51.8	47.6	37.9	39.8	36.7	45.6	44.9	46.1
すこし低くなった	15.1	23.5	12.8	19.8	8.1	7.8	5.2	4.6
非常に低くなった	5.3	4.9	3.0	3.7	2.1	1.3	1.5	2.6
無回答	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

b. 趣味や興味のあること

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
非常に増えた	47.1	54.0	33.0	32.0	23.8	19.3	22.3	16.2
少し増えた	39.0	37.5	40.8	42.2	44.1	46.2	38.1	46.1
変わらない	12.9	7.7	19.5	17.5	27.6	31.6	33.9	30.7
すこし減った	0.5	0.3	4.8	5.9	3.2	2.1	5.1	5.0
非常に減った	0.0	0.2	1.9	2.4	1.3	0.8	0.7	1.6
無回答	0.5	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0		0.5
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

c. 時間を管理する能力

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
非常に高くなった	6.1	3.3	7.7	7.2	16.0	9.8	8.7	3.9
少し高くなった	17.3	13.8	19.3	14.3	30.3	26.8	18.1	18.6
変わらない	41.1	36.5	37.5	37.2	34.1	42.2	47.1	45.8
すこし低くなった	27.4	38.1	28.7	31.7	16.1	18.0	21.4	25.7
非常に低くなった	7.5	8.1	6.7	9.5	3.6	3.2	4.6	5.8
無回答	0.5	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

d. 料理や整理整頓などの生活能力

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
非常に高くなった	9.4	8.9	18.8	21.7	21.8	17.5	11.4	5.1
少し高くなった	21.3	25.6	34.8	41.6	39.2	43.0	23.2	24.2
変わらない	61.7	56.3	38.2	27.0	32.5	35.4	50.1	54.1
すこし低くなった	5.7	6.6	6.1	6.4	4.8	2.9	11.9	12.8
非常に低くなった	1.5	2.2	2.1	3.2	1.7	1.2	3.1	3.4
無回答	0.4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.4
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

e. 運動量

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
非常に増えた	10.7	3.3	19.9	12.4	19.2	8.6	13.7	5.5
少し増えた	11.8	10.3	25.1	22.0	31.4	23.7	18.9	16.6
変わらない	59.6	64.0	39.6	49.0	36.6	55.1	48.5	52.4
すこし減った	12.5	15.3	10.6	10.6	10.1	10.3	13.6	19.6
非常に減った	5.0	6.9	4.8	6.0	2.6	2.4	5.2	5.7
無回答	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

f. お金を使うこと

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
非常に増えた	11.9	15.6	12.9	17.0	14.2	8.8	12.2	12.0
少し増えた	34.8	41.8	22.6	25.7	29.2	30.0	24.3	32.0
変わらない	48.0	39.2	49.3	37.2	45.9	46.2	50.1	47.8
すこし減った	3.4	2.4	11.6	14.6	8.4	12.7	9.9	6.4
非常に減った	1.6	0.9	3.6	5.5	2.2	2.3	3.5	1.4
無回答	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

g. 自分を表現すること

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
非常に増えた	9.8	11.5	17.0	20.6	16.9	10.9	12.6	8.9
少し増えた	24.6	28.8	31.0	35.9	35.6	34.4	24.4	34.6
変わらない	62.6	56.9	44.3	34.1	42.1	51.0	53.6	45.7
すこし減った	2.1	2.0	4.8	7.1	3.9	2.7	6.6	8.8
非常に減った	0.5	0.6	3.0	2.3	1.5	1.0	2.5	1.6
無回答	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.4
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

h. 社会への関心

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
非常に高くなった	15.4	13.1	13.8	18.1	21.8	17.9	15.4	11.3
少し高くなった	40.8	42.6	27.4	29.2	46.1	48.5	31.8	42.6
変わらない	41.0	42.1	46.6	39.9	27.8	31.0	43.1	37.4
すこし低くなった	1.8	1.5	7.3	9.0	3.0	1.8	7.4	6.4
非常に低くなった	0.5	0.5	4.9	3.9	1.3	0.7	2.3	2.0
無回答	0.5	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

i. 人から褒められたり、認められたりする機会

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
非常に増えた	7.5	10.5	10.7	14.9	17.3	14.0	12.5	8.4
少し増えた	24.4	25.8	25.0	25.6	37.2	36.5	19.3	26.6
変わらない	65.7	61.9	53.3	47.5	40.5	46.4	59.0	52.8
すこし減った	1.4	1.3	7.1	7.2	3.4	2.3	7.2	9.2
非常に減った	0.5	0.3	3.9	4.8	1.6	0.9	2.0	2.6
無回答	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

j. 健康問題(視力や姿勢を含む)に関する悩み

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
非常に増えた	7.4	8.0	11.9	11.1	15.3	8.8	11.1	8.3
少し増えた	23.8	27.7	23.4	21.2	23.5	20.3	21.0	23.7
変わらない	60.7	57.5	49.9	46.1	34.4	42.2	50.5	54.1
すこし減った	5.9	5.1	10.7	15.4	22.8	24.4	11.7	9.7
非常に減った	1.9	1.6	4.2	6.3	4.0	4.3	5.5	3.9
無回答	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

問23 この1年間において、あなたは次のことがありましたか。次のそれぞれについてお答えください。

a. もっと多くの時間をSNSに費やしたいと考えたこと

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
いつもある	6.1	7.5	6.0	9.2	9.8	6.4	10.3	5.9
よくある	13.0	15.7	12.5	17.4	18.3	15.2	14.2	19.3
ときどきある	27.7	30.4	34.5	32.4	41.5	45.4	37.5	36.9
あまりない	35.1	31.0	29.0	26.8	21.0	23.9	24.5	26.9
ない	17.9	15.4	18.0	14.2	9.3	9.1	13.3	10.7
無回答	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

b. SNSで起こった出来事について、いろいろと考えてしまうこと

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
いつもある	4.2	4.9	7.7	11.8	6.8	2.9	8.4	7.4
よくある	15.4	16.1	22.6	28.8	11.0	7.7	21.8	25.6
ときどきある	30.8	30.7	36.6	37.3	30.8	29.7	39.1	46.0
あまりない	30.4	30.1	21.6	17.1	35.5	42.5	20.9	15.2
ない	18.9	18.1	11.5	5.0	15.8	17.2	9.7	5.5
無回答	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

c. 不安やストレスを軽減するためにSNSを使ったこと

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
いつもある	7.1	13.7	13.8	17.4	9.1	6.1	8.8	6.9
よくある	22.9	27.0	20.2	28.9	18.2	16.2	20.0	21.7
ときどきある	28.4	28.2	30.7	31.1	35.2	39.5	33.2	42.2
あまりない	22.9	18.1	14.3	13.9	23.9	25.1	25.1	20.8
ない	18.2	13.0	21.0	8.7	13.6	13.2	12.7	8.3
無回答	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

d. SNSの利用頻度を減らそうと思ったが失敗したこと

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
いつもある	6.2	9.3	6.0	8.2	7.6	4.9	8.8	5.8
よくある	19.2	22.4	19.3	22.2	13.1	12.6	16.5	19.9
ときどきある	23.9	28.0	38.5	38.2	33.0	33.2	31.6	38.6
あまりない	24.7	22.4	19.2	19.7	26.0	29.8	26.8	26.9
ない	25.5	17.7	17.0	11.8	20.3	19.5	16.1	8.7
無回答	0.6	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

e. SNSの利用を禁止されてイライラしたこと

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
いつもある	3.4	4.9	4.5	6.8	7.0	4.5	8.6	3.3
よくある	7.2	8.6	10.9	15.4	11.7	10.0	10.6	12.5
ときどきある	20.6	18.1	27.2	26.0	28.4	27.1	25.6	30.6
あまりない	27.4	28.0	24.9	26.6	28.9	32.0	26.2	30.2
ない	40.7	40.1	32.6	25.2	23.9	26.3	29.0	23.3
無回答	0.6	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

f. SNSが原因で、趣味や余暇活動、運動の優先順位が下がったこと

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
いつもある	3.6	3.2	5.1	5.9	6.1	3.8	7.8	4.3
よくある	10.2	10.9	11.8	13.3	10.8	8.8	12.1	12.0
ときどきある	21.3	23.1	24.7	28.0	24.9	24.1	31.6	34.5
あまりない	28.9	32.2	21.4	24.4	28.6	33.8	28.4	33.2
ない	35.6	30.4	37.1	28.5	29.6	29.5	20.1	15.7
無回答	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

g. 授業中、SNSをみること

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
いつもある	2.0	1.0	21.7	32.0	4.2	1.3	7.8	4.1
よくある	2.2	1.9	28.7	28.9	6.0	2.7	11.9	8.6
ときどきある	9.5	6.5	30.7	26.5	11.9	8.0	27.3	29.2
あまりない	11.4	11.1	11.5	9.0	12.3	12.2	21.7	30.8
ない	74.5	79.4	7.4	3.6	65.6	75.8	31.2	27.1
無回答	0.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

問24 あなたはSNSを使って、次のようなことをどのくらいしていますか。次のそれぞれについてお答えください。

a. オンラインゲームをすること

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
よくしている	48.2	14.9	47.5	24.5	26.4	11.8	36.6	13.3
ときどきしている	28.2	17.4	31.1	30.1	45.4	34.9	35.8	40.3
あまりしていない	11.8	18.6	12.6	25.0	18.4	29.9	18.4	24.1
していない	11.5	48.9	8.8	20.3	9.8	23.3	8.8	22.1
無回答	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.1
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

b. 投稿を誰でも閲覧可能な範囲に公開すること

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
よくしている	12.4	9.1	22.0	23.4	13.1	9.4	14.3	9.9
ときどきしている	14.5	13.7	21.9	25.7	27.6	27.9	33.2	40.7
あまりしていない	21.7	15.9	26.9	21.2	29.5	30.7	31.2	30.6
していない	51.1	61.2	29.2	29.7	29.8	32.0	21.0	18.7
無回答	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

c. 匿名で投稿すること

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
よくしている	8.7	7.0	6.8	3.3	6.0	2.8	9.8	5.0
ときどきしている	12.0	10.5	13.8	9.6	17.6	13.7	23.2	20.7
あまりしていない	18.5	15.0	18.8	14.2	23.7	23.6	34.7	34.0
していない	60.2	67.2	60.6	72.8	52.7	59.8	31.8	40.2
無回答	0.6	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.1
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

d. 投げ銭をすること(オンラインのライブ配信者に対して視聴者がお金を送付すること)

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
よくしている	1.1	0.9	2.8	1.3	3.8	1.2	9.4	3.8
ときどきしている	3.4	1.5	6.3	2.7	10.4	5.1	16.4	15.8
あまりしていない	5.4	2.4	9.5	2.4	13.7	11.2	26.0	26.7
していない	89.5	94.9	81.4	93.6	72.1	82.5	47.9	53.4
無回答	0.6	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.3
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

e. 1つのSNSに複数のアカウントを使い分けること

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
よくしている	17.3	37.5	14.0	19.3	6.1	3.9	9.4	11.3
ときどきしている	25.0	28.3	22.0	27.4	14.4	11.3	23.9	30.4
あまりしていない	15.6	10.8	20.1	17.8	19.0	18.5	27.7	29.8
していない	41.7	23.3	43.9	35.5	60.5	66.4	38.5	28.3
無回答	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.1
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

f. 友達にプレゼントやお金を送ること

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
よくしている	3.2	3.9	4.3	1.3	6.8	4.7	11.8	15.0
ときどきしている	17.6	13.3	10.4	3.9	30.2	28.8	36.6	46.1
あまりしていない	19.9	13.3	10.4	5.1	29.9	32.6	26.7	22.1
していない	58.9	69.2	74.9	89.7	33.1	33.9	24.5	16.6
無回答	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.1
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

問25 SNS上の次のような行動について、あなたはどのように思いますか。それぞれについてお答えください。

a. 他人の個人情報を無断に公開する（他人が見ることのできるSNSで、他人の情報を書き込む）

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
何があってもダメ	76.7	85.5	76.5	85.5	82.7	90.8	67.8	76.2
場合による	19.9	12.2	14.7	8.8	13.2	6.3	26.1	19.1
その人の自由	3.0	2.2	8.8	5.6	4.2	2.9	5.9	4.3
無回答	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

b. 他人のアカウントを乗っ取りする

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
何があってもダメ	88.0	91.6	76.6	87.3	85.4	93.1	72.3	82.6
場合による	9.0	7.0	16.1	7.0	10.3	3.9	21.7	14.2
その人の自由	2.6	1.4	7.3	5.8	4.3	2.9	5.8	2.9
無回答	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

c. 悪口や嫌がらせのメッセージやコメントを送ったり、書き込みをする

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
何があってもダメ	84.7	94.3	72.0	83.8	82.4	91.6	75.3	82.6
場合による	11.0	4.2	18.2	9.8	13.1	5.3	17.7	13.4
その人の自由	3.9	1.4	9.8	6.4	4.6	3.1	6.7	3.6
無回答	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.4
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

d. 他人の写真を無断投稿する

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
何があってもダメ	76.0	88.3	61.9	65.1	83.2	91.8	71.6	83.0
場合による	21.1	10.4	29.0	26.2	12.2	5.4	22.0	12.0
その人の自由	2.5	1.2	9.1	8.7	4.6	2.8	6.3	4.7
無回答	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

e. 他人のうわさ話を拡散する

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
何があってもダメ	76.1	87.9	63.4	73.6	84.9	93.0	73.1	82.0
場合による	18.5	10.0	27.1	19.1	10.6	4.2	18.8	12.5
その人の自由	4.8	2.0	9.5	7.2	4.5	2.8	8.0	5.1
無回答	0.6	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

f. 他人になりすまして情報を発信する

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
何があってもダメ	89.5	96.7	76.9	84.7	83.9	92.0	78.0	84.6
場合による	7.5	2.5	14.0	8.8	11.6	5.1	15.1	9.7
その人の自由	2.6	0.7	9.1	6.4	4.5	2.9	6.6	5.4
無回答	0.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

問26 あなたはSNSを利用して、次のようなことがありますか。次のそれぞれについてお答えください。

a. 個人情報が漏えいされたこと

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
ある	5.2	5.5	14.1	14.9	9.7	7.3	23.1	19.1
ない	94.3	94.3	85.9	85.1	90.3	92.7	76.8	80.6
無回答	0.5	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

b. 架空請求をされたこと

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
ある	11.6	5.6	28.6	41.1	12.5	12.2	18.9	10.3
ない	87.8	94.0	71.4	58.9	87.5	87.8	81.0	89.3
無回答	0.6	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

c. アカウントの乗っ取りをされたこと

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
ある	7.6	9.5	27.2	26.0	21.5	20.6	22.4	14.5
ない	91.7	90.1	72.8	74.0	78.5	79.4	77.5	85.1
無回答	0.7	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

d. 自分の写真が無断投稿されたこと

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
ある	11.9	12.3	27.2	33.2	9.1	6.2	18.5	12.6
ない	87.3	87.2	72.8	66.8	90.9	93.8	81.4	87.0
無回答	0.9	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

e. 自分についてのうわさ話が拡散されたこと

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
ある	8.0	7.1	27.5	39.9	7.7	6.4	22.1	17.3
ない	91.1	92.4	72.5	60.1	92.3	93.6	77.7	82.3
無回答	0.8	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

問27 あなたはSNS上で悪口や嫌がらせを受けたことがありますか。

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. よくある	0.7	0.6	7.1	3.3	3.6	0.9	2.8	1.6
2. 時々ある	3.1	4.0	26.0	24.5	11.4	7.6	8.1	7.7
3. あまりない	15.6	11.8	36.2	35.2	28.8	24.9	15.8	14.8
4. 全くない	80.0	83.3	30.7	36.9	56.2	66.6	72.3	75.4
無回答	0.6	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.5
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

問27sq (問27で「よくある」「時々ある」と回答した方)そのようなことがあった場合、あなたはどのように対処しますか。(〇はいくつでも)

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. やり返す	28.4	12.4	53.8	44.7	50.0	59.9	24.7	16.7
2. 無視する	74.4	73.5	76.7	74.5	49.4	46.5	55.6	30.6
3. 友人に相談する	25.0	42.3	15.7	33.2	24.5	36.7	17.3	44.4
4. 親(保護者)に相談する	7.5	29.9	5.8	23.6	16.3	25.6	4.9	22.2
5. アカウント(ID)を変える	15.0	14.4	3.6	3.4	9.6	15.2	8.6	18.1
6. その他	7.5	6.2	7.6	6.3	5.0	4.0	1.2	5.6
回答者数	81	97	223	208	522	297	81	72

問28 SNSの利用により、次のようなことを経験したことがありますか。次のそれぞれについてお答えください。

a. 寂しくなる

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
よくある	4.2	8.3	10.4	13.9	7.8	4.6	13.8	8.7
ときどきある	15.2	23.6	22.8	35.2	25.1	24.8	22.8	26.5
あまりない	28.5	26.0	31.5	26.9	31.4	33.5	34.5	35.6
ない	51.3	41.6	35.3	24.0	35.7	37.1	28.8	28.9
無回答	0.8	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

b. 落ち込む

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
よくある	4.8	9.7	8.5	11.8	6.5	4.3	10.3	6.9
ときどきある	17.8	25.6	18.6	27.4	22.4	22.3	26.5	30.4
あまりない	26.8	24.1	28.7	28.2	32.6	33.7	32.4	33.2
ない	49.7	40.2	44.2	32.5	38.5	39.7	30.4	29.1
無回答	0.9	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.4
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

c. イライラする

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
よくある	4.8	6.4	10.7	15.8	6.0	4.7	13.4	7.9
ときどきある	20.4	18.2	28.1	40.0	21.3	21.3	21.8	26.0
あまりない	28.6	28.8	30.2	23.4	33.2	33.6	32.2	34.9
ない	45.3	46.0	31.0	20.7	39.5	40.4	32.3	30.6
無回答	0.9	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.5
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

d. 眠れない

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
よくある	7.9	8.8	15.6	22.6	5.6	4.3	13.9	7.6
ときどきある	22.1	24.7	29.0	38.0	18.8	17.7	28.0	33.7
あまりない	24.8	24.2	26.0	21.0	32.5	31.9	31.8	31.4
ない	44.3	41.7	29.3	18.3	43.0	46.1	26.1	26.9
無回答	0.9	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

e. ものごとに集中できない

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
よくある	9.7	12.2	16.4	22.9	7.4	6.0	15.4	9.5
ときどきある	29.2	33.4	29.0	40.3	22.8	23.4	31.6	35.7
あまりない	24.2	23.2	31.5	21.3	32.5	31.7	27.7	31.8
ない	36.0	30.5	23.1	15.5	37.3	38.9	24.9	22.7
無回答	0.9	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.4
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

f. 他人に嫉妬する

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
よくある	5.2	10.4	10.0	17.4	4.0	2.2	11.3	4.5
ときどきある	16.8	25.9	17.7	32.0	12.7	10.8	16.4	23.1
あまりない	27.7	23.2	30.5	25.8	30.7	30.4	33.0	38.7
ない	49.5	39.9	41.8	24.8	52.6	56.6	39.3	33.3
無回答	0.8	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

問29 SNSの利用で何か不安や心配がありますか。(○はいくつでも)

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. ネット依存	44.8	53.2	26.8	30.3	43.9	43.7	33.0	35.0
2. 気分の変動	12.7	16.7	19.5	37.3	32.7	36.7	17.8	17.5
3. 勉強への影響	51.9	59.5	43.2	56.0	54.5	59.9	33.8	42.2
4. 体の健康や発達への影響	24.2	24.4	27.2	35.3	35.1	35.9	12.0	15.2
5. お金の使いすぎ	16.3	19.7	20.8	37.3	18.5	29.5	15.0	15.9
6. 個人情報の漏えい	27.5	30.2	29.8	40.0	31.4	40.0	16.9	25.7
7. 悪口や嫌がらせ、いじめを受けること	14.0	15.1	19.8	33.5	20.7	26.4	11.9	11.6
8. 詐欺被害	27.0	28.7	27.8	34.8	24.2	31.9	9.7	11.7
9. 犯罪・有害情報に触れてしまうこと	24.8	23.0	17.9	22.8	16.4	19.4	10.9	13.2
10. その他	1.1	0.9	2.7	2.3	0.3	0.2	2.8	2.2
11. 特になし	23.2	15.7	32.1	20.9	21.7	16.3	30.0	23.6
回答者数	2088	2107	672	747	3488	3496	746	760

問30 以下の5つの項目について、最近2週間のあなたの状態に最も近いものを選んでください。

a. 明るく、楽しい気分でも過ごした

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
いつもそうだった	28.7	22.7	23.5	18.9	24.2	17.2	27.8	22.7
そういう時が多かった	51.2	53.7	47.2	46.8	50.4	51.7	43.9	46.9
そういう時は少なかった	16.2	19.5	22.3	27.4	21.2	26.9	22.4	22.3
ほとんどなかった	3.4	3.4	7.1	6.9	4.2	4.2	5.5	7.8
無回答	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.3
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

b. 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
いつもそうだった	26.8	20.4	23.5	15.1	22.8	16.2	22.1	18.7
そういう時が多かった	50.4	50.4	48.2	42.6	51.8	49.8	48.9	48.6
そういう時は少なかった	17.9	24.4	19.7	31.9	20.7	28.5	23.6	24.3
ほとんどなかった	4.2	4.1	8.6	10.3	4.6	5.5	5.0	7.9
無回答	0.8	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

c. 意欲的で、活動的に過ごした

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
いつもそうだった	25.2	19.5	21.6	15.1	23.4	16.7	22.5	18.9
そういう時が多かった	46.7	46.1	41.2	36.2	49.0	46.1	43.6	42.6
そういう時は少なかった	21.8	27.9	28.6	35.7	22.9	31.5	27.6	28.6
ほとんどなかった	5.5	5.5	8.6	12.9	4.8	5.6	5.6	9.3
無回答	0.8	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.5
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

d. ぐっすりと休め、気持ちよくめざめた

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
いつもそうだった	19.2	13.0	14.2	10.4	21.0	14.4	19.7	15.1
そういう時が多かった	36.0	32.4	32.7	22.8	42.7	36.3	32.4	29.4
そういう時は少なかった	34.1	40.4	36.1	39.8	29.1	38.7	34.9	39.4
ほとんどなかった	10.0	13.4	17.0	27.0	7.2	10.7	12.3	15.5
無回答	0.8	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.5
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

e. 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
いつもそうだった	23.5	22.5	24.2	19.6	23.1	18.3	20.5	17.7
そういう時が多かった	44.2	38.9	39.6	32.6	46.9	46.5	42.0	37.3
そういう時は少なかった	24.4	30.9	26.8	37.4	24.7	30.5	26.8	31.4
ほとんどなかった	7.0	7.1	9.5	10.4	5.3	4.8	10.0	13.1
無回答	0.9	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.4
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

問31 あなたのインターネットの利用について、親(保護者)は次のことをしていますか。(〇はい/×でも)

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 利用時間(時間帯や時間数)について決めている	12.2	13.2	14.0	14.2	55.1	50.7	17.4	16.3
2. 利用金額を決めている	12.0	12.7	16.3	22.6	21.8	20.5	15.7	13.8
3. アクセス可能なサイトを制限する(フィルターをかける)	17.5	24.4	9.4	10.3	16.3	13.9	8.2	9.9
4. 利用しているインターネットの内容をチェックする	3.5	3.3	8.9	9.8	18.2	17.3	6.6	7.6
5. 使い方や情報について話し合う	15.7	19.3	17.1	26.6	20.4	23.0	4.7	7.5
6. 個人情報やセキュリティについて注意する	22.6	28.7	51.9	62.5	47.4	54.9	5.0	15.1
7. 特にルールがない	54.7	48.3	48.6	36.2	17.0	16.8	62.9	62.5
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

問32 あなたの学校では携帯電話やスマートフォンの教室への持ち込みは禁止されていますか。

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 禁止されている	19.0	17.1	14.1	11.3	90.2	92.1	36.1	18.5
2. 禁止されていない	79.3	81.7	85.9	88.7	9.8	7.9	63.3	81.2
無回答	1.7	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.3
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

問33 あなたは、学校でSNSの利用について下記の内容を学習したことがありますか。次のそれぞれについてお答えください。

「ある」と回答した割合

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
a. プライバシーと個人情報に関する知識	90.2	94.1	86.0	90.0	84.3	87.3	57.6	60.6
b. セキュリティに関する知識	82.7	80.5	84.2	82.7	87.8	90.8	55.2	55.1
c. 安全意識をもつこと(危険を予測し、被害を予防する)	89.3	91.2	87.2	89.2	88.4	91.1	57.3	58.0
d. 適切にコミュニケーションをとるためのマナーやルール、言葉づかいなど	87.2	87.5	82.0	83.2	87.4	89.5	60.0	62.9
e. 依存防止	80.5	77.1	61.4	55.7	87.9	90.4	50.3	54.0
f. 他人からの中傷誹謗やトラブルに対する対処法	82.6	83.8	72.7	70.9	82.3	81.2	50.3	53.6
g. 正しい情報を収集・判断する方法	86.5	89.2	79.6	79.5	84.6	84.4	55.0	57.0
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

問34 あなたにとって学校でSNSの利用に関する次の学習は特にどれが重要だと思いますか。3つまで選んでください。

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. プライバシーと個人情報に関する知識	69.0	70.3	67.3	69.1	71.0	79.2	55.3	58.9
2. セキュリティに関する知識	34.3	25.8	45.6	32.7	56.9	55.1	41.0	40.5
3. 安全意識をもつこと(危険を予測し、被害を予防する)	42.0	41.3	57.6	64.0	57.6	58.3	34.7	38.4
4. 適切にコミュニケーションをとるためのマナーやルール、言葉づかいなど	29.8	34.5	34.5	39.8	22.6	21.5	55.4	47.4
5. 依存防止	36.8	39.5	26.5	24.1	27.8	28.3	26.1	24.0
6. 他人からの中傷誹謗やトラブルに対する対処法	32.6	37.8	25.6	32.1	13.9	22.1	26.2	25.9
7. 正しい情報を収集・判断する方法	38.8	37.8	27.8	29.3	15.9	16.3	51.9	51.5
回答者数	2117	2123	695	767	3910	3840	747	761

報告書執筆者

- 胡 霞 国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター客員研究員
(調査の概要～第6章)
- 藤 桂 筑波大学人間系心理学域准教授
(考察1)
- 遠藤 伸太郎 千葉工業大学先進工学部教育センター准教授
(考察2)
- 矢野 康介 国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター研究員
(考察3)

日・米・中・韓の青少年に関する国際比較調査は、(財)日本青少年研究所が実施してきたが、当該法人が平成25年8月31日に解散したことに伴い、国立青少年教育振興機構が調査を継承して実施している。

(お願い)

本報告書を引用された場合には、今後の参考とさせていただきたいと思いますので、国立青少年教育振興機構青少年教育研究センターまで、メール、FAX等でその旨ご連絡いただけましたら幸いです。

高校生のSNSの利用に関する調査報告書—日本・米国・中国・韓国の比較—

令和6年7月

編集・発行
国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
TEL 03-6407-7741 FAX 03-6407-7619
E-mail kenkyu-soumu@niye.go.jp
